

金印の地に文化の花開き 今 21世紀始まる



放送部門プログラム

会場:北九州国際会議場



第25回全国高等学校総合文化祭

平成13年8月5日(日)～6日(月)

目 次

あ い さ つ (第25回全国高等学校総合文化祭放送部門委員長)	増田 克彦… 1
歓迎の言葉 (第25回全国高等学校総合文化祭放送部門生徒実行委員長)	坪根 圭… 2
歓迎の言葉 (第25回全国高等学校総合文化祭放送部門副委員長)	爲近 勝… 3
福岡県実行委員会放送部会長	
審査員紹介	4
福岡大会放送部門開催方針	5
会場案内図	6
タイムテーブル	9
大会第一日(8月5日)	10
メインホール(A P・VM部門)	
国際会議室(アナウンス部門)	
大会第二日(8月6日)	15
メインホール(A P・VM部門)	
国際会議室(アナウンス部門)	
A P・VM部門 作品概要	21
アナウンス部門 発表原稿	53
朗読部門 発表原稿	97
放送部門役員・運営教員・生徒実行委員・運営生徒	147
都道府県別参加校一覧	150

表紙写真

大会50日前イベント in 北九州で
司会をする放送部員



ごあいさつ

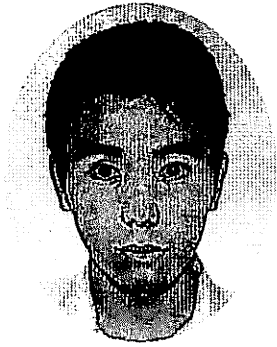
全国高等学校文化連盟放送部会長
増田克彦

私たち放送部門の全国高等学校総合文化祭への参加は、他の部門よりも遅れ、1988（昭和63）年の熊本県で行われた第12回大会が最初でした。以来、岡山、山梨、香川、沖縄、埼玉、愛媛、新潟、北海道、奈良、鳥取、山形、そして昨年、静岡といくつもの大会を経て今年、14年目になります。熊本大会以来、文字どおり全国の放送部門の文化祭として、学校の内外で放送活動等に活躍している高校生が全国から結集し、回を重ねるごとに充実し規模も大きく盛大になってきたとお聞きしております。

今回の第25回全国高等学校総合文化祭は、「金印の地に文化の花開き 今21世紀始まる」のスローガンのもと、ここ福岡県各地を舞台に開催されます。福岡県は改めて申し上げるまでもなく、古くからの、九州はもとより西日本における文化の中心地として、また大陸へ向かう玄関口として、政治・経済の中心、交通の要衝として、大いに栄えた土地であり、闊達でエネルギーに満ちあふれる福岡県の方々はこの地で営々とした努力を積み重ね全国に誇る優れた文化を築き上げておられます。

今回の放送部門の発表も、福岡県の生徒のみなさん、保護者の方々、また放送活動にかかわる先生方など教育界をはじめとする関係者の方々の、数年前からの長期にわたる筆舌にしがたいなみなみならぬご努力ご尽力によってこのような盛大なものとして開催される運びとなりました。福岡県のみなさまには改めて厚く御礼申し上げるしだいです。

今大会ではアナウンス部門、朗読部門、オーディオピクチャー部門、ビデオメッセージ部門の4部門を開催します。未来に向かって雄々しく生きる高校生のみなさんは、日頃の部活動・委員会活動等をとおしてその素晴らしい感性に磨きをかけ人間性を豊かにしつつ、校内放送活動を初めとしてそれぞれの学校生活の中でも社会的にも大きな役割を果たしていると思います。今大会では文字どおり21世紀の幕開けにふさわしい大会として、ぜひ日常の努力の成果を十二分に発揮していただきたいし、また全国から選りすぐられて参加された生徒のみなさんのさまざまな優れた演技または創造的な作品にしっかりと学び、今後のそれぞれの校内放送活動をはじめとする諸活動の一層の充実と各都道府県の放送部門また全国放送部門の一層の発展に寄与していただけることをお願い致します。あわせて、この大会を通じて、それぞれの自分の中の新しい自分に出会い、全国津々浦々の新しい友人をつくり、素敵な思い出を胸にそれぞれの学校にまた戻られることを祈念しております。



歓迎のことば

第25回全国高等学校総合文化祭
放送部門生徒実行委員長
坪根 圭
(福岡県立筑紫高等学校 3年)

全国のみなさん、こんにちは、ようこそ福岡へ。

二十一世紀という新世紀の幕開けの年に、ここ福岡県に未来を切り拓く若いエネルギーが集結し、第二十五回全国高等学校総合文化祭が開催できることを、とても嬉しく思っています。

福岡県は、古代から中国や朝鮮など、アジアとの交流が深かった場所です。稲作や仏教をはじめ様々な異国文化が、福岡から全国に伝わりました。そのため、福岡は海外からいろいろな影響を受けています。また、福岡は四つの地区に分けることができます。商人の街博多を中心とした福岡地方、炭坑節のふるさと筑豊地方、筑後川の恩恵豊かな米どころ筑後地方、そして、八幡製鉄所を中心に栄えた九州の玄関、北九州地方。そのような地方で独自に発達した郷土文化が、海外あるいは日本各地の文化ととけあって、各地方に生き生きと根づいているのが福岡の特徴です。そういった文化交流点という土地柄に着目して、福岡大会のテーマは、「異文化理解・自文化理解」としました。全国各地から集まってくださったみなさんから、異文化との出会いや郷土の文化を紹介していただきます。それによって、この福岡大会が、国際化や異文化理解、そして自文化理解をさらに深めるきっかけになればと思っています。また、「放送」に関わっている全国の仲間との交流を深め、多くの感動を共有する場となってほしいとも思っています。発表なさるみなさんはそれぞれの部門で、今日までの成果を、思う存分発揮してください。全国の仲間に伝えたい思いが、きっと伝わるはずですよ。

私たち実行委員はみんな三年生です。この時期、自分の進路実現のために今まで以上に勉強に取り組まなければなりません。それに加えて実行委員としての仕事をするのは結構たいへんで、私は最初の頃、うまく両立できずに一ヶ月に一度は体調を崩していました。そういう苦しい思いもありました。けれども、たくさんの人々に支えられ、高校生活最後となる総文祭を最高のものにしたいと、がんばってきました。そしていよいよ迎える本番。私たちは、去年の静岡や、一昨年山形ですばらしい経験をさせていただいています。この福岡大会も、それに負けず劣らず、全国の仲間にとって一生の思い出となるように、実行委員、運営委員一同、全身全霊で取り組むつもりです。大袈裟な言い方ですが、本当にそんな気持ちで、精一杯みなさんの発表と交流のお手伝いをさせていただきます。

国際会議場のある北九州の街は、今、「わっしょい百万夏祭り」の真っ最中です。また、北九州博覧祭も開かれています。そして、今日から私たち高校生の祭り、総文祭が開会します。みなさん、第二十五回全国高等学校総合文化祭を心ゆくまでお楽しみ下さい。



歓迎のことば

第25回全国高等学校総合文化祭
福岡県実行委員会放送部会長
爲 近 勝

(福岡県高等学校芸術文化連盟放送文化部門会長)

21世紀を迎え、未来を拓く高校生の文化活動が大きく花開くようにとの願いの込められた、“金印の地に文化の花開き 今 21世紀始まる”の大会テーマのもと、第25回全国高等学校総合文化祭福岡大会放送部門が、九州の玄関口であるここ北九州市において開催され、日頃全国で学校放送活動に情熱を傾けておられる高校生の皆さんを数多くお迎えることは大きな喜びであり、心から歓迎いたします。

かつて、わが国4大工業地帯の一つとしてその名を馳せた北九州工業地帯も、時代の流れに沿い、今では海外からも注目を集める環境文化都市として変身を遂げており、その百万市民が熱く燃え繰り広げる「わっしょい百万夏まつり」が、本大会にちょうど花を添えてくれているように思います。また、もしお時間が許せばスペースワールドや、新幹線わずか10数分の博多の方にも足をお運びいただければ幸いに存じます。

本福岡大会の放送部門は、

- ・ 校内放送活動で活躍する全国の高校生が、自校制作の作品を持ち寄り発表することによって、互いに情報を発信し交流を深める。
- ・ 時代と共に変化する日本語文化の中で、アナウンスや朗読による美しい日本語の響きに触れ、表現の喜びを共に味わい感動を共有する。
- ・ 福岡大会の基本方針（①21世紀の幕開けにふさわしい大会とする。②アジアとの文化の交流拠点 福岡の特色を生かす大会とする。③高校生と県民が感動を分かち合う大会とする。）に沿い、国際化や異文化理解、そして自己理解をさらに深めるきっかけとし、交流・感動を多くの高校生、県民と分かち合える場とする。

の目標のもとに、アナウンス、朗読、オーディオピクチャー、ビデオメッセージの4部門で、各県代表の作品発表が行われます。

是非、高校生の皆さんのみずみずしい感性と豊かな想像力を遺憾なく発揮されるとともに、お互いに交流を深め合う中から温かな友情を育んでいただきたいと思います。そして、21世紀の幕開けにふさわしい、文化の薫りが高く、人々に希望と感動を与える大会となるよう祈念いたします。どうか、皆さんの日頃の活動の成果を思う存分に発表していただき、また、全国の高校生の発表から何かを掴みとっていただきたいと思います。そして、今後皆さんが全国各地における放送文化の重要な担い手となり、大いに活躍されることを期待申し上げます。

終わりに、本大会開催のため多大のお力添えをいただきました関係の皆様方に、心からのお礼と感謝を申し上げ、ご挨拶といたします。

審査員紹介

(1) AP・VM部門

NHK福岡放送局チーフプロデューサー	大森 淳郎
TNCテレビ西日本映像取材部部长	村井 純和
TVQ九州放送制作部長	丁場 直人
FBS福岡放送制作部長	井上 正之
特別講師（映画監督）	平山 秀幸

(2) アナウンス・朗読部門

NHK福岡放送局チーフアナウンサー	板谷 直実
KBC九州朝日放送編成局アナウンス部副部長	奥田 智子
RKB毎日放送アナウンス部専門部長	安藤 豊
エフエム福岡編成部次長	樋口友一郎
特別講師（北九州国際交流協会事務局長）	堀 俊孝

中央特別講師紹介・・・平山 秀幸

- 1950年 福岡県北九州市生まれ
- 1966年 明治学園卒業
- 1969年 県立戸畑高校卒業
- 1973年 日本大学芸術学部放送学科卒業

【監督作品】

- 1990年 「マリアの胃袋」（アルゴ・プロジェクト）
- 1992年 「ザ・中学教師」（アルゴ・プロジェクト）
日本映画監督協会新人賞ほか受賞
- 1993年 「人間交差点 雨」（パイオニアLDC）
- 1994年 「よい子と遊ぼう」（WOW WOW）
民間放送連盟優秀賞受賞
- 1995年 「学校の怪談」（東宝）
- 1996年 「学校の怪談2」（東宝）
- 1998年 「愛を乞うひと」（東宝）
モントリオール世界映画祭 国際批評家連盟賞
日本アカデミー賞 最優秀作品賞
最優秀監督賞 ほか
- 1999年 「学校の怪談4」
- 2001年（公開予定）「ターン」（アルゴ・ピクチャーズ／バンブーピクチャーズ）

講師から一言

20世紀は映像の世紀と呼ばれました。
そして、21世紀・・・
さまざまな映像技術や方法が、すさまじい勢いで進化しています。
しかし映像を作るのは人間です。
今回、第25回全国総文祭で、『気持ち伝わる』数多くの作品に
出会えるのを楽しみにしています。

第25回全国高等学校総合文化祭開催方針

(福岡大会放送部門)

福岡大会の趣旨、とりわけ基本方針 (①21世紀の幕開けにふさわしい大会とする。②アジアとの文化交流拠点。福岡という特色を生かす大会とする。③高校生と県民が感動を分かち合う大会とする。)に鑑み、以下のような開催方針を策定した。

目 的

- (1) 校内放送活動で活躍する全国の高校生が、自校制作の作品を持ち寄り、発表することによって、互いに情報を発信し、交流を深める。
- (2) 時代と共に変化する日本語文化の中で、アナウンスや朗読による美しい日本語の響きに触れ、表現の喜びを共に味わい、感動を共有する。
- (3) 福岡大会の基本方針に沿い、この大会を国際化や異文化理解、そして自文化理解をさらに深めるきっかけとするとともに、(1)・(2)の交流・感動を多くの高校生、県民と分かち合える場とする。

これに従って以下の4部門を開催する。

(1) アナウンス部門

- ・それぞれの地域における国際交流(異文化理解)の話題を全国の仲間に伝える内容の自作原稿を作り発表する。古代から、21世紀を見据えた話題まで、幅広く考えて題材を選ぶこと。

(2) 朗読部門

- ・異文化との出会いを取り上げた作品や場面の一部を選んで原稿とし朗読する。作品のジャンルや作者の出身地等は問わない。

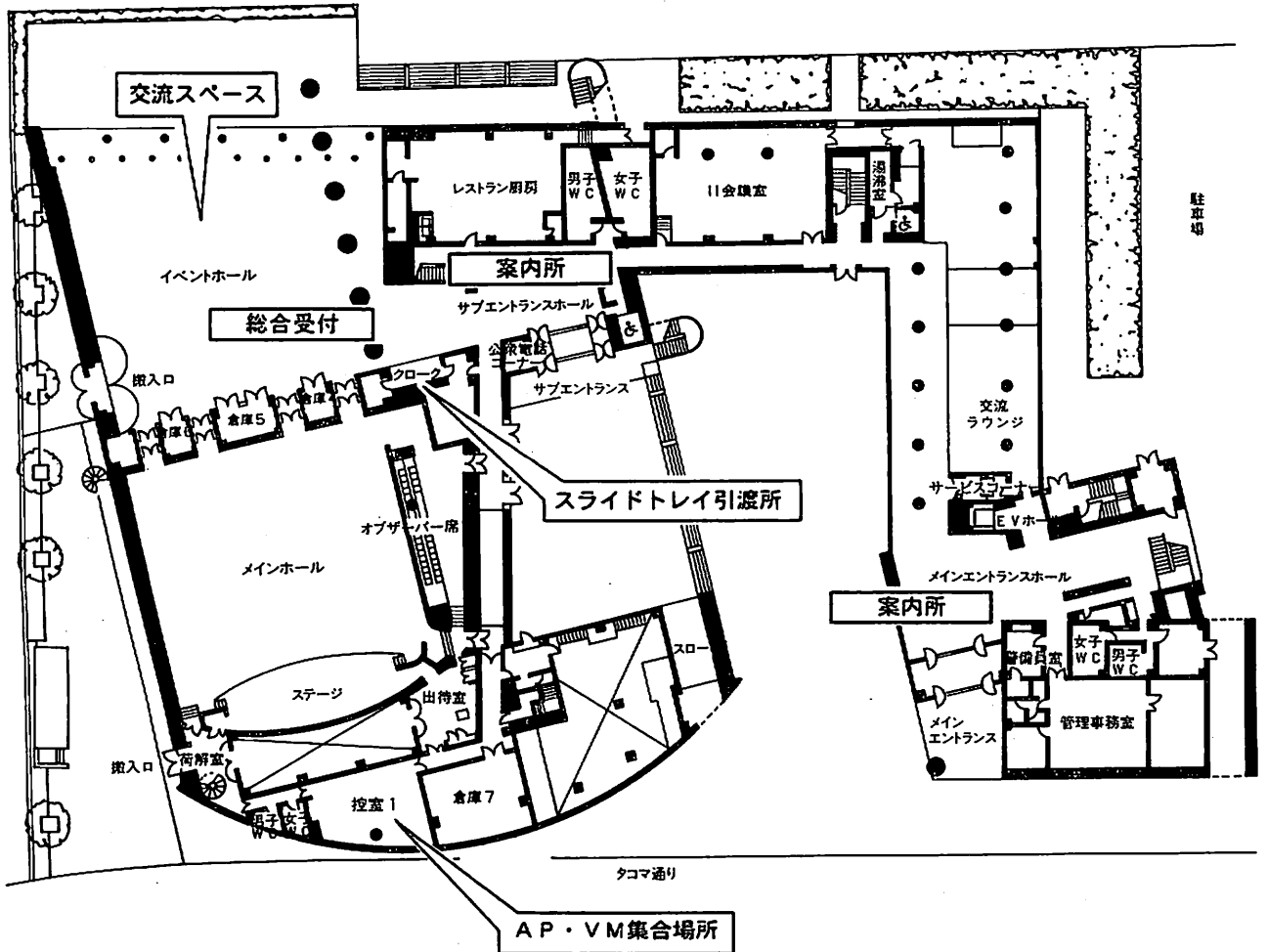
(3) オーディオピクチャー(AP)部門

- ・カセットテープによるステレオ音声とスライド(枚数は自由)を併用する作品とする。ドキュメンタリー形式、ドラマ形式など、手法は問わない。

(4) ビデオメッセージ(VM)部門

- ・郷土の文化を全国の仲間に紹介する内容で、ビデオカメラで撮影したものとする。

1階配置図



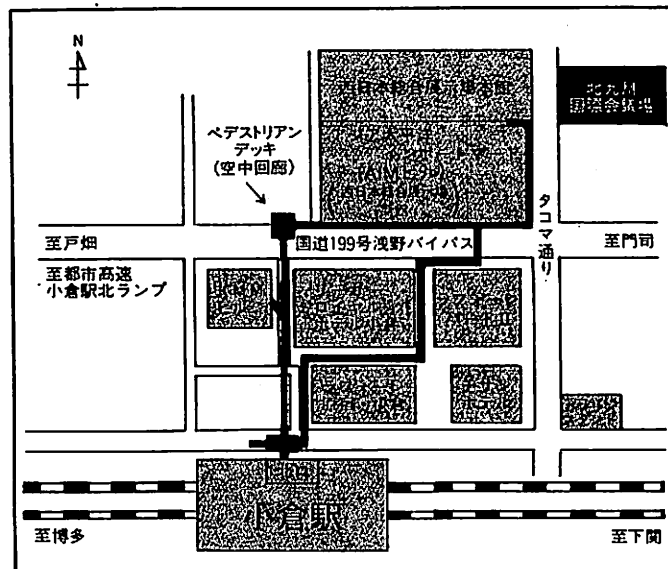
●お問い合わせ・ご予約受付は—

北九州国際会議場

TEL 093-541-5931

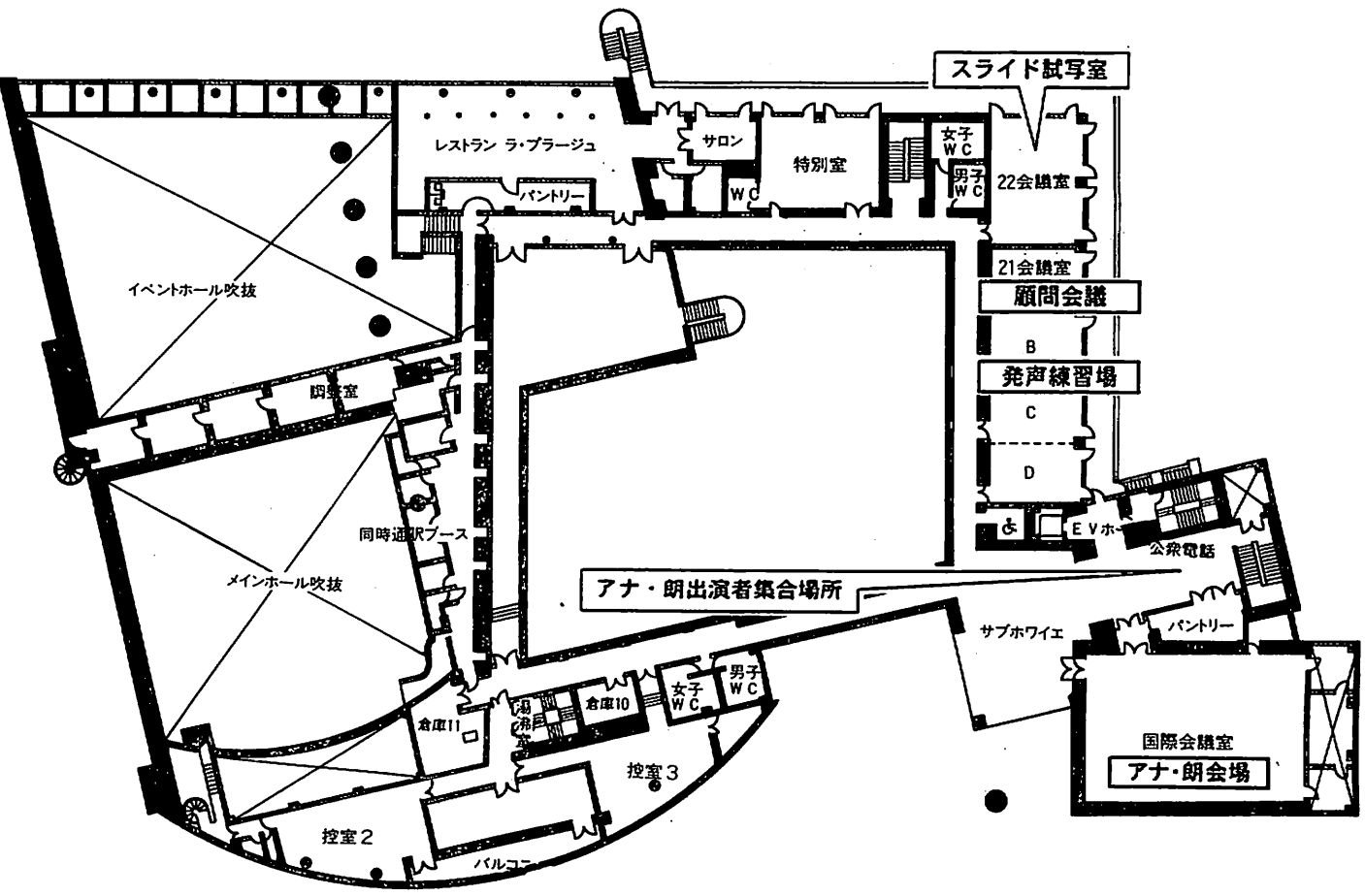
FAX 093-541-5928

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野三丁目9番30号
(JR小倉駅北口(新幹線口)徒歩7分)

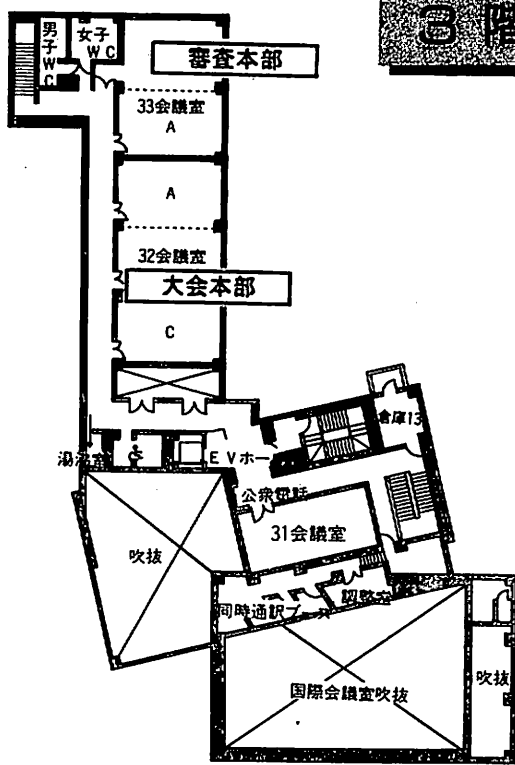


放実-10

2階配置図



3階配置図



放美-11

大会日程

大会日程

	メインホール	国際会議室	その他
8 月 4 日 (土)	県外高校APリハーサル (9:00~18:00)		総合受付 (10:00~18:00) 全国顧問会議 21会議室 (14:00~17:00) 情報交換会 小倉ステーションホテル (19:00~21:00)
8 月 5 日 (日)	開場 (8:45) 開会行事 (9:20~10:00) AP・VM部門発表(午前の部) No.1~No.17 (10:20~12:00)	開場 (8:45) アナウンス部門発表(午前の部) No.1~No.35 (10:40~11:47)	総合受付・作品返却 (8:45~18:15)
	昼食・休憩		
	AP・VM部門発表(午後の部) No.18~No.63 (12:45~17:41)	アナウンス部門発表(午後の部) No.36~No.142 (12:40~16:28)	
8 月 6 日 (月)	開場 (8:45) AP・VM部門発表(午前の部) No.1~No.30 (9:00~12:25)	開場 (8:45) 朗読部門発表(午前の部) No.1~No.66 (9:10~12:03)	総合受付・作品返却 (8:45~17:30)
	昼食・休憩		
	AP・VM部門発表(午後の部) No.31~No.61 (13:05~16:32) 閉会行事 (17:15~18:00)	朗読部門発表(午後の部) No.67~No.144 (13:05~16:27)	

進行時間については、あくまで「予定」です。
会場インフォメーションに留意してください。

大会第一日 (8月5日)

オーディオピクチャー・ビデオメッセージ部門 メインホール

【集合時刻 10:00】		【発表時刻 10:20】		
1	AP部門	長崎県	長崎県立長崎西高等学校	日本一の路面電車
2	VM部門	長崎県	長崎県立長崎北高等学校	長崎の味
【集合時刻 10:10】		【発表時刻 10:33】		
3	AP部門	大分県	大分県立三重高等学校	地域とのきずな
4	VM部門	大分県	大分県立日田高等学校	ある風景
5	VM部門	沖縄県	沖縄県立那覇商業高等学校	ハーリー チムドンドン
【集合時刻 10:30】		【発表時刻 10:50】		
6	AP部門	徳島県	徳島県立城東高等学校	きらり
7	VM部門	徳島県	徳島県立徳島北高等学校	阿波文学散歩
8	VM部門	徳島県	徳島県立城ノ内高等学校	「最高に青春！」
【集合時刻 10:45】		【発表時刻 11:07】		
9	AP部門	香川県	香川県立坂出高等学校	NEVER FORGET
10	VM部門	香川県	香川県立高松商業高等学校	あなたを守りたい！
11	VM部門	香川県	高松第一高等学校	やわらかい石
【集合時刻 11:00】		【発表時刻 11:24】		
12	AP部門	愛媛県	済美高等学校	女は愛嬌、ホーホケキョ
13	VM部門	愛媛県	愛媛県立八幡浜高等学校	四国山漫遊記 ～僕らの町の四国八十八箇所～
14	VM部門	愛媛県	愛媛県立北条高等学校	短いけれど、短いから
【集合時刻 11:20】		【発表時刻 11:42】		
15	AP部門	高知県	高知県立須崎高等学校	明日のために
16	VM部門	高知県	高知商業高等学校	さわちのキモチ
17	VM部門	高知県	高知県立高知西高等学校	土佐の宝～目に見えないもの～
【集合時刻 12:20】		【発表時刻 12:45】		
18	AP部門	長野県	松商学園高等学校	響け、土の音！！
19	VM部門	長野県	長野県長野西高等学校	食べてみませんか
20	VM部門	長野県	長野県梓川高等学校	キッキングえんま様
【集合時刻 12:40】		【発表時刻 13:03】		
21	AP部門	岐阜県	岐阜県立大垣北高等学校	変えよう！あなたの食生活
22	VM部門	岐阜県	岐阜県立岐山高等学校	芭蕉と岐阜
23	VM部門	岐阜県	岐阜県立岐阜北高等学校	古き良き伝統
【集合時刻 13:00】		【発表時刻 13:20】		
24	AP部門	静岡県	浜松市立高等学校	ハト迷惑
25	VM部門	静岡県	日本大学三島高等学校	我、三四呂人形…生きた証
26	VM部門	静岡県	静岡県立浜松湖南高等学校	からっ風君と大根ちゃんの恋物語
【集合時刻 13:15】		【発表時刻 13:38】		
27	AP部門	愛知県	愛知県立明和高等学校	いきいき長生き とびつきり青春☆
28	VM部門	愛知県	愛知県立時習館高等学校	賀茂の競馬
29	VM部門	愛知県	光ヶ丘女子高等学校	炎の輝き～和ろうそくに秘めた思い～
【集合時刻 13:35】		【発表時刻 13:56】		
30	AP部門	三重県	三重県立津西高等学校	安濃津物語
31	VM部門	三重県	私立高田高校	神島をたずねて
【集合時刻 13:55】		【発表時刻 14:15】		
32	AP部門	滋賀県	滋賀県立守山高等学校	『宝湖への想い』
33	VM部門	滋賀県	石部高等学校	宿場街道より
34	VM部門	滋賀県	比叡山高等学校	第二の船幸祭～新しい伝統作り～
【集合時刻 14:10】		【発表時刻 14:32】		
35	VM部門	京都府	京都文教女子高等学校	京都の文化≠和風？
36	VM部門	京都府	東山高等学校	東風吹かば
【集合時刻 14:20】		【発表時刻 14:44】		
37	AP部門	兵庫県	私立武庫川女子大学附属高等学校	うしろの正面だあれ？
38	VM部門	兵庫県	兵庫県立小野高等学校	夢への第一手
39	VM部門	兵庫県	兵庫県立尼崎小田高等学校	「ほないこか！！」

【集合時刻 14:40】		【発表時刻 15:02】		
40	AP部門	奈良県	奈良県立信貴ヶ丘高等学校	小倉百人一首から
41	VM部門	奈良県	奈良県立王寺工業高等学校	先用後利(せんようこうり)
42	VM部門	奈良県	私立 帝塚山高等学校	THE MEIBUTSU
【集合時刻 15:00】		【発表時刻 15:20】		
43-1	AP部門	和歌山県	和歌山県立海南高等学校	記憶の片隅～君からのメッセージ～
43-2	VM部門	和歌山県	和歌山県立海南高等学校	鈴木さん弁当って!?
44	VM部門	和歌山県	和歌山県立橋本高等学校	紀伊半島6時間20分『夜の旅』
【集合時刻 15:30】		【発表時刻 15:50】		
45	AP部門	埼玉県	私立星野女子高等学校	彼女が残してくれたもの
46	VM部門	埼玉県	埼玉県立川越高等学校	狙われた川越高校
47	VM部門	埼玉県	さいたま市立浦和高等学校	おいらの故郷
【集合時刻 15:45】		【発表時刻 16:07】		
48	AP部門	千葉県	千葉県立佐倉高等学校	テンツクツー佐倉の秋祭リー
49	VM部門	千葉県	成田高等学校	亀
50	VM部門	千葉県	千葉県立鎌ヶ谷高等学校	Show you 野田文化
【集合時刻 16:05】		【発表時刻 16:25】		
51	AP部門	東京都	共立女子高等学校	発車音ライ!! REMIX
52	VM部門	東京都	東京都立八王子高陵高等学校	TOKYO BEST PLACE
53	VM部門	東京都	東京都立久留米高等学校	東京タヌキ事情
【集合時刻 16:20】		【発表時刻 16:42】		
54-1	AP部門	山梨県	山梨県立甲府西高等学校	父からのメッセージ
54-2	VM部門	山梨県	山梨県立甲府西高等学校	紙芝居おじさん
55	VM部門	山梨県	山梨県立吉田高等学校	文化のカチ
【集合時刻 16:50】		【発表時刻 17:10】		
56	AP部門	宮崎県	宮崎県立宮崎北高等学校	八紘一字(はっこういち)
57	VM部門	宮崎県	宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校	「三ヶ所神社神楽 ～私たちが支えます～」
58	VM部門	宮崎県	宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校	伝統を受け継ぐ者
【集合時刻 17:05】		【発表時刻 17:29】		
59	VM部門	熊本県	熊本県立人吉高等学校	舞 ～残された伝統を継いで～
60	VM部門	鹿児島県	鹿児島商業高等学校	体育祭 パネルに注目
【集合時刻 17:20】		【発表時刻 17:41】		
61	AP部門	福岡県	福岡県立小倉東高等学校	和気 清麻呂
62	VM部門	福岡県	中村学園三陽高等学校	リヤカー人生
63	VM部門	福岡県	福岡大学附属大濠高等学校	“はる”のある風景

アナウンス部門

国際会議室

【集合時刻 10:20】		【発表時刻 10:40】		
1	曾我佳菜子	福岡県	福岡県立嘉穂東高等学校	アジアを結ぶ「アイガモ農法」
2	諫山 寛子	福岡県	福岡県立柏陵高等学校	およげ ばちやぼ
3	今岡輪希子	福岡県	福岡県立城南高等学校	アムネスティ・インターナショナル福岡
4	渡辺麻衣子	静岡県	静岡県立清水東高等学校	モリン・ホール
5	五十嵐 雅	静岡県	静岡県立清水東高等学校	JRC活動報告
6	山本 早華	静岡県	静岡県立清水南高等学校	異文化へのとまどい
【集合時刻 10:30】		【発表時刻 10:52】		
7	島村美絵子	高知県	土佐女子高等学校	交換留学
8	門田 舞	高知県	高知県立高知南高等学校	コミュニケーション
9	福井 美和	高知県	高知県立須崎高等学校	海外体験
10	徳増 沙織	愛媛県	愛媛県立今治西高等学校	国際交流協会員・矢野さんたちの活動
11	矢野 真未	愛媛県	愛媛県立松山西高等学校	「書」から始まる国際交流
12	白石 理菜	愛媛県	愛媛県立松山東高等学校	松山ダンスウェーブ
【集合時刻 10:40】		【発表時刻 11:03】		
13	白土 幸恵	茨城県	茨城県立日立第二高等学校	海を渡った雨情のうた
14	後藤 千鶴	茨城県	茨城県立日立第一高等学校	地球の市民として
15	今井 麻矢	東京都	昭和女子大学附属昭和高等学校	キャロットタワーからの世界文化
16	萩本 朋子	東京都	桐朋女子高等学校	外国人居住者との共生
17	柳沢美沙子	東京都	江戸川女子高等学校	中国の親善大使

【集合時刻 10:50】		【発表時刻 11:12】		
18	佐藤 瞳	宮城県	常盤木学園高等学校	我が街 仙台
19	山田 明子	宮城県	常盤木学園高等学校	はばたけ宮城
20	小笠原みさと	宮城県	宮城県第三女子高等学校	支倉常長と今
21	青野 貴子	富山県	富山県立呉羽高等学校	スリランカの塩
22	奥村 利恵	富山県	富山県立魚津高等学校	ストリートチルドレンを救うために
23	若狭 詩織	富山県	富山県立富山北部高等学校	フラメンコ～情熱のリズムに乗せて～
【集合時刻 11:00】		【発表時刻 11:23】		
24	岩本 彩	長崎県	長崎北陽台高等学校	「外人墓地にたたずめば」
25	北村 光愛	長崎県	長崎県立佐世保南高等学校	アルカスSASEBO
26	野口 翔	長崎県	長崎県立長崎西高等学校	長崎からの日中友好
27	大田 二葉	沖縄県	沖縄県立知念高等学校	チャンプルー文化
28	金城 仁美	沖縄県	沖縄県立那覇商業高等学校	黒船に乗った琉球人
29	上地久美子	沖縄県	沖縄県立首里東高等学校	国際交流はここから・・・
【集合時刻 11:10】		【発表時刻 11:34】		
30	太田亜希子	大分県	大分県立日田高等学校	私にできること
31	森 郁江	大分県	大分県立三重高等学校	すてきな町
32	平林 裕子	大分県	大分県立大分上野丘高等学校	世界から大分へ
33	早崎 加奈	鹿児島県	鹿児島純心女子	高校生、県議会に進出？
34	下松小百合	鹿児島県	鹿児島県立鶴丸高等学校	カラモジア交流
35	内山真梨子	鹿児島県	鹿児島県立加治木高等学校	真の国際交流とは？
【集合時刻 12:20】		【発表時刻 12:40】		
36	手塚 恵美	香川県	香川県立三木高等学校	歌声でつなぐ世界の輪
37	高橋由利江	香川県	香川県立高松商業高等学校	ジョンソン君、こんにちは
38	楠原 紗梨	香川県	香川県立香川中央高等学校	MR. ライオン四国盤場写真参り
39	新垣 克美	徳島県	徳島文理高等学校	「オーストラリアから来た男」
40	天川 千彰	徳島県	徳島県立富岡東高等学校	凧揚げで国際交流
41	山崎 早織	徳島県	徳島県立富岡東高等学校	北京で人気、阿波踊り
【集合時刻 12:30】		【発表時刻 12:52】		
42	小野 寛恵	山形県	山形県立楯岡高等学校	アメリカ生まれの若女将
43	鶴田 ゆり	山形県	山形県立山形北高等学校	ソフナーでコミュニケーション
44	上村 彩	山形県	山形県立山形東高等学校	国際化はアジアから
45	小井塚希美子	岩手県	岩手県立黒沢尻北高等学校	心の交流
46	小林 由衣	岩手県	盛岡白百合学園高等学校	タイの子供達へ奨学金支援
47	佐々木佑花	岩手県	岩手県立盛岡第二高等学校	未来へのかけ橋
【集合時刻 12:40】		【発表時刻 13:03】		
48	田中亜由子	滋賀県	滋賀県立守山高等学校	
49	西村 亜起	滋賀県	比叡山高等学校	心を伝える絵
50	小幡里江子	滋賀県	比叡山高等学校	ラオスにかける夢
51	眞野 恵	京都府	京都文教女子高等学校	祇園祭に参加する外国人
52	野口 和美	京都府	京都文教女子高等学校	西陣織と異文化理解
53	塩見 智美	京都府	京都府立東舞鶴高等学校	国の文化財ホフマン窯
【集合時刻 12:55】		【発表時刻 13:15】		
54	塩野 桂子	岡山県	岡山県立岡山大安寺高等学校	古代吉備の文化交流
55	藤田 侑子	岡山県	就実高等学校	洛陽の桃太郎
56	岡部 幸江	岡山県	岡山県立倉敷商業高等学校	CVSG
57	森 和也	石川県	石川県立金沢北陵高等学校	台湾のダム之父～八田與一
58	館 明博	石川県	石川県立飯田高等学校	心の交流を求めて
59	久保亜希子	石川県	石川県立七尾高等学校	故郷にかけた夢
【集合時刻 13:05】		【発表時刻 13:27】		
60	加藤 未来	島根県	島根県立出雲高等学校	『二十一世紀国際フォーラム』について
61	丸山 翼	島根県	島根県立浜田高等学校	和紙がくれた出逢い
62	山形 彩美	島根県	島根県立浜田高等学校	朴さん奮闘記
63	船越 裕子	鳥取県	鳥取県立米子西高等学校	ロンダさんの挑戦
64	藤原 絵理	鳥取県	鳥取県立鳥取商業高等学校	留学生とともに
65	山本 佳代	鳥取県	鳥取県立八頭高等学校	共に生きる

【集合時刻 13:15】		【発表時刻 13:39】	
66	山本 愛子 兵庫県	姫路市立姫路高等学校	あつまろか「東はりまマダン」
67	岩橋 祐一 兵庫県	兵庫県立北摂三田高等学校	ハンディキャップを乗り越えて
68	久楽 麻依 兵庫県	武庫川女子大学附属高等学校	響けオーストラリアの空に
69	中村絵里香 佐賀県	佐賀清和高校	優しさと強さの町唐津
70	金岡みゆき 佐賀県	佐賀県立武雄青陵高等学校	焼き物の里と国際交流
71	岩本 有加 佐賀県	東明館高校	「ブランディと出会って」
【集合時刻 13:30】		【発表時刻 13:51】	
72	松村 朋美 福井県	福井県立敦賀高等学校	国際貿易港—敦賀
73	岩本 光代 福井県	福井県立武生東高等学校	国際化に必要なもの
74	岡田早夕里 福井県	私立仁愛女子高等学校	新世代ネットパルのすすめ
75	稲田真由子 和歌山県	和歌山県立星林高等学校	明治からの絆
76	谷 侑子 和歌山県	和歌山県立橋本高等学校	わが町の国際交流
77	鈴木めぐみ 和歌山県	和歌山県立橋本高等学校	明治の国際人「南方熊楠」
【集合時刻 13:40】		【発表時刻 14:03】	
78	道源 茉莉 山口県	山口県立華陵高等学校	Our International Communication
79	吉岡 聡美 山口県	山口県立熊毛南高等学校	伝えたいという思い
80	安部 杏実 山口県	山口県立山口高等学校	広い世界に目を
81	柴田 友美 広島県	広島県立安古市高等学校	ヒロシマの写真
82	森本 記子 広島県	広島県立広島国泰寺高等学校	見て見て平和のでっかい絵
83	谷本 美香 広島県	鈴峯女子高等学校	Helping 立ち上がるために
【集合時刻 13:50】		【発表時刻 14:15】	
84	和賀 愛 秋田県	秋田県立秋田南高等学校	心の国際化
85	新泉 雄得 秋田県	秋田県立秋田中央高等学校	ワールドゲームズ
86	高橋 智里 秋田県	秋田県立秋田北高等学校	イングリッシュカフェ
87	橋野美由紀 福島県	郡山女子大学附属高等学校	日本文化を伝える「かるみあ」
88	大槻真由美 福島県	福島県立相馬女子高等学	「踏み出す力」
89	佐川 友奈 福島県	福島県立磐城桜が丘高等学校	
【集合時刻 14:00】		【発表時刻 14:26】	
90	高橋 治子 神奈川県	神奈川県立多摩高等学校	郷土に溶け込む友好関係
91	大島 千佳 神奈川県	神奈川県立大和西高等学校	「モーニングコーヒー」
92	中川 茜乃 神奈川県	捜真女学校高等学部	横浜外人墓地の今
93	塩田あゆみ 千葉県	千葉県立船橋高等学校	
94	桐谷 佳那 千葉県	千葉県立千葉女子高等学校	一人一品ポットラックパーティー
95	大野 恵 千葉県	成田高等学校	外国に紹介された日本の紙芝居
【集合時刻 14:15】		【発表時刻 14:38】	
96	本澤 夕湖 長野県	松商学園高等学校	絵本をカンボジアへ
97	石井さやか 長野県	長野県須坂高等学校	清水浜臣の善光寺参り
98	木下絵里香 長野県	長野県飯田高等学校	「インターナショナル・デイ」
99	小黒 充 新潟県	新潟県立長岡商業高等学校	海を越えた医療
100	新保 陽 新潟県	新潟県立長岡大手高等学校	そこから世界へ
101	近藤 麻未 新潟県	新潟県立柏崎常盤高等学校	ネパールと高校生
【集合時刻 14:30】		【発表時刻 14:50】	
102	我妻 雄紀 栃木県	栃木県立盲学校	外交の窓inうつのみや
103	森藤真希子 栃木県	栃木県立栃木女子高等学校	ベトナムでの異文化理解
104	釜井 香織 栃木県	栃木県立宇都宮中央女子高等学校	「百人一首市民大会を通して」
105	五十嵐麻衣 埼玉県	埼玉県立松山女子高等学校	心つながるスリーデーマーチ
106	浅見 菜帆 埼玉県	埼玉県立伊奈学園総合高等学校	遊遊タイム
107	黒白 悠夏 埼玉県	埼玉県立伊奈学園総合高等学校	大宮の高校生はお得
【集合時刻 14:50】		【発表時刻 15:15】	
108	鈴木 由枝 山梨県	山梨県立市川高等学校	旧春米学校(藤村式建築の学校)
109	佐藤 友未 山梨県	山梨県立桂高等学校	東富士七里太鼓
110	倉沢 美保 山梨県	山梨県立吉田高等学校	芥川賞作家・李良枝さんからのメッセージ
111	菊池紗和香 群馬県	群馬県立伊勢崎女子高等学校	心の距離
112	荻野 澄子 群馬県	群馬県立伊勢崎女子高等学校	魅力ある交流会

【集合時刻 15:05】		【発表時刻 15:27】		
113	梅村 亜衣	愛知県	愛知県立岡崎北高等学校	英会話コミュニケーションについて
114	渡邊 亜美	愛知県	愛知県立時習館高等学校	世界新城サミット
115	川治 摩美	愛知県	愛知県立時習館高等学校	私たちの国
116	武藤 尚子	岐阜県	岐阜県立岐山高等学校	ジュニアリーダーズクラブの活動
117	田中 宗一	岐阜県	岐阜県立岐山高等学校	ワールドデザインシティ岐阜
118	肥田真理子	岐阜県	岐阜県立多治見北高等学校	花びらの浮かぶ抹茶茶碗
【集合時刻 15:15】		【発表時刻 15:39】		
119	興梠 裕子	宮城県	宮城県立宮崎大宮高等学校	「異文化との“ふれあい”」
120	柏木 博乃	宮城県	宮城県立都城泉ヶ丘高等学校	家族とのコミュニケーション
121	中西 可奈	宮城県	宮崎南高等学校	ありがとう
122	落合 杏里	三重県	三重県立津西高等学校	二つの祖国
123	小野 夏子	三重県	三重県立津西高等学校	いにしえの港 安濃津
124	佐々木智佳子	三重県	私立高田高校	小さな国際交流から生まれるもの
【集合時刻 15:30】		【発表時刻 15:51】		
125	斎藤 史子	青森県	青森明の星高等学校	アジアへの架け橋
126	種市 佳子	青森県	青森県立八戸高等学校	出逢い～八戸に咲いた満月の菊～
127	木村 歩実	青森県	青森県立青森東高等学校	武漢市の桜
128	木幡亜由美	北海道	北海道函館中部高等学校	60歳のウェンディーちゃん
129	齊藤 直史	北海道	北海道旭川東高等学校	「21世紀へのかけ橋」
130	渡邊 麻実	北海道	立命館慶祥高等学校	AETの始業式
【集合時刻 15:50】		【発表時刻 16:03】		
131	城内 里実	奈良県	奈良県立奈良高等学校	「占いと日本の歴史」
132	今西 泰越	奈良県	奈良県立奈良高等学校	「蘇るキトラ」
133	新屋 恵美	奈良県	奈良県立高取高等学校	古代の国際都市飛鳥と今
134	森 由美子	大阪府	私立相愛高等学校	四天王寺ワッソ
135	渡辺 由花	大阪府	私立相愛高等学校	テーマパークの新たな試み
136	山本久美子	大阪府	私立相愛高等学校	世界をつなぐ御堂筋パレード
【集合時刻 15:55】		【発表時刻 16:15】		
137	安永 愛子	熊本県	熊本県立第二高等学校	小さな商店街からの国際交流
138	河野 結衣	熊本県	熊本県立熊本高等学校	音楽の国際交流
139	北村 望	熊本県	熊本県立八代高等学校	暴力撲滅を訴えて
140	榊田 亜季	福岡県	福岡県立田川高等学校	朝鮮文化の息づく故郷
141	水田 美穂	福岡県	福岡県立中間高等学校	十字架の指す若者達の未来
142	財津ひろみ	福岡県	福岡県立明善高等学校	モデスト親善大使

大会第二日 (8月6日)

オーディオピクチャー・ビデオメッセージ部門 メインホール

【集合時刻 08:45】		【発表時刻 09:00】		
1	AP部門	北海道	札幌日本大学高等学校	夏の塚
2	VM部門	北海道	北海道札幌藻岩高校	カムイの地～北海道のアイヌ文化～
3	VM部門	北海道	札幌静修高等学校	ゆりかごの詩
【集合時刻 08:55】		【発表時刻 09:17】		
4	AP部門	岩手県	盛岡白百合学園高等学校	露木 彩、17才です。
5	VM部門	岩手県	岩手県立盛岡第三高等学校	北北東にRINGをとれ。
6	VM部門	岩手県	岩手県立岩泉高等学校田野畑校	西暦1万世紀
【集合時刻 09:15】		【発表時刻 09:35】		
7	AP部門	青森県	青森県立三本木高等学校	上弦
8	VM部門	青森県	青森県立弘前工業高等学校	津軽に技あり笑顔あり！！
9	VM部門	青森県	青森県立八戸北高等学校	異文化交流のツボは青森県に学べ!!
【集合時刻 09:30】		【発表時刻 09:52】		
10-1	AP部門	宮城県	宮城県第一女子高等学校	伊達物語
10-2	VM部門	宮城県	宮城県第一女子高等学校	水の都 仙台 -四ッ谷用水の今昔-
11	VM部門	宮城県	東北学院高等学校	づんだもち～仙台の食文化～
【集合時刻 10:00】		【発表時刻 10:20】		
12-1	AP部門	秋田県	秋田経済法科大学附属高等学校	銀の軌跡
12-2	VM部門	秋田県	秋田経済法科大学附属高等学校	なまはげ
【集合時刻 10:10】		【発表時刻 10:31】		
13	AP部門	山形県	山形県立山形東高等学校	100円バスに乗って
14	VM部門	山形県	山形県立山形南高等学校	こけしが玩具？
15	VM部門	山形県	山形城北女子高等学校	大正浪漫
【集合時刻 10:25】		【発表時刻 10:48】		
16	AP部門	福島県	私立桜の聖母学院高等学校	世界の国からこんにちは～The nattou～
17	VM部門	福島県	福島県立安積高等学校	コイの街こおりやま
18	VM部門	福島県	福島県立原町高等学校	無線塔～巨影は今は無く～
【集合時刻 10:45】		【発表時刻 11:06】		
19	VM部門	茨城県	茨城県立岩井高等学校	きゅうり？ききょう？-岩井・将門伝説-
【集合時刻 10:50】		【発表時刻 11:13】		
20	AP部門	栃木県	栃木県立小山西高等学校	シモレン ～レンガは時代を超えて
21	VM部門	栃木県	栃木県立上三川高等学校	守りたくて
22	VM部門	栃木県	栃木県立真岡女子高等学校	真岡木綿～木綿と共に歩む～
【集合時刻 11:10】		【発表時刻 11:30】		
23-1	AP部門	新潟県	中越高等学校	銘菓のなぞ
23-2	VM部門	新潟県	中越高等学校	ズッパ見直し計画
24	VM部門	新潟県	新潟明訓高等学校	下町(しもまち)を守れ
【集合時刻 11:25】		【発表時刻 11:47】		
25	AP部門	富山県	富山国際大学付属高等学校	「響」
26	VM部門	富山県	富山県立魚津高等学校	幻の名菓を追い求めて
27	VM部門	富山県	富山県立呉羽高等学校	おわらの里ふれあいホーム
【集合時刻 11:45】		【発表時刻 12:05】		
28	AP部門	石川県	石川県立金沢二水高等学校	金沢おときこう
29	VM部門	石川県	石川県立金沢辰巳丘高等学校	文化の村人
30	VM部門	石川県	石川県立小松工業高等学校	勸進帳のふるさと小松
【集合時刻 12:40】		【発表時刻 13:05】		
31	AP部門	福井県	福井県立敦賀高等学校	大谷吉継～敦賀が生んだ戦国の英雄～
32	VM部門	福井県	北陸高等学校	左うでの調べ
33	VM部門	福井県	福井県立金津高等学校	「機志快盛」
【集合時刻 13:00】		【発表時刻 13:23】		
34	AP部門	鳥取県	鳥取県立米子西高等学校	鳥取県西部地震～私たちにできること～
35	VM部門	鳥取県	私立米子松蔭高等学校	弓ヶ浜かすり
36	VM部門	鳥取県	鳥取県立鳥取商業高等学校	若武者 -きりり-

【集合時刻 13:20】			【発表時刻 13:40】	
37	AP部門	島根県	島根県立横田高等学校	人骨
38	VM部門	島根県	島根県立浜田水産高等学校	いつの日にか、一晚舞いを
39	VM部門	島根県	島根県立浜田高等学校	長浜人形
【集合時刻 13:35】			【発表時刻 13:58】	
40	AP部門	岡山県	山陽女子高等学校	十次の心、いつまでも
41	VM部門	岡山県	就実高等学校	炎の贈り物～私たちの備前焼体験～
42	VM部門	岡山県	岡山県立倉敷商業高等学校	ふるさと発見！！～幻の花ごさ・磯崎眠亀の心と技～
【集合時刻 13:55】			【発表時刻 14:16】	
43-1	AP部門	広島県	広島県立広島国泰寺高等学校	戦国大和～伍詰が語る軍都の歴史～
43-2	VM部門	広島県	広島県立広島国泰寺高等学校	ハナミズキのように～広島新たな語りかけ～
44	VM部門	広島県	広島県立広島高等学校	神楽 ～時代と共に生きる～
【集合時刻 14:10】			【発表時刻 14:33】	
45	AP部門	山口県	山口県立山口農業高等学校	アタシは農高の牛
46	VM部門	山口県	山口県立山口高等学校	シンプル イズ ベスト 大内人形
【集合時刻 14:30】			【発表時刻 14:55】	
47-1	AP部門	沖縄県	沖縄県立知念高等学校	ていんさぐぬ花
47-2	VM部門	沖縄県	沖縄県立知念高等学校	カーサのかほり
48	AP部門	鹿児島県	鹿児島県立鶴丸高等学校	時のいろ
49	VM部門	鹿児島県	鹿児島県立実業高等学校	鹿児島茶の秘密
【集合時刻 14:50】			【発表時刻 15:17】	
50	AP部門	熊本県	熊本県立菊池高等学校	家族乱楽
51	VM部門	大分県	大分県立舞鶴高等学校	ざびえる～伝えたい味～
52	VM部門	熊本県	熊本県立大津高等学校	石橋にみる浪漫
【集合時刻 15:05】			【発表時刻 15:34】	
53	AP部門	佐賀県	佐賀県立佐賀北高等学校	干潟に燃えるシチメンソウ
54	VM部門	長崎県	長崎県立長崎南高等学校	今に生きる絆～長崎に息づく中国～
55	VM部門	佐賀県	佐賀県立小城高等学校	ようかんの町で
56	VM部門	佐賀県	佐賀県立佐賀東高等学校	紀元前の来訪者～佐賀に残る徐福伝説～
【集合時刻 15:30】			【発表時刻 15:57】	
57	AP部門	福岡県	福岡県立筑紫高等学校	筑紫草子～そこに私があった
58	VM部門	福岡県	福岡市立福岡女子高等学校	博多カタカタ
59	VM部門	福岡県	筑陽学園高等学校	宝満山から後るとび
【集合時刻 15:50】			【発表時刻 16:14】	
60-1	AP部門	神奈川県	神奈川県立永谷高等学校	横浜名物を作ろう・石けんにチャレンジ
60-2	VM部門	神奈川県	神奈川県立永谷高等学校	合格祈願に行こう！～永谷天満宮～
61	VM部門	神奈川県	神奈川県立六ツ川高等学校	食王<Shokking>

朗読部門

国際会議室

【集合時刻 08:55】			【発表時刻 09:10】	
1	桑原 麻衣	福岡県	筑紫女学園高等学校	北杜夫 作 どくとるマンボウ航海記
2	岡本佳那子	福岡県	福岡県立筑紫丘高等学校	カザルスへの旅
3	金井 真希	福岡県	明治学園高等学校	大地の子
4	三枝 幸未	山梨県	山梨英和高等学校	白磁の人 江宮隆之 作
5	石田 真美	山梨県	山梨県立甲府第一高等学校	イタリアからの手紙
6	杉田 薫	山梨県	山梨県立都留高等学校	深夜特急
【集合時刻 09:05】			【発表時刻 09:25】	
7	村上健太郎	愛媛県	愛媛県立今治西高等学校	沈黙 遠藤周作
8	村山 瑞穂	愛媛県	愛媛県立松山東高等学校	司馬遼太郎作「伊達の黒船」
9	田附 彩	愛媛県	愛媛県立松山東高等学校	司馬遼太郎作「坂の上の雲」
10	矢崎奈津子	高知県	土佐女子高等学校	ふたり
11	前田 智香	高知県	高知県立高知南高等学校	ソフィーの世界
12	國本 美希	高知県	高知県立高知追手前高等学校	空色勾玉

【集合時刻 09:20】		【発表時刻 09:40】		
13	近藤 由章	徳島県	徳島県立徳島北高等学校	少年H
14	宮本 愛美	徳島県	徳島県立富岡東高等学校	ケナリも花、サクラも花（鷺沢 萌）
15	近藤 沙織	徳島県	徳島県立阿波高等学校	ダヤンのスケッチ紀行 イタリアへ行く
16	佐藤 望	香川県	香川県立高松高等学校	沢木耕太郎作 深夜特急2
17	太田 杏子	香川県	香川県立三木高等学校	星の王子さま
18	新開 明子	香川県	香川県立香川中央高等学校	韓国のおばちゃんはいらい！
【集合時刻 09:35】		【発表時刻 09:55】		
19	山本 麻奈	東京都	桐朋女子高等学校	リービ英雄作 星条旗の聞こえない部屋
20	大沼 ゆい	東京都	東京都立豊多摩高等学校	E. T.
21	花岡けい子	東京都	晃華学園高等学校	神々の微笑
22	田中 萌	栃木県	栃木県立栃木女子高等学校	北 杜夫作「どくとるマンボウ航海記」
23	金成 孝彦	栃木県	栃木県立小山西高等学校	彼らの流儀
24	米丸 歩	栃木県	栃木県立宇都宮中央女子高等学校	椎名誠著「草の海～モンゴル奥地への旅～」
【集合時刻 09:50】		【発表時刻 10:10】		
25	堀内みどり	新潟県	新潟県立新津高等学校	遠い朝の本たち
26	牧野麻由子	新潟県	新潟県立長岡大手高等学校	日本から、お手紙です！ 新人アナが足で届
27	川合 綾	新潟県	新潟県立柏崎常盤高等学校	安藤優子作「あの娘は英語がしゃべれない！」
28	秋山 文子	富山県	富山県立呉羽高等学校	わたしのニッポン生活記
29	寺崎美歩子	富山県	富山県立魚津高等学校	異国の窓から
30	濱浦智恵美	富山県	富山県立桜井高等学校	白夜の旅
【集合時刻 10:00】		【発表時刻 10:24】		
31	小林 加奈	北海道	北海道札幌藻岩高等学校	野生の風
32	大西 結佳	北海道	札幌第一高等学校	藤岡和幸 作 タイ少女白書／僕らのNGO
33	池川知香枝	北海道	北海道札幌白石高等学校	徳永 健生作 ロザリオの海
34	會田 伊織	岩手県	岩手県立黒沢尻北高等学校	KYOUKO
35	佐々木理英	岩手県	岩手県立盛岡第三高等学校	亜細亜ふむふむ紀行
36	鈴木優香理	岩手県	岩手県立盛岡第二高等学校	深夜特急 沢木耕太郎
【集合時刻 10:30】		【発表時刻 10:50】		
37	中澤 恵理	宮城県	宮城県仙台向山高等学校	大君の都
38	小林香菜子	宮城県	聖ドミニコ学院高等学校	留学
39	標葉 舞	宮城県	聖ウルスラ学院高等学校	礼拝するハサン
40	田中美智子	青森県	青森明の星高等学校	沢木 耕太郎 著「深夜特急」
41	八木橋奈津子	青森県	青森明の星高等学校	鷺沢 萌 著「ほんとうの夏」
42	石本 真希	青森県	青森県立三沢商業高等学校	宮本輝作 異国の窓から
【集合時刻 10:40】		【発表時刻 11:04】		
43	園山 和徳	島根県	島根県立出雲高等学校	日本との出会い
44	竹下 紘子	島根県	島根県立松江南高等学校	深夜特急
45	林 和巳	島根県	島根県立松江北高等学校	大地の子
46	田中さち子	兵庫県	兵庫県立加古川西高等学校	『上海の西、デリーの東』（素樹文生
47	大塚 基子	兵庫県	兵庫県立龍野高等学校	フォレスト・カーター作「リトル トリー
48	阪口 奈央	兵庫県	武庫川女子大学附属高等学校	葉の花の沖
【集合時刻 10:55】		【発表時刻 11:18】		
49	椿田恵理子	秋田県	秋田県立秋田北高等学校	ビルマの竖琴（竹山 道雄作）
50	中島 碧	秋田県	秋田県立秋田北高等学校	キタ マキニカリス（稲垣足穂）
51	町田 晃菜	秋田県	秋田県立大曲高等学校	ヘルマンヘッセ作 南方
52	松田 大地	山形県	山形県立東根工業高等学校	ダニエル先生 ヤマガタ体験記
53	佐藤 庸介	山形県	山形県立寒河江高等学校	音楽が終わった夜に
54	石井 利枝	山形県	山形県立山形北高等学校	アフリカ・ボレボレ
【集合時刻 11:10】		【発表時刻 11:33】		
55	宮村 愛	福島県	郡山女子大学附属高等学校	蘭学事始
56	長谷川 望	福島県	福島県立喜多方高等学校	ロンドンでフラット暮らし
57	高橋 有紀	福島県	福島県立磐城桜が丘高等学校	「朱夏」 宮尾 登美子
58	中馬理恵子	鹿児島県	鹿児島玉龍高等学校	「ポプラの秋」(湯本香樹実 作)
59	安田 衣里	鹿児島県	鹿児島県立鶴丸高等学校	遠藤 周作・作「留学」
60	池端 美紀	鹿児島県	鹿児島県立甲南高等学校	青のフェルマータ

【集合時刻 11:25】		【発表時刻 11:48】	
61	太田 綾香	愛知県	愛知県立時習館高等学校
62	宮澤亜矢子	愛知県	愛知県立明和高等学校
63	笹井 結加	愛知県	名古屋市立菊里高等学校
64	小菅 智美	三重県	三重県立津西高等学校
65	伊藤佳菜子	三重県	私立高田高等学校
66	藤森 晶子	三重県	私立高田高等学校
【集合時刻 12:40】		【発表時刻 13:05】	
67	須田友梨子	群馬県	群馬県立伊勢崎女子高等学校
68	杉江 尚子	群馬県	群馬県立伊勢崎女子高等学校
69	川端 浩美	群馬県	群馬県立伊勢崎女子高等学校
70	古川枝里子	埼玉県	埼玉県立川越女子高等学校
71	醍醐さゆり	埼玉県	埼玉県立伊奈学園総合高等学校
72	福田 智美	埼玉県	埼玉県立伊奈学園総合高等学校
【集合時刻 13:00】		【発表時刻 13:20】	
73	鈴木 敬子	茨城県	茨城県立水戸第二高等学校
74	黒澤 瞳	茨城県	茨城県立日立第二高等学校
75	川島 悠美	茨城県	茨城県立岩井高等学校
76	前川 絵美	石川県	石川県立野々市明倫高等学校
77	多田真梨子	石川県	石川県立七尾高等学校
78	越川 朝子	石川県	石川県立金沢西高等学校
【集合時刻 13:10】		【発表時刻 13:34】	
79	涌井 昌代	奈良県	奈良県立樞原高等学校
80	月ヶ瀬 舞	奈良県	奈良県立信貴ヶ丘高等学校
81	藤原 道代	奈良県	奈良県立志貴高等学校
82	鎌田 華苗	和歌山県	和歌山県立伊都高等学校
83	西岡 梨恵	和歌山県	和歌山県立向陽高等学校
84	脇山 彩	和歌山県	和歌山県立向陽高等学校
【集合時刻 13:25】		【発表時刻 13:48】	
85	城間美由紀	沖縄県	沖縄県立知念高等学校
86	大底 紗江	沖縄県	沖縄女子短期大学附属高等学校
87	西江由希子	沖縄県	沖縄県立那覇国際高等学校
88	松丸奈保子	長崎県	活水高等学校
89	小橋 綾子	長崎県	長崎県立長崎南高等学校
90	小嶋 一未	長崎県	長崎県立佐世保北高等学校
【集合時刻 13:40】		【発表時刻 14:03】	
91	渡邊 栄子	佐賀県	佐賀県立致遠館高等学校
92	乗原 歩	佐賀県	佐賀県立佐賀北高等学校
93	熊谷麻衣呼	佐賀県	東明館高校
94	城本あゆみ	熊本県	熊本県立第一高等学校
95	緒方 江美	熊本県	ルーテル学院高等学校
96	山川亜由美	熊本県	熊本県立済々黌高等学校
【集合時刻 13:55】		【発表時刻 14:18】	
97	大久保真美	大分県	大分県立大分上野丘高等学校
98	倉橋真紀子	大分県	大分県立大分舞鶴高等学校
99	池田 愛	大分県	大分県立大分女子高等学校
100	玉井 美穂	長野県	長野県長野西高等学校
101	青木 春江	長野県	長野県松本美須ヶ丘高等学校
102	内田 智	長野県	長野県長野高等学校
【集合時刻 14:10】		【発表時刻 14:33】	
103	山本 志麻	鳥取県	鳥取県立倉吉農業高等学校
104	坂根 早紀	鳥取県	鳥取県立米子西高等学校
105	藤田 真美	鳥取県	鳥取県立鳥取東高等学校
106	山口恵里佳	福井県	福井県立美方高等学校
107	大谷 彩	福井県	福井県立若狭東高等学校
108	坂野 一平	福井県	北陸高等学校

【集合時刻 14:25】		【発表時刻 14:48】		
109	柳瀬真衣子	滋賀県	比叡山高等学校	四国八十八か所 ガイジン夏遍路
110	藤城 純子	滋賀県	滋賀県立河瀬高等学校	大人の国イギリスと子どもの国日本
111	小林 優紀	滋賀県	滋賀県立河瀬高等学校	二つの風の谷 アイヌコタンでの日々
112	村上 都望	大阪府	私立相愛高等学校	ハーバード大学で日本はこう教えられている
113	森下 由理	大阪府	私立相愛高等学校	カナダ・インディアンの世界から
114	山本 仁美	大阪府	私立相愛高等学校	フィレンツェの高校生
【集合時刻 14:40】		【発表時刻 15:03】		
115	浅井 美穂	岐阜県	岐阜県立大垣北高等学校	イギリスはおいしい
116	内木 智美	岐阜県	岐阜県立恵那高等学校	「河童が覗いたヨーロッパ」より「野鳥と人
117	畠山 知子	岐阜県	岐阜県立多治見北高等学校	「遥かなるケンブリッジ」
118	矢島健太郎	神奈川県	私立法政大学第二高等学校	沈黙
119	梅村 美樹	神奈川県	神奈川県立座間高等学校	遠い海から来たCOO
120	日置 秀馬	神奈川県	神奈川県立六ツ川高等学校	銀河鉄道の夜
【集合時刻 15:10】		【発表時刻 15:30】		
121	笠谷 智子	京都府	京都文教女子高等学校	SLY 吉本ばなな
122	中尾 勇太	京都府	京都府立嵯峨野高等学校	森鷗外『舞姫』
123	高本 幸	京都府	京都府立山城高等学校	ジョン万次郎漂流記
124	雲野 史子	静岡県	日本大学三島高等学校	齒車
125	岩下 智美	静岡県	日本大学三島高等学校	ソウルは快晴
126	阪口 奈美	静岡県	浜松市立高等学校	鉄道員
【集合時刻 15:20】		【発表時刻 15:44】		
127	上倉 未来	千葉県	千葉県立土気高等学校	アンデス家族
128	新井 藍子	千葉県	千葉県立柏井高等学校	ディー・リバー
129	服部 綾	千葉県	千葉県立幕張総合高等学校	夏目漱石作 倫敦塔
130	西村 裕恵	山口県	山口県立熊毛南高等学校	沢木耕太郎作 深夜特急
131	牧田由美子	山口県	山口県立岩国高等学校	背のフェルマータ
132	青木 彩子	山口県	山口県立山口高等学校	ニワトリオ化ケ
【集合時刻 15:35】		【発表時刻 15:58】		
133	齋藤菜穂子	岡山県	岡山県立岡山東商業高等学校	塩野七生 作 イタリアからの手紙
134	時本 美鈴	岡山県	就実高等学校	イスタンブール、時はゆるやかに(澁澤幸子
135	倉爪加名恵	岡山県	岡山県立倉敷商業高等学校	草原の記
136	千原 亜樹	広島県	広島県立安古市高等学校	群ようこ作「東洋ごろごろ膝栗毛」
137	今津由美子	広島県	広島県立広島国泰寺高等学校	KYOUKO
138	高橋 美奈	広島県	広島県立呉三津田高等学校	深夜特急4 シルクロード
【集合時刻 15:50】		【発表時刻 16:12】		
139	伊地知 梢	宮崎県	宮崎県立都城西高等学校	遥かなるチベット
140	関本 隆一	宮崎県	宮崎県立門川農業高等学校	もの食う人びと
141	川瀬 美実	宮崎県	宮崎県立宮崎南高等学校	男と女の交差点 神津 カンナ
142	桑原 鮎美	福岡県	福岡県立小倉高等学校	宮部みゆき作「蒲生邸事件」
143	大阪屋響子	福岡県	私立筑陽学園高等学校	黒柳徹子作 窓ぎわのトットちゃん
144	瓜生明希葉	福岡県	明治学園高等学校	大地の子

AP・VM 作品概要

1 AP部門 長崎県 長崎県立長崎西高等学校
日本一の路面電車

私たちの住む長崎市には、日本一のものがあります。それは路面電車です。長崎を走る路面電車の運賃は、バスなどの運賃が上がる中、昭和59年からずっと、どこまで乗っても大人100円、子供50円なのです。

私たちはこの料金をあたり前だと思っていました。しかし「どこまで乗っても100円」を保つためには、長崎市の地形的条件とともに、路面電車の会社のいろいろな努力があったのです。

私たちの誇る、日本一安い百円電車を紹介します。

2 VM部門 長崎県 長崎県立長崎北高等学校
長崎の味

長崎は、古くから外国への窓口として、様々な異国文化を取り入れてきました。中でも中国からは多くの華僑が移り住み、長崎の文化の重要な部分を担っています。

その影響は衣食住のどの分野にも見られますが、とりわけ有名なのが「ちゃんぽん」です。市内を歩くと、至る所で「ちゃんぽん」という文字を目にします。中華料理店は勿論のこと、レストランやお寿司屋さんまでちゃんぽんを作っているのです。そして、一般の家庭でも「ちゃんぽん」はおなじみです。長崎を訪れた観光客は、おそらく一度はちゃんぽんを口にするでしょう。

私たち長崎北高放送部は、このちゃんぽんを全国のみなさんに改めて紹介し、一人でも多くの人に「長崎の味」を味わいに来てほしいと思い、この番組を制作しました。

だから、みなさん、食べに来んね！

3 AP部門 大分県 大分県立三重高等学校
地域とのきずな

私たちの住む三重町は、大分県の中心部にある緑豊かな町です。この三重町には古くから「炭焼き小吾郎」の伝説があります。炭焼きが都から下ってきたお姫様に黄金の大切さを教えられ大金持ちになると言うお話です。この話は西日本各地に散らばっていたのですが、江戸時代中期に三重町の内山にある蓮城寺（れんじょうじ）の住職が「真名野長者物語」としてまとめました。

そして現在では「真名野長者祭り」として、町おこしのために一役買っています。

今回取り上げたのは「新・真名野長者物語」としてリメイクされた創作劇を三重高校で音声を作り、その所作を役者さんが舞台で行った過程を描いたものです。

今、地域と学校とのあり方が問われています。今回の私たちの試みが一つの参考になれば幸いです。

4 VM部門 大分県 大分県立日田高等学校
ある風景

日田市は大分県と福岡県の県境に位置する、緑に囲まれた風光明媚な人口約6万人の街です。

日田市を形容する言葉としてよく用いられるのは、「天領日田」と「水郷（すいきょう）日田」です。

日田市は「天領」として、すなわち江戸幕府の直轄領として歴史の中で培ってきた独自の文化を現在も大切に守っています。また、清く豊かな水が街の至る所を潤し、水を生かした味噌、醤油、和紙などの産業が発達している「水郷」としても知られています。

新しいものと古き良き伝統が調和した町並みと、そこに生きる人々の暮らしを豊かな自

然が包む私たちの街では、ゆっくり時間が流れていきます。そんな日田市の魅力を、夏の到来を告げる5月の「川開き観光祭」の模様と重ねて表現しました。

5 VM部門 沖縄県 沖縄県立那覇商業高等学校
ハーリー チムドンドン

中国から伝わったといわれるハーリー（爬龍船競漕）は、沖縄各地の漁港で盛んに行われています。旧暦五月四日の行事ですが、那覇ハーリーは、五月のゴールデンウィークに開催されます。ハーリーのかげ声や鉦の音が聞こえてくると沖縄の人々はチム（心）がワサワサ（そわそわ）し、次第にドンドン（ドキドキ）してきます。ハーリーの練習風景や当日の模様を取材し、沖縄の人々をひきつけるハーリーの魅力を伝えたいと作りました。

6 AP部門 徳島県 徳島県立城東高等学校
きらり

主人公は、『きらり』という名前の14歳の少女。

きらりは14歳という、子供から大人へと成長していく年齢の中で『両親の離婚』という壁にぶつかり、悩む…。両親には両親の人生があると頭では理解し、賛成しているつもりだったが、本心はそこまで大人ではなかった。

きらりは、子供でもなければ大人でもなく、自分の気持ちがはっきりせずに抱えていた不安と、自分のどこかでひっかかっていた『両親に対する素直な気持ち』を少しずつ話し始めた…。

7 VM部門 徳島県 徳島県立徳島北高等学校
阿波文学散歩

私たちは、普段なにげなく過ごしている徳島の街にも素晴らしい文学人の足跡があることを知り、その足跡を追って“文学散歩”をしてみることにしました。

数多い文学者の中から私達が特に注目し取材したのは、「井上羽城」「野上彰」「ヴェンセスラウ・デ・モラエス」の3人でした。

徳島新報の記者として来県した井上は、紙面に「阿波文壇」を新設し、自らも小説等を執筆しました。

徳島市出身の野上は「恋」や「愛」を主題にした詩を数多く発表し、多くの人々と交流する中で徳島の文学を育て上げました。

ポルトガル生まれのモラエスは彼の愛したおヨネの故郷徳島を永住の地とし、徳島の文化や生活を祖国に紹介しました。

私達もこの町で育った文学人の背を見て、何かを「残す」という事を大切にしていきたいと思っています。

8 VM部門 徳島県 徳島県立城ノ内高等学校
「最高に青春！」

私たちの通う城ノ内高等学校は、徳島県を東流する大河吉野川の河口のすぐ南側に位置し、校舎から眺めるその川面は四季折々に変化し、勉強に疲れた目を癒してくれます。また、本校は創立二十年余のまだ若い学校ですが、このすばらしい環境のもと、開校以来、勉強に部活動にと力を入れ、輝かしい伝統と校風を作ってきました。

このVMでは、本校の部活動の中で特に器楽部に焦点を当ててビデオ作品にしてみました。器楽部は、ブラスバンド、弦楽、合唱、マーチングに別れていますが、県大会などでそれぞれ日ごろの成果を発揮し、四国大会、全国大会にも出場の経験を持ちます。

この器楽部の一年間の活動の総決算ともいうべきものが、毎年年度末に開かれる「定期演奏会」であり、昨年度は「第7回」でした。演奏会当日は、わが放送部員も司会進行役に当たったり、ビデオカメラで記録したりとお手伝いします。この「定演」を中心に、器楽部の活躍ぶりをまとめてみました。

9 AP部門 香川県 香川県立坂出高等学校 NEVER FORGET

インターネットと同時に普及したのが電子メールです。私たちはこの新しい通信手段と新しい方法で付き合いがなければなりません。メールで傷つけられる人もいます。逆に救われる人もいます。このAPではそれを同時に描いてみました。

一博はメールをし始めたばかりの高校生です。同い年の女の子麻美と初めてメルトモになりました。一博は友達輝樹の心配をよそに麻美に直に会いに行きます。しかし、麻美は一博にあることを隠していたのです。

もともとはラジオドラマとして製作していたものなのでスライドを場面やセリフにあわせて付けるのは苦労しました。また音声での聞き手のイメージを崩さないように、敢えてスライドの出演者の顔は出ませんでした。いかにして自然に顔を隠すか、ということなども苦労したところです。

10 VM部門 香川県 香川県立高松商業高等学校 あなたを守りたい！

香川県のため池の数は、約1万5千で、全国3位だと言われています。

中でも、全国唯一の複合型アーチダムを持つ豊稔池や、農業用ため池としては日本一大きい満濃池は、その美しさから、香川を代表するため池となっています。

全国一面積の小さい香川県は、昔から水不足に悩まされてきました。菅原道真が始めたとされる「滝宮念仏踊り」は、香川の伝統的な雨乞い踊りを代表するものです。

香川のため池は、現在も昔から伝わる独特の制度を活用しながら、貴重な水源として有効に活用されています。この番組を通して、讃岐の地に受け継がれてきたため池文化と水の大切さを、全国の仲間にも知ってもらいたいという思いを込めて制作しました。

11 VM部門 香川県 高松第一高等学校 やわらかい石

「庵治石」は、香川県の東部、庵治町・牟礼町で産出される石です。肌理（キメ）が細かく、青灰色の美しい光沢を持つ石で、古く平安時代から、墓石や灯籠などに加工されてきました。今も、庵治・牟礼両町は石の町で、石材加工場が軒を並べ、多くの人が、この伝統産業に携わっています。世界的彫刻家イサム・ノグチが、この庵治石にひかれ、ここにアトリエを構えて活動していたことも、よく知られています。

今回は、一つの石塊から優しい仏像が生まれるまでの2週間をビデオに収めました。ご協力いただいた坂本さんは「好きだから続く仕事なのだ」とおっしゃっていましたが、本当に傍らで見ていて、大変な仕事だなと思いました。

石は、冷たく、固いものです。しかし坂本さんの手でそれが仏像に変わっていくとき、石はあたたかく、やわらかいものだと私たちは感じていました。

12 AP部門 愛媛県 済美高等学校 女は愛嬌、ホーホケキョ

昨年の1学期の終業式、校長先生が『いい顔』をしましょう！とお話されました。そこで、『いい顔』探しを始めた私たちは、当時の生徒会長、日野邦子さんの『いい顔』に出会いました。

文化祭での生徒会長挨拶にかえて、特技の剣舞を披露してくれた日野さん。日野さんの剣舞は全校のみんなを感動させました。私たちは日野さんが剣舞に取り組む姿を追いかけ、自分の好きな事に一生懸命取り組む姿が本当に輝いてみえる事を知りました。

そんな日野さんの『いい顔』をみんなに伝え、もっとたくさんの人に『いい顔』になって欲しい。そして、私たちも自分自身の『いい顔』を見つけていきたいと思い、この作品を作りました。

13 VM部門 愛媛県 愛媛県立八幡浜高等学校
四国山漫遊記 ～僕らの町の四国八十八箇所～

四国山、八幡浜市内の小学校の遠足でよく登る山である。私も何度か登ったことがある。しかしそこにミニ四国八十八箇所があった事を最近になって知った。懐かしい思い出のその山にそんな珍しい物があったのかと驚いた。そしてそのミニ四国八十八箇所に大変興味が引かれ、今回の取材を開始した。

14 VM部門 愛媛県 愛媛県立北条高等学校
短いけれど、短いから

愛媛県北条市沖に浮かぶ鹿島は、愛媛県内でも屈指の景勝地として有名です。

いま、鹿島を一周する遊歩道の周辺には、多くの句碑・歌碑が建てられて、美しい風景に彩りを添えています。明治時代以降、多くの文人たちが訪れて、多くの俳句や短歌を残していったということです。

北条市地域では、江戸時代より、特に俳句がさかんで、小林一茶が来たこともあります。

この番組は、北条市地域に受け継がれている俳句・短歌の伝統、また、現代の高校生の俳句活動を紹介し、合わせて、俳句・短歌という短い形式のなかで表現することの意味をさぐって見たものです。

15 AP部門 高知県 高知県立須崎高等学校
明日のために

戦争によって失われた友好関係が回復しつつある日本。私たちの住む町、須崎市では日系フィリピン人の農業研修受け入れ事業が行われています。取材を進めていく中で、日系フィリピン人にとって、この農業研修は経済的な利益や、農業技術の習得の一方で様々な苦労があることを知りました。

この事業を支える人々と、明日のために頑張る日系フィリピン人の今を追いかけました。

16 VM部門 高知県 高知商業高等学校
さわちのキモチ

黒潮踊る土佐の海。

土佐人の気性が創り上げた料理は、いずれも豪快そのものです。鯉のたたきをはじめ、たくさんの土佐ならではの料理を産み出してきました。

その中で『皿鉢料理』が、県外で密かにブームをまき起こしているという噂を耳にしました。

昔から酒の席には皿鉢料理が並べられ、皆でそれを囲むことでコミュニケーションをとってきた高知の人々。

しかし今、「また皿鉢か～」という若者が増えてきているといいます。近頃では皿鉢料理もオードブル風にしたり、鶏の足をつけたり、西洋料理、中華料理など一、二品を添えたりするようになってきました。

皿鉢の危機を感じた私たちが取材していく中で出会ったのは、皿鉢の危機の裏側に隠された現代の人々の心のつながりの弱さでした。

この番組を通して、見ている人がさわちのキモチを感じてくれればと思います。

17 VM部門 高知県 高知県立高知西高等学校
土佐の宝～目に見えないもの～

高知県を紹介するといっても、すでに多くのテーマが番組で紹介されているので頭を抱えましたが、先輩がアイデアを出してくれ、土佐の方言を取り上げることになりました。

「げに」「～にかあらん」など、土佐には様々な古い言葉が残されています。「じぢずづ」の使い分けも有名です。しかしそれらの言葉が我々高校生に伝えられているかということ、疑問があります。時代と共に移り変わり、消えてしまうのは言語の宿命なのかもしれ

ません。でも、色々なおもしろい特色を持つ土佐弁を少しでも紹介できれば、と思って番組を作りました。

築城400年を迎えた高知城をバックに坂本龍馬が語ります。過去に龍馬に扮した役者はたくさん居ますが、歴代の龍馬の中でも、これほど活きのえい土佐弁は聞けんちや。

18 AP部門 長野県 松商学園高等学校 響け、土の音！！

縄文時代や、弥生時代にも、音楽があったということを知った私たちは、弥生時代の楽器土笛について調べ、その魅力にひかれていきました。

土笛や、それに関わる人達を通して、古代の人達の思いを伝えようと、この番組を制作しました。

19 VM部門 長野県 長野県長野西高等学校 食べてみませんか

長野県民が虫を食べることは全国に知られています。

伊那地方では天竜川の「ザザ虫」が有名ですが、全県的には「はちのこ」、「イナゴ」が食べられています。今はもうほとんどなくなってしまいましたが、蚕の「さなぎ」なども貴重なタンパク源として珍重されていました。

ところで長野市も近年都市化が進み、田畑が少なくなってきました。このため日常的に虫を食べる人が減ってきているのではないかと考えました。

そこで放送班のメンバーが実際にイナゴを捕り、これを調理していただき、高校生や先生方に食べてもらいました。

私たちは高校生に長野県の食文化のひとつであるイナゴを残していこうと呼びかけるとともに、この文化を他の県にも紹介したいと思い、この番組を作りました。

20 VM部門 長野県 長野県梓川高等学校 キッキングえんま様

文化財は、とかく堅く近寄りがたいイメージがあります。制作されたときには、それぞれの文化財は意図をもって造られました。しかし、時代とともにその意図は忘れ去られ、地域の生活の中から忘れ去られて行くものもあります。ただ歴史的な意味だけでは、なかなか現代の生活に溶け込むようなことはないのです。ところが、ちょっとしたうわさや言い伝えがそんな文化財をよみがえらすことがあります。波田町若沢寺にある、仁王門の像・えんま大王像はそのとてもいい例です。忘れ去られていた文化財が「股を潜るとはしかを軽くする」「真夜中にくちづけすると恋が叶う」という言い伝えによって、地域の住民を巻き込んだお祭りができ、現代の生活によみがえりました。小さなうわさ・言い伝えが、文化財に新しい命を吹き込んだんです。そんな言い伝えのもつ不思議な力をコミカルに描こうと思いました。

21 AP部門 岐阜県 岐阜県立大垣北高等学校 変えよう！あなたの食生活

あなたはどんな食生活を送っていますか？栄養は十分ですか？規則正しく三食を摂っていますか？二人の女子高生、ヒロコとエリコを通して、あなたも食生活を振り返ってみて下さい。

現代の高校生は食生活が乱れていると言われていています。では具体的にどのように乱れているのでしょうか。そして乱れるとどうなってしまうのでしょうか。

食べ物の好き嫌いが激しいヒロコは、今日も調理実習の魚を残してしまいました。親友のエリコに注意されその時は反省しても、改善する気は全くないようです。生活のリズムも乱れがちなヒロコの体はいったいどうなってしまうのでしょうか。

普段軽く見過ごしがちな『食』を身近な視点でとらえてみました。

2 2 VM部門 岐阜県 岐阜県立岐山高等学校 芭蕉と岐阜

岐阜県の中で松尾芭蕉とかかわりの深い都市は、「奥の細道」の結びの地でもある、大垣市が有名です。しかし、芭蕉は私たち岐山高校の地元である岐阜市にも訪れており、約1ヶ月もの間岐阜市内の妙照寺という寺に滞在し、現在でも全国的に有名な鶴飼いなどを見て楽しんだといえます。そして、清流長良川と天険金華山の近郊を題材とした数多くの名句をこの岐阜に残しています。

この番組では岐阜市内にある芭蕉の数々の句碑の中から、老舗旅館の十八楼、岐阜市のシンボルともいえる金華山、そしてその山麓の岐阜公園、岐阜県の代表的な神社の一つである伊奈波神社にあるものを、岐阜市の美しい風景と共に紹介します。また、芭蕉が滞在したという妙照寺には、実際に宿泊に使用した部屋が現在も保存されており、妙照寺の住職さんの解説と共にその部屋を紹介します。

2 3 VM部門 岐阜県 岐阜県立岐阜北高等学校 古き良き伝統

岐阜県的美濃地方では、昔から良質の和紙や竹の豊富な産地であったことから、提灯の生産が始まりました。18世紀頃にこれを徳川幕府に献上してから有名になったと言われています。岐阜提灯の特色は秋の七草、花鳥、風景模様などの絵を描いたもので、上品な仕上がりの芸術性豊かな製品は、日本一との評価を得ています。

この作品は、明治の初めから提灯を作っている岐阜市内の会社を取材したものです。この会社で、提灯製作過程のうち、火袋の製作過程を見させていただきました。張り型組み、ヒゴ巻き、絵紙張り、型抜きの工程から火袋ができます。特にヒゴ巻きと絵紙張りの作業は、熟練の技を要し、長年の経験が必要です。33年間、この作業をしていらっしゃる方に提灯製作に対する思いなどをうかがい、提灯製作についての奥の深さを知ることができました。

この作品を通して、岐阜の古き良き伝統を受け継いでいる岐阜提灯を見てもらいたいと思います。

2 4 AP部門 静岡県 浜松市立高等学校 ハト迷惑

私たちの学校には、多くのハトが集まり、様々な害をもたらしています。そんなハトを嫌い、学校もハトを校舎に入らせないよう対策を取り始めました。

しかし、調べていくうちに、ハトと人間の生活は切り離せないことが分かってきました。ハトが現在、人間の生活にこんなにも入り込んでいるのには、ハトと人間の過去が大きく影響していたのです。人間は、ハトを品種改良してまで利用していたため、人間にあまり警戒心を持っていません。

また、戦後、ハトは日本においても平和の象徴として大切にされていました。そんなハトを利用価値がなくなった途端に嫌ってしまうのは、あまりに人間の勝手過ぎるのではないのでしょうか。

2 5 VM部門 静岡県 日本大学三島高等学校 我、三四呂人形…生きた証

この作品は、テーマ「郷土の文化を紹介しよう」ということから、三島市の文化財に指定されている「三四呂人形」について、みなさんに知っていただくために制作しました。

三四呂人形は張子という技法で野口三四郎さんによって作られた人形です。現在、三四呂人形は三島市楽寿園内の郷土資料館に展示されています。代表作品は『水辺興談』という作品で、三島市内にある源兵衛川で魚をとって遊んでいる子供の写真をモデルに作られました。ビデオの中では、この人形が三四呂人形と野口三四郎さんについて、リポーターに説明するという形で出演しています。また、この作品は昭和11年の総合人形芸術展で最高の人形芸術院賞を受賞しました。しかし翌年、野口三四郎さんは三十七歳という若さで亡くなっています。

私たちは、この三四呂人形は制作技法もオリジナルであることから野口三四郎さんの「生きた証」と考え、この作品を制作しました。

26 VM部門 静岡県 静岡県立浜松湖南高等学校
からっ風君と大根ちゃんの恋物語

記者 : 全国から集まった仲間のみなさん、こんにちは。今日は『からっ風君と大根ちゃんの恋物語』に出演している“からっ風君”をゲストにお招きしてインタビューをしてみたいと思います。早速ですが、この作品はどういうお話ですか？

からっ風君 : この作品は静岡県の遠州地方に吹く僕をテーマにしたもので、僕の良い所、悪い所を分かり易く、かつ、おもしろく描いたコミカルなドラマです。

記者 : なるほど。それは楽しみですね。作品の見所はズバリどこですか？

からっ風君 : ズバリすべてでしょう。アッハッハッハ。

記者 : 自信ありって感じですねえ。アッハッハッハ。それではこの作品を見てくださる皆さんに、メッセージをどうぞ。

からっ風君 : そうですねえ。気楽に見られる作品なので、最後まで楽しんでください。

記者 : ありがとうございます。

27 AP部門 愛知県 愛知県立明和高等学校
いきいき長生き とびつきり青春☆

私たち明和高校放送部は、盲老人ホーム瀬古マザー園の皆さんと朗読会を通じて交流しています。初めは、どんな雰囲気なのか不安で、何を話したら良いんだろう・・・と、戸惑ってばかりでしたが、今ではすっかり仲良しです◎

マザー園の皆さんは、様々なクラブで活躍されています。芸術劇場など、大きなホールでの発表会もあり、私たちも招待してくれました。クラブ活動の他にも、旅行、遠足など、日頃の行事は盛りだくさん=高校生の私たちと同じように、否、それ以上に(?)青春を楽しんでいます。

この番組は、そんなステキな大先輩たちを紹介しています。とにかく明るく元気な皆さん。私たちの世代を越えたふれあいは、これからも続きます。

28 VM部門 愛知県 愛知県立時習館高等学校
賀茂の競馬

愛知県豊橋市にある賀茂神社では、毎年、「競馬(くらべうま)」という神事が行われています。「競馬」とは、一年の幸福を祈り、華やかな飾りを身に纏った馬とその乗り手が神前を駆け巡る行事です。この行事を見るために各地から多くの見物客が賀茂神社を訪れます。

華やかなこの行事のかけには、「競馬」に携わる多くの人の絶え間ない努力があるのです。

この番組では「乗り子」と呼ばれる馬の乗り手に焦点を当てて、現代における伝統文化と人々との付き合い方を提示しています。この番組を見て、少しでも伝統文化に興味を抱いてくれれば幸いです。

29 VM部門 愛知県 光ヶ丘女子高等学校
炎の輝き～和ろうそくに秘めた思い～

愛知県岡崎市に創業300年の和ろうそく店があります。磯部ろうそく店の7代目磯部猛位さんは江戸時代から受け継がれてきた伝統の技を50年近く守り続けてきました。「燃える炎の良さが和ろうそくが一番いい特徴」と言う7代目。その炎を追い求める姿が磯部ろうそく店の300年の歴史を作ってきました。

炎に魅せられた7代目。そして今、伝統の炎は8代目の新しい力を得て、また次の時代へと受け継がれようとしています。

30 AP部門 三重県 三重県立津西高等学校 安濃津物語

「安濃津」という地名を聞いたことがありますか。私たちの学校がある三重県津市の古い呼び名です。津というのは港のことで安濃津は、中世には福岡の博多津、鹿児島島の坊ノ津とともに日本三津（日本の三大港）と呼ばれていました。

しかし、このことを知る人は意外と少ないのです。これは、安濃津の存在がはっきりせず伝説の港として伝えられてきたからです。

1994年から始まった発掘調査で安濃津の様子が少しずつわかってきました。伝説の港がはっきりした姿を現しつつあります。

津市では安濃津をキーワードとして様々なイベントを展開しています。その一貫として今年3月25日に創作オペラ「安濃津物語」が市民の手で上演され大きな反響を呼びました。安濃津は21世紀の今、様々な姿に形を変えて現れつつあるのです。

31 VM部門 三重県 私立高田高校 神島をたずねて

三重県鳥羽市の沖合に神島という小さな島があります。

この島は小説家三島由紀夫の作品「潮騒」で有名になりました。「潮騒」の中では「歌島」という名前で登場します。この小説は何度も映画化され、実際にこの神島がロケの場所になりました。この島の風景や、島の人たちの暮らしの様子を紹介することで、三島由紀夫の世界に触れてもらえればと思います。

32 AP部門 滋賀県 滋賀県立守山高等学校 『宝湖への想い』

近畿地方の水がめとして生活に恵みを与えてきた琵琶湖は、近年生活排水などによる水質汚染が進んでいる。滋賀県では琵琶湖の水質改善を少しでも進めるため、多くの団体が様々な取り組みを行っています。その1つに取材を行い、琵琶湖に流入する河川の水質調査の結果や、活動している人々の思いを作品の題材として取り上げました。

作品には、取材に応じていただいた方の肉声も使用しました。非常に説得力のあるお話を聞くことができたと思っています。

33 VM部門 滋賀県 石部高等学校 宿場街道より

私たちの石部高校へ通学する途中に細く狭い道が、東西へと延びています。石部は、東海道五十三次の宿でもあり、ここを出発点とし、次の宿、草津へと向かってみました。

草津宿は、東海道と中山道が交わる江戸時代の要衝として栄え、現存する最大級の本陣を保存しています。その本陣について取材してみました。文化と情報が行き交った街として、また多くの人々が交流した街の側面をみられたような気がします。

これからも、この道を自分たちの足でたどり、身近な歴史を感じてみたいと思います。

34 VM部門 滋賀県 比叡山高等学校 第二の船幸祭～新しい伝統作り～

私たちの住む大津市では、毎年8月に「船幸祭」が行われます。船幸祭は神輿を乗せた船が瀬田川を巡幸する祭りで、県外からも多くの人々が訪れます。

もともとあまり大きくなかったこの祭りを、現在のように盛りたてた人が磯田英清さんです。磯田さんは廃れていた祭りに活気を取り戻そうと、「神輿をハイジャックする」という大胆な計画を実行し、大成功を収めました。その後、磯田さんは神輿保存会を作り、今でも祭りを支え続けています。

35 VM部門 京都府 京都文教女子高等学校 京都の文化≠和風？

京都と言えば和風のイメージで語られるので、私達は京都特有の食べ物を集め、調べ発表しました。すると、その中に和風ではないのではないかと思われるものがありました。そこで食べ物以外の京都の文化を調べることにしました。その手順として、「文化」の定義から生活を衣・食・住に分類し、それぞれの代表として「西陣織」「生麩」「町家」を調べることにしました。そしてその結果、私達はそれぞれが現代風に変化している部分があることを確認し、現在は「京都＝和風」とは必ずしも言えないのではないか考えました。そこで昔はどうだったのか調べてみると、京都の文化は外国から流入した文化が融合し形成されたものであるということが分かりました。すなわち、京都の文化は元々何かがあったという訳ではなく、更新され成立してきたと考えられます。よって、一概に「京都＝和風」とは言い切れず、正確には「京都＝京風」というのが現在の京都を表わします。

36 VM部門 京都府 東山高等学校 東風吹かば

僕たちの暮らす京都にある北野天満宮。
この天満宮には、皆さんもご存知の、「学問の神」として有名な菅原道真公がまつられています。そういえば、福岡にも大宰府天満宮がありますね。
平安時代前期に生まれ、政治の中心となって活躍した道真公。遣唐使の廃止など、様々な功績を挙げましたが、あまりの出世の速さに、周りの貴族達からねたまれ、無実の罪をきせられ、大宰府に左遷されてしまいます。都を去る時、道真は一つの歌を残しています。
東風吹かば にほひおこせよ梅の花 主なしとて春を忘るな
現世に語り継がれる道真。そして、北野天満宮。天満宮の境内をめぐりながら、菅原道真、そして、北野天満宮を探索してみました。

37 AP部門 兵庫県 私立武庫川女子大学附属高等学校 うしろの正面だあれ？

今、大きな社会問題になってきている「ストーカー行為」。
その中には、被害者本人が気付かないうちにだんだんエスカレートしていったものや、ただの友達がちょっとしたきっかけでストーカーになってしまったというものもあります。また、加害者本人でさえ自分のしている事の重大さに気付いていない場合もあります。最近の情報の便利さの反面、誰でも簡単に知りたい情報を手に入れることができるというのもこの問題の一因です。
ちょっとした出来事でも、軽く考え過ぎていると大きな事件になってしまうかも知れません。ストーカーは意外と私達の身近に潜んでいて、いつ自分の身にもふりかかってくるかわからない存在なのです。
この番組では、身近な場面でのストーカーの恐ろしさを伝えています。

38 VM部門 兵庫県 兵庫県立小野高等学校 夢への第一手

私たちの住む兵庫県小野市はそろばんの町として有名で、将棋やそろばんなどの伝統産業を生活の一部として取り入れて暮らしてきました。しかし最近では、昔から使用されてきたものを、日常で使用している場面をあまり見かけなくなりました。
そんな中、私たちはプロ棋士をめざす橋本長道君と出会いました。橋本君は小学校二年生の時に将棋に出会い、関西奨励会でプロをめざして将棋をさしながら高校に通っています。勉強との両立は大変ですが、彼は常に前向きです。それは彼がはっきりとした夢を持っているからです。
現在の高校生には、夢を持っている人が少ないと言われていています。昔から受け継がれてきた伝統の素晴らしさを再確認し、多くの高校生に夢を持ってもらうために、私たちはこの番組を制作しました。

39 VM部門 兵庫県 兵庫県立尼崎小田高等学校
「ほないこか！！」

私たちの街、尼崎出身のある芸人の名言。「関西は窓さえあればたこ焼き屋はできるねん！」

この言葉の通り、関西にはごく普通の民家の窓や、玄関で営業しているたこ焼き屋がたくさんあります。

そして、私達の学校の近くには、高校生の写真がたくさん飾ってある、小さなたこ焼き屋があります。

この写真は3年間毎日、この店に通った子達だということです。彼らを毎日この店に通わせたのはたこ焼きの味だけではなく、たった一人の経営者であるとても気のいいおばちゃんに会うためでした。

取材を続けるうちに、私たち放送部員もまた、そのおばちゃんの魅力に惹かれ、足繁く通うようになりました。

尼崎は、細い路地裏に様々な人のあったかい人情を感じることの出来る街です。

40 AP部門 奈良県 奈良県立信貴ヶ丘高等学校
小倉百人一首から

全国高等学校総合文化祭放送部門の開催地である小倉と、私達の信貴ヶ丘高校をつなぐと、この「小倉百人一首から」を作りました。この「小倉」というのは「おぐら」と読みます。（「こくら」ではありませんよ）

私達はまず、この小倉と信貴ヶ丘高校の共通点を探し、百人一首の中から三首を抜き出しました。

さて、この百人一首で信貴ヶ丘と小倉がどうつながっているかよく聞いていてください。

41 VM部門 奈良県 奈良県立王寺工業高等学校
先用後利（せんようこうり）

私たちの故郷、奈良県には様々な文化があります。

奈良と言えば、お寺や古墳などがまず頭に浮かぶと思いますが、薬もあるんです。薬と言っても配置薬の事です。奈良の薬の歴史はとても古く、また何人かの歴史上の人物が登場します。この配置薬がいまだに続いているのには訳があるんですよ。

42 VM部門 奈良県 私立 帝塚山高等学校
THE MEIBUTSU

1300年の歴史の都 奈良には、伝統に裏づけされた数々の名物があります。この番組は、そうした「奈良の名物」を、日本で学ぶ留学生のみなさんにインターネットを通じて購入を呼びかける通販番組です。本来は英語による放送のハズ？ですが、今回は特別に「日本語バージョン」に吹き替えてお送りします。

さて今回みなさんにご提供するの、奈良の名物の中でも珍しい「町の早起き」です。この名物、「大仏」や「鹿」や「奈良漬」と違って、外国の人たちにもほとんど知られていません。それだけに今回のご提供は、まさに画期的…このチャンスを逃せばこんどいつ購入してもらえないかわからないという貴重な商品です。「ナマモノ」のため残念ながら返品やお取替えはできませんが、どうぞこの機会をお見逃しなくお買い求めください。

43-1 AP部門 和歌山県 和歌山県立海南高等学校
記憶の片隅～君からのメッセージ～

みなさんには忘れてしまいたい思い出はありますか？ 誰でも記憶の片隅にしまっておきたいことが必ずあるはず。しかし、過去のことだからとそのままにしておかないで、もう一度、思い出してみてください。その苦しい記憶を乗り越えることは、今の自分自身と向き合ういい機会になることでしょう。そして、その記憶を飲み込み理解できた

き、解放され、違う自分に出会えることでしょう。そのきっかけを、みなさん一人一人に作ってほしくてこの作品を制作しました。

4 3 - 2 VM部門 和歌山県 和歌山県立海南高等学校 鈴木さん弁当って!?

和歌山の北部に位置する海南市の文化の中で、有名な物は黒江漆器です。しかし、海南市の文化を考える上で、私たちは最近話題となった日本で一番多い名字である「鈴木」という名字に着目しました。「鈴木」という名字は海南市の藤白が発祥の地とされています。この作品のきっかけとなったのは海南市の「神田屋」という料理屋さんの出している「鈴木さん弁当」という弁当で、なぜ、このような名前の弁当が作られるようになったのかを調べていくうちに、海南市には「鈴木」姓の人が実際はたいへん少ないのに、発祥の地とされているのはどういうことかを調べることになりました。そして、古くから続く「鈴木」さんの歴史や文化にふれるとともに、地元の祭りの時に「鈴木」さんの関係から生まれた、海南の新しい名物、「鈴木さん弁当」を取材しました。

4 4 VM部門 和歌山県 和歌山県立橋本高等学校 紀伊半島6時間20分 『夜の旅』

大阪府と和歌山県、たったこの二府県間を夜通し走り続ける列車を知っているだろうか。この列車は早朝に熊野灘で釣りを楽しもうとする人々が主な利用客である。しかし、利用客の減少により廃止のうわさが出てきた。私たちは、実際にこの列車に乗り、速さや快適さだけに目を奪われがちなか、のんびりと旅を楽しんだ。寝ているか窓の景色を見るしかない6時間の旅。心にゆとりのある旅とはどんなものかを伝えようとこの番組を制作した。

4 5 AP部門 埼玉県 私立星野女子高等学校 彼女が残してくれたもの

平成十二年十月七日、私達放送部の仲間であり、大切な友人でもある古館友理さんが亡くなりました。

彼女は明るく活発で私達の憧れの存在でした。

そんな彼女の小さいころからの夢はアナウンサーになって活躍することでした。その夢を実現させるため、部活でも家でも毎日アナウンスの練習を欠かさずやっていたのです。

そのかいもあって彼女はNHK杯全国放送コンテストと、全国高校総合文化祭静岡大会に出場し、一步一步夢に向かっていく途中でした。

彼女はその声もさることながら、人徳もありいつも周りは多くの友人でいっぱいでした。

そんな彼女に突如、悲劇が襲いかかりました。はじめ、彼女は二週間の入院予定で病院に入院しました。しかし数日後私達に届いたのは彼女が亡くなったという悲しい無残な知らせだったのです。

その上友理さんが亡くなった原因は、抗がん剤の過剰投与による医療ミスだったのです。

私達は友理さんの声を全国に届けるため、私達の大切な友人を奪ったこの事件を決して忘れないために、そして何より古館友理さんと一緒に全国大会に出場するためにこの番組を作りました。

4 6 VM部門 埼玉県 埼玉県立川越高等学校 狙われた川越高校

僕たちの学校のある川越市は東京から1時間という手頃の距離から、またテレビの影響もあり、「小江戸」と呼ばれ観光地化が進んでいます。しかし、そんな川越市にメインとなるスポットが無いので、川越市は「川越城」のあった場所に立つ僕たちの学校に目を付けたという噂が。

47 VM部門 埼玉県 さいたま市立浦和高等学校 おいらの故郷

あなたは、あなたの故郷はと聞かれて何と答えますか。私たちは、ビルに囲まれ、下水となった川からは、童謡の「故郷」に歌われたイメージは浮かんでできません。郷土の文化といっても、テレビや雑誌から作られた私たちの文化は、郷土の文化と名乗ることはできません。

でも、大人になって振り返ったとき、今を過ごしているこの高校生活が、私たちの掛け替えのない故郷ではないかと感じています。高校生活といっても色々あると思います、私たちの高校独自の文化もあります。将来のためと灰色の高校生活を送っている人もいるかとは思いますが、勉強に部活に学校行事に友情に恋に……と楽しい高校生活を送っている私たちを見てください。もっと私たちの故郷である高校生活そのものが大切にされるべきだと考えています。

48 AP 部門 千葉県 千葉県立佐倉高等学校 テンツクツー佐倉の秋祭りー

毎年10月に開かれる佐倉の秋祭りは、町内会が中心となってつくられる祭りです。各町内会は自分たちの山車をひき、みんなで佐倉の町を練り歩きます。お囃子を演奏する子供たちは、早くから祭りに向けて練習をします。子供たちや親、近所の人たちはどんな風に「自分たちの祭り」を楽しんでいるのでしょうか。

お囃子を始めたばかりの子供たちがだんだん上達していく姿を通して、彼らのための祭り、佐倉の秋祭りを伝えます。

49 VM部門 千葉県 成田高等学校 亀

私達の学校がある千葉県成田市には、大本山成田山新勝寺があります。お寺の階段を登り、仁王門をくぐった所に、「放生池」という池があります。この池をよく見ると、数えきれない程の「亀」がいますのです。

私達放送部は、なぜこんなにたくさんの「亀」がお寺にいるのだろうと疑問に思い、取材を開始しました。まず、成田の歴史に詳しい郷土資料館の館長に、「亀」がいつ頃から池に生息するようになったのかとその理由について聞いてみました。すると「亀」は、古くは江戸時代から信者によって池に奉納されていたことが分かりました。次に、「亀」という生き物に対する伝説や迷信について、お寺のお坊様に聞いてみました。そして取材を進める中で、偶然にも、「亀」を池に奉納したことがある人に出会えたのです。

取材を通して、「亀」に対する古くからの人々の信仰について学ぶことができました。この番組は、成田山での「亀」への信仰と人々の思いについてまとめたものです。

50 VM部門 千葉県 千葉県立鎌ヶ谷高等学校 Show you 野田文化

文化って何？ 郷土にある文化とは？ 話し合っ居るうちに日本の代表的な味「醤油」の文化を調べようかということになって野田に出掛けました。しかし、そこにあったのは醤油だけではありませんでした。

野田は良い水と地の利を生かして醤油産業が発達した街です。私達は郷土博物館でたくさんの醤油のしるしに出会い、伝統的技法で樽を作り続ける玉ノ井さんにお会いし、昔と変わらない重厚なたたずまいを見せる醤油屋の庭を歩きました。そしてここには野田独特の文化があると感じたのです。

この醤油のもたらした豊かな文化を多くの人に紹介したいと思い制作したのがこの作品です。

**5 1 A P部門 東京都 共立女子高等学校
発車音ライ!! REMIX**

わたしたちが電車を利用する際に、最近では発車メロディーというものが聞き受けられるようになってきました。

これには、童謡やクラシックの音楽を元に作られたものもあり、バリエーション・数ともに豊富です。

また、この発車メロディーは目の不自由な人達にも番線が分かるようにする、という重大な役割を果たしています。

にもかかわらず、あまり気にかける人がいないというのが現状です。

そんな発車メロディーの面白さと重要性に重点をおいて、わたしたちはこの作品を作成しました。少しでも発車メロディーに興味を持ってもらえればいいと思っています。

**5 2 VM部門 東京都 東京都立八王子高陵高等学校
TOKYO BEST PLACE**

みなさんは、東京と言うと、どのようなイメージを持っているでしょうか。高層ビル、人にあふれた街、汚れた空気。東京都は大きく3つに分けられます。都心の23区、住宅地や公園の多い多摩地区、2000mを超す山がある奥多摩地方。しかし、今回は都心に焦点を絞って紹介することにします。

都心は、僕達が住んでいる多摩地区と比べれば、緑も少なく、空気も汚れてます。しかし、そのような場所ばかりではありません。公園などに行くと思っていたより緑が残っていました。人々はそういった場所で、心の安らぎを得ているのだと思います。取材の関係で行った都庁の展望台での吸い込まれるような感覚は、他では味わえないものです。それでも都会人は田舎にあこがれます。それは何故でしょうか。都心でインタビューをしました。都会の人の意見を聞いてみてください。

**5 3 VM部門 東京都 東京都立久留米高等学校
東京タヌキ事情**

東京都は、高層ビルが建ち並ぶコンクリートジャングルと思われがちですが、その半分近くは、丘陵地や山地になっています。そこで生活する野生のタヌキは、里山で暮らす人たちと上手につきあって、生きています。去年は、私たちの街、東久留米市にも野生のタヌキが現れ、子育てを観察することができました。しかし、街の人たちは動物とのつきあい方が、まだよく分かりません。

この番組では、タヌキが街に出てきたことで、様々な人々が心を動かされ、新しい文化ともいえる活動が、始まりつつあることを取り上げてみました。

**5 4-1 A P部門 山梨県 山梨県立甲府西高等学校
父からのメッセージ**

甲府市にお住まいの岩崎敏代さんは、一歳のときにお父さんは亡くしました。父の記憶が全くなかったという敏代さんの生き方はある一冊の本との出会いによって変わりました。

敏代さんのお父さんへの思いやこれからの人生を父親とともに歩いていきたいという言葉に私たちはとても感動しました。この感動をひとりでも多くの人に伝えたいと思い、この作品を作りました。

**5 4-2 VM部門 山梨県 山梨県立甲府西高等学校
紙芝居おじさん**

山梨県甲府市にある遊亀公園では、毎週日曜日になると紙芝居のおじさんがやってきます。現在、山梨県の紙芝居屋さんはおじさん一人だけ。元々紙芝居をしていたお父さんの跡を継ぎ、仕事の傍ら紙芝居を続けています。

子供たちの笑顔を見るために、そして子供たちに夢を与えるためにと頑張るおじさんは皆の人気者。そんなおじさんの紙芝居を多くの人に知ってもらいたい、私たちの町にはこんなすてきなおじさんがいることを知ってもらいたいと思いこの番組を制作しました。

5 5 VM部門 山梨県 山梨県立吉田高等学校 文化のカタチ

寺や神社、絵画や書など様々な場所に、様々な文化があります。私達は、いつも視覚的に文化を見がちですが、その文化に込められた人々の思い、願いなど、形のない文化もあると思うのです。富士吉田市にある新倉掘抜は、そんな文化のひとつです。このような文化を多くの人たちに知ってもらうために、そしてこれからも残していくために、この番組を制作しました。

5 6 AP部門 宮崎県 宮崎県立宮崎北高等学校 八紘一字（はっこういちう）

宮崎県の宮崎市には、平和台公園という観光地があります。市内に住む私たちと同世代の人間にとっては、遠足などで幼い頃から慣れ親しんでいる公園です。その敷地内にある石でできた「平和の塔」は、この公園のシンボルとなっています。

しかし、私たちはこの塔が何のために存在するのか全く知りません。いつ建てられたものなのか、誰が造ったものなのか、何の知識もないまま、ただ「平和の塔」と呼んでいるのです。

そんな中、この塔に使われている石のいくつかは戦争中に海外から奪ってきたものだという情報が私たちの耳に飛び込んできました。平和という言葉からは予想もつかなかったことに私たちは驚き、この番組の制作を企画しました。

平和という言葉に隠れた塔が造られたその真意を知ってもらい、そして平和について考えてもらいたいと思います。

5 7 VM部門 宮崎県 宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校 「三ヶ所神社神楽 ～私たちが支えます～」

私たちの周りにはいろいろな伝統や文化が存在するが、これらは時代の流れにしたがって、新しく生み出され変化し、消滅していく。

本校の近くの神社にも400年以上も昔から神楽が伝承されているが、町の過疎化で後継者が少なくなり、存続が一時困難になりつつあった。そんな中、全寮制の本校がこの町に創設され、地域との交流のためにいろいろな体験学習が始まった。そのうちに神楽に本校生徒が参加するようになり男女を部員とする神楽部が創設された。伝統ある神楽は女人禁制であったが、神楽保存会会長の米田さんの「神楽を舞いたい気持ちがあれば男女は問いません。」という信念により女子部員も参加することができるようになった。現在、6人の女子生徒が存続のために日夜練習に勤しんでいる。私たちは、神楽を通して感じたことを番組として制作した。

5 8 VM部門 宮崎県 宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校 伝統を受け継ぐ者

私たちの住む都城市は、古くから弓作りの盛んな町です。偶然にも、私たちの通う都城泉ヶ丘高校のそばに、そのような弓道具を作っておられる横山さんがいました。今回は、横山さんへの取材を通して、弓作りへの執着と伝統を受け継ぐことの大切さを学ぶことが出来ました。この伝統ある弓作りのことを全国の仲間に伝えたいと思いこの番組を作成しました。

59 VM部門 熊本県 熊本県立人吉高等学校 舞 ～残された伝統を継いで～

私たちの住む人吉球磨盆地では、毎年10月になると各地で豊かな実りに感謝する神楽が舞われます。長い年月をかけて受け継がれてきたこの伝統が、後継者の減少や指導者の高齢化によって次第に失われてきていることも事実です。球磨盆地の中心地、人吉市の青井阿蘇神社に奉納される神楽の中の一人獅子舞を熱心に練習する一人の若者がいます。仕事の合い間を利用して、伝統文化を残すべく練習に汗を流す本校卒の先輩、中神さんです。

先輩の奮戦を目の当たりにして、私たちも郷土に息づく伝統文化の良さと、都会にはない素朴さを再確認することができました。360年前に作られた獅子面をかぶって舞を舞う気分は格別だったでしょう、先輩？

60 VM部門 鹿児島県 鹿児島商業高等学校 体育祭 パネルに注目

私たちの学校の体育祭では、各応援団席にやぐらを作り、各団の3年生の正副担任の似顔絵をパネルに描いてやぐらに掲げます。似顔絵は正副担任の特徴をよくとらえており、毎年ながら感心しています。

そこで私たち放送部では、どの似顔絵が一番人気があるかを観客の方々にインタビューして調査することにしました。果たしてどのような結果がでるのか、それを楽しみにしながらこの作品を制作しました。

61 AP部門 福岡県 福岡県立小倉東高等学校 和氣清麻呂

小倉東高校の生徒が多く利用するJR下曾根駅に「和氣清麻呂のゆかりの地」とかかれた看板を見つけました。

和氣清麻呂とは誰なのか。そしてなぜ、この小倉がゆかりの地なのか。興味を持った僕たちは調べてみる事にしました。

まず本校の図書館で調べたところ、清麻呂の生涯、小倉に残る伝説が分かりました。次に日本史の先生から伝説の詳しい内容を聞く事ができました。先生の話から、僕たちは東高の3年生が歓迎登山で登る足立山の妙見神社にたどり着きました。

権力に屈せず、国の危機を救った和氣清麻呂。

あまりにも身近に残る伝説を調べる事で僕たちは清麻呂を知り、彼の行為に感銘を受けました。

62 VM部門 福岡県 中村学園三陽高等学校 リヤカー人生

我々が普段、遊びや買い物によく行く、福岡市早良区西新。その中にある西新商店街の道路は、午後1時になると歩行者天国に変わる。すると、どこからともなく数十台のリヤカーが、野菜や魚といった新鮮な食材を積んでやってくる。これが、西新名物『リヤカー部隊』だ。

我々は今まで何気なくリヤカー部隊の横を通り過ぎていたが、その商品はいったいどこから出荷されてどのようにして運ばれるのか。またリヤカー部隊のおじちゃん・おばちゃんの素顔はどのようなものなのか。我々はある一人のおばちゃんにスポットを当てて取材を進めた。また、この名物リヤカー部隊について、街の人々へのインタビューも交え、その歴史や現在置かれている状況などを追求した。

63 VM部門 福岡県 福岡大学附属大濠高等学校 “はる”のある風景

地域の文化を考えるにあたって、長い歴史を背景に深く地域社会に根ざした「地名」は避けて通れないテーマではないかと思えます。

福岡市近郊には、全国的に難読地名の1つとしても紹介される「原（はる）」地名が点在しています。普段あまりにも身近なためになんの疑問も抱きませんでした。なぜ原という文字を「はる」と読むのか、改めて考えてみると大変不思議です。

私たち放送部員はその疑問を解決するために、地図を調べ上げ、歴史書をひもとき、大学教授に問い合わせ、実際に現地に足を運んで・・・と、考えつく限りの手を尽くしました。その「調査」の中で気づいたこと・わかったことを最大限に紹介することを目的に、この番組を制作しています。また、この一連の調査模様を通して、私たち部員が感じた、地名を深く考えることの面白さを伝えることができたいと考えています。



大会第二日（8月6日）メインホール

1 AP部門 北海道 札幌日本大学高等学校
夏の壕

原爆、戦争、ヒロシマ、ナガサキ…
同じ過ちを繰り返さないためにも決して忘れてはいけないものです。ヒロシマ・ナガサキの被爆体験をもとに地域の朗読サークルが中心となって上演された朗読劇「この子たちの夏」に、たったひとつの俳句を詠むという形で出演した放送局員の河野央早さん。彼女は練習の過程で、戦争の悲惨さや平和を愛する心を学んでいきました。
本番の舞台に挑む彼女の視点から「戦争」の悲惨さを考えてみようとするこの番組を制作しました。

2 VM部門 北海道 北海道札幌藻岩高校
カムイの地～北海道のアイヌ文化～

日本の先住民族であるアイヌ民族。アイヌ民族の歴史はとても古く「日本書紀」の時代までさかのぼることが出来ます。北海道の広い地域で独特のすばらしい文化を築いてきました。
しかし、アイヌ民族の人達が歩いてきた道は決して平坦なものではありませんでした。明治政府以降、日本が行ってきた同化政策はアイヌ民族の存在を脅かし続けてきました。その結果、アイヌの人々はたくさんの差別をうけてきました。
私達は一人でも多くの人に、アイヌの人達について知ってもらおうとこの番組を制作しました。

3 VM部門 北海道 札幌静修高等学校
ゆりかごの詩

終戦直後、子どもたちに夢を与えようと、本の読み聞かせや紙芝居、人形劇上演などの活動を始めた学生達がありました。米軍払い下げの「かまぼこ兵舎」を利用した粗末な児童会館は子どもたちの心に希望という小さな灯をともしていったのです。この「ゆりかご童話会」の活動は50年たった今でも様々な形で受け継がれています。私たちは、善意の人たちの手から手へと地道に継承されているこうした活動の大切さと人々の熱意を番組で伝えたいと思いました。

4 AP部門 岩手県 盛岡白百合学園高等学校
露木 彩、17才です。

私たちの住む岩手県盛岡市は豊かな自然に囲まれた美しい街です。そんな環境の中にある盛岡白百合学園高等学校に露木彩という高校生がいます。17才の彼女は、放送部部長、社会活動委員会副委員長をつとめながら、国際協力や環境問題など様々なことに関心があり積極的に活動しています。そんな彩に興味をもった私たちは、彼女の行動力の源とその魅力にせまってみました。彼女の積極性や自主性の秘密はどうやらFP（盛岡ヒューチャーパートナーズ）にあるようです。FPとは一体何なのでしょう。

私達高校生が今一歩成長し、自信をもつためには何が必要かわかった気がします。学校と家庭以外の自由な空間に居場所を見つけて、いきいき活動している露木彩。一歩先を行く彼女に勇気をもって追いつきたい私達です。

5 VM部門 岩手県 岩手県立盛岡第三高等学校
北北東にRINGをとれ。

岩手県盛岡市。ここ東北の地にプロレスを広めようとするひとりのプロレスラーがいる。その名は、ザ・グレートサスケ。

サスケは盛岡に生まれ、高校卒業後、東京でプロレスラーとしてデビューする。そして三年後、彼は東北を活動拠点としたプロレス団体、「みちのくプロレス」を旗上げる。以来、サスケは東北で、プロレスはもちろん、チャリティーなど様々な社会活動も行っている。サスケは、岩手県、そして東北と名が広まり、今や岩手のシンボルと言っても過言ではない。

この作品では、サスケへのインタビューを通して、サスケの郷土に対する想いを探る。みちのくプロレス設立のきっかけや、当時の苦労話など、サスケの語りには、彼の東北への熱い思いが見え隠れしている。

東北にプロレスを広めようと努力を続けるサスケ。彼の郷土を愛する心を、スクリーン越しに感じ取ってほしい。

6 VM部門 岩手県 岩手県立岩泉高等学校田野畑校
西暦1万世紀

「ハワイが日本に近づいている」という事実を知っていますか。1年に約6cmずつハワイが日本に近づいているんです。すると、単純計算で約100万年後にはハワイと田野畑がくっつくかもしれない！？

馬鹿げた話だと思うかもしれませんが、たとえ何%でも可能性があるのならそれについて調べなければ！！と、私たちは決心したのです。

そこで私たちが考えたのが、「ハワイから来た人に日本の何を紹介するか」ということです。ハワイには「フラダンス」という有名な踊りがあります。しかし、私たちの学校ではそれに勝る勢いの「菅鹿踊・剣舞（すげのくぼししおどり・けんばい）」という踊りを伝承している「踊組」があります。そこで私たちは、この「鹿踊」をハワイの人に見せようと考えたのです。

この番組はいい意味で力の抜けた番組なので、あまり肩に力を入れずリラックスしてご覧ください。

7 AP部門 青森県 青森県立三本木高等学校
上弦

高校生になって、誰もが感じるあせりと不安がある。

高校三年生になったアヤは、親友やクラスメイト、自分の周りすべてが自分の将来を見据え、着実にそれに向かっていくことにあせりを感じている。特別秀でたものもない、自信を持ってできることがない自分を不安に思っている。

八月のある日、アヤは夢を見る。真っ暗な世界に浮かぶ月が次々と消え、ぼんやりとした上弦の月だけが残る夢を、自分の環境と重ねあわせて悲観する。しかし、幼なじみのナナは、何もできないと思っていたアヤが魅力的なのだという。

自分の中に必ずある、キラキラした自分らしさを大切にすることに、やがてアヤは気づいてゆく。

8 VM部門 青森県 青森県立弘前工業高等学校
津軽に技あり笑顔あり！！

青森といえば「りんご」。

秋に美しい紅色の実を結ぶためには、厳しい寒さの中で行う剪定作業が欠かせません。この剪定作業で使う「のこ」や「はさみ」などを研ぐ「目立て屋」は、りんご農家になくしてはならない存在です。卓越した技により1刃、1刃でいねいに目立てられていく「のこ」や「はさみ」。

こうした職人の技によってりんごが支えられていることを知ってもらいたくてこの番組を制作しました。

9 VM部門 青森県 青森県立八戸北高等学校
異文化交流のツボは青森県に学べ!!

私たちの住む青森県は、八甲田連峰の中央山地を境に、古くから津軽地方と南部地方に分かれています。そして、それぞれの地方が異なる風土をもち、異なる文化が発達しています。青森県の文化の特徴は、津軽と南部という全く異なる二つの文化が存在することなのです。

津軽の人と南部の人が、それぞれの方言で会話をすると会話が成立しないほど、言葉が違います。また、冠婚葬祭のしきたりや食べ物などの生活習慣も異なります。さらには、住んでいる人の気質の違いなどもあり、過去には激しい対立の続いた時代もありました。しかし、現在では一つの県としてまとまり、人と文化の交流が深まりつつあります。私たち青森県に住む者は、日々の生活の中で異文化交流をしていることになるのです。そして津軽と南部の交流をうまく進めていくための「ツボ」は国際交流などにも通じるところがあるように思います。

10-1 AP部門 宮城県 宮城県第一女子高等学校
伊達物語

伊達政宗が仙台を開府して今年でちょうど400年。仙台ではそれを記念してたくさんイベントが行われています。

そこで、この400年の歴史の基、意外と知られていない伊達政宗のキャラクターを調べていくうちに彼がおしゃれであるということ、食通であることなど、親しみやすい人物であることが分かってきました。

この作品によって皆さんが住む場所の今と昔、そして未来を考える心が少しでも生まれれば幸いです。

10-2 VM部門 宮城県 宮城県第一女子高等学校
水の都 仙台 -四ッ谷用水の今昔-

現在、仙台は「杜の都」と呼ばれています。しかし、昔、この街は「水の都」でもありました。

以前、仙台の街中には四ッ谷用水と呼ばれる水路が流れていました。四ッ谷用水は市内のあちこちを流れていて、生活のあらゆる場面で使われました。当時の潤いのある街の様子は、まさに「水の都」と呼ぶのにふさわしいものだったのです。

今、仙台でこの景観を見ることはできません。人々の生活を支えてきた四ッ谷用水も今では、いくつかの痕跡を残すだけになりました。仙台の街中に小川が流れる様子は、もう二度と見られないのでしょうか。

私達は、四ッ谷用水を通して「杜の都仙台」のもう一つの姿をご紹介します。

11 VM部門 宮城県 東北学院高等学校
づんだもち～仙台の食文化～

私たちの住む宮城県には、他県にも知られている様々な名産品が数え切れないほどあります。その中でも食べ物は魅力的なものがたくさんあります。牛タン・笹蒲鉾・支倉焼・萩の月など他県の人たちも好んで食べるものばかりです。

私たちは宮城県・仙台の名産である多くの食べ物の中から、「づんだもち」を他県の皆さんに紹介しようと考えました。百年以上の歴史を持つづんだもちは他の食べ物よりも一段と仙台市民に親しまれています。この番組を通してづんだもちのおいしさ、ひいては宮城県の郷土の食べ物のおいしさを伝えられればと思います。

12-1 AP部門 秋田県 秋田経済法科大学附属高等学校 銀の軌跡

わずか0.2ミリ程の銀線を使い、指先のみで花や蝶などの繊細で美しい造形を織り成す銀線細工、銀特有の清潔感のある輝きが、華麗な雰囲気を漂わす秋田の代表的な工芸品で国内はもとより海外にも知られています。また平成8年には、県の伝統的工芸品に指定されました。

しかし、その歴史は以外にも知られていません。そこで私達は知られざる銀線細工の軌跡を辿ってみました。

12-2 VM部門 秋田県 秋田経済法科大学附属高等学校 なまはげ

民俗行事としてその名が全国に知られている、国定公園秋田県男鹿半島に古くから伝わる「なまはげ伝説」。何故この風習がこの地に生まれ根付いたのか……。そこには今なお

多くの謎が残されています。そこで私達は、その真相を知るために男鹿市北浦真山にある「なまはげ館」を訪ねてみました。

そこでは、男鹿の各地に数多く存在する「なまはげ」の全てを見ることができました。中でも真山地方に伝わる「なまはげ」の模擬行事を、全国から見学に来た観光客と共に私達も一緒に見学してきました。

そこで見学して感じたことは、今日地域の人達との交流が薄れてきている中、「なまはげ」は忘れかけていた大切な心の触れ合いを思い出させてくれました。

13 AP部門 山形県 山形県立山形東高等学校 100円バスに乗って

全国的に昔からの商店街は、大規模な郊外店に押され苦境に立たされています。私たちの暮らすこの山形市の中心、七日町商店街を始めとするいくつかの商店街もその例に漏れず、近年はずっと不況に悩まされています。

そこで、この閉塞的な状況を打破しようと、山形市の商工会議所は、他県の事業や山形市の姉妹都市デンバーの例を参考に、初めの構想から30年の月日をかけ、ついに平成11年10月「中心商店街100円循環バス」の名の事業が開始されました。

この試みは、今のところある程度の成功を収めているようには見えますが、一つ重大な課題が持ち上がっています。それは、高校生の乗車マナーの悪さです。中心商店街や地域住民の皆さんの希望を一身に背負ったこの100円バスを通して、私たち高校生と地域社会との関わりと、私たちが地域の活性化のためにできる事を伝えたいと、この番組を作りました。

14 VM部門 山形県 山形県立山形南高等学校 こけしが玩具？

山形の伝統的な文化の一つに挙げられる「こけし」。

現在、民芸品店の店頭にならび、高価な土産物として観光客に人気の品になっており、山形の民芸品としての位置を確立している。

しかし、「こけし」に込められた本来の意味は違っていた。実際、「こけし」は、私達が幼い頃には山形のどの家庭にもあるものであり、しかも、「こけし」を百科事典で調べると、「玩具」と分類されている。

私達でさえもよくわからなかった「こけし」の姿を追いかけ、全国の皆さんに、山形の「こけし」について、少しでも理解をしていただきたいと思います、この作品を制作した。

15 VM部門 山形県 山形城北女子高等学校
大正浪漫

地域の文化がテーマと聞いた私たちは、山形で全国に誇れるものは何だろうと考えていました。そんなとき、テレビで流れた1本のドラマ。あの松島菜々子さんが出演している百年物語。しかし、そのロケ地はあまり知られていません。そう、それが山形にある旧県庁、通称「文翔館」なのです。この建物は洋風建築でまさに大正浪漫を私たちに伝えてくれます。この建物の素晴らしさ、地元での知名度の高さ、そして大正浪漫を少しでも多くの人に知って欲しい、そんな思いでこの作品を制作しました。

16 AP部門 福島県 私立桜の聖母学院高等学校
世界の国からこんにちは～The n a t t o u～

我校に勤務している講師のトニー先生は、日本が大好きです。日本食も好きで特に梅干は好きだそうです。ところが納豆はとてものがてなんだそうです。とても素晴らしいリアクションになりました。そのあとトニー先生は、オーストラリア人の意地をかけて反撃にできました。日本人危し。(国際交流は食事からー1つの教訓になりました。)

17 VM部門 福島県 福島県立安積高等学校
コイの街こおりやま

私たちが番組制作のための題材を図書館で探していた時に、ふとある本が目に入りました。それは「郡山うまいものマップ」というタイトルでした。本を眺めているうちに郡山の郷土料理に鯉料理があることを思い出しました。

小学校の給食に鯉料理が出され、食べたことはありましたが、残念ながらおいしかったという印象はありませんでした。しかし、本に載せられていた鯉料理は今まで抱いていたイメージとは異なり、大変おいしそうで、思わず「鯉」というものに興味が湧きました。

郡山が全国第3位の生産高を誇る「鯉」の魅力を再発見できるような番組を制作しようと思い、この作品が完成しました。

18 VM部門 福島県 福島県立原町高等学校
無線塔～巨影は今は無く～

今回のテーマで私達が最初に思い浮かべたのは相馬野馬追祭でした。しかし、全国の仲間伝えるのなら、もっと歴史の闇に埋もれて知られていない物を取り上げたいと思い、この無線塔を取り上げることにしました。

福島県原町市にあった「無線塔」とは、大正時代に建設された高さ200メートルのコンクリートの電信塔でした。大正12年の関東大震災の第一報をアメリカに打電し、一躍脚光を浴びましたが、電信技術の進歩で使用も中止。そして取り壊されてしまいました。

現在、現存していないため資料集めや取材にはかなりの気力と根性が必要でしたが、歴史を発掘する意気込みで、ちょっとユーモアをまじえて編集してみました。楽しく見てください。(部員17名 顧問山崎健一)

19 VM部門 茨城県 茨城県立岩井高等学校
きゅうり？ききょう？ー岩井・将門伝説ー

私たちの住む岩井市では将門ゆかりの寺社や史跡などが多く残っており、岩井市と平将門の間は密接なつながりがあります。長年、平将門は天皇に逆らった逆賊とされていましたが、農民には味方として敬われていました。彼が討たれた後も、農民たちはあがめ親しみ守ってきたのです。そして現代でも岩井市民は「将門祭り」を行いつながりを深めています。しかし、その将門との関係の中で生まれた「きゅうり」や「ききょう」の文化も私たち若い世代では知る者さえ少なくなっているのも事実です。取材を終えて私たちはこれ

らの歴史や文化を語り継いでいくことを真剣に考えなければならぬと感じました。

**20 AP部門 栃木県 栃木県立小山西高等学校
シモレン ～レンガは時代を超えて**

栃木県野木町にある下野煉瓦製造会社（現シモレン）のホフマン式輪窯は、昭和54年に国の重要文化財に指定された、我が国で唯一現存している赤煉瓦を焼く窯です。

私達はそこに行き、昔そこで働いていた関口さんに話を伺う事で、古き良き思い出や、保存することの意味を知りました。

栄枯盛衰その跡に残るもの。それは決して悲しさだけではありません。そんな感じが伝えられたら良いと思っています。

**21 VM部門 栃木県 栃木県立上三川高等学校
守りたくて**

住みなれた我が町宇都宮に、昔、唄われていたとされた宮小唄が復活するという新聞記事が私たちの目に飛び込んできた。

宮小唄は、以前宴席の場などで盛んに唄われていたが、戦争をはじめ時代の移り変わりの中で消えていってしまった。

大会に参加したり、踊りを教えていただいたりした取材活動を通して、この唄の復活に際し、私たちも何かできないだろうかという思いが次第に強くなっていきました。

復活しようとしている身近な文化に触れてみたい、そして高校生たちに今、新しく生まれ出す文化の尊さをなげかけたい、文化を守っていくことの大切さを伝えたい。そう思った思いから私たちも文化祭で実際に宮小唄を踊ってみました。宮小唄と出逢い、文化の大切さとその文化を守り育てようとする人々の心を痛感しながらこの作品を制作しました。

**22 VM部門 栃木県 栃木県立真岡女子高等学校
真岡木綿～木綿と共に歩む～**

真岡木綿は、今から約100年前、全国に先がけて生産されていた有名なものでした。しかし、やがて経済的な理由で途絶えてしまい、現在では真岡市に住んでいても、「真岡木綿」を知らないという若者が大変に増えてきました。

そこで、現在、真岡市では、もう一度真岡木綿を復活させようとさまざまな活動を行っています。そのような活動に取り組む人たちの努力を全国の皆さんに知って欲しいという願いを込めて、この番組を制作しました。

**23-1 AP部門 新潟県 中越高等学校
銘菓のなぞ**

新潟県にはお祭りの時にしか買うことのできないとても人気のあるお菓子があります。しかし、このお菓子は人気があるにもかかわらず県内の限られた一部の地域でしか売られていません。

そこで私たちはこのお菓子に隠された秘密をのぞいてみることにしました。

**23-2 VM部門 新潟県 中越高等学校
ズッパ見直し計画**

今、中越高校の風紀は乱れているといわれます。先生方は一生懸命現状を改善しようとしています。しかし昔と何が変わったのでしょうか。そして昔から変わらないものはないのでしょうか。

私たちは、中越高校生の変わらない格好を文化と捉え、中越高校出身の先生方を中心にインタビューをして昔から変わらない中越高校の生徒の伝統的な恰好と常に支持されている理由を調べました。

24 VM部門 新潟県 新潟明訓高等学校 下町（しもまち）を守れ

高度経済成長期以後、私たちはどんどん古いものを壊し、様々な新しいものをつくってきました。一番代表的なものは、現代の車社会を見れば分かるとおおり、道路でしょう。他にも、新しいもの便利さは、人々の興味を惹きつけ、虜にしてきました。

でも、本当にこれだけでいいのでしょうか。新潟にきた外国人、その誰も彼もがすばらしいと絶賛したという、新潟の美しい町並みは、もうほとんどどこにでもあるビル街や住宅地と化してしまいました。古くからの家屋は取り壊され、その上には、綺麗だけれども他と変わり映えのしない家が建てられました。米所新潟の田は、減反政策もあり、ひび割れたまま。宅地などに役目を変えてしまう田もすくなくありません。水と柳の都と言われたゆえんの、新潟のどこにでもあった堀は、道路と化し、堀を彩っていた柳のみが、排気ガスにまみれながら、わずかにそこに堀があったことを現代に伝えています。

そんな中、未だ昔ながらの町並みを今に残している地区がありました。それは、下町（しもまち）地区。新潟駅とその周辺の繁華街から、さほど遠くないところにあるにもかかわらず、文化財としての価値があるような、昔ながらの家、倉、店、神社などが、美しい町並みを形作っている地区です。そこにすむ人たちも、それを誇りにしながら暮らしています。新潟で最後の歴史ある町とっていいかもしれません。

しかし、そんな町にも、ついに開発の波は訪れました。バイパス級の大きな道路が、下町の真ん中を通ることになったのです。このことを皆さんに伝えることを通し、私たちは便利さ以外に大切なものがあるのではないかと、本当の新潟らしさとは何か、ということを皆さんに問いかけたいとおもいます。

25 AP部門 富山県 富山国際大学付属高等学校 「響」

私たちの県、富山県の西部には高岡があります。この高岡は古くから鋳物や漆器が盛んに行われていました。また、明治以降豊富で安価な電力を背景にアルミ鋳造産業も発達してきました。伝統産業として青銅の鋳物が有名で、特に、お寺の梵鐘は全国の8割以上が高岡で作られたものです。

鐘の音の不思議な力に魅了されるのは、日本人ならみんな同じではないでしょうか。童謡唱歌にも多く歌われ、その音に昔から親しんできました。私たちはお寺の鐘の音に愛着を感じています。大晦日に108つの鐘の音を聞き、夕方、遠くから聞こえてくる鐘の音に日本人として忘れかけていたものが蘇ってくるような気持ちになります。そんな魅力に取り付かれ、さらに私達の地域の伝統を見直すために、この番組を作ってみました。

26 VM部門 富山県 富山県立魚津高等学校 幻の名菓を追い求めて

紙風船とともに先用後利で全国に広まった「越中富山の売薬」。

徳川時代、江戸城内で腹痛を起こした大名に反魂丹という薬を与えたところ、痛みがたちどころに治まったことから、富山の薬が全国に広まるようになったというのは、有名な話です。

この反魂丹は今でも各会社独自の調合で製造され、販売されています。しかし、大名の腹痛を治した薬はどの反魂丹で、元祖はどこなのかということは、あまり知られていません。

疑問に思った我々放送部は、取材を重ねました。そしてこの薬に込められた先人の願いを知りました。

富山の三百年の薬文化の厚みが伝わる作品を、どうぞご覧ください。

27 VM部門 富山県 富山県立呉羽高等学校 おわらの里ふれあいホーム

私たちの住む富山県には、「おわら風の盆」という全国的にも有名な伝統行事があります。

富山県八尾町にある福祉作業所「おわらの里ふれあいホーム」では、身体障害、知的障害を持つ人、地域の人などが集まって「おわら風の盆」のオリジナル商品を作っています。私たちは「おわらの里ふれあいホーム」の地元の文化を生かした活動や、福祉の中に生きる文化のかたちを伝えたいと思い、この番組を制作しました。

28 AP部門 石川県 石川県立金沢二水高等学校 金沢おときこう

学校の近くに、多くの寺院が集まった寺町があり、夕方になると鐘の音が響いてきます。ある日、お寺で鐘をつく鐘音愛好会の方からこの音が「日本の音風景100選」に選ばれていることを聞きました。そして、石川県でも「いしかわの音紀行」「ふるさとの音マップ」が作られたことを知りました。

私達は様々な音に囲まれて生活しています。いい音や嫌な音、懐かしい音。何気なく聞いている音、何気なく聞こえてくる音。そんな音に注目することで、今まで見えなかった何かが見えてくるかも知れません。

29 VM部門 石川県 石川県立金沢辰巳丘高等学校 文化の村人

私たちの住む金沢は、九谷焼や蒔絵、金箔・能楽などの伝統工芸、文化の息づく街です。今回はそういう伝統的なものではなく、現在行われている市民による芸術活動を取り上げました。

この活動は、金沢市民芸術村で行われています。芸術村は、金沢市が古い倉庫を買い取り、改装して整備し、現在利用されています。いくつかのスタジオ・工房があり、利用者は申請すれば24時間いつでも使うことができます。また、料金も格安で、市民の誰もが気軽に利用でき、プロ・アマ問わず、芸術家（の卵？）の活動を支えています。また芸術村の特色の一つとして、その運営方針などを市民が決めているところです。このような施設は珍しいと聞きました。

この作品を通じて、芸術村での活動を理解し、また、このような施設が他の街にも増えたらいいなと思います。

30 VM部門 石川県 石川県立小松工業高等学校 勸進帳のふるさと小松

小松市の港町で安宅町にある「安宅の関跡」は、歌舞伎十八番[勸進帳]の舞台として知られています。源義経、武蔵坊弁慶、富樫左衛門が繰り広げる人間ドラマは、史実かどうかは別にして、日本人の心にふれ、時代を超えて受け継がれてきました。

義経・弁慶・富樫の安宅の関で繰り広げる舞台は、富樫は自分の立場を捨て、「仁義」の心で義経を見逃し、弁慶の「知恵」と義経の「勇気」に答えた。勸進帳のテーマである「智・仁・勇」をテーマにした物語です。私たちは勸進帳を追っていきながら、三人の想いを垣間見たような気がしました。

地元小松市では、ふるさとの歴史を学ぼうと、毎年、市内の中学校が順番に「勸進帳」を上演している。また、3年前から全国子供歌舞伎フェスティバルで全国へ発信している。

31 AP部門 福井県 福井県立敦賀高等学校 大谷吉継～敦賀が生んだ戦国の英雄～

戦国時代、私たちの町には敦賀城があり、その城主は大谷吉継でした。石田三成と友情を結び、盲目ながら共に関ヶ原の合戦を戦いぬいた英雄でした。病弱な身で籠に乗って戦を指示し、最期は自害をとげました。敦賀市内には大谷吉継を偲ぶ文物が数多く残されています。市民は彼と彼の残した物を大切に思っています。没後400年を迎え、市内では各種記念行事がとり行なわれました。彼の業績を振りかえり、彼の精神的強さと、活躍から

励みをもらいたいと思います。

3 2 VM部門 福井県 北陸高等学校 左うでの調べ

2000年夏、私達は笏谷石と呼ばれる石を追いかけていました。

笏谷石は福井市にある足羽山の笏谷付近を中心に産出する良質の火山礫凝灰岩で笏谷凝灰岩層に含まれるものです。その笏谷石は墓石、神社の玉垣、敷石などに最も多く利用されています。また、一度は廃れた笏谷石ですが、最近ではその良さも再び見なおされ、笏谷石文化を保存、伝承していこうという会も開かれています。そして笏谷石を調べているうちに笏谷石を使い彫刻活動を行なっている一人の人物に出会いました…この番組はそんな石と人との出会いを伝えるものです。

3 3 VM部門 福井県 福井県立金津高等学校 「機志快盛」

私たちの住む福井県は、かつて「繊維王国」と呼ばれるほど繊維色あふれる街でした。今や若い人たちにとっては繊維の県という意識は薄く、地味な仕事としてさほど魅力を感じなくなっているようです。しかしそんな中、伝統があるからこそできる職人的な技が個人でも企業でも生み出されています。そして活路を見いだそうとしています。

私たちは、そんな伝統産業である織物産業にエールを送るべく、頑張っている方々を取材して少しでもみんなに元気を与えることができたらと思い作品を制作しました。

3 4 AP部門 鳥取県 鳥取県立米子西高等学校 鳥取県西部地震～私たちにできること～

2000年10月6日におきた鳥取西部地震から半年たちました。

鳥取県西部は液状化、家屋の全半壊、地面にできた亀裂などの被害に見舞われました。たくさんのボランティアの方たち、地域住民の方たちによって復旧作業が進められています。

地震後の被災地の様子、ボランティアや地域住民の方たちの声を番組にしてみました。

3 5 VM部門 鳥取県 私立米子松蔭高等学校 弓ヶ浜かすり

鳥取県米子市を起点とした弓ヶ浜半島付近を中心に、江戸時代から綿花の栽培と緋織物が盛んでした。海辺の近くで、土壌が農作物に適さず農家の副業または、衣料の自給自足のための織物でしたが、明治時代に紡績業が近代化されるまでは、全国でも有数の生産と、出荷量を誇っていました。

鳥取県の3代織物と言われる物の1つの、この弓ヶ浜緋、紡績業の近代化と共に次第に、姿を消していきましたが、近年になってまた国内は勿論、海外からも注目を集めるようになってきました。鳥取県の伝統工芸この弓ヶ浜緋について作品を作ってみました。

3 6 VM部門 鳥取県 鳥取県立鳥取商業高等学校 若武者 一きりりー

気高郡鹿野町に古くから伝わる鹿野祭り。

この祭りのメインは若武者行列で、25歳までの若者が主役という珍しい祭りです。しかも参加できるのは男子のみ。

25歳を過ぎたら現役を引退し、後輩の指導に当たることになっていて、町中が二年に一度のこの祭りを楽しみにしています。

今回はその舞台裏、練習風景、本番と彼らを追いかけました。若者の熱気を楽しんで下さい。

37 AP部門 島根県 島根県立横田高等学校 人骨

私たちの住む横田町は、雲州そろばんの名産地、グランドホッケーの街……それからえ〜っと、古墳??

私たちの作品はこんな驚きから出発しました。そもそも古墳なんてものは歴史の教科書でしか見られないもので、よもや自分たちの身近にあるものだとは思っていませんでした。しかし、昭和六十一年の開拓工事中、横田の街から土器、短刀とともに二体の人骨がみつきり、大呂・川向古墳と名付けられたということです。そして調べていくうちにこれ以外にも数多くの古墳があることがわかったのです。

日々の生活の中で見落としてしまっていた自分の街の一面を紹介したいと思い、作った作品です。

38 VM部門 島根県 島根県立浜田水産高等学校 いつの日にか、一晚舞いを

私たちの住む、島根県西部・石見地方は、「神楽」がとても盛んな土地です。

「神楽」は、神のために舞う神事で、躍動感溢れる踊りです。代表的なものに、「八岐の大蛇」等があります。特に秋祭りの時は、多くの神社で、夜を徹した神楽の舞が展開されます。子どもからお年寄りまで、多くの地域の人々に親しまれている伝統芸能です。

この番組は、この神楽に熱中する一人の若者・高校生を中心に据えて、郷土芸能を担う若人の息吹や熱い想いにスポットを当てたものです。神楽に取り組むその真摯な姿勢、或いは戸惑い、そしてさらなる新しい発想・意欲。古い伝統的なものに、若人がいかに真摯に取り組んでいるか、それが伝統芸能にいかにか新たなエネルギーや創造性を与えているのかを描こうとした作品です。

39 VM部門 島根県 島根県立浜田高等学校 長浜人形

日本海に面した浜田市は、漁業の盛んな市です。その中に、長浜町と言う港町があります。長浜町には、四百年前から伝わっている“長浜人形”という土の人形があります。この人形は、博多人形に似ていますが、六頭身で愛嬌のある顔と後ろ側が絵の具で塗られていないところが、博多人形とは異なります。ずんぐりとした姿はあたたか味があり、地域の人たちに、ひな祭りに飾る人形や、出産祝いなどとして、親しまれてきました。

しかし、最盛期の第二次世界大戦前を境に、長浜人形は廃れていき、今ではこの人形のことを知っている人はほとんどなくなってしまいました。作る人も減り、今この人形を作っているのは岩本さん夫婦だけです。

私たちは、長い間人々に愛されてきた長浜人形の魅力を、もう一度分かってもらいたくてこのビデオを作りました。

40 AP部門 岡山県 山陽女子高等学校 十次の心、いつまでも

私達の学校のある岡山市門田屋敷地域は、昔、石井十次という人が孤児院を開いたことで有名な地域でもあります。その石井十次の子どもを大切にすることを受け継ぎ大切にしていこうとする人たちがいます。それが、「石井十次の心を伝える文化の会ユートピアクラブ」です。私達放送部も普段の部活動を生かして社会に役立とうと言うことから、この会に参加しています。

この番組は、ユートピアクラブの紹介とこの会での私達の取り組みを紹介したいと思えます。

4 1 VM部門 岡山県 就実高等学校 炎の贈り物～私たちの備前焼体験～

ある日先輩から備前焼祭りに来ないかと葉書が届きました。あまり興味のなかった私達ですが、せっかくのお誘いなので行ってみることにしました。備前焼祭り当日。祭りは大盛況。実際に備前焼を目前にした私達は、備前焼についてもっと知りたいと思うようになりました。そこで、先輩のお父さんの藤森陶志さんが備前焼を作っている所に行って体験させてもらうことにしました。備前焼は備前市でしかとれない土を使います。土ひねり、窯入れ、窯焚き、窯出しと様々な過程を経てできあがります。特に重要な窯焚きは十日間ほども続き、窯内での置き場所や温度差によって作品の出来具合が違ってきます。私達は途中失敗しながらも藤森さんの丁寧なご指導のおかげで、なんとか作品を完成させました。数日後、焼き上がった自分の作品を窯出ししたときの感動は声にならないほどでした。この体験を通し、備前焼が「土と炎の芸術」だということを実感するとともに、今も多くの人の心をつかむ備前焼の真の魅力に近づけたような気がしました。

4 2 VM部門 岡山県 岡山県立倉敷商業高等学校 ふるさと発見！！～幻の花ござ・磯崎眠亀の心と技～

岡山県ではいぐさの栽培がさかんでした。しかし、年々栽培は減少され、今ではいぐさの栽培地は数えるほどになりました。

倉敷市・茶屋町ではそんないぐさを使った花ござが今でも製造されています。その原点は茶屋町の発明家、磯崎眠亀にありました。倉敷放送部は地元の特産品から眠亀の発明が今の時代に残したものを追いました。

4 3-1 AP部門 広島県 広島県立広島国泰寺高等学校 戦国大和～缶詰が語る軍都の歴史～

スーパーで売られている牛肉の大和煮の缶詰。大正一八年当時、広島県の大和煮生産量は全国一位を誇っていました。しかし、現在ではほとんど生産されていません。なぜ、当時これほどの缶詰が生産されていたのかと思い、調べているうちに、兵士に送る食料を生産していた糧秣支廠で大和煮が生産されていたことがわかりました。

かんづめ一つから見えてくる軍都広島歴史とそれを支えた女性達の姿を伝えたいと思いこの作品を制作しました。

4 3-2 VM部門 広島県 広島県立広島国泰寺高等学校 ハナミズキのように～広島新たな語りかけ～

昨年の全国高等学校文化祭静岡大会が、8月9日だったことから、会場で平和について考え始めた三宅さん。他県の人たちにインタビューし、一時は平和活動のあり方に不安になりながらも、広島心を伝えていく大切さを再び確認することができました。

そのときに大切なのは、相手の立場を考えるとという視点だという発見もありました。これからの広島の平和運動について新たな提案をしたい、そう思ってこの作品を制作しました。

4 4 VM部門 広島県 広島県立広高等学校 神楽 ～時代と共に生きる～

いま伝統芸能は後継者不足など多くの問題を抱えています。しかし私達の住んでいる地域に伝わる小坪神楽にはそのような問題はありません。逆に希望者が多くて悩んでいるそうです。小坪神楽がこのように盛んなのは、以前後継者が不足した時、初めて舞子の中に女性を入れたからです。このように伝統の中にも新しい考え方を取り入れることが、これからの伝統芸能の継承には必要なのではないかと思いますこの番組を制作しました。

45 AP部門 山口県 山口県立山口農業高等学校 アタシは農高の牛

アタシは農高の牛、名前はマリリン。生まれた時はダイゴロウ、つまりオカマの牛ってわけ。ていつって農高にはオスの牛なんて一匹もないの。だってみんな去勢牛ニューハーフなの。そんな、みんなの知らないニューハーフ牛の世界へみなさんを御招待しようかなア。ってことで、アタシ達の世界へむかって Here we go!!

46 VM部門 山口県 山口県立山口高等学校 シンプル イズ ベスト 大内人形

私達の住む山口の文化とって、思い浮かんでくるのが、かの有名な雪舟が活躍していた時代に栄えた「大内文化」です。京都の文化を多く取り入れた「大内文化」は、今でも山口市の基盤目状の道路などで見ることができます。「大内人形」もその中の一つで、独特の形とかわいらしい容姿がとて印象的な人形です。そして、私達は大内塗りのお店を訪ねたり、伝承センターで大内塗りを体験させてもらったりしていくうちに、実は、「大内人形」の無駄な飾りを捨てた単純さこそ、この人形の魅力なのではないかと思えるようになってきました。

”シンプル イズ ベスト”こそが大内人形の魅力なのです。このビデオを見て、この人形の良さを見てもらうと同時に、現代の女子高生のオシャレを見直すという面でも是非見てもらいたい番組です。

47-1 AP部門 沖縄県 沖縄県立知念高等学校 ていんさぐぬ花

沖縄には、「ていんさぐぬ花」というわらべ歌があります。「ていんさぐ」とは「鳳仙花」のことで、道端などで良く見かける馴染み深い花です。沖縄の子供たちは、この赤い花びらで爪を染めて遊びます。このわらべ歌も、花と同じように、広く親しまれてきました。ほとんどの人がいつともなくメロディーを覚え、口ずさめるほどです。

歌の内容は「ていんさぐぬ花（鳳仙花の花）は爪先に染めて遊ぶ。親の言うことは心にしっかり染めなさい。」という意味で、親の教えの大切さを教える教訓歌となっています。

高校生のほとんどは、メロディーは皆知っていますが、歌詞の意味をよく理解しておらず、「親の訓え」についても、あまり意識していませんでした。

親の世代から私たち若い世代に「心に染めておいてほしい訓え」とは何だろうと思い、取材をしました。心に染まっている親の訓えとは、また染めてほしい訓えとは何かを、改めて考えるきっかけになりました。

47-2 VM部門 沖縄県 沖縄県立知念高等学校 カーサのかほり

沖縄で古くから親しまれているサンニン。サンニンは月桃とも呼ばれ、一年中青々としている多年生植物です。その独特の香りを町の人々にかがせてみると、「ムーチ」の匂いがするという意見が数多くでました。

ムーチとは沖縄の郷土菓子の一つで、サンニンの葉で包み蒸した餅の事です。このムーチの他にもつぼや餅やアイスクリーム、そばなどにも匂い付けとしてつかわれています。

このようにサンニンの葉の香りは、人々に深く愛され続けられています。

本来カーサとは「葉っぱ」という意味の方言ですが、サンニンの葉が用いられる事が多いため、カーサだけでもサンニンとして通じるようになりました。

昔から、至る所にはえ、沖縄の人々の暮らしや文化に密着したサンニンカーサの香り、それはウチナンチュにとってふるさとの香りと言えるのです。

48 AP部門 鹿児島県 鹿児島県立鶴丸高等学校
時のいろ

広中あずさは今、親友の岡夏月と共に、眼前に広がる雄大な桜島を眺めています。いつものとおり、大嫌いな現代文の授業を抜け出して。現代文担当の真中先生は、いつも時間の使い方の大切さを訴えている先生であり、授業態度の悪いあずさを厳しく注意します。…自分の高校時代の過ちを繰り返させないために。

あずさが自然を満喫している折に、真中先生がそこへやってきます。自分たちを連れ戻しに来たと警戒する二人。しかし先生は二人に告げます。あずさが高校時代の自分にそっくりだということ。そういう時間の使い方をしてきた自分が、二回受験に失敗したこと。そして、自分の時間を彩るのは、自分なんだということ。

自分自身の『時のいろ』を定めるのは、他でもない自分自身です。みなさんは、自分自身の未来を、どのように塗り分けていきますか？

49 VM部門 鹿児島県 鹿児島実業高等学校
鹿児島茶の秘密

私たちの住む鹿児島県では、様々な文化や名産物があります。

様々な名産物がある鹿児島県は、お茶の生産量・耕地面積共に、静岡県に次いで第2位という実績を持っています。

お茶には、多くの種類がありますが、実は同じ茶の樹から出来ており、作り方によって違うお茶が出来ます。様々な機械で揉んだり乾かししたりして、おいしいお茶が出来るのです。

鹿児島県の知覧町で作られているお茶は、静岡県のお茶より生産量・出荷量が年を重ねるごとに増えてきています。

鹿児島県のお茶の生産量・出荷量が多いのは、耕地面積が広いので、大量に出荷することが可能だからです。

「鹿児島県のお茶は美味しい」と、全国にその名をとどろかせています。

この番組は、全国でも高い評価を得ている鹿児島のお茶の秘密について探ってみました。

50 AP部門 熊本県 熊本県立菊池高等学校
家族乱欒

今、私たちの家庭から家族団欒の風景が消えつつあります。この会場にいらっしゃる皆さんも夕食を一人でとり、夜テレビの前にぼつんと座ってはいませんか。

私たちはこの作品を通して家庭から家族の団欒が失われる怖さを考えてもらおうと思い、この作品を制作しました。

51 VM部門 大分県 大分県立舞鶴高等学校
ざびえる～伝えたい味～

『南蛮菓「ざびえる」』は大分を代表とするお菓子として、長年たくさんの人に愛されてきました。ところが、2000年10月23日、製造会社の倒産によりお客さんに惜しまれながらも販売停止となりました。

そんな中、元従業員の数名が伝統の味「ざびえる」を復活させようと立ち上がり、2000年3月、新会社「ざびえる本舗」を設立したのです。

この番組は「ざびえる本舗」の人達だけでなく「ざびえる」に関わるすべての人達の復活にかける思いと復活までの道のりを紹介し、伝統を守り続けるすばらしさを伝えたいと思い、制作しました。

5 2 VM部門 熊本県 熊本県立大津高等学校
石橋にみる浪漫

熊本のあちらこちらに見られる文化である「石橋」。その存在に気付いている人は少ない。しかしその石橋造りに命をそそいでいる人がいることを知っているのでしょうか？ 私達はそのように日常に埋もれそうな文化にスポットをあて、番組を作りました。

今は最新テクノロジーを使った物がふえ、古い物は時代の流れにのりおくれ忘れられつつある中で、私達の地元で残されている身近な消えゆく文化である石橋を石工の方の目を通して見ました。みなさんも自分の身近にありながら忘れがちな文化にふれてみてはいかがでしょうか。

5 3 AP部門 佐賀県 佐賀県立佐賀北高等学校
干潟に燃えるシチメンソウ

佐賀県佐賀郡東与賀町。有明海に面するこの町では、秋になると干潟が赤く燃え上がる光景を見ることができます。これがシチメンソウです。

有明海は、ムツゴロウをはじめとする珍しい生物が多数生息していることでも知られており、県民にとっては豊かな恵みをもたらす宝の海です。しかし阪神・淡路大震災以降、津波対策として堤防を強化する必要に迫られ、自生しているシチメンソウをすべて撤去しなければなりません。

そこで地元町民で作る「シチメンソウを守る会」では、移植計画を立て、長年にわたる研究と地道な移植作業によって、シチメンソウをよみがえらせました。

今年も地域の人に守られて、干潟で見事に燃えているシチメンソウを見ることができそうです。

5 4 VM部門 長崎県 長崎県立長崎南高等学校
今に生きる絆～長崎に息づく中国～

鎖国時代の長崎は、日本で唯一世界に開かれた街でした。そして、唐人屋敷を中心にさまざまな中国文化が長崎の街と人々に伝わりました。それらは今も長崎に息づいています。

それから時は流れましたが、今、新たに「ヤンコ踊り」が長崎に根付こうとしています。この踊りは中国東北地方で農民が豊作を願って行うものです。昨年、長崎市は、これを市民に広めようと、中国からの留学生を迎えてヤンコ踊りの伝習所を開きました。伝習所の練習におじゃますると、塾生のみなさんは日本ではまだ珍しい踊りをとても楽しそうに踊っていました。講師の温さんも祖国の踊りを長崎の人たちに伝えようと一生懸命です。先日長崎市が主催して行われた「長崎おどりちゃんぽんフェスタ2001」では、温さんをはじめ、塾生のみなさんは今までの練習の成果を発揮し、ヤンコ踊りは大成功を収めました。

今に生きる中国と長崎の絆は、新たなつながりを得てさらに強まろうとしています。

5 5 VM部門 佐賀県 佐賀県立小城高等学校
ようかんの町で

私達の学校のある小城町は九州の小京都と呼ばれています。

小京都には必ずあると言っても過言ではない名物のお菓子。小城の伝統菓子は「ようかん」です。羊羹は小城の主要な産業なのです。

その羊羹について私達の学校の生徒やOB・OGにインタビューしてみました。

そして、小城と羊羹の結びつきを表現したいと思い、この番組を制作しました。

5 6 VM部門 佐賀県 佐賀県立佐賀東高等学校
紀元前の来訪者～佐賀に残る徐福伝説～

佐賀東高校の側には、「徐福」の名が付いたサイクルロードがある。徐福は始皇帝の時代に、大陸から日本へやって来た人物とされている。私たちは徐福について、「彼」の視点で調べてみることにした。

「彼」は徐福関連の場所をいろいろ訪ねてみる。徐福は始皇帝の命を受けて、不老不死の薬を求めて日本へやって来たと言われている。しかし、徐福長寿館であるビデオを見た「彼」は、この説に疑問を持ち始める。「彼」は独自の説を立てる。それは、徐福が圧政をしていた始皇帝から逃げてきたというものである。日本へ逃れた徐福は、農耕が遅れていたのを目にし、佐賀だけでなく、日本各地に稲作を伝えた。「彼」が落ち着いた仮説は、「徐福は日本に稲作を伝えた渡来人のひとりで、日本文化の創始者である。」というものだ。

「徐福」が私たちに残したものは、既成のことが必ずしも真実であるとは限らず、新しい視点で物事を見るのも大切だということなのかもしれない。

57 AP部門 福岡県 福岡県筑紫高等学校 筑紫草子～そこに私がいた

「こんな学校、来るんじゃないか」と言うのが、我が校現役生の口癖です。学校の風紀が、他の学校よりも厳しい、「勉強勉強」と、勉強のことばかりうるさく言われる、学校行事に魅力がなく、面白くない、と、そういうところが主な原因らしいのですが、親や学校周辺の大人から評判がいい割には、生徒には人気がありません。

そんな我が校でも、「私は筑紫に来てよかった」という人たちがいます。それは、筑紫の卒業生です。けれども、卒業生たちも「こんなところに来るんじゃないか」と、在学中は思っていたそうです。では、いったい何が卒業生に「この学校でよかった」と言わせているのか。それを私たちに考えてみようと思いました。「他校とは何かが違う、ツマラナイ」と評判の校内行事を通して、筑紫高校に教育実習生として戻ってきた卒業生の目で番組を作成してみました。

58 VM部門 福岡県 福岡市立福岡女子高等学校 博多カタカタ

私たちの町、博多にはたくさんの伝統工芸があります。

博多人形、博多ばさみ、曲げ物、張り子……。その中で私たちは博多織にスポットを当ててみました。

近年、後継者が少ないため失われつつある伝統的な手織り。その大切さを宮本さん、熊谷さん、木村さん、一木さんの4人の方々を通して伝えるため、制作した番組です。

この番組を見て、伝統について改めて考えてみてはいかがでしょうか。

59 VM部門 福岡県 筑陽学園高等学校 宝満山から後ろとび

思いきったことをする時には「清水の舞台から飛びおりる」といいますが、福岡県の筑前地方では「宝満山から後ろ飛び」と言います。宝満山では、昔、山伏が修行していました。その為、現在の登山コースには、修行の跡が数多く残っており、大変険しくなっています。しかし、大人から子供まで、多くの登山者が訪れています。

なぜ人々はこの険しい山に登るのか、そして、多くの人々を引き付ける宝満山の魅力とは何かを追求するために、この番組を制作しました。

60-1 AP部門 神奈川県 神奈川県立永谷高等学校 横浜名物を作ろう・石けんにチャレンジ

私たちが住む横浜に関する作品を作りたいくて、横浜発祥の物で一番身近にあるのは何かと調べたところ、石けんが思い浮かびました。横浜から広まった物はたくさんあります。その中でも石けんは、今も変わらず生活に使われているので、実感しやすいと思いました。

今の時代は、石けんがなくて買えないということはありません。しかし堤磯右衛門が石けん作りに成功するまでは、輸入物で高価だったために、庶民が買えるような物ではありませんでした。それを磯右衛門は格安で、しかも質の良い石けんを作り出したのです。

日本初の石けん製造者、堤磯右衛門が石けん作りを一から始めていく様子を、私たちが実際に石けんを作りながら追っていきます。石けん作りはまるで料理。そこで、本当の料理番組のようにして作り方も紹介しています。あたりまえすぎて見落としがちなの「過去」を拾って、現代と繋ぎ合わせてみました。

60-2 VM部門 神奈川県 神奈川県立永谷高等学校 合格祈願に行こう！～永谷天満宮～

受験生になると誰もが神頼みをしたくなります。受験を控えたある日、女の子が学校の近くにある永谷天満宮に合格祈願に行きました。そこで女の子を迎えてくれたのは牛でした。彼女は牛の案内で永谷天満宮の歴史探検の世界を体験します。

永谷天満宮は日本三体天満宮といって、菅原道真が自ら彫った像が安置されています。その像は道真が左遷された時に彫られた三体のうちの一つで、父の左遷により失脚した息子の敦茂によって永谷の地にもたらされたものだったのです。彼女はその像が今でも大切に伝えられているという秘話を知り、気持ちも新たに合格祈願をするのでした。

番組のための取材を通じて、私たちの身近にある永谷天満宮にもこのような歴史的な秘話があることを知りました。このドラマを通して、身近にある意外な歴史に触れてもらえればと思います。

61 VM部門 神奈川県 神奈川県立六ツ川高等学校 食王<Shokking>

気候・風土に恵まれた町、神奈川県鎌倉市。昭和14年11月、鎌倉・腰越の両町が合体、市制を施行して鎌倉市となり、同23年に深沢町と大船町を編入して今日に及んでいます。昭和41年、奈良・京都と共に「古都保存法」が成立したこの町は鶴岡八幡宮・鎌倉五山・鎌倉大仏をはじめ古社寺・旧跡が密集していて祭りや花の名所も多く、1年中観光客が絶えません。

そんな鎌倉五山の一つである臨済宗建長寺派大本山・建長寺は建長五年（1258年）に北条時頼が中国、宋の名僧・蘭溪道隆を招いて日本最初の臨済禅専門道場として創建されました。

実はこの建長寺と誰もが知っている料理「けんちん汁」が深い関係があると知り、調べていくうちに、意外とこの事を知っている人が少なかったのも、いろんな人達に知ってもらおうと思い、この番組を制作しました。この番組を通じて古都・鎌倉に興味をもってくれれば幸いです。



アナウンス部門原稿

1 曾我佳菜子 福岡県 福岡県立嘉穂東高等学校
アジアを結ぶ「アイガモ農法」

(スライド1) 嘉穂郡桂川町に住む古野さんは、「アイガモ農法」をアジアの国々に伝えています。「アイガモ農法」とは、水田の雑草や害虫をアイガモのヒナに食べさせ、完全無農薬で行う農法のことです。

(スライド2) 今から七年前、古野さんは「アイガモ農法」を教えるため、日本国際ボランティアセンターからベトナムに派遣されました。その後もアジアの各国から招かれ、今ではアジア全体に「アイガモ農法」が利用されるようになっていきます。

(スライド3) ベトナムでは、アイガモのおかげでそれまで稲の葉をかじっていたねずみがいなくなったそうです。

(スライド4) 韓国では、台風の際に、「アイガモ農法」の水田だけが被害を受けず、テレビでも取り上げられたといわれています。

中国の三つの省でもすでに取り組みが行われており、海外でも「アイガモ農法」は好評のようです。

(スライド5) アイガモたちの力を借りて、アジアの農民と一緒に水田農業を楽しく発展させたいという古野さんの夢は、着実に実を結ぼうとしています。

2 諫山寛子 福岡県 福岡県立柏陵高等学校
およげ ぱちゃぼ

(スライド1) 水泳界のワールドカップとも言える世界水泳選手権大会が、今年はこの福岡で開催されます。7月16日から29日まで、福岡マリンメッセを会場として、世界130を超える国と地域から選手・役員約3000人が参加し、熱戦が繰りひろげられます。競技種目は競泳・飛び込み・水球などです。

大会役員をつとめる柏陵高校の周崎先生は、「オリンピックよりハイレベルな世界水泳選手権大会福岡2001。選手は世界一をめざして大会にのぞんできます。」と話してくれました。

この大会のマスコットキャラクターは、河童をモチーフとした「ぱちゃぼ」。(スライド2) 九州なかでも福岡には河童にまつわる伝説が多く、河童は水の精として身近に親しまれています。

(スライド3) 水泳を通して世界の国々が出会い、交流する世界水泳選手権大会。世界各国の選手たちが河童のように自由で見事な泳ぎを見せてくれることでしょう。

この夏「ぱちゃぼ」がみなさんをお迎えします。

3 今岡輪希子 福岡県 福岡県立城南高等学校
アムネスティ・インターナショナル福岡

福岡市在住の高柳英子さんは、アムネスティ・インターナショナルの会員です。アムネスティとは、世界中の人権侵害を無くすために活動している国際的な市民運動です。ここ福岡にも、二十年以上前からアムネスティの福岡グループがあります。高柳さんはこの活動を発足当時から支えてきました。現在彼女が行っているのが、「手紙書き」という草の根運動です。差別によって不当に囚われた人々の解放のために、手紙を書くことで国際的な支援をするというものです。また、そのことを多くの人に知ってもらおうと、海外から人を招いての講演会や交流会も行っています。

高柳さんは、「いろんな人の生の声にふれて事実を知ったとき、初めて自分に何が出来るかが分かります。誰かに何かをしてあげたいという気持ちは世界共通ですからね。」と話してくれました。

「誰かのために何かをしたい」。高柳さんの思いは、国境を越えて、今日も誰かの心に届いていることでしょう。

**4 渡辺麻衣子 静岡県 静岡県立清水東高等学校
モリン・ホール**

「モリン・ホール」というモンゴルの民族楽器を知っていますか。日本名は「馬頭琴」・・・馬の頭の琴と書きます。糸巻きの部分に馬の彫刻をほどこした独特の姿をしていて、音色が子馬を亡くした母馬のせつない泣き声と似ていることから、その名がつけました。この馬頭琴が、英語部の国際交流班が主催している「アジアを知ろう」というイベントの一環として、今月十日まで多目的ホールに展示されています。

部長の大江君は「普段はなじみのないアジアの国々にも目を向けて欲しいと思い、今回はモンゴルを取り上げました。皆さんがアジアへの理解を深めるきっかけになったらいいですね。」と話しています。

ホールでは、馬頭琴を即興で演奏するビデオの上映も併せて行っています。

モリン・ホール・・・「馬頭琴」、皆さんもこの楽器の音色に耳を傾け、モンゴルの大地を感じてみてください。

**5 五十嵐 雅 静岡県 静岡県立清水東高等学校
JRC活動報告**

「大河の一滴かもしれませんが、やるしかありません。」

控えめながらも自信を持ってこう話してくれたのは、JRCの加藤順子さんです。

今、タンザニアの山岳地帯では内戦による混乱で、大勢の難民が不自由な生活を強いられています。食べるものや着るものはもちろんのこと、寒さをしのぐ毛布さえありません。そこで清水カトリック教会が中心となり、古着を送る運動が始まりました。

こうした呼びかけに応じて、我が校のJRCも古着やバスタオルを集める支援活動を始めることになりました。

代表の加藤さんは

「私一人の力では何一つできません。わずかな水滴が集まって大きな河になるように、みんなの心の一滴が必要なんです。」と話しています。

私たちの町から発信されたこの小さな運動が日本中に広がっていくといいですね。

**6 山本早華 静岡県 静岡県立清水南高等学校
異文化へのとまどい**

皆さんは、外国の人に握手を求められ、戸惑ったことはありませんか？普通、日本人は挨拶をする時、お辞儀をします。一方アメリカでは、握手をするという異なった習慣があります。習慣として身に付いていない事を自然に行うのは、とても難しいことですよね。

日本に住み、日本の企業に勤めているラルフさんは、「私は、日本語を喋りますが、それでもコミュニケーションについては、なかなかしっくりきません。お辞儀一つとっても、どのようなお辞儀をすべきか、慣れるまで相当難しく感じられました。」と言っています。私たちが握手を求められた時戸惑いを感じるように、外国の人もお辞儀をする時は、同じように戸惑いを感じています。

私たちは、日本人は引っ込み思案で外国人は堂々としていると思いがちですが、異なる習慣に戸惑うのは、日本人でも外国人でも変わりません。そのような事を考えた上で交流することが、外国の人の心に近づくための、第一歩かもしれませんね。

**7 島村美絵子 高知県 土佐女子高等学校
交換留学**

私達の学校の交換留学制度は、10年前にロータリークラブのお世話で始まりました。留学生達は何を感じ、どんな生活をしているのでしょうか。

留学一ヶ月でホームシックにかかった柚村詩乃さんは、日本の友達からの手紙に励まされました。

「気持ちを伝えられないもどかしさを乗り越えられるのは詩乃ちゃんだけなんだから。」という手紙のおかげで、自分で頑張るしかない、と思ったそうです。そして、それまで以上にホストファミリーや友達との時間を大切にしました。

カナダから来たエリカ・プライドールさんは、頭痛やめまいに苦しみました。自分はダメな人間だと思い、留学経験のある先生に相談しました。「誰だって日本語の生活は疲れるよ。大丈夫、慣れてくるから。」と聞いて少し安心しました。

もうすぐ一年間のアメリカ留学を終える川本弘賀さんからメールが届きました。「トラップとダンスとサッカーの毎日です。アメリカの空気を肌で感じながら、自分自身を見つめ直しています。」

留学生達はそれぞれの国で自分さがしの大切な時間を過ごしています。

8 門田舞 高知県 高知県立高知南高等学校 コミュニケーション

(スライド1) 先日、高知市でフードフェスティバルが開催され、イラン出身のフルゾン・アリさんが、イランの家庭料理を教えてくださいました。

(スライド2) アリさんは、日本に来て十年、日本語がとても上手で、日本人とのコミュニケーションには何の問題もないようです。でも日本に来たばかりの頃は、言葉がわからず、文字も読めなくてとても不安だったそうです。

(スライド3) アリさんに、コミュニケーション上達の秘訣を聞いてみました。

「私が一番大切にしてきた事は、自分の文化を百パーセント忘れて、相手の文化を一生懸命理解することです。自分の文化を基準にしてあれもこれもしない、では、いつまでも困るだけです。相手の文化を理解すると、自分の文化との共通点も見えてきて、だんだん順応できるようになるのです。」

(スライド4) 自分の文化を忘れてしまうなんて、大胆な方法ですね。でもそうやって幾つかのステップを経て、今、イランの文化を私達に教えてくれるアリさんがいるのでしょう。日本人の奥さんと、日本で生まれた子供達を見つめる幸せそうな横顔が、とても印象的でした。

9 福井 美和 高知県 高知県立須崎高等学校 海外体験

葉山村では毎年学生がタイやカンボジアに友好訪問する海外生活研修事業が行われています。

その目的は海外の人たちとの交流、文化や伝統などに触れながら国際感覚を身につけて日本を見直してみようというものです。

これについてこの事業の団長、大崎敏正さんは、「タイやカンボジアはおおらかな人が多く、一昔前の日本の田舎にあったような風景も垣間見ることができました。そして観光という条件を差し引いても外国へ旅するには英会話能力が必要であると改めて感じました」とその状況を思い出しながら話してくれました。

積極的に話しかけてくる現地の子供達に少しでも答えたいという大崎さんの想いを感じました。

近年急速な発展を遂げ、経済大国と言われるまでになった日本の子ども達にはとても貴重な体験になっています。

10 徳増沙織 愛媛県 愛媛県立今治西高等学校 国際交流協会員・矢野さんたちの活動

(スライド1) 世界の人々と交流し、お互いをよく知り、私たちの今治をもっと紹介していきたい。国際交流協会は、そのために、様々な活動を企画、運営しています。

(スライド2) 9月11日に今治市の住民センターで開かれた、「ハンガリー民族音楽舞踊団」の公演も、この協会の活動の一つです。ハンガリーから招いた団員の方々は、今治にホームステイをしました。今回訪れた皆さんの公用語は、ハンガリー語とドイツ語という会話が難しい中での交流でした。(スライド3) 協会員の矢野みづほさんによると、言葉の壁はあっても、一番大切なことは、お互いに理解しようとする心がけだったそうです。

これからも、広く外国の人々と交流するにつれ、慣習、宗教などの違いを感じることもあるかもしれませんが、それでも、お互いを認め合いながら、同じ人間だという地平に立つこと。矢野さんたちの相互理解への活動は、今始まったばかりです。

**1 1 矢野真未 愛媛県 愛媛県立松山西高等学校
「書」から始まる国際交流**

「小さい頃からやってきてよかった。やめなくなる時もあったけど、練習の成果が発揮できてうれしい。」

九回目を迎えた国際高校生選抜書道展。今年も二十三国から五万人以上の応募がありました。三年生の古田菜美子さんも、今回応募して見事入選しました。

小学校二年生から書道を習い始めた古田さんは、今まで多くの書道展に出品してきました。入選できなかった時は、悔しくてがむしゃらに書いたこともあったそうです。古田さんは、

「書は、追求してもキリがなく、何年やっても難しい。だからおもしろいんです。私は書を通して、いろいろな国の人にこのおもしろさを教えたい。」と、抱負を話してくれました。

外国人と交流するためには、まず自分の国の伝統や文化を詳しく理解することが大切なかもしれませんね。

古田さんの夢は、早く師範の資格をとり、外国人の方に書道を教えることです。今回の受賞は、彼女を支える大きなきっかけとなったようです。

**1 2 白石 理菜 愛媛県 愛媛県立松山東高等学校
松山ダンスウェーブ**

(スライド1) 2001年春、松山でドイツ・フライブルクの(スライド2)ダンサーとの共同公演が実現します。

松山市は1998年から、現代ダンスを通じた国際交流に取り組んでいます。「松山ダンスウェーブ」と呼ばれるこの試みでは、(スライド3)参加者が、与えられたテーマを、全身の動きで表現する研修会を開いてきました。来年の公演は、その集大成となるものです。松山で親子二代にわたってダンスを教えている森はるみさんは、「ダンサーが広い視野を持ち、(スライド4)世界と関わることで、ダンスはより新しく、個性的になります。」と話して下さいました。

言葉を使わず、体の動きで感情を表現するという、最も原始的な行為。それが今、現代ダンスという形で、世界共通語になろうとしています。

(スライド5) 私たちは、外国の人とのコミュニケーションを言葉を中心に考えがちです。まずは気持ちを表すという原点に帰って、行動してみてもはどうでしょうか。

**1 3 白土幸恵 茨城県 茨城県立日立第二高等学校
海を渡った雨情のうた**

野口雨情という名を耳にしたことはありませんか。彼は茨城で生まれた童謡作家です。「七つの子」「しゃぼん玉」など親しみやすい童謡をつくったことで知られています。

今日は彼の代表作である「青い目の人形」についてお話したいと思います。

大正11年に関東大震災が起こりました。

アメリカをはじめとする国々から支援を受け、日本は復興することができました。その時、同情を寄せてくれたアメリカ国民の心に感謝するために、童謡を普及する活動をしてきた使節団がアメリカに渡りました。彼らはアメリカの各地で童謡を歌いました。その中でアメリカ国民に最も喜ばれたのが、「青い目の人形」だったのです。

70年以上も前に、アメリカに渡った雨情の歌。この歌は、確実にアメリカ人と日本人との心をつないだのです。

**1 4 後藤 千鶴 茨城県 茨城県立日立第一高等学校
地球の市民として**

みなさんのまちには、どれくらいの外国人が生活しているのでしょうか。私たちのまち日立市には、約千三百人の外国人が生活しています。日立市の姉妹都市は、アメリカのバーミングハム市と、ニュージーランドのタウランガ市です。それぞれの国から、ALT(外国語指導助手)の採用をしたり、お互いに市民訪問団を派遣しあったりと活発な交流が行

われています。

日立市民がボランティアとして、英文の情報紙を年に十回発行したりもしています。これは外国人のために、地域のイベント情報や日本文化の紹介を記事にしたものです。

他にも、留学生のための寮や、日本語教室など、外国人が快適に暮らせるような施設が近年増え続けています。

地球的な規模での国際化。私たちもこれから、外国人とふれあう機会が多くなります。その時に私たちはどんなことができるか、どんなふうと一緒に楽しめるか。同じ地球の市民として彼らと快適に生活していける方法を、これからも考えていきたいものです。

15 今井麻矢 東京都 昭和女子大学附属昭和高等学校 キャロットタワーからの世界文化

田園都市線三軒茶屋駅から徒歩2分、三軒茶屋の中心にスッとそびえるオレンジ色のビル「キャロットタワー」。このビルの3階のエレベータを降りるとさまざまな工芸品に彩られた異文化の空間が広がります。

ここでは5月19日から27日まで「チュニジアまるごと体験」と題して、カルタゴの遺跡やサハラ砂漠で有名なチュニジアを紹介しています。チュニジアの文化を工芸品、映画、料理などを通して体感できます。

主催者の鈴木律子さんは「チュニジアを見て、聞いて、味わって、文字通り五感を通して体験して欲しいです」と話してくださいました。

実はこの鈴木さん、私生活でも国際交流がライフワークとなっていて、ご自宅近くの墨田国際交流ネットワークに入られて活動されています。

「心と心の触れあいに国境はありません」と語る鈴木さん。今後はミャンマーやパキスタンなどの展覧会を予定されています。

今、三軒茶屋のキャロットタワーから世界の文化が発信されています。

16 萩本朋子 東京都 桐朋女子高等学校 外国人居住者との共生

(スライド1)「新宿に小さな韓国があります」

これは、JR 山手線新大久保駅にある看板です。(スライド2)ここ新宿区大久保は、明治時代から留学生の受け入れ地域だったため、人が人を呼び、今では、住民の三人に一人が外国人です。

このような環境の中で、「外国人と共に暮らそう」と街づくりをしているグループがあります。(スライド3)「共に住む人たちの懇談会」、略して『共住懇』です。九年前に発足した共住懇は、地域の外国人の協力を得て、シンポジウムや勉強会を行っています。(スライド4)また、二ヶ月に一回、情報誌『おおくぼ』を発行し、国際交流のイベントなどを紹介しています。

代表者の山本重幸さんは(スライド5)「外国人、日本人という枠を超えて、誰にとっても住みやすい街をつくりたい」と話していました。共に暮らしていく中で、お互いの文化を少しずつ理解していく。そんな小さな一歩が、誰にとっても住みやすい街をつくっていくのかもしれない。

17 柳沢美沙子 東京都 江戸川女子高等学校3年 中国の親善大使

1972年9月29日。この日、日本は中国との日中共同声明の調印にいたり、両国の国交は回復されました。

これを記念して、中国は日本へ中国だけに生息する希少動物、ジャイアントパンダを贈ることに決定。同年秋、10月28日にはオスのカンカンとメスのランランが上野動物園に到着しました。

11月5日より一般公開され、何万人もの見物客が押し寄せましたが、あまりの混雑のため、足を止めてゆっくり見物することはできなかったそうです。彼らの人気の秘密は愛敬のある顔とかわいらしい動作。現在でもパンダは園内で一番人気のある動物で、世代交代を繰り返しながら、今はオスのリンリンが元気に暮らしています。

日本と中国の架け橋となるためにやってきた親善大使ジャイアントパンダ。三十年たった今でも、彼らは日中友好の象徴として親しまれているのです。

**18 佐藤瞳 宮城県 常盤木学園高等学校
我が街 仙台**

今、人気のメジャーリーグ。イチロー選手に新庄選手、日本のプロ野球選手も大活躍をしています。みなさんは、メジャーリーグについて、どのくらいの知識がありますか？

ご存知の通り、宮城県出身の大魔人こと佐々木主浩投手は、シアトルマリナーズに入ってから今年で2年目となりました。先日、久しぶりに仙台に帰ってきた佐々木投手は、中心部にある駄菓子屋さんに足を運びました。

高校時代、毎日のように通った思い出の駄菓子屋さん。駄菓子屋のおばちゃんも「おかえり。」と佐々木投手を快く迎えてくれました。試合では絶対に見せない懐かしく嬉しそうな顔。佐々木投手の意外な一面を見ることができました。

日本の大魔人から世界の大魔人へ羽ばたいた佐々木投手のこれからの活躍が楽しみです。ね。

**19 山田明子 宮城県 常盤木学園高等学校
はばたけ宮城**

宮城県仙台市の冬の風物詩は、光のページェントです。無数の電球が中心部の定禅寺通りにあるケヤキのアーチを光の世界へと変えてしまいます。この期間に行なわれるイベントの1つに、「サンタの杜の物語」というパレードがあります。ユーモアたっぷりのサンタの衣装に身を包んだ大勢の一般参加者達が、光のアーチの中を練り歩きます。

去年は市内の英会話学校の先生方のグループが白ひげのサンタの格好で歩き、喜ぶ子供たちにキャンディを投げるというパフォーマンスで盛り上がりました。その中の1人、カナダ出身のデイビッド先生は、サンタのパレード3度目というベテラン。そればかりか、5月のすずめ踊りや8月の仙台七夕祭りのパレードなど、宮城のイベントにはとにかく参加するというお祭り好き。そんなデイビッド先生は、今から、今年の12月に向け、趣向をこらしたサンタの衣装作りに励んでいます。

**20 小笠原みさと 宮城県 宮城県第三女子高等学校
支倉常長と今**

今、よみがえる支倉常長の足跡。

今から400年前、仙台藩祖・伊達政宗の命を受け、ローマ法王に謁見した一行がありました。支倉常長率いる「慶長遣欧使節団」です。これは、日本とヨーロッパの初めての外交交渉でした。しかし、そのころ日本では幕府の対外政策が進んでおり、その後の外交交渉は失敗に終わったのです。{スライド1} 常長の肖像画にある折り畳みの跡は、キリシタン弾圧の象徴とされています。

帰国後の常長は不遇でしたが、その功績は高く評価されています。{スライド2} 今年の4月、一行が立ち寄ったキューバに常長の銅像が建てられました。お互いの友好を象徴する像の完成です。

2001年、新世紀スタートの年。仙台は開府400年を迎えました。それに華を飾るかのように、常長資料は国宝に指定されました。

日本の国際交流の原点、支倉常長。私たちの誇りです。

**21 青野貴子 富山県 富山県立呉羽高等学校
スリランカの塩**

富山の障害者施設、おわらの里ふれあいホームではスリランカの塩を売っています。スリランカでは内戦で孤児となった子どもたちを助けるために、塩を輸出していました。

この塩は、もともと愛知県にある杜の家で売られていましたが、障害者施設どうしの交流をきっかけに、ふれあいホームでも売り始めることになりました。一つ売れると、自動

的に百円がスリランカの孤児院に送られることになっています。

ふれあいホームのスタッフである岩倉さんは、「スリランカでは、五千円あれば一人の子どもが一年間暮らして、学校にも通うことができます。塩を売ることによって子どもたちを助けることができ、とても嬉しく思っています。」と、話して下さいました。

去年は十万円を寄付したふれあいホーム。

私も、これからこの活動に参加してみようと思います。小さなことから子どもたちを助けられるかもしれません。皆さんも、何かできることから始めてみてはどうでしょうか。

2 2 奥村利恵 富山県 富山県立魚津高等学校 ストリートチルドレンを救うために

滑川市の按田美緒さんは、今年5月、県青年の翼の一員として、ベトナムを訪れました。そこで出会ったのが、この国に約5万人いるといわれるストリートチルドレン。住む家もなく、通りで物を売って生活する子供たちでした。「彼らのために何かできることはないか？」日本に帰った按田さんは、仲間たちと募金活動を始めました。

チラシ配りや会社回りなど、集まったお金は、ハノイ市のストリートチルドレン収容センターに送ることにしました。ここでは、孤児たちがボランティアの女性と共に暮らしています。

「路上生活に比べ、一見恵まれてみえますが、ここでも毎日一枚のお皿にわずかな食糧しか与えられない状態なんです。」

と按田さんは言います。

本業の看護婦の仕事の合間をぬって、ベトナムからの留学生の支援活動もこなす按田さん。

「一人でも多くの子供たちを幸せにしたい。」

彼女の挑戦は、始まったばかりです。

2 3 若狭詩織 富山県 富山県立富山北部高等学校 フラメンコ～情熱のリズムに乗せて～

(スライド1) スペインの伝統的な舞踊であるフラメンコと富山県。一見むすびつかないもののようですが、実は富山の地で本格的なフラメンコを体験することができます。

(スライド2) 富山新聞が主催する文化センターでは、舞踊家として活躍中のスペイン人、メンヒバルさんを招いて、フラメンコのレッスンが行われています。

教室には、小学生から高齢者まで様々な年齢層の受講生がいます。(スライド3) レッスンではメンヒバルさんの動きに合わせて、カスタネットやサパテアードと呼ばれる足踏みなど、基本的な練習を繰り返していました。

(スライド4) 「日本の人達が、本場のフラメンコを基本から身につけることで、より深くフラメンコの魅力を理解し、楽しんでもらえると思います。」と語るメンヒバルさん。そんなメンヒバルさんの夢は、日本各地にスペイン舞踊を広めていくことです。

(スライド5) 「感情表現が豊かなフラメンコが大好きです。」と語ってくれた受講生の真剣な表情。そしてメンヒバルさんのフラメンコにかける情熱が一つになって、サパテアードのリズムが響きます。

2 4 岩本 彩 長崎県 長崎北陽台高等学校 「外人墓地にたたずめば」

(スライド1) 江戸時代の長崎は、海外に開かれた日本の窓として、多くの外国の人々が訪れました。中には、文明開化で激動する日本の運命に深く関わり、日本で一生を終えた人々も少なくありません。

長崎にはそういう人たちが眠る国際墓地が三箇所あり、20カ国、約1500人の人々が葬られています。(スライド2) 最も古い中国人墓地は、約400年前に設けられたもので、今も中国盆の頃には、墓前に額づく華僑の人たちの姿が絶えません。

(スライド3) 最も規模の大きい坂本国際墓地は、長崎を見下ろす小高い丘にあり、明治維新の立役者の一人である坂本竜馬とも交渉のあった、貿易商トーマス・グラバーの家もここに葬られています。(スライド4) この他にも、お国柄を偲ばせる様々の形をし

た大小の墓石が並んでいますが、今は訪れる人も少なく、静かに時だけが刻まれています。
(スライド5) 昨年はオランダとの交流400年を記念して、様々な催しで賑わった長崎の町ですが、今この墓地にたたずむと、かつて情熱を燃やして日本の歴史を動かした異国の人たちの息吹が、改めて感じられます。

25 北村光愛 長崎県 長崎県立佐世保南高等学校 アルカスSASEBO

(スライド1) 海の町、佐世保。この佐世保の町に、今年三月、文化施設「アルカスSASEBO」がオープンしました。船をイメージしたその建築は、長崎県の文化が海からもたらされたことを象徴しています。

(スライド2) この施設は、二千人収容の大ホール、音楽専用の中ホールの他、三カ国語同時通訳のできる会議室など、あらゆるニーズに応じて利用できます。

(スライド3) このアルカス SASEBO の開館を記念して、来年の三月まで様々な催しが計画されています。その最後を飾るのが、市民によるオペラ「魔笛」です。このオペラは、ダンス・演奏から衣装まで全て市民によって作られます。さらに、質の高いオペラにするために、また一つの文化を国内外で共有するために、主役の二名は中国人の歌手の方の参加が決まっています。

(スライド4) 事務局長の小浦康正さんは、「文化とは作り上げていくものです。このオペラを市民の手で作ることでアルカスから文化を発信したい。」と話してくださいました。

(スライド5) このアルカス SASEBO を拠点に、文化の町としての新しい佐世保が動き出しています。

26 野口翔 長崎県 長崎県立長崎西高等学校 長崎からの日中友好

300年前の唐人屋敷の開設など、深く長い交流を続けてきた長崎と中国。

今でも、(スライド1) 崇福寺、ペーロン、ランタンフェスティバルや (スライド2) 新地中華街など長崎には中国の影響を受けたものが数多く残っています。

そんな長崎がいま、力を入れている交流は (スライド3) 中国への修学旅行です。歴史的な名所を見て回り、(スライド4) 生徒たちは中国のスケールの大きさに感動しています。また、中国からの修学旅行も、今年の1月初めて行われました。どちらも、必ず行われたのは現地の学生との交流です。

中国総領事館の領事、宮さんは「若い世代の交流はこれからの日中交流にとって、とても大切なことです。人と人による国民レベルでの心のつきあいが、国と国との深い関係を築きます。また、他の国を知ることによって自分の国を見つめなおすきっかけにもなるんですよ。」と話してくれました。

今年は国交回復30周年を迎えたくさんのイベントが行われる長崎。

(スライド5) 中国との交流はこれからも長く、深く続いていきます。

27 大田二葉 沖縄県 沖縄県立知念高等学校 チャンプルー文化

沖縄は、大陸に囲まれた太平洋の、ほぼ中央に位置しています。そこで、黒潮に乗って多くの人々がこの島を訪れました。

イギリスの探検家バジルホールは、ナポレオンに次のように語りました。「琉球の人々は武器を持たず、戦争をしたことがない。外敵も内敵も作らず、平和に暮らしている」と。ナポレオンは大変まごつき、仰天したといひます。

また琉球王朝時代、中国の人々はこの島を「守礼の邦」と名づけました。「礼儀を守る人々の国」という意味です。

沖縄の先人たちは、異国からの客人たちを、拒否したり、支配しようとは考えずに、礼節を持って暖かく迎え入れました。

沖縄の代表的な料理「チャンプルー」。これは、もともとインドネシア語で、「混ぜ合わせる」という意味を持っています。これに象徴されるように、沖縄の人々は様々な人と

文化を受け入れ、混ぜ合わせながら、独自の文化を作ってきました。

国際社会の現代、先人たちのその心を学び、豊かな「チャンブルー文化」を実現させたいですね。

28 金城仁美 沖縄県 沖縄県立那覇商業高等学校 黒船に乗った琉球人

(スライド1)「太平の眠りをさます上喜撰たつた四杯で夜も眠れず」と歌われたほど、日本中を騒がせた黒船来航。実は、その黒船に一人の琉球人が乗っていたのです。

(スライド2) それは通訳として同行していた牧志朝忠です。

当時の琉球は、アジアの国々と貿易を盛んに行っていました。(スライド3) 特に中国とは親密な関係にあり、毎年留学生を送り出していました。朝忠もその一人で、制度や学芸を学びました。帰国後は英語を身につけ、外国船の通訳官に なったのです。朝忠は、その英語力を生かして開国に向けての交渉という歴史の大舞台 に立ちました。

(スライド4)『ペリー提督遠征記』には「琉球はアメリカの良い友達です。」と突然英語で話しかけ、一行を驚かせたというエピソードも残っています。その後朝忠は貿易を求める国々とのパイプ役として活躍しました。

(スライド5) 四方を海に囲まれた沖縄は昔から文化の十字路といわれます。 海外に目を向けた人々の心意気を学びたいものです。

29 上地久美子 沖縄県 沖縄県立首里東高等学校 国際交流はここから・・・

「世界のウチナーンチュ大会」これは、海外に移住している沖縄県の出身者が、地元沖縄に集まって、海外での生活を伝え、故郷の人々との交流を深めるイベントです。

全国でも有数の「移民県」で、海外で生活する日系人の8人に1人は沖縄県の出身者です。富や夢を叶えるために移住し、その国の生活や文化をありのままに受け止めた移民一世達。外国で生まれながら、空手や琉球舞踊を学び、その国の人に教えることで沖縄をアピールする二世、三世の方々。これを国際交流の原点と言ってもいいかもしれません。

十四世紀の沖縄は、アジアの表玄関として中国や東南アジアとの貿易や文化交流が盛んでした。地元にはないものを海外の国々に求めていった先人達。それを地元の文化と融合させて沖縄は発展して来ました。今年は第三回目の「世界のウチナーンチュ大会」が、十一月一日から四日まで開かれます。海外の風が楽しみです。

30 太田亜希子 大分県 大分県立日田高等学校 私にできること

あなたは人のために何かできますか。三年生の高倉圭祐君は、今年の春バングラデシュに行ってきました。「アジア・太平洋子供会議」のメンバーの一人で、二度目の参加です。町では行き交う人が大人も子供も手をつないで歩いていたり、知らない人同士と一緒に歌を歌っていたりと、私たち日本人には想像もできないほど仲がよかったそうです。

一方で、彼は町にいる孤児の多さにとてもショックを受けました。

「貧しくて苦しんでいる子供が大勢いる。同じ人間としてとても悲しいことだと思う。」

高倉君は、日本に帰ってから発展途上国の人たちのために「何かしたい」と思う気持ちが強まりました。将来アジアで技術援助をする仕事につくために、今は理系に在籍し、工学部を目指して勉強しています。一年生の時にモルジブを訪れて以来の夢だそうです。私たちも、彼のように広い視野を持って、自分に出来ることを見つけていきたいですね。

31 森 郁江 大分県 大分県立三重高等学校 すてきな町

2002年のサッカーワールドカップまであと(250)日。九州では、大分県だけがワールドカップの開催地になります。その日に向けて大分県では、ビッグアイを中心に、準備が進められています。

実は私たちの町、三重町も、このワールドカップと深い関係があります。私たちの町は以前からワールドカップのベースキャンプ地として立候補していました。

そして5月30日、チェコ共和国のカレル駐日大使夫妻が、三重町を訪れました。これは三重町が「ぜひ現地を見てほしい」とお招きしたものです。

その日、三重第一小学校では「さくらさくら」や「小さな世界」を合唱して、招待の挨拶にしました。大使はブラボーと手をたたき、喜んでいました。

その後歓迎式典に臨み、神楽やソプラノ演奏でもてなされたそうです。三重町がベースキャンプとなり、ビッグアイが世界に向けて、大きな目であると同時に、大きな愛、ビッグ愛となればいいですね。

3 2 平林裕子 大分県 大分県立大分上野丘高等学校 世界から大分へ

「フィンランドの人はそんなに毎日キシリトールガムを噛んでいません。」

フィンランドからの留学生、ミンナさんはこう語ってくれました。それは世界から、大分にやってきた留学生が一同に集まった「AFS 国際交流の集い」の一場面です。スイス、ドイツ、タイ、インドネシア、フィンランド、オーストラリアなど、六カ国の留学生たちが、自分の国のスピーチをしたり、民族衣装を着て、ダンスをしたりと楽しいひとときを過ごしました。この集いを開催した AFS 大分支部の高河美智子さんは、「このような活動を通して、留学生と大分市民との相互理解を深めてほしいです。」と話してくださいました。

確かに、私たちは、実際に世界と触れ合わないまま、イメージだけで世界をとらえがちです。世界から大分へやってきた六人の留学生のみなさんは、こんな私たちに本物の世界を教えてくださいました。

3 3 早崎加奈 鹿児島県 鹿児島純心女子 高校生、県議会に進出？

(スライド1) 2001年2月16日、鹿児島県では議会開設120周年を記念して、

(スライド2) 高校生による県議会が開かれました。

これは、県の抱える問題について、高校生たちが(スライド3) 現職の県議会議員に質問をぶつけるという企画です。

(スライド4) 参加したのは、県内14の高校の代表54名。

(スライド5) 特に、農業・工業・情報といった学校の生徒たちからは専門的な質問も飛び出し、(スライド6) 答える側の議員さんも動揺。思わず答弁漏れをする一場面も見られました。

(スライド7) 会議に参加した純心女子高校の福留加奈子さんに感想を聞くと、「男尊女卑といわれる鹿児島県ですが、女性の地位向上のためのセミナーなども盛んであることを知りました」と笑顔で答えました。

(スライド8) また、鹿児島実業高校土木科の中村健太郎君は、「木に携わる勉強をしている僕は、会場に用いられている木材に注目しました。

こんな木に囲まれた場で討議がなされているなら、鹿児島の県政も安心です」と話してくださいました。

(スライド9) 1人1人が、県の未来へ目を向けた高校生会議。

(スライド10) 21世紀の鹿児島は私たちにかかっています。

3 4 下松小百合 鹿児島県 鹿児島県立鶴丸高等学校 カラモジア交流

「カラモジア交流」のことをあなたはご存じですか。からいもとは、鹿児島県の特産品さつまいものことです。このからいもとアジアを組み合わせた言葉がカラモジアです。今から20年前、過疎化、高齢化により衰退していた鹿児島の農村を元気にするため、新しい文化のムラおこしとして外国の留学生を大隅の農家が受け入れたのが、カラモジアのはじまりです。

今までに72カ国から3,196名の留学生が参加し、2週間のあいだ農家で農作業を手伝

ったり、地元の小中学生や青年団との交流を行っています。すっかり地元びいきになった彼らの中には「国に帰りたくない」と泣き出す人もいます。

留学生を受け入れている藤崎淳子さんは、「留学生が家族や友人を連れて戻ってきてくれるのがとても楽しみです。カラモジア交流を始めて、世界中に家族ができました」と話してくださいました。

鹿児島から世界へ、カラモジア交流の輪はこれからも無限に広がっていくことでしょう。世界中に自分の家族がいる。とても素敵な事だと思いませんか。

35 内山真梨子 鹿児島県 鹿児島県立加治木高等学校 真の国際交流とは？

みなさんの地域では国際交流がさかんに行われていますか？

私たちの住む鹿児島でも、多くの人たちが海外に派遣され、活躍しています。

なかでも、20年間続いているのが『MBCカラモジア少年交流』です。この”カラモジア”という名前、実は国の名前ではありません。鹿児島の特産物カライモとアジアという言葉をあわせてつけられたのです。アジアの国々に滞在し、グローバルな視点を持った青少年の育成を目的としています。

では、実際日本に住む外国人は日本にどのような印象を持っているのでしょうか。

ALTのクレアさんに聞いてみたところ「日本はとても素晴らしい国です。世界には日本のことをよく知りたいと思う人が大勢います。日本人は型にとられることなく、もっと日本のよさをアピールすべきでしょう。」と話してくださいました。

私たち日本人は外国の人を”自分たちとは違う”とどうしても意識しがちです。

しかし、それでは心まで通わせることはできません。”同じ地球人として言葉を越えてお互いを理解しようとする。”これこそが、真の国際交流ではないでしょうか？

皆さん、肩の力を抜いて、心の国際交流をしてみませんか？

36 手塚恵美 香川県 香川県立三木高等学校 歌声でつなぐ世界の輪

こんにちは。みなさんはロシア民謡といえば、どんな曲を思い出しますか。去年の夏、ロシアのレニングラード少年少女合唱団が、香川県三木町にやってきました。そして、地元のみき少年少女合唱団との合同コンサートでは、子供たちの明るくのびやかな歌声がホールに響きわたりました。

当日は、ロシア民謡の「カリンカ」「夕べの歌」をはじめ、「ホテル」「夏の思い出」など、日本の歌も一緒に合唱しました。そのあとの交流会では、七夕の飾り付けや、折り紙、ゲームなど、日本の子もロシアの子も一緒に楽しんだそうです。指導者の岡本先生は、「言葉が通じない中で、子供たちはとても仲良く歌を歌ったり、ゲームをしたりしていた。お互いに、いい経験になったと思う。」と、語ってくれました。

この企画は、三年前のハンガリー少年少女合唱団との合同コンサートに続くものです。遠い国どうして、言葉も文化も違っていても、同じ楽譜で曲を歌うことができる、これはとても素晴らしいことではないでしょうか。こんどはどの国の合唱団とのハーモニーが聴けるのか、とても楽しみです。

37 高橋由利江 香川県 香川県立高松商業高等学校 ジョンソン君、こんにちは

(スライド1) 高松市中央公園の一角に、香川国際交流会館、通称「アイバル香川」があります。(スライド2)「アイバル香川」では、週に数回、外国人のための日本語教室が開かれています。

(スライド3) そこで学ぶ外国人の中に、アメリカ出身の高校3年生、ジョンソン君がいます。来日して2年が過ぎ、今では日常会話には全く不自由しないほど、日本語が上手になりました。(スライド4) 異国で暮らすストレスは、共に日本語を学ぶ仲間との語りの中でいやされるそうです。将来は、日本とアメリカの架け橋として活躍できるような弁護士を目指しています。

(スライド5)「アイバル香川」は、ジョンソン君のように日本を愛する外国人と、それを支える県民でいつもにぎわっており、香川の国際交流の拠点として、大きな役割を果たしています。

38 楠原紗梨 香川県 香川県立香川中央高等学校
MR. ライアン四国霊場写真参り

「サークルオブライフ」とは、(スライド1) 四国霊場八十八カ所巡りを英語で表した言葉です。

去年12月、香川県にお住まいのライアン＝アームストロングさんが約1200キロの遍路道にチャレンジしてきました。(スライド2) 金剛杖に遍路笠、寝袋とテントをお供に、お気に入りのカメラで四国の風景を写真に収めました。(スライド3)

ライアンさんが八栗寺で出会ったお地蔵さんの写真です。一風変わったこのお地蔵さんにライアンさんは「ジャンケン地蔵」と名づけました。こんなお地蔵さんを見たことがありますか。(スライド4)

このおじいちゃんは今までに108回も遍路道をまわったという78歳の加藤さんです。元気に道を歩く加藤さんの姿に、ライアンさんはずいぶん励まされたんだそうです。(スライド5)

ライアンさんが撮った写真、88点はアイパル香川で展示され、大きな反響を呼びました。若者の間で人気急上昇している八十八カ所巡り、皆さんも体験してみませんか。

39 新垣 克美 徳島県 徳島文理高等学校
「オーストラリアから来た男」

みなさんは、自分を見たことがありますか？
鏡や他人に映す時、案外自分でも知らなかった自分が見えることがありますよね。
自分の国を知ることにも同じことが言えるかもしれません。

第二次世界大戦直後の徳島に一人のオーストラリア人が住むようになりました。軍人として来日した彼は日本女性と恋をして、故郷とこれまでの人生を捨てました。若い頃ジャーナリストであった彼は、戦後の日本や地方都市・徳島の様子を多くのエッセイに残しました。彼のことをまとめた本が最近出版されました。彼の名前はウィリアム・アレクサンダー・フィンンといいます。彼の作品は異文化の単なる紹介に終わらず、同じ人間としての目線で日本の風土・習慣・生活を理解しようとするあたたかさが感じられます。彼の姿勢は私たちに日本を考えさせ、同時に異文化理解への態度のあり方を教えてくれるようです。

40 天川千彰 徳島県 徳島県立富岡東高等学校
凧揚げで国際交流

凧揚げが縁で始まった国際交流。徳島県的那賀川町と中国山東省?坊市との間で今も続いています。(スライド1)

?坊市の凧は2000年の歴史があり、鳥や魚などをモチーフに色や形が美しいことで知られています。(スライド2)

一方、那賀川町の角凧は、正方形で糸目が多く、尾を付けなくても安定して揚がるのが特徴です。糸を巧みに操り相手の凧糸を切り落とすことから、「喧嘩凧」とも呼ばれ大変人気があったそうですが、戦後衰退してしまいました。(スライド3)

そこで、阿波の文化を絶やしてはいけないと保存会を結成。1993年山東省の会員を招き日中友好が始まったそうです。(スライド4)

翌年、?坊市で行われた第11回世界凧揚げ大会では、にこやかな那賀川町角凧保存会の会員の姿がありました。(スライド5)

伝統ある凧揚げを通して、これからも国境を越えた交流が続いて行きそうです。大空を色彩豊かに彩る凧のように、さわやかに・・・。

41 山崎早織 徳島県 徳島県立富岡東高等学校
北京で人気、阿波踊り

情熱的な盆踊りとして有名な、(スライド1) 徳島の阿波踊りが、今北京でちょっとしたブームになっています。

放送局に勤める平戦国さんは徳島に留学していた時、阿波踊りを体験しました。北京に戻り、職場の人に踊って見せたところ、これが大好評。(スライド2) 最初は録音テープ

に合わせて踊っていましたがだんだんと仲間が増え、年末の忘年会では何と千人以上の人がロビーに集まり、その様子が全国放送されました。(スライド3)

「本場阿波踊りのように揃いのゆかたを着て踊ってみたい。」との彼らの声に、アジアを中心にボランティア活動をしている阿部仁さんがゆかたの提供を呼びかけました。

(スライド4) 県民からは、ゆかただけだけでなく三味線や太鼓などの楽器も寄せられ、先日手渡されたところです。

阿部さんはこう話しています。「国際交流はお金をかけてするものではなく、無理のない範囲で協力することが大切だ」と。(スライド5)

これからも阿波踊りを通して、徳島と北京の交流が深まっていきそうです。

4.2 小野寛恵 山形県 山形県立楯岡高等学校 アメリカ生まれの若女将

山形県の北部に知る人ぞ知る、大正ロマン漂う銀山温泉があります。木造旅館が立ち並ぶその一軒の旅館藤屋に、アメリカ出身の若女将ジニーさんがいます。

ジニーさんは十三年前にALTとして来日し、たまたま訪れた藤屋の御主人と出会い、そのまま若女将の修業を始めたのです。

伝統的なものを大切にする旅館業。日本人でさえ身につけるのが難しい礼儀作法や心遣いが、外国人に出来るだろうか、と周囲の猛烈な反対がありました。しかし御主人や女将さんの温かい愛情とご指導に支えられ、今では着物姿も板につく、藤屋の看板女将に成長しました。ジニーさんの国際的感覚を求めて多くの観光客で賑わっています。

これからは、日本の伝統的な職業でも、後継者問題で苦悩する時代がきっと来るでしょう。だからこそ、ジニーさんのように、人材を国際的に求めていく日が近づいているのかもしれないですね。

4.3 鶴田ゆり 山形県 山形県立山形北高等学校 ソフナーでコミュニケーション

異文化を理解するための第一歩としてコミュニケーションが必要だとは思いませんか。今回はみなさんに上手にコミュニケーションをとるための合言葉を紹介したいと思います。

スマイルのS、オープンなO、前方姿勢・英語でフォワードリーンのF、タッチのT、アイコンタクトのE、うなずく・英語でノットのN。これらSOFTENの言葉を組み合わせでできたソフナーという言葉があります。

ソフナーの合言葉はたとえ言葉がわからなくても、笑顔、積極的な態度、話しを聞く時の前方姿勢、握手、アイコンタクト、相槌をすれば不思議と心が通じ合うということを教えてくれています。

高校1年の時の学校の授業でこのソフナーの合言葉を知ったのですが、とても解りやすくコミュニケーションをとるコツがまとめられているので、今ではすっかり私のお気に入りの言葉になっています。

ソフナーの合言葉は言葉以外のコミュニケーションのとり方を教えてくれています。上手に使えば世界中のいろんな国に友達ができるかもしれません。

4.4 上村彩 山形県 山形県立山形東高等学校 国際化はアジアから

1039。これは平成12年度の、山形に住む外国人登録者数です。その国籍別の人数を見てみると、多い方から、韓国363、中国353、フィリピン84、アメリカ63名となっています。アジアからきた人々の多さに気付くでしょう。そうです、山形における国際化は、アジアから始まっているのです。

先日、私たちはボランティアによる日本語教室、「エアリー山形」を訪れました。いろいろな国から来た人たちが熱心に学ぶ中、やはりアジア系の人々の多さに驚かされました。私達は四年前に韓国からいらした、高橋鍾子さんにお話をお聞きすることができました。

「日本人はもっとアジアに関心を持つべきです。」高橋さんは言います。「私たち韓国人の多くは、日本人をとっても意識しています。彼等の多くは、職を探すためではなく、日

本でチャレンジするために、日本に来たいと望んでいます。」来日当初、高橋さんは、日本人と韓国人の意識のギャップに驚いたそうです。国際化。その言葉に、私達は欧米の国々を連想しがちです。しかし、山形に住む外国人の約8割はアジアから来た人たちなのです。私達はその事を忘れずに、もっともっとアジアに目を向けるべきなのではないでしょうか。

4 5 小井塚希美子 岩手県 岩手県立黒沢尻北高等学校 心の交流

岩手県、一関市に、耳の不自由な聾啞者の為の学校があります。二年前、その一関聾学校とアメリカの聾学校との交流が行われました。

日本とアメリカでは言語だけでなく、手話という聾啞者の重要なコミュニケーションの手段も異なります。

ところが、言葉に頼らないことに慣れていたのでしょうか。すぐに生徒たちが身振り手振りで会話をし始めたのだそうです。言葉を使わない心の伝え方をよく知っている者同士だからこそ、思いを通わせ易かったのかもしれませんが。茶道や書道を通して交流を深め、新たな出会いに自信をつけた生徒たち。彼らは、心の交流に言葉は関係ないのだと教えてくれているようです。

近年、岩手にも世界中の方々が多く訪れるようになりました。新世紀を迎え、これからは、お隣は外国の人、というのも珍しくなくなるかもしれません。もしその時、言葉の違いで親しくなれなかったとしたら、もったいないですね。大切なのはお互いを理解しようとする心です。そんな心と心の交流こそ本物の国際交流なのではないでしょうか。

4 6 小林由衣 岩手県 盛岡白百合学園高等学校 タイの子供達へ奨学金支援

(スライド1)「今支援している四人の子供達を卒業させることが、当面の目標です。」三年竹組の露木彩さんは、目を輝かせながらこれからの目標を話してくれました。

(スライド2) おととしの夏、彩さんの所属する盛岡フューチャーパートナーズの一行は、タイを訪問しました。「国際協力」をテーマに活動をしているこのサークル。その初めての活動として、タイの子供達へ、奨学金を出して支援することにしました。

(スライド3) 彩さんはタイを訪れて、直接子供達にお金を寄付し、現地の人々との交流を深めてきました。(スライド4) その時、「真の国際協力を目指すためには、お金を出すだけで満足してはいけません。自分達が他に何をしてあげられるかを、常に考えることが大切だ。」と感じたようです。

(スライド5) 今年の夏、その答えを見つけるために再びタイを訪問する彩さん。タイで何を見、何を感じたかを聞き、私達にもできることは是非お手伝いさせてもらいたいですね。

4 7 佐々木佑花 岩手県 岩手県立盛岡第二高等学校 未来へのかけ橋

(スライド1) 五千円札でおなじみの新渡戸稲造は私達の故郷、盛岡の出身です。「我、太平洋の橋とならん」と願った新渡戸稲造の言葉を目標に、岩手県では5年前から「高校生世界のかけ橋事業」が行われてきました。(スライド2) 派遣されるのはアメリカ、ヨーロッパの6カ国。書類と面接試験に合格した高校生が140名、7つのコースに分かれて、二週間、研修と交流を深めてきます。

(スライド3) 昨年かけ橋事業に参加した本校の四人。その中の一人、鈴木優香理さんは、情報・理数コースに参加し、シアトル、サンフランシスコを訪れました。(スライド4) 優香理さんは、

「思うように英語が話せず、悔しい思いもしました。今ホストファミリーとメールの交換をしています。もっと英語を勉強して、国際舞台で活躍できるようなジャーナリストになりたい。」と話してくれました。

(スライド5) 百年前、一人で国際社会に飛び出していった新渡戸稲造の思いを胸に、今年もまた岩手の高校生が世界に向けて旅立ちます。

4 8 田中亜由子 滋賀県 滋賀県立守山高等学校

草津市には、外国人との交流の場所として草津コミュニティセンターがあります。

ここでは現在、外国人を受け入れてくれるホームステイ先も募集しています。

先日も、草津市と姉妹都市であるポンティアック市との交換留学できている二人の高校生を囲んでの交流会が開かれました。

「日本は来る前に想像していたよりも、実際に来てみた方が良かった。日本人は内気で、あまり話しかけてもらえないと思っていたが、たくさんの方が家に招いてくれたりと、よくしてくれた。」と彼女たちは言いました。

国際交流は、国のイメージの交換ではなく、その国に暮らす人と外国に暮らす人との心の交流です。

彼女たちのような交換留学など、外国人を受け入れる機会を増やし、人と人が出会い、親睦を深めることが異文化を理解することにつながるのです。

これからの21世紀、このような交流の輪はますます広がってゆく事でしょう。

4 9 西村亜起 滋賀県 比叡山高等学校 心を伝える絵

自分の中にある日本のイメージを伝えようと絵を描き続けている人がいます。

(スライド1) 大津市の葛川中学校で美術を担当している、馬場功先生です。

先生は今から15年前、ハワイと韓国で行われた国際絵画交流展に参加しました。(スライド2) これは作家同士が交流を深める目的で行われ、参加者は画家や彫刻家など様々です。

交流展に参加して、作品に日本人らしさを求められていると感じた馬場先生。(スライド3) 日本人としての感性を伝えるにはどうしたらよいかと考えました。その時から仏像や浮世絵など伝統的な作品に触れるようになったそうです。

そして先生はひとつの現代美術の作品を完成させました。(スライド4) この作品は波や唐草模様といった日本の古典的な雰囲気を取り入れたものです。

「私の作品を見て、日本に対する思いを理解してもらえたときが一番嬉しいです。機会があればこれからも交流展に参加したいです。」

そういった馬場先生は、いつもと変わらない笑顔でした。

5 0 小幡里江子 滋賀県 比叡山高等学校 ラオスにかける夢

平成12年2月、ラオスに『第5回学校建設ボランティア団』が派遣されました。(スライド1) これは、天台宗の一隅を照らす運動総本部が行っている活動です。一隅を照らす運動総本部とは、天台宗の生みの親、最澄の教えを理念とする団体で、様々なボランティア活動を展開しています。現在は国内だけでなく、アジア各国への支援など活動の範囲を広げています。ラオスの学校建設もその支援活動のひとつです。

(スライド2) 最初の派遣が行われたのは平成8年。一人でも多くの若者にラオスを訪れてもらい、現地の人々と心の交流を深めてほしいという思いで、ボランティア団の派遣が実施されました。

(スライド3) 参加者の方は、「言葉が通じなくても気持ちが通じ合うことは、とても素晴らしいことだとわかりました。」と、笑顔で話してくれました。

(スライド4) ボランティア団の派遣は、今や一隅を照らす運動の代表的な活動です。来年の2月には6回目の派遣が予定されています。

5 1 眞野恵 京都府 京都文教女子高等学校 祇園祭に参加する外国人

京都の夏の風物詩、祇園祭。祇園祭は、日本三大祭の1つで、京都に古くから伝わる伝統的な祭りです。この祭りには、毎年多くの外国人観光客が訪れていますが、観光をするだけでなく、実際に鉦の曳き手として参加する人もいます。また、曳き手として参加す

るだけではなく、京都の伝統についての講習を受けたりするなどして日本文化を学び、鉾町の一員として祇園祭にかかわるといった試みもなされています。

この活動により、外国の人達は京都の文化を肌で感じ、京都を身近に感じているようです。しかし、京都の人にとっては自分たちの文化に参加してもらっているという意識の方が強く、心から外の人を受け入れているわけではないようです。

閉鎖的だと言われている京都の人が、外国の人達と共に交じり合い、うちとけてこそ、真の国際交流といえるのではないのでしょうか。

5 2 野口和美 京都府 京都文教女子高等学校 西陣織と異文化理解

ケナフとは二酸化炭素を多く吸収し、茎の繊維を利用して紙を作ることも可能な一年草です。温暖化防止に役立つと注目を集めるケナフですが、我が国でケナフを栽培することは、栽培や保管のための土地の確保、熱帯性の植物であるための気温の問題等により現実的ではありません。そこで東南アジア等でケナフを栽培し、日本で加工してはどうかとも考えられています。

しかし、外国でのケナフの栽培は販路の安定した確保が問題となり困難な状況です。各国が互いの事情を理解し協力しなければ、ケナフの大量生産は難しいのではないのでしょうか。

我が国を代表する絹織物の一つ、西陣織。西陣織の特色は絹織物を主体としていること、手織でなければ生産されないものがあることでした。その西陣織にケナフを使用したものがあります。ケナフの大量生産が難しいのなら、この西陣織の様に視点を変えた他の方法も考える余地があるのではないのでしょうか。

5 3 塩見智美 京都府 京都府立東舞鶴高等学校 国の文化財ホフマン窯

「エジプト」「メソポタミア」「インダス」「黄河」…。

この「四大文明」に共通するものとして、私たちはまず「大河」や「肥沃な大地」を連想します。しかしもう一つ意外な共通点は「レンガ」です。レンガは人類の文明とともに生まれ、発達しました。

私たちの街舞鶴には、レンガを使った建物が多く、「赤レンガの街」ともいわれます。その中にひときわ大きな煙突を持った総レンガ造りの建物があります。これはレンガを焼く窯で、通称「ホフマン窯」と呼ばれており、ドイツ人フリードリッヒ・ホフマンが考案しました。一度点火すると高温で焚き続けることができるため、安い燃料で大量に焼けるのが特徴です。

昭和30年代にはその役目を終えましたが、建物は保存され、現在は国の文化財に指定されています。

古い物の価値が見失われていく今日、それを見直して歴史の意味を考えることこそ私たちには大切ではないのでしょうか。ホフマン窯はそんなメッセージを伝えてくれているようです。

5 4 塩野桂子 岡山県 岡山県立岡山大安寺高等学校 古代吉備の文化交流

みなさん、こんにちは。みなさんは桃太郎伝説を知っていますか。あの桃太郎伝説に登場する鬼を、岡山では温羅と呼んでいます。お話の中では悪役である温羅。ところが温羅には全く別の一面があったのです。

「真金吹く 吉備の中山」と古今集でも詠まれている「真金吹く」は製鉄を意味し、吉備の地と鉄のつながりを伝えています。この製鉄技術は、実は温羅が百済から吉備に伝えたものだったと言われています。そのためか、温羅は吉備の人々に親しまれ、吉備津神社にも大切に祀られています。国を越えた文化の交流は、弥生時代の昔から行われていたようですね。

岡山では毎年、人々が鬼の格好をして大通りを歩く「うらじゃまつり」が行われ、とても盛り上がります。一般には恐ろしい存在とされている鬼ですが、温羅は、こうして岡山の人々に今でも愛されています。

5 5 藤田侑子 岡山県 就実高等学校
洛陽の桃太郎

みなさんこんにちは。

今日は岡山の姉妹都市洛陽を訪れた市民訪中団についてお話ししましょう。

岡山市と中国の洛陽市が友好都市縁組を結んで今年で二十年を迎えました。これを記念して四月十七日から二十一日まで萩原市長と百四十一人の市民友好訪中団が洛陽市を訪れました。

一行は色鮮やかな花の咲く牡丹園や、世界遺産の龍門石窟を訪れたり、祝賀行事に参加したりと、積極的に両市の友好に努めました。

中でも洛陽博物館を訪問した一行は以前岡山市が寄贈した万成石の石灯籠や桃太郎のブロンズ像の出迎えを受けて、懐かしさのあまり歓声をあげたそうです。この桃太郎は岡山駅前の桃太郎と同じデザインで、イヌ、サル、キジを従え、左手をかざして遠い岡山の空を見つめています。

この桃太郎に込められた親善への思いが伝わって、岡山と洛陽の友好がさらに深まるといいですね。

5 6 岡部幸江 岡山県 岡山県立倉敷商業高等学校
CVSG

白壁の街倉敷から世界へ、ボランティアに夢をかける人達が活動しています。去年の4月、岡山県倉敷市にカンボジア・ビレッジ・サポート・グループ、CVSGが誕生しました。

CVSGは、カンボジアの子供達のために飲料用の井戸の掘削や、医薬品、衣料品の配布などを行っています。また、今年1月には、今まで集めた支援金でアンコールクラウ村に支援センターを完成させました。支援センターには診療所や農園があり、子供達が農業指導を受けながら上級学校への進学を目指して勉強しています。

代表の村田みつおさんは「32年前にフォトジャーナリストの仕事でカンボジアを訪れたとき、内戦の影響で苦しむ子供達に出会いました。そのときから、私の後半の人生をこの子供達のために役立てたいと思ったんです。」と話してくれました。

CVSGでは今、そうした子供達を援助してくれる里親や支援金を募っています。興味がある人はCVSGのホームページにアクセスしてください。

5 7 森和也 石川県 石川県立金沢北陵高等学校
台湾のダム之父～八田與一

(スライド1) 台南市の北を流れる官佃溪の上流「烏山頭」。ここに一人の日本人の銅像が、巨大なダムを見下ろし、静かに佇んでいます。(スライド2)

彼の名は『八田與一』。台湾で唯一の日本人の銅像です。

與一は、明治19年金沢で生まれ、大学卒業後、台湾総督府に勤めました。そして大正9年、嘉南平野の灌漑事業にたずさわることになります。それは、(スライド3) 烏山頭に東洋一のダムを造り、広大な嘉南平野に用水路を張り巡らせる、という10年にも及ぶ大事業でした。不毛の土地だった嘉南平野は、台湾最大の穀倉地に生まれ変わりました。

(スライド4) 彼の銅像は、彼を慕う台湾人の寄付でまかなわれ、戦中・戦後の動乱の時代も住民たちに守られてきたのです。

台湾の人々の心の中に生き続けている『八田與一』は、残念ながら、日本ではあまり知られてはいません。

しかし、現地の『八田與一記念館』開設には、出身地金沢の関係者や出身校が資料の提供を惜しみませんでした。(スライド5) 地元間の交流も盛んになってきています。

毎年5月に行われる追悼式には、日本人も多く訪れるようになりました。友好の輪は、確実に広がりつつあるようです。

58 館 明博 石川県 石川県立飯田高等学校
心の交流を求めて

(スライド1) 私達の学校がある石川県珠洲市は、能登半島の先端にある過疎の町です。年々人口が減り続けるこの町で今、外国人が増え続けています。(スライド2) 外国人の多くはインドネシアから来た企業研修生で、現在46名が建築用のシートを作る工場に働いています。

ジャワ島南部から来たアグリさんは、「私達は日本の優れた技術を勉強するために来ました。もっと日本語や日本の文化を知りたいので、是非、友達になって下さい。」と話してくれました。

(スライド3) 今、町の公民館では彼らともっと仲良くなるための行事が企画されています。インドネシアの伝統音楽や民族舞踊を楽しみながら、町ぐるみで交流を図ろうとするものです。世話役の小山さんは、「国際交流はまず相手を知ること、話すことから始まります。心を開いて接すればすぐに仲良くなれますよ。」と話していました。文化や習慣の違いを超えてもっと仲良くなろうというこの試みは、稲刈りが終わる秋10月に予定されています。

59 久保亜希子 石川県 石川県立七尾高等学校
故郷にかけた夢

「とにかくアメリカを見てこよう」十五年前、故郷を愛する若者達が立ち上がりました。私達の住む石川県七尾市は、昔、港町として栄えました。しかし、輸送手段が船から車に変わって、衰退していきます。「七尾市と同じ状況から町を活性化させた例はないか」と探したところ、ピッタリ当てはまる港町が一つありました。アメリカ・カリフォルニア州のモンレー市です。モンレー市との交流は、今も続いています。この交流のポイントは、市民が中心となったところです。元々の目的は「町おこし」でした。さらに今は、イベントに頼らない日常生活の一部となるような、身近な交流を目指しています。

「一方通行ではなく、お互いの市民を巻き込んでいきたい。これからの若者には、広い視野で物事を見てほしい。見えなかったものがきっと見えてくる。」と話す十五年前の若者達の目は、よりよい故郷作りを目指して、今も輝いています。

60 加藤未来 島根県 島根県立出雲高等学校
『二十一世紀国際フォーラム』について

これからの『国際化社会』について考えていこうと、市内の「ビッグハート出雲」で『二十一世紀国際フォーラム/世界と出雲』が開かれました。『ここが好きだよ出雲人、ここを直して出雲人』と題して、今年三月に開かれたこの会は、出雲市内に住んでいる、日本人を含む七ヶ国十四人によってたくさんの意見が交わされました。

外国人の皆さんからの主な意見では、「家に招待されても日本の皆さんに緊張して対応されてしまう」「私達が当たり前と思っていることでも、奇妙な行動と見られることがある」など日常生活習慣の違いに困惑するといったものが多く見られました。『国際化』が言われるようになった現在。私達の出雲市でも、多くの外国の方を見かけます。年々在住する人も増え、それに伴い様々な国際化事業も進んでいます。

しかし、『事業による国際化』には限界があります。これからの私達に求められるのは、それらの事業をいかに有効に利用しお互いの異なった文化を理解し合うか、ということではないでしょうか。

今日は国際化社会を考える、『二十一世紀国際フォーラム』の話題でした。

61 丸山 翼 島根県 島根県立浜田高等学校
和紙がくれた出逢い

三隅町とブータン王国は、14年前から紙すきを通して交流をしています。ブータンは、ヒマラヤ山脈の東にある国です。ここでは昔から紙作りが行われていましたが、品質が悪

くて困っていました。そこで、上質の石州和紙を作っている三隅町との交流が始まりました。ブータンから毎年2人の研修生がこの町にやって来て、1年間紙すきの技術を学んでいます。その結果、ブータンは前よりもずっと質の良い紙を作ることが出来るようになりました。

この交流は、自治体中心に行われています。その為、彼らと地元の人たちとのつながりはありませんでした。しかし、2年前からブータン料理の講習会が開かれ、地元の人たちも進んで参加しています。研修生たちは、顔立ちも日本人に似ているし、日本語も上手なので、町の人たちともすぐ打ち解けます。彼らは、「日本の人たちと仲良くなれて良かった。」と話してくれました。

このように、市民が中心となった交流が始まった今、本当の意味でのブータンとのつながりができたのです。

6 2 山形 彩美 島根県 島根県立浜田高等学校 朴さん奮闘記

山と海に囲まれた温泉津町は、旅館が立ち並ぶ温泉街です。その一角に、輝雲荘という旅館があります。ここの若女将さんは韓国出身の朴 慶順さんです。この旅館の若主人と結婚して、六年前生まれて初めて日本にやって来ました。

彼女は、「昔朝鮮は日本人にひどい目にあわされました。そのため、言葉が通じない心配よりもまたいじめにあうのではないかとという不安を抱いた。」と意外なことを話してくれました。戦争の傷跡が心の中に残っている人達も、いまだにいるのです。でも、ご主人や周りの人たちの暖かい励ましでこの不安もすぐ消えてしまったようです。

そして、女将さんとしての奮闘の日々が始まりました。辛い韓国料理に慣れている彼女は、和食の薄い味つけに一番苦労しました。自分にとって少し気が抜けた味の方が、和食の味に近いそうです。今では、板前さんに満点をもらえるほど味つけの腕が上がりました。そんな彼女はすっかり日本の女将さんです。

心のふれあいが異文化の壁を乗り越える1番の手だてとなったのです。

6 3 船越 裕子 鳥取県 鳥取県立米子西高等学校 ロンダさんの挑戦

{スライド1} 米子市の皆生にある「かいけ窯」。夕方になると、陶芸を教わりにくる人達のにぎやかな声が聞こえてきます。

{スライド2} オーストラリアから日本にやってきたロンダ・スウィニーさんも週に一度そこへ通っています。「JAPANESE文化、とてもおもしろい。」とおっしゃるロンダさんは、陶芸の他に、琴や書道にも挑戦しているのですが、特に日本の陶芸はきれいで大好きなのだそうです。そんなロンダさんの初めての作品は湯のみで、少し形が歪んでしまったそうです。しかし二つ目の湯のみは上手にでき、今一番の自信作なんだそうです。さらに上達したら茶碗にも挑戦したいとはりきっていました。

{スライド3} 日本での生活の中で言葉が通じなくて困ることもあるそうですが、言葉でなくても身振り手振りで自分の気持ちを伝えることができるので大丈夫なのだそうです。

{スライド4} 講師の安藤先生も、「英語でなく、米子弁でも気持ちは伝わる。」とおっしゃっていました。

{スライド5} 今ロンダさんは、作品の完成に向けて最後の仕上げに奮闘しています。

6 4 藤原絵理 鳥取県 鳥取県立鳥取商業高等学校 留学生とともに

鳥取大学には、多くの国からの留学生が150人も来ています。そこで、その留学生たちと交流するには、どうしたらよいかをお聞きしたくて、鳥取大学学務部にお勤めの山本さんにお会いしました。

具体的にどのような活動があるのかお聞きしたところ、日本語弁論大会を開いたり、ゆかたの着付けの指導をしたり、スキー旅行を企画されたりするそうです。なかでもスキー旅行にはたくさんの方が申し込むそうです。その時の様子や感想をホームページに載せた

ところ、それを見た小学生から大人まで留学生と交流をしたいという申し込みが殺到したそうです。

さらに、留学生との交流は在学中だけでなく、帰国後もネットワークを通じて交流をしています。山本さんはこの様なより広い交流のお手伝いをこれからもしていきたいとおっしゃっていました。

みなさんも一度鳥取大学へ足を運んでみませんか。きっとステキな出会いがあると思います。

65 山本 佳代 鳥取県 鳥取県立八頭高等学校 共に生きる

鳥取県東部に位置する船岡町は、農業の盛んな小さな町です。ここに「アフリカ北朝鮮救援米作付田」と赤い大きな文字を掲げ、注目を浴びている水田があります。

今年49歳になられる鎌谷一也さんは、十数年前にソマリア共和国への米の援助を始められ、5年前からは、北朝鮮へも米を送っておられます。実はこの援助には、減反の強化を計った政府への批判の意味も込められていたのです。鎌谷さんは「現在日本は農業を軽視し、食品の多くを輸入品に頼っています。その結果、世界各地で、輸出用の商品を栽培する農家が自給自足できないという事態を招いてしまいました。今ここで日本の農業のあり方をもう一度見直していくべきではないでしょうか」と訴えておられます。今後は、次の時代を担う若者達に農業の大切さと素晴らしさを伝えたいと熱く語っておられました。

国際化社会と呼ばれる今、国と国との絆を強めることに重点を置きがちですが、鎌谷さんの取り組みは、21世紀を生きる私たちにとって、人と人とが共存していくという真の国際交流について考えさせるものとなりそうです。

66 山本愛子 兵庫県 姫路市立姫路高等学校 あつまろか「東はりまマダン」

(スライド1) 朝鮮半島に伝わる民族楽器の鼓動のようなリズムとともに、11月12日、「東はりまマダン」が、高砂市のユアイタウン緑道公園で開催されました。「マダン」とはハングルで『広場』を意味し、当日は、食と遊びの催しを楽しむ人々、約4千人で賑わいました。

(スライド2) 「東はりまマダン」は、外国人と日本人との文化交流を通じ、互いに尊敬しあう環境を作ることを目的としています。今年も地元の人々の手によって、民族舞踊や音楽演奏が行われたほか、ベトナムの子供たちによってムーランも披露されました。

(スライド3) 「東はりまマダン」に参加した本校の長谷川美佳さんは、「民族舞踊の美しさに感動しました。婦人会の皆さんが作ったチヂミの味は最高でした。来年もまた参加したいです。」と笑顔で話してくれました。

(スライド4) 「マダン」は、様々な人々との出会いの場として、全国各地で開かれています。意外にも身近なところで多文化を感じることができる「マダン」。皆さんもぜひ一度、地域の「マダン」に参加してみませんか。

67 岩橋祐一 兵庫県 兵庫県立北摂三田高等学校 ハンディキャップを乗り越えて

(スライド1) 「バッヂ3つでハチマキと交換だ。」
これは、私たちの町三田出身の齋藤晃司さんの言葉です。

(スライド2) 齋藤さんは大学1年生のときに交通事故に会い、両目の視力を失いました。もともと走ることが好きだった齋藤さんは、去年のパラリンピックに出場しました。

(スライド3) パラリンピックでは選手同士の国際交流の一貫として、それぞれの国のピンバッヂを交換します。そのころヨーロッパやアメリカでは日本の漢字が大ブームになっていたので、齋藤さんはここぞとばかりに「必勝」の文字の入ったハチマキをバッヂ3枚と交換しました。

(スライド4) また、パラリンピックで齋藤さんが一番驚いたのは、ボランティアの人がとても多かったことです。選手1人に対して4人もいるボランティアは、困っている人を見ると、すぐに駆け寄って話しかけてくれたそうです。

(スライド5) 全盲ながらも多くの人と交流した斎藤さんは、「気持ちが伝わればボディランゲージでも十分通用する」と語ってくれました。日本人がフレンドリーな精神を持てば、国際交流はもっとスムーズになるのではないのでしょうか。

68 久楽麻依 兵庫県 武庫川女子大学附属高等学校 響けオーストラリアの空に

(スライド1) コーラス部が、オーストラリア連邦100周年を記念するジョイントコンサートに参加しました。(スライド2) 場所は、クイーンズランド州のゴールドコーストです。コーラス部が参加することになったのは、オーストラリアの日本領事館からの依頼でした。共演したのは、国際的に活動しているサマーセットカレッジなど2校のコーラス部です。

オーストラリアでは、5回の公演が行われました。(スライド3) なかでも一番盛り上がったのは、お年寄りが一緒に生活している「サイプレスガーデン」で歌った時でした。

部長の松上さんは、「アンコールで歌った『アイ・スティル・コール・オーストラリア・ホーム』のあと、立ち上がって喜んでくださったことに感動した」と、話してくれました。

(スライド4) 公演の後は、一緒に話をしたり写真を撮ったりと、なかなか出発できなかったそうです。

コーラス部の澄んだ歌声は、オーストラリアの青い空と人々の心に響きわたりました。

(スライド5) 音楽は国境を越え、また一つ新しい交流が始まりました。

69 中村絵里香 佐賀県 佐賀清和高校 優しさと強さの町唐津

(スライド1) 私の住む唐津は、日本三大松原の一つ、虹の松原や(スライド2) 唐津くんちがあり、美しい海に面したにぎやかな町です。

そして忘れてならないのは一楽二萩三唐津と人々に親しまれ、日本三大陶器の一つである唐津焼きの町でもあるということです。

(スライド3) 唐津焼は今からおよそ四百年前、文禄の役以降渡来してきた朝鮮の陶工達によって焼かれ広まったとされています。

朝鮮の陶芸の技術が受け継がれながら、唐津の風土に培われ、素朴で渋い色調と砂目の土の感触が特徴です。

(スライド4) 昔から茶人達に愛されてきた「詫寂」の器。唐津焼の絵付けに用いられている絵は唐津の浜辺に生息する千鳥や草花だと松浦文化連盟会長で陶芸家の中里紀元さんは話して下さいました。

(スライド5) 唐津は何百年も前から「受け入れる」ことができる優しい心と、それを発展させる強さを持ち続けているようです。

70 金岡みゆき 佐賀県 佐賀県立武雄青陵高等学校 焼き物の里と国際交流

(スライド1) 私たちの武雄市には二つの「世界一」があります。

(スライド2) 一つは去年の暮れに図書館のそばにできた世界一小さな展望台。一人一人が足を乗せれば満員になるこの展望台は、高さわずか2.5センチの扇の形で、武雄で焼かれた陶器でできています。

(スライド3) もう一つは、飛龍窯と呼ばれる世界一大きな登り窯です。全長23メートル、大型バスが4台がすっぽり入るような大きさです。実は世界一小さな展望台を焼いたのは、この世界一大きな登り窯でした。

(スライド4) こうしてみると武雄市の二つの世界一が、焼き物と深く関係していることが分かります。武雄の焼き物は今から400年前、秀吉の朝鮮出兵のときに、当時の領主が陶工を連れ帰り、武雄に窯を開いたのが始まりです。現在市内には20軒ほどの窯元があり、それぞれ個性的な作品を作っています。

(スライド5) 400年前に伝わった外国の最先端文化が、今では伝統文化として武雄

市の特産品となっています。そこには異国で苦勞して文化を広めていった陶工たちと、それを受け入れて伝統として守ってきた人々との交流の歴史がありました。二つの世界一の陰には、国際交流の歴史という隠された三つ目の世界一があったのです。

7 1 岩本有加 佐賀県 東明館高校 「ブランディと出会って」

カナダからやってきた留学生「ブランディ・オハラ」は、明るくてとても日本語が上手な女の子。彼女の大好きな言葉は「愛しているよ」です。ホストファミリーの我が家で半年間一緒に暮らしたのですが、彼女は私たち家庭にも友達にも毎日「愛しているよ」と言ってくれました。

日本では普通恋人に言う言葉に思われがちですが、彼女に言わせると、「ただ私の気持ちを素直に伝えてくれるだけ。だってみんなのこと愛しているんだもん。」それを話している彼女の目はキラキラ輝いていて愛にあふれていました。

素直な気持ちを相手に伝えること。それは、私たち日本人が忘れかけていることではないでしょうか。私たちもブレンディのように、自分の気持ちをストレートに伝えたいものです。またブレンディに会ったら、今度は私から大きな声でこう言います。「I love you」

7 2 松村朋美 福井県 福井県立敦賀高等学校 国際貿易港—敦賀

(スライド1) ズドゥラーストゥヴィチェ。みなさんこんにちは。

私達の町、敦賀は明治・大正時代、ロシアとの国際貿易港として発展しました。多の人や品物が敦賀港を通過して、ロシア大陸との間を行き来しました。そのため敦賀では、ロシア語が話せ貿易に詳しい人材が必要となりました。

(スライド2) 私達の学校の前身である、敦賀商業学校が設立されロシア語部ができました。当時、全国に3校しかない珍しいものでした。商業教育やロシア人教師によるロシア語の授業が行なわれました。(スライド3) 大正時代からすでにウラジオストックへの修学旅行を実施し、現地のデパートや工場を見学しています。特色ある教育は高く評価され、卒業生は日本各地、そして遠く外国でも活躍しました。

(スライド4) 現在は、敦賀商業学校は敦賀高校となり、ロシア語部も無くなりました。また、敦賀港は、外国貿易よりも国内貿易に大きな役割を果たすようになりました。

しかし、いつの時代になろうと、敦賀港と敦賀商業学校は、敦賀市と世界を結ぶ原点として、私たち敦賀市民の誇りです。

7 3 岩本光代 福井県 福井県立武生東高等学校 国際化に必要なもの

私たちの住んでいる武生市はたくさんのブラジル人労働者が働いています。家族みんなで来日している方も多く、100人以上の子ども達が小学校に通っていますが、最初はみんな日本語がわかりません。当然、授業もわからず会話もできないので、ほとんどの子ども達がストレスを抱えています。しかし、専門家のカウンセリングを受けたり、学校の友達から簡単な日本語を習うことで、忘れていた笑顔を取り戻すことができるようです。

ブラジルの子供も達をはじめから笑顔を見せてくれる、そのような環境作りが私たちに求められているのです。国際交流はかつて、国家レベルの仕事でしたが、今では地域レベルの身近なものになってきました。本当の国際化は英語を話すことや外国の文化を知ることではなく、人と人とのふれあいを大切にするところから始まるのではないのでしょうか。

7 4 岡田早夕里 福井県 私立仁愛女子高等学校 新世代ネットパルのすすめ

今日は、仁愛女子高等学校三年生の澤崎仁早子さんをご紹介します。

澤崎さんは、中学校時代から、韓国の女子学生と文通を続けています。きっかけはイン

ターネット。韓国の歌に興味を持ち、ネット上を検索する中で、あるページの掲示板を通して知り合ったそうです。それ以来、毎日のようにメールをやり取りしながら、月に2、3回のペースで文通もしているということです。

澤崎さんは、「韓国語や英語を使って、メッセージを作成したり、手紙を書いたりするのは大変ですが、お互いの考えを理解し合えたときの喜びは、何物にも代えがたいものです。韓国の学生がみんなとても勉強好きで、しかも家族思いなのには驚かされました。」と話してくれました。

世界中の人と、コミュニケーションが可能な現代。普段はインターネットで、そしてときには手紙を通してコミュニケーションを深める、新世代ネットパル。あなたも始めてみませんか。

75 稲田真由子 和歌山県 和歌山県立星林高等学校 明治からの絆

(スライド1) 日本とトルコとの交流の原点は、和歌山県串本町にあります。明治23年に、串本町沖合で沈没したトルコの船を、地元の人達が助けたことがきっかけでした。

(スライド2) 船の名前は「エルトルル号」。

全長46メートルの木造軍艦に6百50余名の将兵を乗せたこの船は、日本との修交を終えて帰国の途中、悲惨にも、暴風雨にあい、沈没しました。

(スライド3) 生存者は、わずか69名しかいませんでした。

この事件を知った串本の人達は、異国民ということにもかかわらず、彼らのために一切の食料や衣服を与え、必死の救護活動をくり広げました。こうして、トルコ国民の心に日本人に対する、美しい博愛の情を抱かせたのです。

(スライド4) 犠牲者をまつた慰霊碑。その前では、今もなお、共同で慰霊祭が行われています。

明治に生まれたこの一つの絆は、人々の心に深く刻み込まれ、両国のすばらしい交流は、これから先ずっと、続けられていくことでしょう。

76 谷侑子 和歌山県 和歌山県立橋本高等学校 わが町の国際交流

(スライド1) 今年十月、私たちの町橋本市で「小さな森の妖精たち」と題されたアイリッシュダンスの公演が開かれました。

(スライド2) この催しは、異文化交流を深め、地球に生きる仲間として互いに理解しあうことを目的に、昨年からはじまりました。

今年は公演だけでなく、12歳から18歳までの出演者全員が橋本市内の一般家庭でホームステイを経験しました。

(スライド3) ホストファミリーをつとめた合田浩明さんは、「海外のことにいろいろ興味があったので、ホストファミリーを希望しました。食生活の違いなど、とまどうこともありましたが、とてもいい経験になりました。私の子ども同様にかわいく思えて、本当に楽しかったです」と話してくれました。

(スライド4) 異文化を理解し交流を深めること、それは話す言葉や生活習慣が違っていても、人間には心と心で通じあえる温かさがあるということではないでしょうか。

(スライド5) 主催者の橋本ユネスコ協会では来年の計画が話し合われています。今度はどんな心の交流が実現するのでしょうか。

77 鈴木めぐみ 和歌山県 和歌山県立橋本高等学校 明治の国際人「南方熊楠」

(スライド1) 和歌山県の生んだ世界的植物学者、南方熊楠。実は彼が、明治時代切っぴの国際人であったことは、あまり知られていません。

(スライド2) 「これからの日本人は、欧米人と競争をしていかねばならぬ。とアメリカに渡ったのが明治十九年十二月、熊楠十九歳の時でした。

(スライド3) 植物採集のため、サーカスの一座とともに全米を旅し、果ては、キューバにまで渡ったのです。彼の奔放な生き方を示すエピソードではないでしょうか。

(スライド 4) 25歳の時ロンドンに渡った熊楠は、ロンドン大学総長フレデリック・ディキンスと『英訳竹取物語』をめぐって怒鳴り合いを演じています。熊楠に翻訳の誤りを指摘されたディキンスは激昂し、「誤っているものに世辞を並べ立てるような未開人は日本にはいない」と熊楠は切り返したのです。

(スライド 5) 後にディキンスは「南方は、最も博学にして剛直無偏の人」とたたえ、その友情は生涯変わることはなかったといっています。

日本人として国際社会に向かい合う時、何が大切なのかを南方熊楠は教えてくれています。

78 道源茉莉 山口県 山口県立華陵高等学校 Our International Communication

私の学校がある山口県下松市は、市全体が何らかの形で国際交流にとり組んでいます。市内の中学校や高校のホームステイ希望者にホームステイ先を斡旋するのはもちろんのこと、そのための資金援助もしています。また、最近では個人レベルで自分の家にホームステイさせ、ホームステイ希望者の生活資金を負担するという人も増えました。

それに応じて、少しずつですが、下松市在住の外国人を先生とする英会話教室も増えてきました。「生の英語でコミュニケーションをとる楽しさを教えてほしい」という親や私達の願いと「日本の文化を学びたい。それと同時に、みんなに英会話の素晴らしさを知ってもらいたい」という外国人達の願いとが見事に合致し、その結果、英会話教室が増えることとなったのです。

今では、国際交流は個人の成長だけではなく、地域や都市という一つの大きな共同体が成長・発展していくのに大きな役割を担っているのです。

I think we should watch, listen to and experience various kinds of cultures and widen our view.

79 吉岡聡美 山口県 山口県立熊毛南高等学校 伝えたいという思い

みなさんは、普通英語塾というどのようなものを思い浮かべるでしょうか。ここ田布施町には少し変わった英語塾があるんです。

その特徴とは、この塾での会話や質問がすべて英語だけで行われるというものです。この塾で教師をしていらっしゃるのはキム・エドワーズさんというアメリカ出身の方です。

英語は使うことによって身に付いていくもの。生徒達は自分の知っているあらゆる単語を使って一生懸命に話をします。たとえそれが間違っていたとしても、伝えようとする生徒の姿勢が、エドワーズさんは嬉しいんだそうです。

「文法を学ぶことも大切です。しかし、それより伝えたいという思いを持ってどんどん英語を使っていくチャレンジ精神が一番大切なんです」と話してくださいました。

エドワーズさんにとっては母国語、しかし生徒にとっては外国語である英語。その英語だけで言いたいことのすべてを理解し合うのは難しいことです。でも、「伝えたい」その思いをもって話していくことで、言葉の壁を乗り越える第一歩が踏み出せるのかもしれない。

80 安部杏実 山口県 山口県立山口高等学校 広い世界に目を

定時制三年の高山富士登さんは、四十五才の時まで外国航路の船長さんでした。

一度船に乗ると、最低一年間は海の上。いろいろな国の船員さんと生活します。時には日本と韓国の船員さんが歴史観の違いでぶつかることもあったとか。ミスの許されない張りつめた毎日、高山さんにとって船の中での心の安定剤は彫刻でした。外国の港や船の倉庫で木を拾い、その木で魚や鳥の彫刻を作りました。中にはドリルやノミが何本も折れたという苦心の作品もあるそうです。木を彫るときだけが何も考えないでいられる時間でした。

そんな高山さんの彫刻が今年の文化祭で展示されることになりました。高山さんは「山口市には港がない。山高の生徒さんにもっと広い世界にも目を向けて欲しい。」とおっしゃっています。

皆さんも外国の港の香りがする展示会場に足を運んでみませんか。

8 1 柴田友美 広島県 広島県立安古市高等学校
ヒロシマの写真

岡田正子さんは、外国で出会う人達に二枚の写真を見せています。その写真には、原爆投下直後の広島町の町と被爆者が写っています。

(スライド1) 岡田さんは広島市で世界の民芸品店を営みながら、商品の買いつけのため、世界中を飛び回っています。十八年間で四十カ国を訪れましたが、始めから写真を持って旅をしていたわけではありません。

(スライド2) 四年前、アフガニスタンを訪れた岡田さんは、そこで戦争に苦しむ人々を見ました。この旅をきっかけに、改めて自分が被爆地広島出身であることに気づき、写真を持ち歩くようになりました。

岡田さんは、(スライド3)「私が広島から来たことを話すと、相手はきまって原爆が落とされた町ですねと答えます。小さなことですが、戦争がなくなることを祈って写真を見せ続けていきたいです。」と話してくれました。

(スライド4) この写真を見せると、どこの国の人でも皆驚いて黙り込んでしまうそうです。ヒロシマの惨状を伝える二枚の写真は、これからも岡田さんとともに旅を続けます。

8 2 森本記子 広島県 広島県立広島国泰寺高等学校
見て見て平和のでっかい絵

広島市の中心にある本通り商店街のアーケードに、「見て見て平和のでっかい絵」と名付けられた巨大な絵が飾られました。地球やハトなどを描いた布が縦横五メートルの大きさにつながり合っています。

この絵を制作したのは、北米、南米、ハワイなどから来た子ども達と広島の子ども達あわせて四十四人です。この催しは世界の友達と平和について考えようと、広島市青年会議所が企画しました。

当日、参加者は、平和記念資料館で平和学習をした後、四人グループになり、平和について感じたことを思い思いの絵にしました。参加した高校二年生の梶村さんは、

「私は、ハワイから来たアンジェラと一緒に大きなハートとピースの字を描きました。この絵の様にみんなの心が一つになる様に願っています。」と話していました。

この「見て見て平和のでっかい絵」は、今日三日から十七日まで見ることができます。

8 3 谷本 美香 広島県 鈴峯女子高等学校
Helping 立ち上がるために

(スライド1) 1993年、広島に『HOPE』という店が誕生しました。この店は、利益を目的としない Bangladesh 民間支援団体が運営しています。Bangladesh は、インドの東隣の国で、自立性の低い経済構造、洪水の絶えない国土状況などから貧しさの重荷を担っている人たちがたくさんいます。

(スライド2) 「HOPE」では、Bangladesh の婦人たちが作った布製のかばんや貝で作った指輪などの手工芸品を販売し、その利益で自立の支援をしています。

「HOPE」メンバーの中川司さんは、(スライド3)「パワフルに動く町の様子から生きるパワーをくみ取りました。今では、Bangladesh を学ぶ事で自分たちの生活を見直すことができました。」と話していました。

(スライド4) HOPE は、Bangladesh の人々や、その貧しさの現実を日本の人々に知ってもらうため、又、Bangladesh や HOPE の活動に関心のある人々の出会いの場として、今日も活動しています。

8 4 和賀愛 秋田県 秋田県立秋田南高等学校
心の国際化

「今まで閉じていた心のシャッターが、開いたんです。」こう話してくれたのは、ヒッポファミリークラブのメンバーです。

ヒッポファミリークラブは全国的な組織です。赤ちゃんが言葉を覚えていくのと同じようにして、多くの言語を自然に身につけることを目標としています。

メンバーは毎日の活動として、様々な国の言葉が入ったテープを聞きます。そして週に一度地域ごとに集まり、お互いに学習の成果を披露しあいます。

私もその会に参加させてもらいましたが、様々な年代の人と一緒に、自分の好きな言語で自己紹介をしたり、ゲームなどをしていて、ここは言語だけでなく、人と人との関わりを学んでいく場でもあるのだと実感しました。

研究員の吉岡さんは「大切なのは、相手をどう理解していくかということです。ヒッポで活動していると、人ってみんな同じなんだって思えるんです。」と話して下さいました。

みなさんは外国の人と接する時、自分との違いばかりを探してはいませんか。少し視点をかえれば、新しい発見があるかもしれません。

85 新泉 雄得 秋田県 秋田県立秋田中央高等学校 ワールドゲームズ

二〇〇一年八月に、秋田県で「第六回ワールドゲームズ」が開催されます。

このワールドゲームズとは、オリンピックの種目とされていないビリヤードやラグビー等を種目とした、マルチスポーツイベントです。

第六回ワールドゲームズでは約三千人の選手・役員が参加する予定です。競技も徐々に種目が増えており、秋田の大会では三十二種目が予定され、広い分野で白熱した試合が行われます。

さらにワールドゲームズの狙いは競技を競うだけではありません。選手・役員と観客・地元住民との交流です。互いに理解を深めることもワールドゲームズの狙いの一つなのです。

第六回ワールドゲームズの広報部の方は「世界中からトップクラスの選手が集まるので、ぜひ見に来てください。」と おっしゃっていました。

二〇〇一年の大会が今から楽しみです。

86 高橋智里 秋田県 秋田県立秋田北高等学校 イングリッシュカフェ

秋田県では、2001年8月からワールドゲームズが開催されます。これにともなって、世界から3千人もの人たちが秋田にやってくるそうです。ぜひ、秋田の郷土料理でもてなしたいものです。しかし、外国の選手が安心してくつろぐことができる空間も知っておきたいですね。

秋田駅から徒歩10分の所にあるイングリッシュカフェは、イギリス人のナイジェルモアさんが3年前に開いたお店です。ここでは、外国のお酒や家庭料理を楽しむことができます。

ナイジェルさんは、「秋田の人たちと外国人が自由にコミュニケーションをはかれたらと思ってお店を開きました」と語って下さいました。今、ナイジェルさんはお店を引退して、彼の思いは別の人に引き継がれています。

午後5時の開店を過ぎると、お店には様々な国の人が集まってきます。そして自分たちの国の言葉や文化の話に花を咲かせます。皆さんも、おいしい料理を食べながら心が打ち解けあっていくのを感じてください。

87 橋野 美由紀 福島県 郡山女子大学附属高等学校 日本文化を伝える「かるみあ」

福島県郡山市の「国際交流の会かるみあ」。県内に住む外国人の方を対象に、日本理解のお手伝いをしようと、二年前につくられました。

この「かるみあ」の代表は、菊地恵美子さんです。菊地さんは、五年前、アメリカに渡り、現地の学校で、日本文化に関する授業を担当していました。

でも、言葉は通じて、日本の文化を説明できないでとても困ったとのこと。着物の着付けはできても、その歴史についてわからないなど、日本の伝統文化をうまく説明できなかったそうです。

その菊地さん。「国際化と聞いてまず外国語をと思うのではなく、まず自分の国の文化や伝統、また、歴史などをじっくり考える機会をつくることも大切なんですよ。」とおつ

しゃっていました。

「国際交流の会かみあ」。最近、参加したいという、外国人の方がとても増えているそうです。日本語の会話だけでなく、日本文化を伝えるため、菊地さんは今日もがんばっています。

88 大槻真由美 福島県 福島県立相馬女子高等学校 「踏み出す力」

皆さんは、私たちの先輩新妻香織さんを知っていますか。アフリカの植林ボランティア団体『フー太郎の森基金』を設立した人です。

植林をはじめたきっかけは、エチオピアで出逢ったフクローのフー太郎でした。フー太郎でした。フー太郎は森林破壊のためかえる森をなくしていたのです。

また、森林破壊は動物だけでなく、人々にも大きな影響を与えています。木のないこの大地では水を蓄えることができないのです。エチオピアの木は、国土全体の四パーセントにまで減少しています。

「けし粒みたいな私に何ができるのだろう・・・いつもそう思います。でも、あまり多く考えずまず一步踏み出すことにしています。」と新妻さんは話してくれました。

ただ、したいと思うだけでは何も始まりません。新妻さんのように、まず一步踏み出すことが大切なのです。一步が二歩、一人が二人、やがて大きな力となります。アフリカの大地が水と緑で潤う日を夢見て新妻さんは植林のための活動に励んでいます。

89 佐川 友奈 福島県 福島県立磐城桜が丘高等学校 ホームステイから見えたこと

高校二年生の佐藤万里子さんは、昨年夏ホストファミリーに挑戦しました。万里子さんが迎えたのはイギリスの高校生、エミリーさんです。年も近い二人はすぐに仲良くなるかのように思われましたが、言葉や生活習慣の違いが二人の間に見えない壁をつくってしまいました。

そんな中、万里子さんが思いついたのは共通の話題を見つけること。二人の場合は洋楽でした。エミリーさんと音楽を聴くうちに、万里子さんはしだいに身振り手振りを交えて会話できるようになったといいます。

「日本人もイギリス人も、皆同じです。学校の友達と同じように接すればいいんです。」と万里子さんは語ります。

万里子さんが言うように、「外国人」という言葉に捕らわれず、私たちもひとりの人間として外国の方と親睦を深めていきたいものです。

高校では英語部の部長として活躍中の万里子さん。今後もさらなる異文化理解を目指し、様々な活動を展開していく予定です。

90 高橋治子 神奈川県 神奈川県立多摩高等学校 郷土に溶け込む友好関係

川崎の中には小さな中国がある。{スライド1} 横浜と東京の間に位置する川崎市は、今も幅広い国際交流を続けています。

{スライド2} 川崎の中にある中国とは、この「瀋陽園」のことです。東日本初の中国式自然山水庭園で、全国でも最大規模を誇ります。ここは、中国の瀋陽市との友好提携5周年を記念して昭和62年に開園しました。{スライド3} 庭園づくりには瀋陽市も協力し、回廊の屋根を彩る約5万枚の瑠璃瓦も中国から贈られました。

{スライド4} 川崎南部は工場が建ち並ぶ重工業地区として有名です。締結当時、瀋陽市も川崎に学ぼうと工業化が進められていました。そのため2年という異例のスピードで友好提携が実現し、今では経済活動を中心に様々な分野で交流が行われています。

{スライド5} 「瀋陽市の優れた美しい自然豊かな庭園」という意味で名付けられた瀋陽園。その扉はいつでも開かれ、市民に開放されています。瀋陽市との友好関係が生んだこの庭園は、まさに川崎の中の中国としてこの地にしっかりと溶け込んでいます。

9 1 大島千佳 神奈川県 神奈川県立大和西高等学校 「モーニングコーヒー」

外国の友達がほしい人、語学力を上げたい人、そんな人におすすめなのが、第一日曜日に横浜市の国際交流ラウンジで開かれる「モーニングコーヒー」です。

(スライド1) このラウンジは、外国人と地域住民との触れ合いの場で、「モーニングコーヒー」は、朝のコーヒーを飲みながら、フリートーキングを楽しむイベントです。

(スライド2) かわいくて人気者だった、参加者の梁婉?さんは、中国から来た小学三年生の女の子です。「日本語は簡単です。」と話す梁さんは、日本にきてまだ一年ですが、とても上手な日本語で楽しかった運動会の話をしてくれました。

(スライド3) また、「モーニングコーヒー」の代表者である山田由美子さんはこうおっしゃいます。「私達はボランティアでお友達作りの場を提供しています。ボランティアというように私達は無料奉仕ではなく、自主的に活動しています。皆さんのお役に立っていると思えるので、スタッフは皆生き生きしています。」

(スライド4) 日曜日の朝に多くの人が集まる秘密は、その気軽さや新鮮さ、そしてコーヒーの香り漂う和やかな雰囲気にあります。

9 2 中川 茜乃 神奈川県 捜真女学校高等学部 横浜外人墓地の今

(スライド1) 横浜・山手の外人墓地には、幕末から明治期にかけて日本を訪れた多くの外国人が眠っています。

(スライド2) キリスト教の宣教師をはじめ、最初の鉄道を建設したモレルやビールの製法を伝えたコーブランドの墓などが有名です。

百四十年余りの時を経て、現在では四十カ国、四千五百人以上の外国人が眠っています。遺族と連絡の取れない墓が、八割を占めるそうですが、分け隔てなく管理が続けられているとのこと。

(スライド3) 墓地の問題点について、管理員の樋口さんに尋ねたところ、(スライド4)「財政面が最大の悩みです。土日に限ってはじめて一般公開の際にお願いしている募金が貴重な財源になっています。「毎日公開を…」という声もあるのですが、この墓地には、日本を祖国以上に愛しつづけた外国人のアイデンティティーが刻み込まれています。ですから、単なる観光スポットにはしたくないのです。」と話してくれました。

日本の国際化の歩みを今に伝え続ける外人墓地をどう守るべきか。新しい道が求められています。

9 3 塩田あゆみ 千葉県 千葉県立船橋高等学校 サバイバル日本語講座

みなさんこんにちは。今日は夏休みに行われた、サバイバル日本語講座を紹介します。

英語以外を母国語に持つ外国人の子供たちの多くは、日本の普通の小中学校に通っています。来日して間もないこのような子供たちにボランティアで日本語を教えているのが、サバイバル日本語講座です。

三日間にわたって、中国、ペルー、コロンビアなどから来た30人の小中学生が参加しました。午前中は学年ごとに分かれての勉強です。小学校一年生のグループでは、まず自分の名前をひらがなで書くことから始まりました。午後は全員でのレクリエーションです。覚えたばかりの日本語を使って、しりとりやフルーツバスケットなどで楽しみながら日本語に接しました。

最終日に日本語の歌を歌って3日間の成果を発表したカサング=チュラポンさんは「日本語の勉強は大変だったけれど、友達もたくさん出来てとても楽しかったです。」と笑顔で話してくれました。

もう少しで二学期が始まります。この講座での経験が少しでも役立つといいですね。

9 4 桐谷佳那 千葉県 千葉県立千葉女子高等学校 一人一品ポットラックパーティー

(スライド1) 市原市に住んでいるブレット・コックラハムさんはアメリカから日本に移り住んだ外国人の一人です。

(スライド2) パーティーの大好きなブレットさんは誰かの誕生日やハロウィーンなど何かの行事がある度に自宅を持ち寄りパーティーを開きます。そのパーティーには彼の家族はもちろん近くに住む外国人の方や日本人の友達などたくさんの方がやってきます。

「日本に来たばかりの頃は、言葉が通じなくて、とても困りました。」とブレットさんは言います。また、子供の躰が日本人と違うので自分の子供が学校でうまくやっているかが心配だそうです。

(スライド3) しかし、同じ悩みを持つ外国人や理解のある日本人とお互いに助け合うことで日本でも素晴らしい生活を送れるそうです。

(スライド4) ますます国際化の進む日本。持ち寄りパーティーで持参しなければならないものは思いやりと他人を認めることのできる笑顔ではないでしょうか。

9 5 大野 恵 千葉県 成田高等学校 外国に紹介された日本の紙芝居

千葉県の成田市とアメリカのサンブルーノ市が姉妹都市になってから、今年で 10 周年を迎えました。成田市の国際交流協会は、10 周年を記念して、手づくりの紙芝居を紹介することにしました。

この紙芝居は、「花さかじいさん」や「さるかに合戦」などの昔話を英語に訳したもので、日本の伝統文化を知ってもらうためにつくられました。紙芝居をつくる上で一番大変だったことは、「ドカーン」「ピカリ」といった音を、英語でどう表現するかということだったそうです。

苦勞してできあがった紙芝居は、今年の3月、サンブルーノ市を訪れた成田市の中学生によって披露されました。その時、紙芝居を見ていたサンブルーノ市民のドーンラス夫人は、「絵の中の人物が、今にも動き出しそうな感じがして、とても感動しました。とても良い日本の伝統文化ですね。」と話してくれました。

外国に紹介された日本の伝統文化「紙芝居」。この紙芝居をきっかけに、成田市とサンブルーノ市の絆がさらに深まるといいですね。

9 6 本澤夕湖 長野県 松商学園高等学校 絵本をカンボジアへ

今年の夏休み、(スライド1) 私達の学校のすぐ隣にある源池小学校で、カンボジアの子供達との交流会が行われました。そこで小学生が知ったことは、(スライド2) カンボジアでの絵本の不足です。

自分達が小さい頃、あんなに楽しみにしていた絵本。それが足りないという話にショックを受けた(スライド3) 六年二組の生徒達は、すぐに絵本集めを始めました。

ところが、絵本は思ったように集まりません。悩んだ生徒達が思いついたのは、なんとインターネットでのホームページの作成だったのです。

(スライド4) 六年二組の宮沢健介君は、「これだと多くの人が見てくれて、本も沢山集まると思う。それに外国の人達も見ってくれるんだと思うとワクワクしてくる。」と話してくれました。

(スライド5) カンボジアの子供達との交流をきっかけに始まったこの支援活動。インターネットを通して世界中に広がっていくといいですね。

9 7 石井さやか 長野県 長野県須坂高等学校 清水浜臣の善光寺参り

(スライド) 1998 年、長野市にある善光寺の鐘とともに長野冬季オリンピックが開幕し、善光寺は世界各国の人々でにぎわいました

(スライド) およそ 300 年前江戸時代の文政 2 年に、江戸の国学者清水浜臣が善光寺参

りをしています。江戸では浅草寺が栄え、江戸の人々の誇りとなっていました。しかし、善光寺に向かう途中に立ち寄った家の下女は、「善光寺の活気は浅草寺よりはるかに勝る」とたいへん誇らしげに語りました。(スライド) 内心ばかりにしていた清水浜臣でしたが、参道の活気や長さ4丁を超える石畳に茫然とするのです。

清水浜臣を研究した元須坂高校教諭の田子修一先生は、(スライド)「異文化を目の当たりにした清水浜臣の驚きと感動を思うと胸がわくわくします。昔も今も異文化と出会う喜びは変わらないですね。」と話しています。

(スライド) みなさんも一度善光寺参りをしてみませんか。新たな発見があるかもしれません。

98 木下絵里香 長野県 長野県飯田高等学校 「インターナショナル・デイ」

(スライド1)「世界の国へ、もっと関心を……」そんな先生方の願いから、昨年9月11日「インターナショナル・デイ」という国際文化交流の授業が、長野県飯田市立竜峡中学校で行われました。

(スライド2) この授業に招かれた先生方は、アメリカやスコットランド、イスラエルなどの出身というネイティブスピーカー。(スライド3) 受講対象となった3学年の生徒たちは、楽しそうに、でも真剣な面持ちで、先生方の話に耳を傾けていました。(スライド4) そして、ダンスを踊ったり、ゲームをしたりしていく中で、生徒達は少しずつ外国に親しみを持ち始め、授業が終わる頃には、「いつかオーストラリアに行ってみたいな」などという声も聞こえてきました。

大成功に終わった、この「インターナショナル・デイ」は、今年の3年生の授業でも実施されるようです。生徒達の中からは、これをきっかけとして、世界へ羽ばたく夢を抱く人が出てくるかもしれませんね。

99 小黒 充 新潟県 新潟県立長岡商業高等学校 海を越えた医療

(スライド1) 今から十年前、ウラジオストクに住む4歳の少年アレクセイ君は、顔や胸などに大火傷を負いました。ウラジオ市民から、友好関係にある新潟市でよりよい治療をとの声が上がりました。そして、超法規的措置により海を越え、新潟市民病院での皮膚移植が実現しました。

(スライド2) その当時、アレクセイ君の主治医で、現在長岡市で皮膚科医院を開業されている森下美和子先生にお話を伺いました。

一番苦労したことは、医療面よりも食生活や文化の違いでした。

アレクセイ君は、日本食に慣れず食事を拒むこともありましたが、給食スタッフがロシア料理を学び、祖国の味を再現したところ、喜んで食べてくれました。

(スライド3) また、どこが痛いのか、具合はどうなのかといった意志の疎通も困難でしたが、言葉の問題もボランティア通訳のおかげで解決することができました。

(スライド4) 51日間に渡る治療のなかでアレクセイ君と家族、医療チームを大変勇気づけ、励ましてくれたものは、市民から寄せられたたくさんの手紙や千羽鶴などのお見舞いでした。

(スライド5) アレクセイ君は将来、通訳になりたいと森下先生に話しています。

多くの人の優しさによって救われた小さな命は、いつの日か、日本とロシアの架け橋となるでしょう。

100 新保陽 新潟県 新潟県立長岡大手高等学校 そこから世界へ

みなさん、こんにちは。

今年3月に長岡市在住でガーナ出身のオーガスティン・アウニさんが米百俵賞を受賞しました。これはボランティア団体「ガーナプアルグ小学校基金」でのアウニさんの活動が評価されたものです。

この団体は、6年前の先輩が済美祭で文具を集め、ガーナへ送ったのをきっかけに設立

されました。今は長岡市民が屋根のないプアルグ小学校を修理しようと募金活動を行い、5月末には校舎が完成する予定です。しかし、校舎ができて水、トイレ、電気がありません。アウニさんは「今後はこの3つの整備を重点的に行いたい。夜間に成人教育も行いたいので特に電気が欲しい。そして完成したプアルグ小学校で日本の子どもたちとの交流をしたい。」と言っておられました。

私たちの近くでガーナと日本の子どもたちの笑い声が聞こえてくる、そんな交流ができたらいいですね。

**101 近藤 麻未 新潟県 新潟県立柏崎常盤高等学校
ネパールと高校生**

みなさんこんにちは、昼の放送の時間です。

今年一月、柏崎地域国際化協会と柏崎市国際化推進室の主催で、高校生派遣事業「ネパール・スタディツアー」が行われました。

これは「現地で学ぶ国際協力活動」をテーマに、柏崎市内の高校生へ参加者を募りネパール王国へ派遣するというもので、今回で4回目を数えます。

七泊八日の日程で、八人の「団員」が旅立ちました。活動の中には日本語教室の授業への参加や一般家庭へのホームステイもあり、貴重な体験が出来た様です。

参加者の一人、渡辺由衣子さんは、「ボランティア活動に興味があり参加した。みんなとても真剣だった。『ポカラ』という所は花がたくさんありきれいで、落ち着いた気持ちになれた。」と話してくれました。

様々な情報伝達手段の発達した今の時代、国際交流は私たち高校生にとって身近なものへと変わりつつあります。こうした事業を通して、より多くの人々が国際交流へ興味を持つだけでも大きな第一歩といえるのではないのでしょうか。

**102 我妻雄紀 栃木県 栃木県立盲学校
外交の窓inうつのみや**

宇都宮市には、現在60ヶ国5800人を越える外国籍の方々が、私たちの身近なところで生活しています。

このように、宇都宮市の国際化が進むなか、今年3月4日、「外交の窓inうつのみや～私たちの国際交流 新世紀への提言」が開幕し、16日までさまざまなイベントが行われました。情報交換会、実践通訳セミナーなどをとおし、より多くの市民に国際交流を身近に感じてもらうことを目的に開かれました。

初日の4日には、「地域の中で私たちにできること」をテーマにパネルディスカッションが行われ、外国人も加わりいろいろな意見が披露されました。その中で特に印象に残ったのは「違いを楽しむ」という言葉でした。

言葉の違い、文化の違い、生活習慣の違いを楽しんで、自分の人生が豊かになるよう努めていくことが、これからの地域の国際化には大切と、考えさせられるディスカッションでした。

**103 森藤真希子 栃木県 栃木県立栃木女子高等学校
ベトナムでの異文化理解**

今年の7月、日本の高校生がベトナムを訪れました。青少年赤十字ベトナム派遣団です。高校生達は現地の学校訪問やマングローブの植林など様々なボランティア活動を行ってきました。特に食生活や言葉の違いが人々との交流の中で大きな壁となったようですが、今まで自分の国では気づかなかったことに触れる良い機会ともなったそうです。

栃木県の代表者として参加した山根さんにお話を伺ったところ、「一番印象に残っているのは、私達と同じ十七歳の男の子が枯葉剤の影響で苦しんでいたことです。今でも戦争のあとが残っているのだと感じさせられました。」と話してくれました。

世界は一つといわれる今、このような交流を通して他国を知ることが異文化理解の糸口になるのだと彼女は実感してきたようです。

104 釜井香織 栃木県 栃木県立宇都宮中央女子高等学校
「百人一首市民大会を通して」

(スライド1) 宇都宮市は小倉百人一首ゆかりの地といわれています。これは宇都宮頼綱が、藤原定家に歌の選定を頼んだと伝えられているためです。

(スライド2) 今年も、「第6回うつのみや百人一首市民大会」が開かれました。一月十五日の宇都宮市体育館は、たくさんの人で賑わいました。初めて競技かるたを見学した、(スライド3) AFSの留学生、アナ・カタリーナさんは、「字の書かれたカードを取る、スポーツのような遊びがあることを知り驚きました。」と興味を持ったようです。アナさんをこの大会に誘った田中さんは、(スライド4)「アナに日本の文化を理解してもらうためには、私自身もより深く日本の良さを知らなくてはいけないと感じています。」と話してくれました。

国際社会への関心が高まる中で、この大会は日本の文化に触れ合う良い機会となりました。

105 五十嵐麻衣 埼玉県 埼玉県立松山女子高等学校
心つながるスリーデーマーチ

(スライド1) 埼玉県東松山市を中心に、比企丘陵の自然の中を11月3日から5日までを歩く、日本スリーデーマーチ。歩けオリンピック方式の大会としては国内最大の規模を誇り、最も古い歴史を持ちます。

(スライド2) この大会の提案者は、群馬県新町歩く会の新井さんと村山さんです。昭和52年に、オランダで行われた歩けオリンピックに参加し、感動したことが、提案のきっかけだそうです。

(スライド3) その1年後の昭和53年からスリーデーマーチが始まり、参加者は年々増えています。去年は8万人を越えました。日本は、オランダのナイメーヘンと姉妹都市を結んでいるので、オランダを始め、たくさんの外国人も参加しています。

(スライド4) 私も小学生の時は毎年参加しましたが、決して辛いものではありません。自分にあったリズムで楽しく歩き、人とのコミュニケーションがとれるのです。一緒に歩くことが、こんなにもお互いの心がつながるものだと実感できます。

(スライド5) みなさんも、スリーデーマーチに参加してみてもいいですよ。

106 浅見葉帆^{あきみなほ} 埼玉県 埼玉県立伊奈学園総合高等学校
遊遊タイム

「隠れん坊する者、この指とまれ」

こんな声が子供達から消えてしまっています。子供達の遊びが変わってしまったからです。

数十年前は…という、ゴムとび・メンコなど自分たちで工夫して遊べるものが定番でした。しかし、今では小学一年生でさえも、家に帰ると一人で黙々とテレビゲームに熱中しています。いつの間にか子供が、「風の子」ではなくなっていました。

そこで小針小学校では、「遊遊タイム」という、全学年で仲良く遊ぶ時間を持つようになりました。遊ぶ遊ぶと書いて遊遊タイム。遊遊タイムではドッジボールやおにごっこなど、みんなで工夫し、上級生が下級生の世話をしながら楽しんでいるそうです。

小針小学校の山田先生は、

「いろんな学年の人達と交流することで思いやりや優しさを身につけて欲しいです。今の子供達にはもっともっと遊んで欲しいですね。」

と話してくださいました。

ルールが決まっている遊びでなく、遊びの中でルールを作る。そんな昔の遊びを取り戻して欲しいものです。

107 ^{くろうすゆか} 黒白悠夏 埼玉県 埼玉県立伊奈学園総合高等学校
大宮の高校生はお得

大宮市に住む高校生はお得なようです。毎年夏休みに行われるアメリカ・ペンシルベニア州での知事主催国際理解講座。この講座は大宮市に住む高校2年生対象で、今年も16名が参加しました。

英語の授業はもちろん、アメリカの若者の流行について学んだり、美術鑑賞・野球観戦・ダンスパーティーの体験。また逆に、アメリカの高校生に、折り紙・習字・日本料理を作って紹介したそうです。

何よりタダでアメリカに行ける。これが一番の理由と話す菱沼君は「アメリカの高校生に日本のことを聞かれた時、自分があまりにも日本のことを知らなさすぎるということに気付かされました。」

と話してくれました。毎日が驚きの連続だったというこの体験。修了証書ももらい、アメリカの生徒全員が席を立ち拍手してくれた、その時の感激と光景は、いつまでも鮮明に思い出されることでしょう。

108 鈴木由枝 山梨県 山梨県立市川高等学校
旧春米学校（藤村式建築の学校）

（スライド1）山梨県南巨摩郡増穂町にある増穂小学校の校庭の片隅に、白とコバルトブルーの美しい建物があります。1876年明治九年に開校した春米学校の校舎です。（スライド2）この建物は、バルコニーや二段手すりがあり、最上層には六角形をした太鼓堂がそびえ、当時としては大変モダンな建物でした。

（スライド3）現在は、増穂町民俗資料館として地元の人たちから親しまれているこの建物は、明治のはじめ、山梨県第五代県令である藤村紫郎が奨励した、藤村式建築とよばれる建物です。藤村紫郎は、「新しい教育は、新しい建築から・・・」という考えから、県内各地の小学校に、このような洋式建築を取り入れました。

（スライド4）文明開化の当時の面影を感じさせるモダンな姿は、山あいの地域の人々に新しい時代の訪れを知らせました。

（スライド5）子供達は、この校舎の中で世界に思いを馳せ、希望を胸に、近代日本の第一歩を歩き始めたのです。

109 佐藤友未 山梨県 山梨県立桂高等学校
東富士七里太鼓

（スライド1）「天高く、鳴り響けカナダの空に」

平成十一年五月、東富士七里太鼓は、日本の「和の心」を伝えるため、カナダのナイアガラ滝をバックに力強い演奏をしてきました。

東富士七里太鼓は、山梨県道志村の民族芸能です。現在では日本を代表する民族芸能として、アメリカ、カナダ、ヨーロッパ、オーストラリアなど世界各国に遠征しています。

（スライド2）九回目を迎えたカナダ遠征では、壮大な滝の水しぶきの音と太鼓の音、そして会場の観客が一体となり、大盛況のうちに終わりました。

（スライド3）七里太鼓保存会代表、佐藤恒男さんは「太鼓を通して、海外の人たちと交流してお互いの文化を理解することが大切です。これからも”和の心”を世界に伝えていきたいです。」と語ってくれました。

（スライド4）二十一世紀に向けて、七里太鼓が日本と世界の架け橋になることを期待しましょう。

110 倉沢美保 山梨県 山梨県立吉田高等学校
芥川賞作家・李良枝さんからのメッセージ

（スライド1）「自分は何者なのか」高校時代から自らの存在を問い続けた人がいました。

11年前「由ヒ」という作品で、芥川賞を受賞したのが、李良枝さんです。

（スライド2）在日韓国人として、山梨県に生まれ、吉田高校に2年間在籍した私たちの

先輩です。しかし、1992年、37歳という若さでこの世を去りました。(スライド3)
李良枝さんは、韓国と日本、2つの国の狭間で苦しんでいました。その葛藤のなかで「由ヒ」という作品を書きました。(スライド4) 言葉を通して、自分の血や民族のことを考え、自分自身の存在を探し求めていたことがうかがえます。(スライド5)
これから、国際社会は更にさらに進んでいきます。このような時代の中、私たちは、この「由ヒ」という作品のメッセージを心に留め、自分らしく生きていきたいものです。

**111 菊池紗和香 群馬県 群馬県立伊勢崎女子高等学校
心の距離**

あなたの外国人に対する心の距離はどれくらいですか。群馬県では、その距離を少しでも縮めようと様々なイベントが行われています。今回はその中から、伊勢崎市で行われている「少女ソフトボール大会」についてお話ししましょう。

この大会は、伊勢崎市とその姉妹都市であるアメリカのスプリングフィールド市の高校生を対象に行われています。ソフトボールを通じてお互いを理解し、友好を深めることが目的だそうです。

この大会に参加した平崎さんは「同じスポーツを一緒にやることで、言葉だけではなくて心の交流もできたような気がします。私はこの大会で、外国人も日本人もみんな同一人の人間なんだということに気付いたんです。だから仲良くなるためには、自分から心を開くことが大切なんじゃないかな。」と話してくれました。

平崎さんはこの大会で心の扉を開くことができたようです。あなたも心の距離を縮めるために勇気を出して第一歩を踏み出してみませんか。

**112 荻野澄子 群馬県 群馬県立伊勢崎女子高等学校
魅力ある交流会**

世界の文化に触れる。先月桐生市で「世界の料理&フェスタ」が行われました。

このイベントは料理を作ってそれをフェスタで試食するという交流会です。今年も四百人以上の人が参加しました。

今年の料理教室のテーマは、「世界の野菜料理」です。参加者は百人分をたった二時間で作らなくてはなりません。出来上がった料理はフェスタの会場に運びます。会場には八ヶ国もの料理が集まりました。中でもロシア料理は大人気だったそうです。フェスタでは他にも民族舞踊やタップダンスなどが行われました。

ボランティアスタッフとして参加された阿久津さんは、「一緒に料理をすると心が通じ合えるんです。料理を通して多くの人との交流ができました。それに自分たちで作った料理を食べるから話の輪が広がったんです。」と話して下さいました。

この交流会の魅力は「自分たちで作る上げる」ということにあるようです。私たちも積極的に世界中の人たちと交流していきたいですね。

**113 梅村亜衣 愛知県 愛知県立岡崎北高等学校
英会話コミュニケーションについて**

今の時代、英語は私たちにとって欠かすことのできない言語となっています。私も最近、英会話を習い始めました。レッスンに行くと、たくさんの人に出会うことができます。

ある日、私は、若い学生や会社員の中に、七十才くらい、のおじいさんを見かけました。その人は、レッスンが始まるかなり前から来て、外国人講師に積極的に話しかけていました。おじいさんの英語は、お年寄りとは思えないほどすばらしく、私よりはるかに上手な発音で、内容の濃い話をしていました。そして何よりも英会話を本当に楽しんでいらっしやるようでした。

「学校の英語は得意だけど、会話はできない。」

という声をよく聞きます。私もいまだにその一人です。しかし、あのおじいさんの姿を見て、言葉で話すことの大切さを改めて知りました。

みなさんも英会話に挑戦して、人種や文化の壁を越えたコミュニケーションを体験してみませんか。

114 渡邊亜美 愛知県 愛知県立時習館高等学校
世界新城サミット

世界には「新しい城」という意味をもつ町がたくさんあります。イギリスのニューキャッスル市、ドイツのノイブルグ市、スイスのヌシャテル市、そして私が住んでいる新城市もそのうちの一つです。

去年の九月、ヌシャテル市で、第二回「世界新城サミット」が開かれました。これは、新城市の山本市長が提案して始まったもので、第一回目のサミットは新城市で開かれました。今回のサミットでは五つの国から六つの町が参加して、「文化」「教育」「観光」をテーマに様々な話し合いが行われました。また、新城市の代表団は、着物姿で日本のお茶をふるまいました。新城市の特産品であるしんしろ茶も紹介され、あっさりして飲みやすいと好評だったそうです。

世界の新城市がこのように交流を深めていくのは素晴らしいことだと思います。同じ名前をもつ町として、これからも協力し合っていきたいと思います。

115 川治摩美 愛知県 愛知県立時習館高等学校
私たちの国

『国際交流』と聞くと、堅苦しいイメージを持つ人が多いようです。確かに、文化や言葉といった問題はたくさんありますが、本当はそんなに難しいものではないのかもしれない。

先日、海外旅行に行った父と母がローマの街を歩いていると、10才くらいの女の子が近づいてきて、不安そうに、

「こんにちは。」

と言ったのです。突然のことにびっくりしながらも母が、

「こんにちは。」

とほほえみかけると、女の子はホッとしたような笑顔を見せ、走り去っていきました。きっと、日本語を覚えてばかりで、使ってみたかったんだと思います。

私も英語を習いたての頃は、外国人に会うたびに、「ハロー、ハロー。」と言っていたのを覚えています。国はちがっても、わかり合いたいと思う気持ちは誰もがもっています。

そして、その気持ちがあれば、言葉は問題ではないのです。そんなに堅くならず、もっと肩の力を抜いて世界とむき合ってみてはどうでしょう？

116 武藤尚子 岐阜県 岐阜県立岐山高等学校
ジュニアリーダーズクラブの活動

「友達をつくるのに国境は必要ありません。文化の違いにこだわらず、若い世代にしかできない交流をしてほしい。」

こう話してくださったのはジュニアリーダーズクラブの指導者、村瀬誠三さんです。

ジュニアリーダーズクラブとは、年少者へのレクリエーション指導を行う団体です。そのため毎月定例会が開かれ、自分たちで実践しながら指導方法を検討します。

質と幅の向上を目的として県内・県外においても活発な交流が行われています。さらに最近の活動として海外交流もあり、代表者が様々な地域へ派遣されています。

例えば、ロタ島の研修では、海外のジュニアリーダーとペアを組み、ショッピングや歌などを通じた交流が行われました。また、オーストラリアも研修地の一つで、一昨年研修に行った横山君は、「ティータイムや食事の会話などにおいて、日本との文化の違いを痛感しました。しかし、ホストファミリーが友好的で打ち解けられ、すぐに違和感がなくなりました。」と話してくれました。

国籍や年齢を問わず、仲間を増やし、親交を深めるために、ジュニアリーダーズクラブは海外にも活動範囲を広げています。国際化の時代にあわせて、益々の発展が期待されます。

117 田中宗一 岐阜県 岐阜県立岐山高等学校
ワールドデザインシティー岐阜

みなさんは、岐阜が世界でも有数のアパレル産業の中心となっていること知っていますか。

岐阜市は、戦前から繊維問屋街として栄えていました。その理由は、日本のほぼ中心にあり、交通が便利であったこと。そして、生糸などの原料が整いやすく、安い値段で衣料製品ができたことがあげられます。しかし近年は、以前ほどの活気が街からなくなってきました。

そこに、昨年七月、JR 岐阜駅の中に、「おしゃれ」「健康」「楽市楽座」をコンセプトにした、「ワールドデザインシティー GIFU」が誕生しました。ここは、様々なアーティストを国内外から集め、ファッションの情報センターとして機能しています。今年四月からは、「TAKUMI アカデミー」という、自分の個性を引き出すための製作講座が開かれ、多くの方が受講しています。岐阜市は、海外の人々も多く訪れるようになり、国際色溢れる街になりつつあります。

ぜひ一度、世界のファッション工房岐阜を訪れてみて下さい。

118 肥田真理子 岐阜県 岐阜県立多治見北高等学校
花びらの浮かぶ抹茶茶碗

(スライド1) みなさん、こんにちは。

これは、ルーマニアのダニエラ・ファイニッシュさんが作った茶碗です。抹茶が入ると、その表面に花びらが浮かんでいるようにイメージされたものです。

岐阜県多治見市は土と炎の町です。古くから美濃焼と呼ばれる焼き物の産地として発展してきました。(スライド2) この多治見市で、海外の陶芸家に研修の場を提供しているのが「TAJIMI 海外陶芸家支援の会」です。(スライド3) 「支援の会」では学校訪問や講演会なども行い、今年で三年目になります。

「支援の会」事務局長の酒向和子さんは、「陶芸は、もともと異なる文化が融合して発達してきたものです。美濃焼も常に新しいものを取り入れてきました。(スライド4) だから、今度は海外の若い陶芸家に、美濃焼の高い技術を少しでも多く学んで帰ってほしいと思うのです。」と、はつらつと語ってくださいました。

(スライド5) こんな元気なボランティアの皆さんに支えられ、今年もまた新しい作品が生まれます。

119 興沼 裕子 (こうろぎ ゆうこ) 宮崎県 宮崎県立宮崎大宮高等学校
「異文化との“ふれあい”」

赤道直下のケニアへ飛び立った高橋三愛さんは密かな夢を胸に抱いています。青年海外協力隊の一員として伝染病の根絶を目指す彼女は多くの壁を乗り越えてきました。

初めてケニアを訪れた彼女は日本とは全く違う環境にとまどいを隠せなかったそうです。そんな中で彼女は、この伝染病に感染した子供を探す事に追われていました。しかしこの仕事は現地の言葉が通じない彼女にとって非常に困難なものだったそうです。それでも彼女は仕事の合間をぬっては子供達と一緒に遊び、現地にとけこむ努力を重ねました。こうして彼女の力強い足どりは辛く険しい道をも切り開いていったのです。

高橋さんは「助けるではなく、ふれあうという気持ちで接する事が大切だ」と感じたそうです。今日もまたケニアの大自然の中にはたくさんの笑顔の花を咲かせようと走り回る高橋さんの姿が映し出されています。

120 柏木 博乃 宮崎県 宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校
家族とのコミュニケーション

「皆さんは一日のうちに一体何時間家族と一緒に過ごしているのでしょうか。」そう、なげかけてくれたのは今村美穂さんです。彼女は中学3年間を台湾で過ごしました。その中で日本を知ることができたと言います。

台湾では最近、流行曲やアニメ、ゲームといった日本の大衆文化への関心が高まってお

り、「日本が大好き」と言う意味の「ハーリー症」の若者が増えてきています。そんな台湾の朝は家族全員で散歩することから始まります。これは一日の始まりを家族と一緒に過ごすためです。

私たち高校生は、つい勉強やクラブ活動を優先してしまい、家にいる時間があまりありません。このことについて今村さんは「忙しい、疲れたからと言って、家族とのコミュニケーションを少なくするのはいけないことだと思います。何と言っても私を理解してくれるのは家族だからです」と話してくれました。

コミュニケーション一つにしてもさまざまな方法があります。私たちは外国と日本を比較することで、気づかなかった問題に目を向け、考えてみる必要があるのではないのでしょうか。

1 2 1 中西可奈 宮崎県 宮崎南高等学校 ありがとう

「川内先生にお会いできたら、日本語でありがとうを言いたい。」
少し癖のある日本語でそう言ったのは、ヨウ・ブンカさん。小学校3年生の時、中国からやってきました。

はじめの頃は、日本語を一言も話す事ができなかったそうです。何かを伝えたいのに、それが出来ない自分がもどかしく、涙を流した日もあったそうです。

そんなヨウさんを助けて下さったのが、担任の川内裕子先生でした。休み時間や放課後を利用して、マンツーマンで日本語を教えて下さったそうです。

しかし、川内先生は、産休補助の先生でした。そのため、ヨウさんが、自分の気持ちを言葉にできるようになる前に、学校を去られました。しかしヨウさんは、先生への感謝の気持ちを一度も忘れたことはないそうです。

そんなヨウさんの夢は、国際的な弁護士になることです。「日中間で問題が生じた時、少しでも役に立てれば」と話してくれました。

川内先生の教えてくださった日本語が、将来、日本と中国の掛け橋になるのも、そう遠い話ではないかもしれません。

1 2 2 落合杏里 三重県 三重県立津西高等学校 二つの祖国

私のクラスメートの橋本クリスチアーニさんは、日系ブラジル人です。

祖父母の代にブラジルに渡った橋本さん一家は、11年前に帰国しました。

5歳だった橋本さんが一番、覚えているのは食べ物のことです。食材や味付けが全く違って驚いたそうです。言葉については幼かったせいも、あまり苦勞せずに日本語になじんでいったようです。

橋本さんは、ブラジルで使われているポルトガル語を話せません。しかし、聞き取ることはできます。それで、周囲から「通訳になったら」と勧められてきました。高校2年生になった今では、自分自身も通訳を将来の目標と考えているそうです。

橋本さんには「生まれた国」と「育った国」の二つの祖国があります。

「以前は辛いことも沢山あったけど、今は日系ブラジル人だということを誇りに思っている」と胸を張る橋本さん。「今年の夏は、6年ぶりにブラジルへ帰るんだ。」と嬉しそうに話してくれました。

1 2 3 小野夏子 三重県 三重県立津西高等学校 いにしえの港 安濃津

(スライド1)「安濃津」という地名を聞いたことがありますか。私たちの学校が三重県津市の古い呼び名です。

津というのは港のことです。安濃津は国際貿易港であり、西国と東国を結ぶ商業交通の要地でした。

(スライド2) 貿易が盛んで、中国の記録にも安濃津が書かれています。これまでの発掘調査で、中国で製作された陶磁器がたくさん発見されています。いにしえの港、安濃津の反映ぶりがかがわれます。

ところが、1498年の明応の大地震によって、安濃津は大きな被害を受けました。(スライド3)この時に港の施設は海中に沈んだと言われています。この地震により地形が変わり、津の海岸部は遠浅になってしまいました。大きな船が近づけなくなり、港としての安濃津がその後、復興することはありませんでした。(スライド4)21世紀を迎えた今、発掘調査が進み、伝説の港は、はっきりした姿を現しつつあります。津市では安濃津をキーワードに、創作オペラや展覧会などさまざま取り組みを行っています。私ももっと安濃津のことを調べていきたいと思っています。(スライド5)みなさんは自分の町の歴史を知っていますか。一度、調べてみてはいかがでしょうか。

124 佐々木智佳子 三重県 私立高田高校 小さな国際交流から生まれるもの

私たち三重県の高校生は、毎年秋に行われる三重県高等学校文化祭総合交歓会において、外国の様々な団体と交流活動をしています。(スライド1)去年はチェルノブイリ子供民族音楽団のチェルボナ・カリーナのみなさんを招き、華やかで芸術性豊かな歌と踊りを見せていただきました。(スライド2)また、おとしは中国チワン族自治区の芸術学校生の方々と日本の小さな子供たちが一緒になって楽しみ、かわらしい舞台ができました。

(スライド3)22回目をむかえる今年は、アジアの中でも最も近い国である大韓民国と朝鮮民主主義人民共和国との交流を深めようとしています。しかし、日本との国交のない朝鮮民主主義人民共和国の人々を日本に招くのはやはり難しく、生徒実行委員はその実現に向けて対策を考えています。

(スライド4)生徒実行委員の伊藤めぐみさんは、普段からインターアクトクラブという部活動に参加しており、積極的にボランティア活動を行っています。めぐみさんを含め生徒実行委員の人達は、アジアの人達とお互いに理解し合い、信頼を深めあえるように活動しています。

125 斎藤史子 青森県 青森明の星高等学校 アジアへの架け橋

みなさん、こんにちは。今日は、留学についての話題です。

日本から海外へ留学する高校生は、年々増え続けています。私達の学校でも、毎年十数名の生徒が海外へ留学しています。留学先は主に、アメリカ、オーストラリア、イギリスといった国々です。留学先を、「経済的にも安定していて、英語の勉強ができるから。」という理由で選んでいるようです。アジアの国々に対しては、今ひとつ魅力を見出せないようです。

私達のクラスの、タイからの留学生のワンラヤさんは、「私の国、タイから日本の高校に留学する生徒は沢山いますが、タイに留学する日本の高校生はほとんどいません。先日、タイの国をおもしろおかしく紹介している番組を見ました。日本人達は、テレビ番組などの影響で、タイやアジアの国々に対して、あまりいい印象を持っていないようです。もっとアジアの国の人々と交流を深めて欲しいです。」と、話していました。

私達はアジアの国々に対して正しい目を向け、もっと関心を持ちたいものです。

21世紀、私達こそがアジアの架け橋になるのだという目標を持って、アジアへの留学を考えてみたいものです。

126 種市佳子 青森県 青森県立八戸高等学校 出逢い～八戸に咲いた満月の菊～

秋になると、大きな黄色い花を咲かせる菊の花。(スライド1)皆さんはこの菊を食べたことがありますか。青森県八戸市では約150年前から食用菊を栽培しています。ここで作られる菊は「阿房宮」と呼ばれ、甘味があり、色や香りもよいと評判です。

(スライド2)この「阿房宮」という名前は、秦の始皇帝の宮殿の名にちなんでつけられたものだそうです。そもそも中国では黄色い菊が薬用として珍重されていました。菊の露を飲み、800歳まで生きたという伝説も残っています。

(スライド3)3年8組の濱弥雪さんの家では、40年ほど前から食用菊を栽培しています。この40年の間に、やませを避け、よりおいしい菊を作るための品種改良が進みま

した。濱さんの家では、改良された「十五夜」という菊を栽培しています。濱さんは、「大きくて、満月みたいな菊ですよ」と話していました。

(スライド4) 巻き寿司や酢の物にしたり、みそ汁に入れたり、(スライド5) 八戸の食卓を彩る菊の花。遥か昔の中国に思いをはせながら、みなさんも八戸に咲いた満月の菊を味わってみてはいかがでしょうか。

127 木村歩実 青森県 青森県立青森東高等学校 武漢市の桜

(スライド1) みなさんこんにちは。青森市に本店を置くみちのく銀行が4年前から始めた日中友好事業があります。

(スライド2) この事業は、平成9年10月に中国・武漢市に駐在員事務所を開設したのがきっかけでした。それ以来、ソメイヨシノや八重桜など5千本の桜の木が武漢市の東湖公園に植樹されました。

(スライド3) 現地の公園管理者が青森県弘前市を訪れ、3ヶ月間桜の栽培について研修を受けるなど技術交流もしました。そして今年の3月28日、中国で初めての桜園となる東湖新桜園が開園しました。この桜園には、弘前市の最勝院をモデルとした五重塔や池・たいこ橋などがあり、日本庭園の風情があふれています。

(スライド4) みちのく銀行の大道寺会長は、「こんなに立派にできあがるとは思っていませんでした。武漢の人達の協力があったから、このような素晴らしい桜園ができました。」と話していました。

(スライド5) 植えられた桜とともに、武漢と青森の友情も成長していきます。

128 木幡亜由美 北海道 北海道函館中部高等学校 60歳のウェンディーちゃん

(スライド1) 平成元年、およそ六十年ぶりにアメリカに里帰りした人形、ウェンディーちゃんは子供たちに温かい拍手で迎えられました。

ウェンディーちゃんは日米親善の大使として昭和二年に、函館にやって来ました。

(スライド2) これはアメリカのグーリック博士がアメリカ各州の子供たちに呼びかけて、贈ってくれたものです。およそ一万二千体が来日し、そのうち二十三体が函館に贈られました。(スライド3) 珍しい青い目の人形は、当時の子供たちにとっても喜ばれました。

しかしその後、日本とアメリカは交戦状態となり、青い目の人形は敵の象徴と見なされ、ほとんどが焼かれてしまいました。函館で唯一残った一体がウェンディーちゃんでした。

(スライド4) 平成になるまで市内の中の学校で保存されていたのです。

日本中で、保護されていた人形が次々に発見され、それらを集めて展示会が開かれました。人々の関心が高まる中、「人形をふるさとへ」と里帰りを提案したのは小学校の子供たちでした。

(スライド5) 六十年前、日本人に夢を与えてくれたアメリカの子供たちに、今、日本の子供たちからの「恩返し」です。

129 齊藤直史 北海道 北海道旭川東高等学校 「21世紀へのかけ橋」

(スライド1) 旭川の北光小学校で、ワールドフェスタ2000という行事が、10月26日に開かれます。テーマは、「手と手をつなぎ心をつなぎ、一つになろうよワールドフェスタ2000です。」

(スライド2) 旭川に住んでいる13人の外国の方々をゲストに迎え、それぞれの国の言葉やゲーム、文化などを教えてもらいます。また、最後の集会では、歌ったり踊ったりして、ゲストの皆さんと心を通わせようと考えています。

(スライド3) 今年で5回目となるこのワールドフェスタ。今回から新しい試みとして、企画・進行など全てを子供達が仕切ることになりました。地域の人に参加を呼びかけるなど、実行委員が中心となって準備に取り組んでいます。

(スライド4) 実行委員長の宮越さんは、「みんなに楽しんでもらえるように工夫をして

います。21世紀へのかけ橋となるワールドフェスタにしたいです。」と、意気込みを話してくれました。

(スライド5) 子供達の誰もが楽しみにしている、このワールドフェスタ2000。小学生の積極的な国際交流として、注目を集めています。

130 渡邊麻実 北海道 立命館慶祥高等学校 AETの始業式

(スライド1) 八月二十五日、市内ほとんどの学校で、始業式が行われました。

(スライド2) 札幌の短い夏休みでも、部活動に遊びにと、思い出の分だけ日に焼けた顔が集まって、新しい学期の始めに少々緊張した事と思います。

しかし、そこで緊張していたのは、生徒だけではないようです。初めて来た日本に多少の不安と、出会うだろう元気な生徒達への大きな期待を胸に、新しく五人の先生が、札幌に誕生したのです。(スライド3) AET アシスタント・イングリッシュ・ティーチャー。五人全員が、今年六月に母国の大学を卒業したての新任先生。どんな気持ちでこの始業式を迎えたのでしょうか。(スライド4) カナダから来たケントン先生に聞いてみました。「英語だけではなく、自分の国や故郷の文化も子供たちに教えたい。」「早く生徒達と会話したい」と胸を膨らませているようです。

(スライド5) 国際化の進んだ今日、英語だけではなく英語を話す国の文化を知る事も重要になっています。AETの先生方との出会いが世界に飛び立つ最初の大きな一歩となったら、素敵ですよ。

131 城内 里実 奈良県 奈良県立奈良高等学校 「占いと日本の歴史」

昔から、日本は神の国だと言われてきました。何かが起こるとすぐに神に祈り、お告げを聞く。重要なことは神様にお願いする。占いなどがよく信じられるのも、そんな風習があるからでしょう。

中でも最も有名な人物は、やはり卑弥呼です。卑弥呼は占いによって神のお告げを聞き当時の最大級の王国を治めていたのです。そのような王国が占いの力で平和を保っていたというのですから、当時の人々が神様をどれだけ頼っていたのかがこれでわかります。

結局人間は何かにすがりたいという気持ちを持っているのです。今考えれば論理的に解明できることでも、“神”に従うことによって心のよりどころとしていたのです。

現代社会に於いても似たようなことが云えるでしょう。日本人は曖昧なものを好みます。自分の思っていることをはっきり人に伝えるのは勇気のいることです。そのため人は“占い”というものに力を借りたがるのです。

それはとても日本人らしいことで、悪くはありません。けれども神の力に頼らず自分で勇気を出してみることも、これから先を生きる私たちには必要なことだと私は思います。

132 今西 泰起 奈良県 奈良県立奈良高等学校 「蘇るキトラ」

みなさんは、奈良県明日香村で発見されたキトラ古墳というのを知っていますか？この古墳、8世紀の初めに作られたと言われていますが、その最大の特長はなんといっても内部の装飾です。中でも、最近ニュースになっている「朱雀」の壁画が注目の的となっています。朱雀とは、南の方向をつかさどる空想上の生き物なのですが、この壁画の朱雀はかなり珍しいのです。というのも、他の古墳で見られる壁画は、中国や百済などから入ってきたものを精巧に模写しているのに対し、キトラの朱雀は大陸から渡ってきた絵を参考にして、新しく描き直したものなのです。

このように、キトラ古墳は日本が古来から大陸などと文化交流が盛んであり、しかも、単に文化受け入れるだけでなく、その文化を変化させ、自分達のものとして修得していったことを今に示してくれています。

今もなお、日本が外国との交流を盛んにし、そして、これからも交流が続くかぎり、文化は変化します。しかし、今一度、自分達の築いてきたものを見つめ直すことも必要ではないでしょうか。

133 新屋恵美 奈良県 奈良県立高取高等学校
古代の国際都市飛鳥と今

皆さんこんにちは、
私達の学校は古代都のあった飛鳥地方にあります。明日香村は1973年韓国の扶餘邑と姉妹関係をスタートさせました。

明日香と扶餘との交流の始まりは、日本への仏教伝来にさかのぼります。時の大和朝廷は、百済との外交を盛んにすすめて、新しい文化を取り入れようとしていました。その百済の都が扶餘だったのです。6世紀末から7世紀にかけて、飛鳥の地で花開いた文化のふるさは扶餘である、といっても過言ではありません。日本最古の寺院といわれている飛鳥寺も、百済の修徳寺と、姉妹関係を結ぶことになったのです。また、私達の学校も扶余高校と姉妹関係にあります。

そして、1992年にはさらなる交流を求めて協定書が明日香村と扶餘邑との間にかわされ、人材交流、スポーツ交流、文化交流目指して互いに友好の絆を深めてゆくという約束がされました。このように千年以上の時間をこえて益々交流は深められているのです。

134 森由美子 大阪府 私立相愛高等学校
四天王寺ワツソ

(スライド1) 日本最古の寺、四天王寺。聖徳太子によって建立されたこの寺は、奈良県にある法隆寺と並んで有名です。皆さんは、その四天王寺で毎年秋に行われている四天王寺ワツソと言う行事を聞いたことがありますか。

そもそも古代大阪は「なにわの津」と呼ばれ日本における東アジア交流の拠点でした。

(スライド2) 四天王寺ワツソは、その当時日本を訪れた百済や高句麗、隋と言った各国の使節の姿を忠実に再現し、(スライド3) およそ3600人が当時の音楽を奏でながら巡行するお祭りです。(スライド4) また、全長12メートルにもおよぶ日本最大級の舟だんじりがシンボルとして登場します。ワツソとは現代韓国語で「来た」を意味し、わっしょいの語源とされています。

このお祭りは、国際化時代の進展と関西・大阪の活性化をはかる動きの中で生まれました。単なるイベントではなく、未来につながる文化活動として取り組まれています。

アジアでは、サッカーのワールドカップ、オリンピックと言ったスポーツの話題も豊富ですが、一方では教科書問題等による厳しい対立もあります。かつての交流の姿を原点とし、未来にむけて友好関係を築き、異文化の理解を深め合いたいものです。

135 渡辺由花 大阪府 私立相愛高等学校
テーマパークの新たな試み

(スライド1) 今年の春、大阪のベイエリアにオープンした『ユニバーサル・スタジオ・ジャパン』。スクリーンから飛び出した様々なアトラクションやショーなどが話題となっていますね。

さて、今年の秋からパーク内の施設や建物を生かした、中高生向けの『教育プログラム』というものが始まります。このプログラムは、オリジナルの教材を使って、楽しみながら社会性や外国の文化を学び、考えてもらおうということで企画されました。

このプログラムの一つに、外国文化を体験するコースがあります。(スライド2) このコースは、パーク内に忠実に再現されているアメリカの街並みや(スライド3) 看板を見たり、外国人スタッフの生き生きとした英語を聞いたりしながら、国際交流の大切さや、外国と日本の違いを発見できるような内容になっているそうです。

また、取材に協力して下さったスタッフの方は「テーマパークを通して、本物さながらの海外研修を体験してもらいたい」と仰っていました。

(スライド4) テーマパークを通したまったく新しいタイプの国際交流として、新たな話題を呼びそうですね。

136 山本久美子 大阪府 私立相愛高等学校
世界をつなぐ御堂筋パレード

(スライド1) 大阪から世界へ、世紀の一大プロジェクトの一つとして、(スライド2) 大阪のメインストリート・御堂筋を舞台に、御堂筋パレードが毎年秋に行われています。

御堂筋パレードは、1983年、大阪城築城400年祭りのオープニングパレードとして始まったものですが、今では大阪の恒例行事となっています。参加者は、およそ一万人。ギリシャ・パトラスのカーニバルや中国の民族舞踊、スイスのマーチングバンド、ブラジルのサンバなどが、世界中から大阪に招待され、国際色豊かなパレードを実施しています。また、国内からも、福岡県・小倉祇園太鼓、高知県・高知よさこい鳴子踊りや地元大阪の天神祭りギャル神輿などが参加しています。夕方からは、光と音のパレードを展開し、夜祭や電飾フロートを中心に、夜の御堂筋を煌びやかに演出してくれます。

人々の心が結び合い、自由・活力・創造性に溢れた御堂筋パレード。身近な国際交流として、これからも発展してもらいたいですね。

137 安永 愛子 熊本県 熊本県立第二高等学校
小さな商店街からの国際交流

「国際交流のできる街づくりを目指します。」これは、私たちの学校の近くにある小さなアーケード街の目標です。

この商店街では、毎年十一月、近所に住む外国の方々が、お国自慢の手料理を持ち寄って、民族舞踊や歌などを披露する「インターナショナルフェア」を行っています。

この企画を成功させるために、担当の方は全国の商店街に出向いたり、中国桂林市を訪問したり、さまざまな研修をされたそうです。

その甲斐もあり、年々参加者も増えています。「毎年楽しみにしています。普段着で参加でき、気軽に外国の方と仲良くなれるので、おもしろいですよ。」と、今では1年間心待ちにされるほど、人気を博してきました。

「国際理解なんて難しい言葉より、まず行動してみる。そこから始まったんです。でも、これが地域の国際交流のきっかけになってくれたら嬉しいですね。」と商店街代表の釘羽さんはおっしゃいました。

今年で八年目を迎えるインターナショナルフェアですが、そこには言葉の壁、肌の色の違いを超えた世界が広がっています。今回はどのような交流の場となるのか、楽しみです。

138 河野結衣 熊本県 熊本県立熊本高等学校
音楽の国際交流

(スライド1) 熊本県では毎年、熊本国際青少年音楽フェスティバルが行われています。これは熊本の青少年と海外の若い音楽家との交流を目的として昭和60年に始められたものです。これまでに世界15カ国から3000人を超えるゲスト団体を迎えています。

昨年はまず熊本の文化に親しんでもらおうとウェルカムコンサートが開かれ、山鹿灯籠踊り、牛深ハイヤなどが披露されました。

(スライド2) この演奏には熊本の高校生も参加し、練習段階から共にコンサートを作り上げました。参加した高校生の一人安東君は、「ハーモニーの美しさに感動しました。音楽を通して交流ができて本当にいい経験になりました。」と話してくれました。

(スライド3) また、滞在中ホームステイが行われ、お茶の間でもお互いの国についての理解を深め合いました。フェスティバルは芦北町でのジョイントコンサートでゲスト団体、ホスト団体総勢300名の合同演奏により華やかに幕を閉じました。そして、今もなお参加した全ての人の心と心は世界中で響き合っています。

139 北村望 熊本県 熊本県立八代高等学校
暴力撲滅を訴えて

(スライド1) 熊本県八代市出身の北口裕美子さんは、国際的な暴力撲滅運動に取り組んでいます。

(スライド2) 北口さんは、大学を一年間休学して「アップ、ウィズ、ピープル」という国際教育団体に参加。アメリカやカナダで、町の清掃や老人ホームの奉仕作業に参加するほかに、暴力撲滅を訴えるミュージカル公演に関わってきました。

(スライド3) アメリカ、ネブラスカ州オマハ市では、中学生と一緒に「思いやり」をテーマにした創作劇に取り組みました。

こうした活動がアメリカ政府に評価され、クリントン前大統領から『大統領生徒奉仕賞』を受けました。

(スライド4) 北口さんは

「日本ではいじめなど精神的な暴力が目立ちますが、アメリカでは直接的で肉体的な暴力が多いという特徴があります。対話式の授業を通じて、生徒達が暴力の理不尽さを理解してくれました。私達の活動が評価されて嬉しいです。」と受賞の喜びを語っています。

北口さんはこれからも暴力撲滅を訴えて活動していくそうです。いつか、暴力のない平和な世界が訪れることを願いながら。

140 榊田亜季 福岡県 福岡県立田川高等学校
朝鮮文化の息づく故郷

(スライド1) 私たちの住む田川では、昔から朝鮮との交流が盛んでした。

(スライド2) 遠州七窯の一つである上野焼を伝えた人は、尊楷という朝鮮の陶工です。その上野焼の流れを汲む窯元が、田川には十六ヶ所もあります。

(スライド3) また、韓人の池や呉媛の墓といった朝鮮・新羅にまつわる場所も多くあります。

昔、田川には新羅からの渡来人がたくさん住んでいました。彼らは陶芸の他に優れた採銅技術を持ち、ここで作られた銅は東大寺の大仏にも使われたそうです。

(スライド4) そして、彼らと一緒に海を渡って来たのが、香春神社に祭られている新羅の神様です。この神社はそういうこともあって、最澄が唐へ渡る時に、安全祈願のために訪れたといわれています。

(スライド5) 私たちは、有名な寺院や遺跡を見るためによく遠くへと出かけます。しかし身近な所にも、意外な歴史を発見できるものです。あなたも、ちょっと自分の町を歩いてみませんか。国際色豊かな故郷に出会えるかもしれません。

141 水田美穂 福岡県 福岡県立中間高等学校
十字架の指す若者達の未来

第二次世界大戦中(スライド1) 捕虜として炭鉱で強制労働させられ、事故や病気でなくなったオランダ兵の慰霊祭が、十月二十日、福岡県遠賀郡水巻町で行われます。

この慰霊祭は(スライド2) 元捕虜のドルフ・ウインクラーさんが、戦後四十年経って、この地を訪れたことをきっかけに始まりました。長い間放置され、荒れ果てた十字架の慰霊塔を目にしたウインクラーさんは、その修復を訴えました(スライド3) それを聞いて、ボランティアで整備を始められたのが、黒河博さんです。以来十五年間、黒河さんは(スライド4) 十字架の塔の清掃を続け、来日した慰霊団のお世話をなさっています。費用の援助も無く、通訳もいなかった初めのことを、「普段着のまま付き合うだけでした。」と黒河さんは振り返ります。そのまごころが通じて、反日感情をあらわにしていた遺族の表情も、少しずつやわらいでいったそうです。(スライド5)

十字架の丘からは、「オランダとの架け橋」という、中学生の制作した壁画が一望されます。不幸な歴史の証しとして十字架を守ることで、若者たちの心にも友好の架け橋がつけられたのです。

142 財津ひろみ 福岡県 福岡県立明善高等学校
モデスト親善大使

アメリカ南西部にあるワインの産地、モデスト市。久留米市が八年前から交換留学生事業を行っている姉妹都市です。

今年も「親善大使」として、市内の高校生二十名が派遣され、チョコレート工場の見学や、観光地巡りなどの充実したプログラムに加えて、十泊のホームステイを体験しました。

サンフランシスコ観光では、五人の親善大使をモデストの学生が一人で案内してくれたそうです。

親善大使の一人である堤さんは、「案内をしてくれた学生たちは何事にも責任感を持っていて、懸命に私達を楽しませてくれました。アメリカ人は、自ら楽しもうとするから、笑顔を絶やさずに人と接することができるんだと思います。」と、話していました。

人と接するときには、まず自ら楽しもうと考え始めた堤さん。

日常では学べない大事なことを教えてくれたこの取り組み、もっと多くの高校生が参加できるようにになると良いですね。



朗 読 部 門 原 稿

1 桑原麻衣 福岡県 筑紫女学園高等学校
北杜夫 作 どくとるマンボウ航海記

「日本ノ皆サンヘ。日本語ノ解ル姑娘ノ居リマス二階ヘドウゾ御遠慮無クオ出下サイ。才値段食物ニ付イテ御相談イタシマス」

日本語を話す女というのは、やや老けた感じの表情の中国人である。彼女の両親は日本軍に殺されたのだと、前に寄港したときからなじみの船員が言っていた。彼女は愛想をみせるでもなく、といてそっけなくもなくビールをついでいる。その表情からは私は何も掴むことはできなかった。

宗谷は華やかな存在だったようだが、一方、シンガポールを基地として操業している某漁業の漁夫たちは、皆で金をあつめて辛うじて動物的に酔うために飲んでいて。彼らは八十トンほどの船でこの近海で漁をしており、日本を出てから一年近くになるという。はじめはまだ金を持っていたので、港に帰れば派手に飲んだらしいが、今は持金もつき、以前買いこんだ時計なんかを置いたりして飲んでいっているのだ。日本に帰るのはまだ一年先のことという。

しかし、このビヤホールの二階で、「一醉解千愁」などの文字を見ながら各国のビールを飲みくらべていると、南国の夜気がひいやりと肌に快い。昼間は汗の滴る炎暑だが、この季節ではシンガポールの夜はまことに快適な気温になる。

2 岡本佳那子 福岡県 福岡県立筑紫丘高等学校
カザルスへの旅

今は他人の家になってしまったというその庭を歩いてみた。庭はだれかが入りこんでもわからないほど広く、樹々と幾本かの散歩道にふちどられた畑まである。ポプラの並木と畑越しに最も美しい形でカニグーの山が望める。

私は生きた時代もちがう、育った国も環境もちがう遠い遠い国の小さな存在にすぎない。けれども、今、私はカザルスの生きた時代の空気と、そしてその意志のようなものがなお行きつづけているプラドの空気を吸った。頭の先から爪先まで何かが走り抜けたような感情におそわれた。足ががくがくとふるえた。何かに憑かれたかのようにやってきた。それが何かわからないまま、行けば見つかるかもしれない、見えない糸、強い強い見えない糸にひかれて私はここまでやってきた。それがカザルスの存在なのだ。

3 金井真希 福岡県 明治学園高等学校
大地の子

巨大な石梁が江面を横切って南北の両水流に分け、船は岸ぎりぎり、やっと通れる航路で、大小の岩礁が犬の牙のように互いに交錯していた。解放後、危険な岩礁を取り除き、早瀬を浚ったにもかかわらず、河幅六十メートル、水流が渦巻き、茶褐色の波濤をたてている。

船上の人々は固唾を呑み、緊張して舷や支え柱をしっかりと握った。松本と一心も支え柱を握った。兩岸の岩壁はさらに狭まり、きりたった岩山に行く手を遮られるかと思った瞬間、船はぐるりと廻って、波が涌きたつ急流を脱し、あっという間に峡谷を出た。

そこには天空が展げ、壮大な大自然が出現した。一心は、その大自然に打たれた。眼前の岩山や緑の峰、河岸の巨大な巖も、全て自分を育ててくれた中国の大地に根を下している。そう思うと、河岸の峰々の一木一草が、自分自身に思え、一心を揺さぶった。中国人にとって長江は、母なる河である。江面の深い底から長江を讃える声が沸きあがって来、一心の魂は、大自然の中へ昇華して行くようだった。

4 三枝幸未 山梨県 山梨英和高等学校
白磁の人 江宮隆之 作

{BGM FI} 巧は、林業試験場に勤めることを、母と兄に伝えた。二人とも喜んでくれた。仕度金も僅かだか支給され、巧はそのお金を懐ろに入れ、夕闇の迫る町に出た。南大門近くの古道具屋の前で巧の足は停まった。白色の電灯の下に、自分の頭ほどの大きさの白

い壺が、ぼんやりとした風情で置かれているのに気付いたからだ。(BGM FO)

「これは李朝の壺ですね」

店の主人は巧の問いに、決して流暢ではない日本語で懸命に答えようとした。

「はい。李朝の壺です。とても安いものです」

主人は、高麗青磁の素晴らしさ、価値の高さを巧に伝えた後でその白い壺をぴしゃぴしゃと平手で叩いて、

「こんな白い壺は、せいぜい漬物でも入れるにはよいかもしれないが、骨董としての価値など全くない」

と断じた。

それでも巧は、この壺を欲しい、と言い、主人の言い値で求めた。主人は、

「本当に朝鮮の焼き物を求める気があるのなら、高麗焼きをもっと勉強したらどうですか」

と教えたが、巧はその言葉も耳に入らないくらい興奮していた。その李朝白磁の壺を両手に抱えて家に戻り、(BGM FI)畳の上にそっと置いてみた。

満月が上りきったばかりで、その月光が白い壺に柔かく当たった。

巧には目の前の白磁の壺が、何か得体の知れない生物の眼の玉のように思えた。

(BGM FO)

5 石田真美 山梨県 山梨県立甲府第一高等学校 イタリアからの手紙

気づかない間に、時が過ぎていたらしかった。私たち二人のほか誰もいなかった中庭にも、二人、三人と観光客の姿が見えはじめた。近くの教会から、五時を告げる鐘の音も聞こえてきた。また、私は約束があるのを思い出した。彼も、他の陳列品は見たから、館を出るといった。

美術館の外へ出た私たちは、エセドラの噴水のある広場までほんの少しの道を、一緒に歩いていった。広場は、先刻までの静けさとはうって変わって、行き交う人と車の群れでごったがえしている。そこには、いつものローマの顔があった。

私たち二人は、そこで別れることにした。互いに、名も住所も告げなかった。二人とも、行きずりの出会いはそのまま終わった方がよい、と思っていたのかもしれない。私は、良いお旅を、などといい、彼もまた、楽しい留学生生活を、などと、互いに不十分な翻訳調のあいさつを交わした。そして彼は、すべてのものを金色に変える夏の午後の陽光の中を、水しぶきを上げる噴水のそばを通過して、ナツィオナーレ通りの方角へと去っていった。痩せた彼の後ろ姿は、午睡を終って活気に満ちた人と車の群れの中に、すぐに消えた。

6 杉田薫 山梨県 山梨県立都留高等学校 深夜特急

漕ぎ手をいれて四人の男たちが、母子と思われる大小二つの死体を乗せた小舟に乗り込み、ゆっくりと岸を離れていく。

インドでは、同じ死者でもチフスとか天然痘といった疫病にかかったり、殺されたり自動車にはねられたりといった不慮の事故に遭って死んだ場合は、天寿を全うできなかったという理由で、火に焼かれることなくそのまま水に流される、という話を聞いたことがある。

この母子と思われる二人も天寿を全うできず河に流されるのだ。

いずれにしても流すのは河の中央だろと思って眺めていると、男たちは河幅の四分の一もいかない地点で、石にくくりつけたままの死体を無造作に投げ捨てた。重い物が水面を打つ鈍い音が伝わってくると同時に、小さな死体も放り投げられた。もしその二人が本当に母子だったとしたら、ようやく河の底で安らかな時を迎えられることになるのかもしれない。

男たちはことが終わると、各人各様に、河の水を三度額につけたり、両手で水を遠くに放り投げたりして身を浄め、岸に向かって漕ぎはじめる。しだいに近づいてくる舟の動きを眼で追っていると、少し離れたところの水面から、突然、プクリと白っぽい物が浮いてきた。すると、間髪を入れずに空から鳥が舞い降り、それをついばみはじめた。

7 村上健太郎 愛媛県 愛媛県立今治西高等学校
沈黙 遠藤周作

「やがてパードレたちが運んだ切支丹は、その元から離れて得体の知れぬものとなっていこう」

(BGM FI) そして筑後守は胸の底から吐き出すように溜息を洩らした。

「日本とはこういう国だ。どうにもならぬ。なあ、パードレ」

奉行の溜息には真実、苦しげな諦めの声があった。

菓子を賜わり、礼を申しのべて通辞と退出をした。空は相変らずどんよりと曇り、道は寒い。駕籠にゆられながらその鉛色の空の下に同じような色をして拵がっている海をぼんやり眺めた。自分は近く江戸送りになる。邸を与えられると筑後守は言ったが、それはかねがね聞いていた切支丹牢に入れられることだろう。そしてその牢で自分は生涯を送るだろう。もはやあの鉛色の海を渡って故国に戻ることはあるまい。布教とはその国の人間になりきることだとポルトガルにいた頃、考えていた。自分は日本に行き日本人信徒と同じ生活をするつもりだった。それがどうだ。その通り、岡田三右衛門という日本人の名をもらい、日本人になり……。

(BGM FO) (岡田三右衛門か)

彼はひくい声を出して囁いた。

8 村山瑞穂 愛媛県 愛媛県立松山東高等学校
司馬遼太郎作 「伊達の黒船」

嘉蔵は御船方にたのんでこれを村田蔵六設計による船体に装着し、汽船として完成した。いよいよ安政六年正月二十七日、海上運転がおこなわれることになった。

当日西風がはげしく、とうてい沖合に出すことはできなかったため、御船方では予定をかえ、城下のそばの六艘堀から樺崎御番所までの海岸線をつたいつつ運転してみることにした。

嘉蔵は足のふるえるような思いで乗船し、すぐ船底にもぐりこみ、せまい機関室に入ったままついに甲板にはのぼらなかった。

汽罐に火を入れ、しずかに、順序よく嘉蔵は操作した。やがて船は動きだした。嘉蔵は首をねじまげて船窓に映る外景を見た。天守閣がかすかに動いていた。嘉蔵は腕で汗をぬぐい、

(動いた)

とおもった。嘉蔵は相変らず無表情に焚き口にしゃがんでいたが、すぐ四つ這いになった。船はしずかに動いている。しかし嘉蔵だけは体がぐらぐらと揺れてかがんでいられなかった。感動と狂気が、四つ這いになった嘉蔵の全体をひき裂くように奔った。

9 田附 彩 愛媛県 愛媛県立松山東高等学校
司馬遼太郎作 「坂の上の雲」

「あしはちかごろ、政論にあきた」

と、子規はいった。東京へ出たころはゆくすえは太政大臣になるつもりであったが、ちかごろはそんなことを思ったということすらわすれている。

「では、なにを語ろう」

と、子規は、天性のものだがひとにサービスをせざるをえないらしい。なにがこの旧友たちと共通の話題であるかをさがした。

ふと思いついて、

「ベースボールを知っとるかねや」

と、きいた。

「野球か」

と、一人がいった。子規が翻訳した日本語は、もう東京専門学校ではふつうにつかわれているようであった。

「野球をしにゆこう」

と、この重病人が起きあがった。

人間は、友人がなくても十分生きてゆけるかもしれない。しかし子規という人間はせつないくらいにその派ではなかった。

たとえば

一野球をしよう。

と言いだしたのは、そのあらわれであったであろう。かれをたずねてきたふたりの東京専門学校が不幸にして文学ずきではなく、このため、文学を共通の話題にすることができなかつた。そうと気づくと、子規はかれらと自分が交歓できる場をいそいでさがした。野球をおもいついた。それを提案した。子規は提案ずきであった。

10 矢崎奈津子 高知県 土佐女子高等学校
ふたり

「私も、もう三日しかないのよ、テストまで！ああ、どうしよう！」

と、言いながら、実加は二階へと階段を小刻みに駆け上って行く。

自分の部屋へ入って、実加はドアを閉めると、ちょっと腕など組んで、

「——段々、お姉ちゃんに似て、大食いになって来ちゃったよ」

と、言った。

「あんた、もともと小食過ぎたのよ。今ぐらい食べて当たり前じゃない」

と、姉の千津子が言った。

「太っちゃうよ。」

「あんた、背があるんだから。もう少し肉つけないと、ガイコツの標本みたいになっちゃうよ」

「悪かったわね、やせっぽちで」

実加は、机に向うと、ラジカセのスイッチを入れた。「ほら、モーツァルト。好きでしょ？」

「どうも。——無理しないで、好きなの聞いたら？」

「サービスよ。きっと退屈してるだろうから」

実加は、机に肘をついて、写真立ての中の、姉と自分の姿を眺めた。二人で撮った、最後の写真だ。

「——明日、お姉ちゃんの命日だね」

と、実加は言った。「お好み焼、食べに行こうか」

どういふことなのか、理屈なんて、考えたこともない。科学的な説明も、不可能だろう。

でも——本当なのだ。死んだ千津子が、実加の中で、生きているのである。

11 前田智香 高知県 高知県立高知南高等学校
ソフィーの世界

「アテナイによろこそ、ソフィー」やさしい声だった。ノルウェイ語だったけれど、とてもへたくそだった。「ぼくはプラトンといいます。きみに四つの課題を出そうと思います。まずは第一問、さあ考えてね。ケーキ屋はなぜ五十個もの同じクッキーを焼けるのか？ 第二問にいけます、なぜ馬はみんなそっくりなのか？ 第三問、いいですか、きみは人間には不死の魂があると信じますか？ そして第四問、これで終わりです、女と男は同じように理性的か？ じゃあ、がんばってね！」

つぎの瞬間、映像は消えた。ソフィーは早送りしたり、巻き戻したりしてみたけれど、ビデオはそこで終わっていた。

ソフィーはいっしょうけんめい考えを集中させようとした。けれども、あることを考えはじめると、最後までいかないうちに、もう別のことに気がいってしまう。

哲学の先生が不思議な人だということは、とっくにわかっている。それにしても、だれもが知っている自然の法則をひっくり返すような授業のやり方なんて、これは行き過ぎよ。

スクリーンに映ったのは、本当にスクラテスとプラトンだったのだろうか？ もちろんちがう。そんなこと、ありっこない。でも、あれはコンピュータ・グラフィックでもなかった。

12 國本美希 高知県 高知県立高知追手前高等学校
空色勾玉

「あやまるって、何をすることだ？」

困って彼を見た狭也は、稚羽矢が本当にわかっていることに気がついた。

「ごめんなさいって言うことだけど——知らないの？」「はじめてきく」

真顔で稚羽矢は言った。「どういう意味？」

「まあ——困ったわ」

狭也は、今になってやっと輝の宮の巫女の教えがふに落ちたと思った。なぜ神の機嫌を損じた巫女は、みずから命を絶つほど重い責を負わされるのか。それは、天つ神には許すという行為がないからなのだ。しくじったら、やりなおすことはできない。二度めはない。輝の御子にはそれが当然なのだ。(顔をそむけることを望みもせず、許されもしない——)

照日王の言葉が思い出された。誤ちをかえりみることさえ、彼らにとってはまがったことと映るのだろうか。

急に自信をなくした狭也は、うつむきながらためらいがちに言いはじめた。「とても悪いことをしたと思っている——しなければどんなによかったかと思っていると、相手にいうことがあやまることよ。そして、この気もちに免じて、罰せず、怒りをといてほしいとたのむこと、すぎたことをしこりにせず、忘れてほしいとたのむことだわ。たしかに、とても虫のいいことではあるわ。でも、あたしたちのあいだでは、まちがっていたとさどったら、まずあやまるものなの……」

1 3 近藤由章 徳島県 徳島県立徳島北高等学校 少年H

「君はセノオ君やね」と、町の中で見知らぬ小父さんにいわれて、少年はギクツとした。「なんでボクの名前知ってるの？」と、不思議がって尋ねると、「君の胸に書いてあるがな。名札つけて歩いてるようなもんやからな」と小父さんは笑った。

少年は小学校の1年のときから、胸に「H.SENO」の文字を編み込んだセーターを着せられていた。

母親の敏子が、自分の息子のセーターに文字を編みこむことを思いついたのは、アメリカから送られてきた横文字の宛名書きと、手紙の中に入っていた写真を見たからだ。

その写真には、胸に文字が書いてあるセーターを着た女性が写っていた。

その人はキリスト教の宣教師として神戸にいたことがあったミセス・ステーブルスという婦人で、お洒落感覚も抜群だったので、敏子の憧れの人でもあった。

親しく付き合っていた人が、文字入りのセーターを着て笑っている姿は、懐かしさと一緒になって素敵に見えた。

外国人の多い神戸の街でも、昭和二十年頃そんなセーターを着ている人はまだいなかった。

敏子は、思いつくとすぐ実行し熱中するたちだったから息子に同じようなセーターを編んで着せたくなり、さっそく H.SENO とローマ字で大きく書いたわけだ。

1 4 宮本愛美 徳島県 徳島県立富岡東高等学校 ケナリも花、サクラも花 (鷺沢 萌)

部屋に戻って、受け取った雑誌をめくった。たまたま友達が遊びにきて、わたしより数倍韓国語の上手い彼に「〇×ってどういう意味でしたっけー」などと何度も訊きながら雑誌の上に整然と並んだハングル文字を懸命に追ってみた。(BGM FI) 満開の「ケナリ」を背景に立っているわたしの写真がある。ケナリのさらにむこう側には、ぼんやりと白い花も写っている。春らしくていい写真だったが、渡韓後の自分のあまりの肥えようにぶつぶつ文句を言っているとき、友達のほうがわたしより先にその数行に気付いた。

「ここ読んだ？」

彼はそう言いながら、その数行を指で押さえた。写真の下に付いたキャプションであった。——鷺沢萌は、私たちの国が愛する花、ケナリの名前を訊ねた。盛りの季節のケナリのむこうでは、サクラの花も美しく咲いているのが見える。

あツ..、と声を洩らしたわたしの横で、友だちはにやっと笑い、そして言った。

「ええこと書いてあるやん」

「うん……」

スヨンが書いたのだ、と思った。わたしはほんの二、三行のその文章を何度も何度も何度も繰り返して読み、(BGM FO) そうしながら心の中で「ニクいニクい」と呟いていた。

15 近藤 沙織 徳島県 徳島県立阿波高等学校
ダヤンのスケッチ紀行 イタリアへ行こう

(BGM FI) やはり絵が描き上がるのを待っていたシチリア人が「絵を描くなら良いところがある。さあ行こう」といって私達をせき立て、広場を見渡せるトラットリア(軽食堂)に連れていってくれた。その人はそこに行くまでの間、せかせかとパン屋に寄ってはシチリアのパンを買い、惣菜屋に寄っては、卵と肉を混ぜたものを買って「シチリアのマンジャ」をつくってくれた。そして飲み代まで払ってくれると、さっさといなくなってしまったのだ。

シシリアーノは子供の時からシシリアーノ。カーポの市場で、八百屋のお父さんを手伝っているアタナシオとフランチェスカの兄弟を描き始めた。するともうひとりの兄弟マリオやその友達がやってきて、椅子の用意をしてくれたり、絵の具のパレットを持っていたくれたり、なにこれとなく世話を焼いてくれる。「のどが渴いてないか。コーラを飲まないか。」とアタナシオがいうので「飲みたいわ。買ってきてくれる?」とお金を渡そうとすると「とーんでもない。もちろん俺のおごりさ」とウインクしながら親指を立て、実に粋な仕草をする。なかなかかっこいい。

「男だねえ。シシリアーノだねえ」というと照れて笑っていた。

(BGM FO無し・・・朗読の長さに合わせて録音してあります。)

16 佐藤望 香川県 香川県立高松高等学校
沢木耕太郎作 深夜特急2

手を組み、その上に頭をのせてベッドに横たわっていた私は、そこまで考えが及んだとき、あの雨の日、自分が就職を断念して丸の内から帰ってきてしまった真の理由がわかったように思えた。あれも、ただ単に逃げたかっただけなのかもしれないという気がしてきたのだ。つまり、属することで何かが決まってしまうことを恐れ、回避したのだと。

宿に帰る途中でニュージーランドの若者と交わした会話の断片が頭に浮かんできた。

「旅行から帰ったらどうするつもり?」

私が何気なく訊ねると、二人は初めて暗い顔つきになって、呟いた。

「そう…」

「わからない…」

あるいは、彼らも人生における執行猶予の時間が欲しくて旅に出たのかもしれない。だが、旅に出たからといって何かが見つかるか決まったものでもない。まして、帰ってからのことなど予測できるはずもない。わからない。それ以外に答えられるはずがなかったのだ。

そして、その状況は私にしても大して変わらないものだった。

17 太田杏子 香川県 香川県立三木高等学校
星の王子さま

王子さまが眠りかけたので、ぼくは両腕でかかえて歩きだしました。ぼくは心をゆすぶられていました。まるで、こわれやすい宝を、手に持っているようでした。地球の上に、これよりこわれやすいものは、なにもないようにさえ、感じられるのでした。ぼくは、月の光で、王子さまの青白い顔を見ていました。ふさいでいる目を見ていました。ふさふさした髪の毛が、風にふるえているのを見ていました。そして、いま、こうして目の前に見ているのは、人間の外がわだけだ、一ぼんたいせつなものは、目にみえないのだ…と思っていました。

王子さまのくちびるが、心もち開いて、どこともなしに笑顔が見えるのです。ぼくはまたこう思いました。

<この王子さまの寝顔を見ると、ぼくは涙の出るほどうれしいんだが、それも、この王子さまが、一輪の花をいつまでも忘れずにいるからなんだ。バラの花のすがたが、ねむっているあいだも、ランプの灯のようにこの王子さまの心の中に光っているからなんだ…>

すると、ぼくは、王子さまが、いよいよこわれやすい人のように見えてきました。ともし火は、たいせつにしましょう。風がさっと吹いてきたら、その灯が消えるかもしれませんからね…

こんなこと考えながら歩いていくうちに、ぼくは夜が明けるころ、とうとう井戸を発見しました。

18 新開 明子 香川県 香川県立香川中央高等学校
韓国のおばちゃんはいらい！

「マユミサーン。オマエはカキスキカ？」
ニコニコ顔には似合わないぶっきらぼうな日本語で、オモニは聞いてきた。
別に嫌いというわけではないから「ハイ」と答えておいた。すると今にもはじけそうなほどプルンプルンに腐った柿をもってきた。もちろん腐っていたわけではなく、今では舌なめずりでほおぼるくらいだが、そのときは風邪でもないのに寒気がした。もともと柿はそんなに好きでないうえ、こんなに熟しきったのを食べたことがないのだ。日本ではまず「腐った」として食べないし、よく八百屋の裏に放り出されているのを見るからイメージが悪い。

オモニはそんな私の気持ちも知らずに、私が一口かぶりついて満足そうな顔をするのを見ようと、のぞき込んでいる。ガブリと吐くと困る（本当にその恐れがあった）ので、ガブリとかじった。風味が口いっぱい広がる。生柿なのに干し柿のそれに似た味わいがある。ただやわらかいだけでなく、ゼラチン質になったところが舌にやさしい。

柿ってこんな味だっけ！？

思わず、しかも心から「おいしい！！」

オモニはふんふんうなずきながら「オマエサンがね、好きなのを私はね、知ってたんだよ。人の心がヨメルネ。たくさん食べなさい」

結局私は大きな柿を二つ平らげた。

それ以来、柿は私の好物に昇格した。

19 山本麻奈 東京都 桐朋女子高等学校
リービ英雄作 星条旗の聞こえない部屋

(BGM FI) 日本人の視線がまずジェッフリーに集まった。モンゴル人のような真黒い髪にギリシア人のような彫りの深い顔つきは、特に女学生から、いっせいに「かわいい」、「かわいいわ」、「ハロー」という声を起こさせた。

それから、混血の少年に集まっていた視線が自然に少年からその手をつないでいるベンへと移り、さらに父と、ベンと父の間を歩いている、父よりベンの年齢に近い貴蘭へと移ってゆくのだ。と、思わず不自然な結論に辿りついたかのように、「かわいい」とか「ハロー」という声がある間にか途絶えて、当惑した沈黙に変わった。その沈黙をかすかに破るのは、二三人のくすくす笑いだけだった。

父は、「ほら、我々を見て、誰が誰と、どう繋っているのか、やつらにはさっぱり分らないだろう」

と、白人家族に囲まれた時にあえて出さなかった大声で笑い出した。その大きな体の奥から真黒なものを吐き出したような、抑制を知らない笑い声だった。

貴蘭の息子であり、自分の弟である少年の手を握り、ベンは父を殺したかった。その欲望が、八月の正午の空に陽が一瞬翳る早さで脳裏を掠めて、忽ち胸に熱くくすぶる恥と変った。(BGM FO)

20 大沼ゆい 東京都 東京都立豊多摩高等学校
E. T.

「ぼく、今日死んでもいいよ」ランスは声にならない声で言った。

「もう、思い残すことはないよ」

「本当に、殺されるかもしれないぞ」マイケルは言った。

「そうならないように、血にかけて宣誓しろよ」

「何でもするよ」ランスは言った。

マイケルもエリオットも、世の中のことも、もうランスにとってはどうでもよかった。

何しろ目の前に地球上のどこを捜しても会うことのできない異形の宇宙人が立っているのだ。

「ぼくはね……いつかきっと、君に会えると思っていたよ……」

ランスは囁くように言った。

「ずっと、ずっと前からね……」

マイケルはランスの手首を掴んだ。

「おれについて言えよ。宣誓。今日ここで見たことは死んでも人にはしゃべりません」

マイケルはポケット・ナイフで自分の指先を切り、次いでランスの指に刃を当てた。ラ

ンスは低く言った。

「宣誓。今日ここで見たことは……」

二人の指先から血が滴った。呆っ気にとられてそれを眺めていた ET は長い人差し指を突きだした。指先がピンクに光った。「あっ、駄目っ」エリオットが叫んだ。

間に合わなかった。ピンクの光線が走ってマイケルとランスに触れた。

二人の指は傷痕もなくもどおりになった。

2 1 花岡けい子 東京都 晃華学園高等学校 神々の微笑

自分はどうかすると、憂鬱の底に沈むことがある。リスポアの市へ帰りた、この国を去りたいと思うことがある。これは懐郷の悲しみだけであろうか？ いや、自分はリスポアでなくとも、この国を去ることができさえすれば、どんな土地へでも行きたいと思う。支那でも、沙室でも、印度でも、——つまり懐郷の悲しみは、自分の憂鬱の全部ではない。自分はただこの国から、一日も早く逃れたい気がする。しかし——しかしこの国の風景は美しい。気候もまず温和である。……」

オルガンティノは吐息をした。この時偶然彼の眼は、点々と木かげの苔に落ちた、灰白い桜の花を捉えた。桜！オルガンティノは驚いたように、薄暗い木立ちの間を見つめた。そこには四五本の棕櫚の中に、枝を垂らした糸桜が一本、夢のように花を煙らせていた。

「御主守らせ給え！」

オルガンティノは、一瞬間、降魔の十字を切ろうとした。実際彼の眼には、この夕闇に咲いた枝垂桜が、それほど無気味に見えたのだった。無気味に、——というよりもむしろこの桜が、なぜか彼を不安にする、日本そのもののように見えたのだった。

2 2 田中 萌 栃木県 栃木県立栃木女子高等学校 北 杜夫作「どくとるマンボウ航海記」

翌日は正午出航である。私は九時のボートで上陸して、あたふたとラッフルズ博物館を捜した。そこは動物、鉱物、マライの風俗などの収集で第一級の博物館であり、ぜひ見ておきたかったのである。日曜なので、あれほど各国人のたむろしていた棧橋前の広場までがひっそりしている。向こうからやってきたマライの若者に道を訊くと、わざわざ二時間も同行して案内してくれた。彼は「ミヨトウカイノ……」と多少おかしい節で唄い、それ以上日本語を覚えていないことを大変残念がっていた。日本軍が占領していたところはまだ十歳ほどの少年だったろう。

出航十五分前、私は忙しい見物をすまして棧橋に帰りつき、もうボートの時間は過ぎていたのでハシケをやとった。送ってきたマライの若者に礼をしたいと思ったが、すでに小銭もなかったから、残っていた数本の煙草を与えた。ハシケがゆれながら遠ざかって船に近づくと、この偶然に知りあった肌の黒い友人は棧橋にたっていた。手もふっていた。

2 3 金成孝彦 栃木県 栃木県立小山西高等学校 彼らの流儀

停車駅に水売りが来るときはまだよかった。とても清潔とは思えない水だったが、バケツからカップですくってゴクゴクと飲む。しかし、その水売りすら来ない小さな駅ではどうしようもなかった。中田はそれまで、異国での旅の心得として、生水は絶対に飲まないことを重要な一条としていた。だが、この激しい渇きの前には、そうした心得など無力だった。中田は、停車している列車から降りると、鉄道と平行して流れているセネガル川の水を、手ですくって飲むようになった……。

そうした旅を続けているうちに、(BGM FI) 中田の頭の中に次第に明瞭になってくるものがあつた。

「水だ！」

もちろん、この西アフリカにおいて水がどれほど大事なものか、それまでも十分にわかっているつもりだった。しかし、渇きに苦しむ列車の中で、初めて腹の底から納得できるようになったのだ。

やがて、中田の頭の中にゆっくりと井戸のイメージが広がってきた。

「井戸だ、それも手掘りの井戸だ！」

そして中田は思ったのだという。これからの人生を手掘りの井戸の技術の開発のために捧げよう、と。その時、中田正一は八十歳だった。(BGM FO)

24 米丸歩 栃木県 栃木県立宇都宮中央女子高等学校
椎名誠著「草の海～モンゴル奥地への旅～」(集英社)

(BGM F. I) 見ると羊の眼がそこであきらかに“死の眼”になっていた。素手を体の中に突っ込んで心臓の血管をちぎり取る――などと言葉にするといかにも残酷だが、でも実際の風景はそんなに凄惨なものには見えない。理由のひとつは血が体外に殆ど流れ出てこないからのようだ。

このモンゴル遊牧民独特の殺し方は、まさしく地を体の外へ無闇に流さない。貴重な血を大地に吸わせない、という目的があるのだ。

「ああやると、血が全部羊の胸腔および腹腔に溜まります。彼らは血液までも大切にしますからね。」

教授がまた耳打ちしてくれた。

モンゴルを凶奴といって恐れた中国でも、西域あたりでは羊を砂漠で殺し食料にする。以前タクラマカン砂漠を中国人と旅をした時、重要なタンパク源食料として生きた羊を何匹も連れて行った。砂漠には冷蔵庫などないから、新鮮な肉を得るためには生きた羊を連れて行くのが一番手っ取り早いのだ。羊には足が四本あり、食料が自分で歩いてくる――という訳でもある。(BGM F. 0)

25 堀内みどり 新潟県 新潟県立新津高等学校
遠い朝の本たち

ひと月ほど調布の修道院にいて、しげちゃんは北海道に帰っていった。ずいぶん元気になって、とだれかにつたえ聞いて、私はすっかり安心していた。暮のせまったある日、あさ子姉さんから電話があった。しいべが今朝はやく死んだのこれから私たち北海道へ行く。あさ子姉さんの声が、小さいころからの彼女の愛称をいって、そう伝えた。つぎの日の手仕事の準備もぜんぶととのえて、彼女は床についたのだけれど、夜半に気分がわるくなって、朝までもたなかったという。あなたがいちばん、あの子のことを思ってくださいような気がして、とあさ子姉さんの声がくぐもった。

調布で会ったとき、大学のころの話をして、ほんとうにあのころはなにひとつわかってなかった、と私があきれると、しげちゃんはふっと涙ぐんで、言った。ほんとよねえ、人生って、ただごとじゃないよのよねえ、それなのに、私たちは、あんなに大いばりで、生きてた。

しげちゃんが、ただごとでない人生を終えて昇天したのは、それからひと月もしないうちだった。

26 牧野麻由子 新潟県 新潟県立長岡大手高等学校
日本から、お手紙です！ 新人アナが足で届けた97通

さて、ダッカは人口密度世界一といわれるバングラデシュの首都だけあって、その人の多さは半端じゃない。旧市街をリキシャと呼ばれるカラフルな人力車に乗って移動したが、まさに人の群れといったほうが適切な感じがする。

車はほとんど走っておらず、たくさんのリキシャが細い道を占拠して大渋滞の様相だ。海外からの観光客はほとんどおらず、そのぶん現地の人々の日常がリアルに肌で感じられるような気がする。港で掃除をしていたおじさん、大学で出会った女子大生、苦しい噛みタバコをバクバクと食べてしまった眉毛の太いお兄さん、交通整理をしていた警官のお父さん、熊谷さんが働く会社の受付にいたアリス嬢、みんな人懐っこくて笑顔が素敵だった。

豊かな心はけっしてお金では買えない。彼らはそれを教えてくれた。心のどこかで、発展途上国に対するネガティブなイメージをバングラデシュに抱いていた自分が恥ずかしい。人間性の素晴らしさという点では、これまでのワールドキャラバンのなかでも最高の国であった。ダッカの安宿にて泊。

27 川合 綾 新潟県 新潟県立柏崎常盤高等学校
安藤優子作「あの娘は英語がしゃべれない！」

校内の託児所、喫煙ラウンジ、鍵とパス。どれもが、深刻な問題になってしまうことの「芽」を、あえて堂々と表にひきずりだしてつみとろうとする学校側の姿勢であった。隠れてことが大きくなるよりは、そのときの状況を受けいれて対処する。そんなふうに見える。

アメリカの学校は、私がすごしたハートランドの日々を考えただけでも、日本の学校の「勉強だけする」場所という概念からはかけはなれていた。もっと直接に社会の生々しい営みとつながっていた。勉強してよい大学に行く。さらにはよい会社にはいる、そのための一つの通過点である日本の高校にくらべれば、アメリカの高校はもうすでにりっぱな「現実の社会」そのものだった。現実の社会だから、よい子もいれば悪い子もいる。結婚している子もいれば、母親だったり父親だったり。アルコール依存症を克服してもどってきたり、ベトナムから帰ってきてまた高校生にもどった生徒もいる。年齢も幅ひろいし、かかえている事情もおどろくほど多彩だ。ほとんどの生徒がそれほど特異な状況を背負っているわけでもない日本の高校は、だからとてもものんびりとした陽だまりのように思えた。一大事といえどせいぜい進学の偏差値や模擬試験の点数くらいのものであった。あとはボーイフレンドや友達との人間関係。あたりまえに守られた空間ではなかったか。ハートランドの同級生が大人びて見えるわけだ。

28 秋山文子 富山県 富山県立呉羽高等学校
わたしのニッポン生活記

床の上で寝ようとは、思ってもみなかった。ベッドのかわりに、布団がどんどん並べられる。一つの部屋で、何人もが一緒に寝ることがはっきりしてきて、二度びっくりする。とても信じられない。

ベッドはないし、布団は固いし、おまけに枕は小さくて低い。顔を横にすれば、すぐそこは畳である。どうしても眠れない。

ベオグラードのわたしの部屋を頭に浮かべていた。ベッドは広い。枕はやわらかい。ひとり静かに眠るわたしの部屋が恋しい。

ガマン、ガマン。あと二週間の辛抱。そうしたら社宅に移れる。はやく二週間たってくれと願う。きょう一日だけで、いろいろなことが起こりすぎた。なにがどうなっているのか、わたしにはまったくわからない。ひょっとして、まだわたしは飛行機に乗っていて、夢を見ているのではないだろうか。

あくる日の朝——。わたしの隣に、六人の人が寝ていることを発見する。

つぎの日もまた、おもしろいことや不思議なことがたくさん起こる。わたしは、退屈する暇がない。

29 寺崎美歩子 富山県 富山県立魚津高等学校
異国の窓から

「そろそろフランケン地方ですよ」

農村は収穫の時期で、葡萄畑では熟れた葡萄の房を切り取っている人々の姿があった。私はその丘陵の美しさに圧倒された。赤い三角屋根の農家、延々とつづく葡萄畑のワインレッドやブルーグレーの房の波……。ああ日本は、ちいせえちいせえ。まだ時差ボケの残っている私の体は、のびやかにほぐれていく。

「フランケンシュタインの故郷だって、この地方の人は言ってますよ」

そう那須さんは教えてくれた。フランケンシュタイン……。私は、ああ、そうですかと、さもわかったような顔をして、はてそんな音楽家はおったかな？ それとも有名な画家か文学者か、あるいは哲学者か物理学者か、と頭をめぐらせた。

「彼はいつごろ生まれたんですかね？」

私の質問に、那須さんはなにやら複雑な表情で考えこんでいる。

「いつごろですかね……。ちょっとわかりませんね」

フランケンシュタインが、あの四角い頭をした伝説のお化けであることを思い出したのは、レーゲンスブルクまであと百四十キロという表示板が過ぎたところである。

30 濱浦智恵美 富山県 富山県立桜井高等学校
白夜の旅

(BGM) 私の腰かけている伐り株の前は、草地の丘になって、ぐるっと森の繁みにとりかこまれている。まるで北欧的なメルヘンによるバレエの舞台を見ているようである。一筋の道が私の前を横切り、この舞台の上手から下手にかけて続いている。

男の子と女の子が手をつないで、上手から出てきた。金髪碧眼の、まことに可愛らしい子供達である。何と名づけたらよいだろうか。そうだ、アンデルセンの雪の女王の、カイとゲルダがよい。二人は私達の方へ会釈した。すると、草地も森も春になった。やわらかなぶなの若芽が、森の梢にちりばめられて、小鳥の音がみちている朝だった。

「カイちゃんゲルダちゃん。そんなに遊んでいいの？勉強しないでいいの？」いつの間にか、私はデンマーク語が話せるのである。

「お勉強は学校でするだけよ。なぜ、そんなにしなくちゃいけないの？お休みは長いよ。宿題なんてないの。」私は幼稚園でも入学試験のある残酷な国を思い出した。

31 小林加奈 北海道 北海道札幌藻岩高等学校
野生の風

(BGM FI) 小さなひとかたまりが何かに驚いて飛び立つと、その波はみるみる群れ全体にひろがって、湖のふちは端から順に、ふわり、ふわりと浮き上がっていく。薄物色の反物が風をはらんでためているようだ。

そして、二百万羽ともいわれるフラミンゴたちが残らず舞い上がる頃には、あれほどさんさんと降り注いでいたはずの太陽の光はさえぎられ、湖水は紅のかすみがかかったように暗く陰り、あたりは乾いた羽音のほかにも何も聞こえなくなるのだった。

逆光にきらめく湖と、舞い上がっては舞いおりのピンク色の大群。湖面に映る大小さまざまな水鳥たちの陰と、目にしみるほどまぶしい雲の白さ、濃い瑠璃色の空、虹色にくだけ散る水しぶき。

こんな色を染めてみたい……。朦朧とした頭で、飛鳥は思った。目覚めて見る夢のような、この美しい光景を――音を、光を、風を――どうにかして一枚の布に織りあげてみたい。

体がふるえているのに気づいていたが、どうすることもできなかった。(BGM FO)

32 大西結佳 北海道 札幌第一高等学校
藤岡和幸 作 タイ少女白書／僕らのNGO物語

家族と一緒に食事が始まるのかと思ったら、まずは来客から手をつけなくてはならないらしく、僕らが慣れない手つきで食べているのを周りのみんなが声を殺して注目している。

「アロイマイ？ (美味しいか)」

と、母親が聞く。

「クラブ、アロイマーク (ハイ、とても美味しいよ)」

と、言うとも母親の目元が初めてゆるんだ。周りの村人たちも笑顔で、

「オー！」

という歓声を上げながらジーツと僕らを見ている。とても味わって食べられるほど余裕がない。それでも顔だけはニコニコしながら食べる。村人たちは飾り気のない純朴なまなざしで、僕らの食べる姿をゆったりと眺めている。ここでは肩ひじをはる事も、気取る事もなく自然でいられる。後から知った事なのだが、この村の人たちお客が食べた後の残り物を家族の人が食べる。これを知らなかった他の村へホームステイに行ったグループの一人が、

「出された物は全部食べなきゃ失礼だよね」

そう言って無理して食べてしまったら、子供たちが寂しそうな顔をしていたそう。食事が終わるころ、僕らは家族の中にすっかり打ち解けていた。やがて村の人のおしゃべりに酒が加わり、歌や踊りが加わり、陽気さが増していった。

33 池川知香枝 北海道 北海道札幌白石高等学校
徳永 健生作 ロザリオの海

(BGM CI)「もしもデウスの神がお望みなら、わたしは狼の群れのなかへも入って
いこう。もしもまたわが主イエズスが望みならば、モスケに代わって天の国へ召されて
もいこう。安心するがいい。もう学寮へ帰りなさい。雨に濡れたままでは軀にさわる。さ
あ早く……」

そう言うや、ザビエル神父はみずからも祈りを捧げました。その顔の穏やかさ、優しさ
といったら、例えようのない芳醇な陰影に包まれておりました。

——何ということだ。看病はおろか、茂助の身代わりになることさえ厭わない。

わたしに大きな変化が生まれたのは、そのときでした。もしかするとわたしが号泣した
のは、そのときが初めてだったのかもしれない。

まさにそれこそ、殉教の精神にほかなりませんでした。しかも、取るに足らぬ異教徒の
一庶民に対して、そんなことばがいったいあの人のどこから発せられるだろう。いつも小
さな鐘を持ち歩き、街角といわず広場といわず、いかがわしい女たちの溜まり場や盗みを
働く男たちの隠れ家にまで立ち入って、諄々と神の摂理を説くあの人の真摯な人柄は、や
っぱりただの偽善ではなかったのです。(BGM CO)

34 會田 伊織 岩手県 岩手県立黒沢尻北高等学校
KYOUKO

昔から、似たようなことがよくあった。

わたしは、今一番大切なこと、を一つ決めて、それ以外のことは考えないようにしてき
た。

昔から、わたしはちょっとした心配事が心に浮かぶと、自分が誰なのかわからなくなる
くらいに、まるで世界が崩れ落ちてしまうかのように、不安になった。

たぶん両親が早く死んだことが関係しているのだと思う。

世界はいつか突然に崩れ落ちてしまうもの、自分にもわからない心の奥のどこかでそう
思っているのだろう。

今一番大切なもの、それがわからないと、心配事に対処できない。

心配事は放っておくと無限に拡がっていき、あっという間に世界を被ってしまう。

でも、ホセが教えてくれたダンスがなかったら、そういうことに気付かなかっただろう。

踊っているとイヤなことを忘れることができる。八歳だったが、わたしはそのことを学
んだ。

今一番大切なもの、を決めると、他のことに嫉寄せが出る。

例えば、今だったらラルフだ。

そういう性格は友達を失くすぞ、と小学校の頃から何度言われたかわからない。

友達は大切だ。

だけど、友達よりも大切なものはある。

35 佐々木理英 岩手県 岩手県立盛岡第三高等学校
亜細亜ふむふむ紀行

到着直後はエルメスのスカーフのことで頭がいっぱいで、香港の街を観察するどころで
はなかったが、あらためてキョロキョロしてみると、歩いてはいるものの、まるで迷路の
中に迷いこんでしまったような気になる。建設中のビルに、鉄柱ではなく竹で足場が組ん
であるのを見ると、「あー、これは『なるほどザ・ワールド』で見た」とうれしくなったり
するのだが、頭上で無数に折り重なる看板といい、携帯電話を耳にあてて歩いている金
鎖プレスレットの男といい、何だかとてもせわしない。そんななかで、間口の狭い小さな
店に、老夫婦がぼんやり座っているのを見ると、ホッとするのだが、街自体はのんびりし
ている気配はない。「歩きながら電話しなくたっていいじゃない」といつてあげたくなる
が、彼らにとっては余計なお世話に違いない。ふと横を見ると、外からは全く中の様子が
うかがえない、日本料理店らしき建物があつた。店頭では厚さ一センチの板きれに描かれ
た、薄汚れた舞妓が愛想をふりまいていたが、商売をしているかどうかは不明であつた。
私はチャイナドレスを着ている女性がたくさんいるのではないかと期待していたのに、若
い女性でそんな格好をしている人は皆無で、みんなとてもおしゃれだった。たった一人、
地味な薄手の布で作られたチャイナドレスを着ているおばあさんを見かけたただけだ。もう、

ほとんど、日本にやってきて、「オー、ニホンジン、キモノ、キテマセーン」と肩をすくめる白人のおばさんと同じである。これも香港の人にとっては、余計なお世話に違いないのだった。

36 鈴木 優香理 岩手県 岩手県立盛岡第二高等学校
深夜特急 沢木耕太郎

私はベッドの上に寝転んだ。
頭に浮かんでくるのはやはり昨日の大小である。ディーラーがプッシュするカシャカシャという音や、筒の中でサイコロがはねまわるカランカランという音が聞こえてくる。目を閉じると、ふたをされた暗い筒の中で、三つの賽が飛び跳ねている様子はつきり臉にかんてくる。

賽の踊り。ダンス・オブ・ダイス、ダンシング・ダイス、英語で表現するとどういうことになるのだろうか。そんなことを考えているうちに、ダイスという単語の綴りが不意に曖昧になってきた。D I C Eだと思ふのだが、確信が持てない。それ以外にふさわしいスペルはないが、ぴったりした感じがしない。どうも気持ちが悪く、バッグの中に放り込んでおいた辞書を取り出し、調べてみた。それは英和と和英が合わさった薄いものだったが、和英で「S A I」と引くと、すぐに見つかった。綴りはやはりD I C Eだった。しかし意外だったのはそれが複数形で、賽の単数はD I Eであると記されていたことだった。D I E, つまり死だ。賽が死と全く同じ綴りを持っていることに驚かされた。

辞書にはこんな例文も載っていた。

賽は投げられた。

ルビコン河を前にしての、ジュリアス・シーザーの有名な台詞である。それを英語にすると次のようになるという。

The die is cast.

だが、この文章をじっくりと見つめていると、投げられたのは賽ではなく、死であったかのように思えてくる。いや、賽を投げるとは、結局は死を投ずることだと言われているような気がしてくる。D I C EはD I E。賽は死と、、、。

その瞬間、私は得体の知れない荒々しい感情に衝き動かされそうになった。私はあわててベッドから跳び起き、バッグを持って部屋を出た。

37 中澤恵理 宮城県 宮城県仙台向山高等学校
大君の都

浅草の寺は観音寺ともいわれている。観音という神は、三六本の腕と一〇〇本の手をもっていて、何千という人間が群らがってぶらぶらしているところを見ると、この神は大変人気があるにちがいない。この連中はいつでもこの界限にいるようで、外国人と見ると寺の端から端まででも走ってきて遠雷のような大きな喚声をあげる。外門と内門とのあいだには、ちょうど東禅寺のように、長い道がついていて、その両側には屋台や売店のようなものがあり、きわめて種々雑多な大きな市をなしている。子供のための玩具が大きなスペースを占めている。この市につらなる建て物の神聖さとたとえすこしでも関係があるとわたしが認めることができたものは、ただ小さな石でできた神社や偶像や墓や寺院のわずかばかりの模型だけだった。婦人用の小間物、とくに髪にさす金属製のピン、櫛といったような、彼女たちが用いるらしいほとんど唯一の装飾品を売っている。彼女たちは、おそらく他の部分に装飾を用いることが制限されていて、あたかもそれをおぎなうかのように頭の上にこういう装飾品を林のように差していることがある。明るい色の液体をいれた中空のガラスの頭のついたピンも、大変人気があるように見えた。小さな風車・中につめものをしたトラ・ほえている犬・太鼓と笛・小さな刀・弓矢・着物を着た人形・面・凧、それに輪回しの輪といったようなものが、玩具屋に主に並べてある品のようなものだった。

38 小林香菜子 宮城県 聖ドミニコ学院高等学校
留学

「仏蘭西ではね、英国とちがってコップは必ず、お皿の前におくのですよ」アンヌさんは工藤に説明した。「葡萄酒を飲む前には必ずナプキンで口を拭うこと。いいですか。そうしないとコップに唇の跡がついてみにくいですよ。それから、すべて食事の中心は男じゃなくて女です。その家の夫人が食べはじめないうちに食事をはじめてはいけませんよ。夫人が食べ終わらないうちに、フォークやナイフをおくのも失礼なんです」

工藤は直立したまま、その説明を一つ一つ頭にたたきこんだが、これは実際やってみると、甚だむつかしいことだった。日本にいた時から食事を早く片付ける癖のある彼には、夫人が一つの肉をまだ半分も食べ終わらぬうちにもう皿を空にしていた。あれ程、言われたのに葡萄酒を飲んでから、コップにつけたきたない唇の跡を見て、あわてて自分がナプキンを使うのを忘れたのに気づく始末だった。

「黙って食事しちゃいけませんね。なにか話しをすること。それも作法ですよ」

「わかりました」

「しかし、あなたのように口にもものを入れたまま、しゃべっちゃ、いけないんです」

肉が運ばれサラダが出て、デザートを済ませるまで、工藤の頭は屑籠のように混乱して、くたくたに疲れてしまう。

39 標葉 舞 宮城県 聖ウルスラ学院高等学校
礼拝するハサン

しばらくして、ふと向うを見ると、砂の上にきちんと正座し、何度も額を砂にこすりつけて礼拝に余念のないハサンの姿がそこにあった。私はハッとなり、思わずハサンをみつめた。ハサンは、毛布の上を這っているアリのように尻を空につき出し、両手を砂地について、そのまん中に頭をこすりつけているのだ。そして、急に立ちあがり、二度三度深くおじぎをすると、また、ぺたりとすわり、何度も額を地につけた。その姿は、けれど、少しも奇異に思われなかった。それどころか、この荒涼としたオアシスのなかでは、それはまったく自然で、もし神に祈るとしたら、これ以外の姿勢はどうい考えられないほどびったりした仕草のように見えるのだった。

ハサンは私の視線など眼中になく、忘我、恍惚の境でコーランを唱えている。彼は、いま、アッラーと直接向かい合い、アッラーの前にひれ伏しているのである。ハサンとアッラーの間には何者も存在していない。イスラムは、人間をじかに、なんの媒介者もなく、神の前に立たせる宗教なのだ。アッラーとの、そのようなむきだしの関係において、イスラム教徒は、アラビア人であろうと、インド人であろうと、中国人であろうと、ハサンのような人種不明の人間であろうと、すべて平等なのである。

40 田中美智子 青森県 青森明の星高等学校
沢木 耕太郎 著 「深夜特急」

(BGM FI)

案内板の指示に従って、そこから少し進んでいくと、今度は税関の窓口に出る。ザックの中を調べられ、それでようやくインド側の出国審査が終る。

建物を出ると、コンクリートで舗装された細い一本道が、パキスタン側の国境事務所まで続いているのが見える。

私がザックを背負い、いくらか前屈みになりながら歩いていくと、向こうから、やはり同じように汚いザックを背負い、前屈みになって歩いてくる若者がいる。白人であることだけはわかるが、どこの誰かはわからない。しかし、にもかかわらず一種の親愛感のようなものが湧いてくる。どこの誰かはわからないが、西からシルクロードを東に下り、まさにいまインドに入ろうとしていることだけは確かなのだ。彼は、これから私が向かおうとしている未知の国々を通過してきたのだ。そう思うと、親愛の情ばかりでなく、畏敬の念まで湧いてくる。

しだいに近づいてきた向こうの若者が、ふと眼を上げる。そこに自分と似たような姿の私がいることに気がつく。微かに顔の表情が動く。彼にとって私は、東から西へ、それもいささか恐ろしげなところのあるインドを通り抜けてきた、いわばインドからの生還者なのだ。彼の眼にも、親愛と畏敬の念がないまぜになったようなものが、うっすらとだが滲んでくる。だからといって立ち止まりなどせず、ただ互いに顔を見合わせ、口元を綻ばせ、擦れ違う瞬間にどちらからともなく声を掛ける。

「グット・ラック！」
「グット・ラック！」
そう言ってから、私は口の中で小さく呟く。達者でな、と。
(BGM FO)

4 1 八木橋奈津子 青森県 青森明の星高等学校
鷺沢 萌 著 「ほんとうの夏」

(BGM1 IN)
金浦空港での入国審査のときのことだった。(BGM FO) 彼のパスポートは韓国のものであるから、入国審査の際には当然「韓国人」の列に並ぶことになる。入国審査官が韓国語で質問をはじめたので、かれは「アイ・キャント・スピーク・コリアン」と英語で言ったのだという。

すると入国審査官はギロリと上目遣いに彼を睨みつけ、低くドスの利いた声でいったのだそうだ。

— Why?

その目が「怖かった」のだと、そのとき彼は言ったのだ。

それはたぶん、さっきヒロちゃんから聞いた女の子の話から連想して思い出したことにすぎなかった。

(BGM2 FI)

— どうしてって訊かれたって困るよなあ？

ヒロちゃんはそう言った。そう、どうしてって訊かれたって困るのだ。俊之もそう思ったから、スンジャの友だちのことを思い出ただけだったのだ。

それなのに今、俊之の中にはつながりそうでつながらない何かがあって、それは俊之をひどく焦らせた。

「ま、でもそーゆー立場が便利だったってこともあるよ」

ヒロちゃんが言った。

「え・・・、どういう意味・・・」

訊き返した俊之だが、実は上の空だった。その焦燥感、誰かに伝えなくてはならないことがあるのに伝える内容を忘れてしまったときにも似ていた。何だっけ、何だっけ・・・。

「アメリカ人って人の悪口好きだからさあ、よく集まってひとつのグループの悪口を言いあったりするんだよ・・・」

「うん」

頭の半分でヒロちゃんの話の聞きながら相槌を打ちながら、もう半分で俊之は「何だっけ・・・」という自問を繰り返している。

(BGM FO)

4 2 石本真希 青森県 青森県立三沢商業高等学校
宮本輝作 異国の窓から

(BGM FI) 次第に日は暮れていくのに、私の捜す風景は見つかりませんでした。ひょっとしたら、通り過ぎてしまったのかもしれない。まあ、いいや。どこでもいい。ドナウ河のほとりへ行こう。私の言葉で、アントンは道から外れ、村とも呼べない、二、三軒の農家が並ぶ細い道に車を入れ、土手の横に停めました。細い道は、河に沿って左に伸びています。私とアントンは土手に立って煙草を吸いました。中年の男性が、私たち以外誰もいない河べりでジョギングをやっていました。

私は、見るともなしに、その男性の、夕日を受けているうしろ姿を見送りました。すると、細い道の向こうに、小さな石の橋があったのです。「あの橋だ!」。私は叫びました。

アントンは嬉しそうに微笑み、車に私を

乗せると、猛スピードでいなか道を走りました。

私が、なぜ、ひとつの変哲もない石の小橋に執着するのか、アントンはひとことも質問しようとはしませんでした。テルにはテルの心があるのだ。彼はきっとそう思ってくれていたのに違いありません。

私は、なつかしい石の小橋の欄干に凭れ、パッサウで、イン河を、さらにイルツ河をも併合するドナウ河を眺め、落ちていく夕日を、長いこと見つめていたのです。(BGM FO)

4 3 園山和徳 島根県 島根県立出雲高等学校
日本との出会い

日本に着いた時は、芭蕉の研究に没頭するつもりであった。近代日本に対する嫌悪を表明していたアーサー・ウェーリーの偏見を受け入れて、私も過去を求め、自分の生活からあらゆる現代の侵入をしめ出そうと決心していた。「純粹に日本的」でないものは何によらずうさんくさかった。私はまた自分の日本文化の完全な理解をためそうと決心していた。もしだれかが食物をさし出しながら「お口に合わないと思いますが」というと、こんなに好きなものはないといはった。実際にまずいと思った時でさえ、他の外国人とはちがうことを証明しなければならなかった。もし「お風呂は外国の方にはとても熱すぎるでしょう」といわれれば、何とかしてその湯にはいり、日本人と違うと思われるよりはゆでだこになる方をえらんだ。1953年（昭和28年）の9月に伊勢神宮の遷宮式に参列した時は（「奥の細道」の終りの芭蕉のまねをして）、ござの上に5時間正座して、ひたすら私の「精神」の証しをたてるために苦痛をしのいだのであった。

4 4 竹下紘子 島根県 島根県立松江南高等学校
深夜特急

タクシラからペシャワールまでは約三時間。そう長い時間ではないが、陽はまだ高く、喉が渴いた場合のことを考えて、一ルピーほどブドウを買ってバスに乗り込んだ。二時間もしないうちに、やはり渴いてきた。隣に坐っているおじさんに、食べてもいいか訊いてみた。断食の最中でもあり、皆が我慢しているのに、悪いかなど思ったのだ。しかしおじさんは大きく頷いて、別に構わないという。安心して一粒ずつブドウを口に放り込んでみると、前の座席にいる老人が見咎めた。胡麻塩の山羊髭をたくわえた、眼の鋭い、頬骨の高い、パキスタン人の中でも色の黒い方に属する、そんな老人だった。いけない、と手を振る。口に持っていこうとした手を強く抑える。

——いけないんですか？

——いけないぞよ。

——隣のおじさんはいいって言ったんですよ。

——いけないのだ！

これすべて身振り手振りである。隣のおじさんは苦笑して、この旅の人は他国者だから、というようなことを説明するが、老人は頑として受けつけない。ラマザンだから食べてはいけないと主張するばかりだ。ついに私は食べるのを諦めた。

たとえ他国者だとしてもこの国では食べてはならぬという老人の方が正しいような気がしたし、運命共同体のようなクレイジー・エクスプレスのバスの中では、ひとりでも戒律を破ればどのような災難がふりかかるか分からないと考えても不思議はないからだ。

4 5 林 和巳 島根県 島根県立松江北高等学校
大地の子

(SE 河の音 FI) 中国人にとって長江は、母なる河である。江面の深い底から長江を讃える声が沸き上がって来、一心の魂は、大自然の中へ昇華して行くようだった。

(SE 河の音 FO) 一心の両眼から涙が放り落ち、父の顔を見つめた。「大地の子……」

(SE 風の音 FI) 山頂から吹き渡ってくる風に、語尾がかき消された。松本は訝しげに一心を見返した。(SE 風の音 FO)

「私は、この大地の子です。」

溪谷の江面と巖に、一心の声が飴するように響いた。大地の子——それは日本の父に対する惜別であり、自分自身の運命に対する無限の呼びかけに他ならない。松本は発する言葉もなく、河岸に眼を向けた。(SE 河の音 FI) 四十年間、この大地に育ち、生きてきた息子とは、もはや埋めようのない隔たりがあることを思い知った。

一心は、父の胸中を察しつつも、固く口を閉ざした。舟は滔々たる長江を下っていった。

(SE 河の音 FO)

4 6 田中さち子 兵庫県 兵庫県立加古川西高等学校
『上海の西、デリーの東』 (素樹文生 著)

彼が指を指したのは日本海であった。彼らは海というものを知らなかったのだ。「これは、海だよ、ウミ。ねえ、海って知らないの？」
そこにいる誰もが神妙な顔つきになった。知識として知ってはいるが、誰ひとりとして海を見た者がいないのだ。そのうちに一人の若者が進み出て言った。
「僕のとうちゃんが若いころ海を見たって言っていた」
「何処で？」
「上海さ。ものすごくでっかな黒い水たまりで、向こう岸が見えないんだそうだ」
人垣の中から、へえーっ、というような声が漏れた。これには僕たち三人が顔を見合わせて唸ってしまうことになった。彼らはほんとうに海を知らないらしい。テレビでなら何回か見たことがあると言っている。
僕らはほんとうの海について彼らに教えてあげた。とてつもなく広いこと。深いこと。その水は塩からく、その中には様々な魚が住んでいること。汚れた海、透明な珊瑚礁。サーフィンに海水浴。流氷に覆われたオホーツクの海。
僕たちはそれらを説明しながら彼らとの世界観の違いを感じ取っていた。世界にはじつにいろいろな人々がいて、環境があって、世界観がある。彼らはほんとうにこのジャングルのむこうの世界を知らないのだ。

4 7 大塚基子 兵庫県 兵庫県立龍野高等学校
フォレスト・カーター作 「リトル トリー」

谷間を見おろしながら、道はどこまでも上へ上へと続いている。急な斜面を全身で感じ取りながら、ぼくは祖父のあとを小走りについていった。
ぼくはほかのこともいっぱい感じ取っていた。祖母が言ったとおりであった。
(BGM1 FI) モ・ノ・ラー、母なる大地の感触がモカシンをとおしてぼくの足裏から伝わってきた。土の凹凸やなめらかな感触、血管のように大地の体内を這いまわる木の根、さらに深いところを流れる細い水脈の生命さえも。大地は暖かく弾力があり、ぼくはその厚い胸の上をピョンピョン跳ねているのだった。(BGM1 FO) すべてが祖母の話していたとおりで。
(BGM2 FI) 空気は冷たく、吐く息は小さな雲になった。ぼくらの谷間にはるか下の方だった。裸の木の枝には歯が生えたように氷が張りつき、ときどき水滴を落とす。登るにつれて、道に残る氷の量がしだいに多くなる。空にぼんやりとにじみだした光が、闇をゆっくりと押しつけてゆく。(BGM2 FO)

4 8 阪口奈央 兵庫県 武庫川女子大学附属高等学校
菜の花の沖

ボートが用意された。
嘉兵衛を陸地へ送るためのものである。小ぎれいな制服に着かえた漕ぎ手の水兵たちが乗りこんだが、これらの指揮に、異例のことながら、艦長リコルド少佐みずからがたった。
「私自身が、タイショウを渚まで送ってゆく」
と、かれは大声でいった。嘉兵衛は、あやうく涙がこぼれるところだった。
ボートがディアナ号の黒い腹を離れたとき、嘉兵衛は多少の感慨がないでもなかったが、知らぬ顔でいた。風は東から吹いていて、この日はめずらしく晴天だった。日本暦5月27日の朝である。
(BGM FI) 嘉兵衛はふと、リコルドの腰に長剣がないことに気づいた。
「カピタン」
と、嘉兵衛は、日本語化したオランダ語でよんだ。艦長、船長、さらには転じて長崎のオランダ商館長をもそうよぶ。
「その腰は、どうしたんだ」
「これか」
リコルドは笑った。
これは、もはやお前さんに、ディアナ号もわしという人間の始末もいっさいまかせてしまったというしるしだ。剣は人に害をあたえるものだから、お前さんを陸に送るのに、何の必要があるだろう。
といった。(BGM FO)

49 榊田恵理子 秋田県 秋田県立秋田北高等学校
ビルマの豎琴 (竹山 道雄作)

つたわってくるその絃の音は、しずかにひびきあって、ちょうど熱帯の花にふりそそぐ細い雨のようでした。

われわれはありし日の水島の^{おしかげ}佛を胸に浮かべました。そして、あの亡き人の魂がやすらかに眠るようにと、あたりのビルマ人のように、仏様にむかってお祈りをしました。

何分にも外でひいてることですから、はっきりとはきこえません。しかし、余韻のながい絃の音は高く低く、いくつも絡みあい組みあって、いかにも空にただよう人の魂の太息のように、絶えたりつづいたりしていました。

「ああ水島の魂が——」とわれわれは思っ、目をつむりました。

幾人かの戦友は床の上に坐って、合掌しました。

そのうちに、じっと立っていた隊長はにわかにはびくりと身をうごかしました。

「おや^{かげん}——！と隊長はいつ、耳をすませました。そうして、せきこんでいました。

「あの和絃は——？」

「何ですか？」と一人の兵隊がそのただならぬ顔色を見て、たずねました。

「しっ」と隊長はいつ、なおきいていましたが、豎琴の音はもうずっと遠くになっていました。

50 中島碧 秋田県 秋田県立秋田北高等学校
キタ マキニカリス (稲垣足穂)

「きみ見たかい？」

「見た・・きみは？」

「だいぶ前だ。夜中すぎに、北寄りの東のそらの果にぼーっと幽霊みたいに浮き出したかと思うと、また見ているうちに薄らいでしまったので少うし怖かったよ」

オットーは、彼が以前にいた外国の街で、夜明近くの冷えた露台で パジャマ姿で天際をうかがったことを想わせる様子をして、付け足しました。「ハリー彗星だろう・・あんなものが宙を走っているのはへんちきりんだ」

ともかくこんなふうな会話が交されて、それが奇妙に私の頭に残ったのです。というのは、私は今まで、お月様や星やほうきぼしはいいことはいいけれども、それでもそんな類いを、自動車や映画と同様に好きだと宣言するのは、可笑しいのでないかと考えていたのです。ところがきょうの対話の様子は、どうやら正面切って好きだと云ってもかまわないことが判ったからでした。

51 町田晃葉 秋田県 秋田県立大曲高等学校
ヘルマンヘッセ作 南方

影が溜っている涼しい狭い横町、
海の爽やかさが籠もる 晴れやかな明るい大気、
厳めしい庭園の中で樹々の葉が銀いろになびく。
子供みたいに素朴な人々が市や小間物の商いをしている。
貧しい人々は恥らいなく自由に
塀のほとりで金いろの蜥蜴といっしょに日向ぼっこだ。
灰色のいく月を
憧れと夢と歌とに私が思い描いたすべてのもの、
朗らかに、幸福に向って開かれている一切のものがここにある—
家々の円天井は親しげに並んでつらなり
南方の果実は鋭い匂いを放ち、そして紅い葡萄酒は
誇らかになみなみとそそがれる。
雪の白いあの山の頂きを越えた彼方に
遠いふるさとを わが心を探す、
雪と風との 涼しい国土を恋しがる。
この南方の楽園に 結局私はいれない。
一度おとなになった私はもう子供には還れない。

5 2 松田大地 山形県 山形県立東根工業高等学校
ダニエル先生 ヤマガタ体験記

(BGM C.I) それでは山形弁ってどんなものか、ちょっと地元の話の話を聞いてみるかと、カニみたいに横ばい歩きをして気づかれないように、聞こえるところまで近寄ってみた。

おばあちゃんたちの会話に耳をそばだててみる。

おばあちゃんA「おめだらなしてほだいずぐだれなんだず」
{あんたはどうしてそんなに怠け者なの?}

おばあちゃんB「ぼーだいにごしゃがなくたってえがんべした〜」
{そんなに怒らなくてもいいでしょう}

ーウワーッ、オレは電車まちがえて、違う国に降りてしまったんじゃないか〜。

このおばあさんたち日本語しゃべってないじゃないか。

どんな話をしているのかさっぱりわからない。それどころか一つの単語も、単語の切れ目自体もわからない。旦那さんの悪口をいっているのか、子供のことを話しているのか、孫のことを話しているのか、野菜の値段の話をしているのか、まったくわからない。その場で立ちすくみながら、五分ぐらい一生懸命聞き耳を立てていたんだけど、ひとつこともわからなかった。

ーこれが山形弁か。みんなこんなかんじで話をしているとしたら、これから大変だなー。ヤッバイナー。(BGM C.O)

*文章読み上げ中、BGMは流したままでお願いします。

5 3 佐藤庸介 山形県 山形県立寒河江高等学校
音楽が終わった夜に

パンクを背負っていたあのSが、家族を養うためとはいえ歌謡曲の仕事をするというのも、あの時の僕にはショックだった。今はそうは思わないが、当時はロックにとって歌謡曲は目の敵のような存在だったのだ。

魂売りやがって、と腹の中で侮辱していた。しかし、今はその時の自分の狭い心を恥じている。家族のために自分を捨てて生きてあの男を侮辱した自分が情けなくて仕方がない。

その後、彼がどうなったのかは分からない。

子供や家族を養うために生きる彼を、今の僕はもう否定はできない。自分も父親になってしまったからだ。

マスターリングが全て終わったのは深夜のことだった。僕は重たいSスタジオの扉を、昔のように反動をつけて引いた。

Sスタジオの扉が重い理由は、そこを通過していった多くのミュージシャン 連中の情念の重さのせいかもしれない、と僕はこっそりため息をついた。

5 4 石井利枝 山形県 山形県立山形北高等学校
アフリカ・ポレポレ

朝早くから、彼女たちはもう裏木戸をたたいている。しかもだ、人の家の戸口にやってきて、いきなり、「水をくれ」はないもんだ。こちらが多分に過労気味で、機嫌が悪かったかもしれない。しかし私はいささか、ムツとする。それに今回だけではない。いつもこの台詞にはまいる。スワヒリ語にも「どうぞ」とか「お願いします」とかいった意味の言葉はある。にもかかわらず、「おはよう」とも挨拶せずにこれでは、あまり直裁的にすぎやしないかー。しかし、私もめったなことは言えない。こんな場合にはどんなふうに答えるべきかと、「小さいの」がうしろでしっかりと耳を澄ませている。

でも、とにかく貯水タンクには水がいっぱいあったから、私は女たちに水を分けてやることにする。水に対する執念は私にもわかる。薫に裏木戸の鍵を開けさせて、彼女たちを中庭に入れる。

ヴィレッジの女たちもこれには喜んだ。急に多弁になって、私にいろいろ言いわけをする。ここに来るまでの監督官宿舎の名前をいちいち挙げては、留守だったとか、鍵がかかっていたとか、洗濯したので、水はもうないと言われたとか——。彼女たちに愛想よくこう並べたてられると、こちらはかえってバカにされたような気持になる。

5 5 宮村 愛 福島県 郡山女子大学附属高等学校
蘭学事始

つらつら古今の形勢を考ふるに、天正慶長の頃、西洋の人漸々わが西鄙に船を渡せしは、陽には交易によせ、陰には欲するところありてなるべし。故にその災ひ起こりしを国初以來甚だ厳しく禁じ給へりと思えたり。これ世に知るところなり。その邪教のことは知らざるところの他事なれば論なし。但し、その頃の船に乗り来りし医者 of 伝来を受けたる外科の流法は世に残れるもあり。これ世に南蛮流とはいふなり。その前後より和蘭船は御免ありて、肥前平戸へ船を寄せぬ。異国船御禁止になりし頃も、この国はその党類にはあらざる次第ありて、引続き渡来を許させ給ひぬ。それより三十三ヶ年目にて、長崎出島の南蛮人を逐ひ払ひて、その跡へ居を移せしよし。それよりは年ごと長崎の津に船を来たすこととはなりぬ。これは寛永十八年のことなるよし。その後、その船に随き従ひし来れる医師に、またかの外治の療法を伝へし者も多しとなり。これを和蘭流外科とは称するなり。

5 6 長谷川 望 福島県 福島県立喜多方高等学校
ロンドンでフラット暮らし

イギリス人の犬好きは有名である。その評判は本当かと聞かれると、しかし返事に困る。実際のところ、イギリスにおける犬の存在というのは、人々が犬好きかどうかというレベルではすでにない。

赤ん坊であれ、大人であれ犬を飼う飼わないは別として、犬が嫌いだったり恐かったりする人は、イギリスに住むことが難しいという、そういうレベルなのである。

(BGM F.I)

犬嫌いや犬が怖い人間のために、犬の自由を奪って鎖につなぐことなど論外の、人権らなぬ犬権蹂躞である。例外的に数年前、飼育が難しいロットワイラーやブルテリアが子供を噛んで重傷を負わせた事件が相次いで、この種の犬の飼育の禁止や処分を巡って、大きな論争が巻き起こったのも事実だが。(BGM F.O)

庭のないアパートでも、ほとんど犬を飼ってはいけないとは言われない。言われても、人々は従わないだろう。

道路でも公園でも、ヒモをつけずに犬を自由に散歩させている人も多い。その犬も、巨大なのがかなりいるから、犬嫌いな人は、イギリスで幸せな暮らしはできないだろう。

ロンドンのあちこちにある公園、特にハムステッドピースは、犬のためにあるのではないかと思うときがあるくらい。そこでは草地を走り回ったり、池で泳いだり、昼寝したりして、犬達が人生を謳歌しているのだ。

5 7 高橋 有紀 福島県 福島県立磐城桜が丘高等学校
「朱夏」 宮尾 登美子

それは、想像していた新京の町が思いの外小さく汚なく、また外見はともかく、つる子が都会ずれしているのがありありと感じられたという落胆より他に、一日旅をした挙句、やはり戻るべきところに戻ったという感じであった。以前曠野の落日を見て涙ぐみ、この運命を甘受しようとして自分にいい聞かせたときよりはもっと体に馴染んできた感覚で、一種の安堵となつかしさがあった。

綾子の気持はぱっと開け、要に、

「ちょっと抱いていて」

と美耶を押しつけると花ざかりの畑のなかを思いっきりしばらく走り、そして立止ると手当たり次第そこら中の花を摘んでこんもりと手に盛り、こっちに歩いて来る要にそれを示して振りながら、

「今日は五月の何日？いつのまにか四月十三日のあたしの誕生日を過ぎていました。綾子十九歳よ」

と明るく話しかけ、つられて、

「ああ」

と答える要と声を合わせて笑った。

58 中馬理恵子 鹿児島県 鹿児島玉龍高等学校
「ポプラの秋」(湯本香樹実 作)

私はイエス・キリストとかいう人の、痩せこけた身体と、いかにも苦しげな顔に同情した。こんな裸の姿を皆に見られているのは、あまりいい気分でないにちがいない。それからふいに、父の話してくれたうさぎのことを思い出していた。うさぎは、おなかをすかせた人のふりをした神様のために死んだけれど、このキリストという人は、人間のために死んだのだとオサムくんは言う。誰かが死ぬのは、必ず誰かの、何かのためなんだろうか…父は何のために死んだのだろう。おなかをすかせた人のために？人間ののために？母のために？それとも私のために？

やがて、神父様のお話が始まると、私は急速に眠くなった。母に揺り起こされた時、教会のなかにはもう、ほとんど誰もいなかった。オルガンを弾いていた女の人が、楽譜を片付けている。音のたくさん詰まった、きらきら眩しいケーキの箱だったはずの教会は、どこかの普通の集会場みたいだった。

外の空気は目にしみるほど冷えきっている。開け放った扉のところで、私はもう一度、十字架のキリストを振り返った。

「私をここにおいて、帰ってしまうのかい」

その人が言った。

「また来るね」

小さく呟いて、私は外に出た。

59 安田衣里 鹿児島県 鹿児島県立鶴丸高等学校
遠藤 周作・作 「留学」

眼を伏せたまま、工藤は床の一点を見つめ自分は今なんという恰好をしているんだと思った。これは一種の儀式だ。どんなものにも儀式があるのだから、それは我慢しなくちゃいけない。

「彼の勉強が、やがて日本での布教の上にきっと役立つだろうとあなたたちは期待しておられる。十六世紀の中頃、日本の四人の青年が使節として、はるばるローマに渡ってきた話を私は昔、読んだことがある。この日本人たちは帰国後も、立派な教徒としてその信仰を国にひろめ……」

工藤は自分の肩におかれた神父の手に次第に重み加わるのを感じた。その重さはたんに肩の上だけではなくまるで思い石のようにずっしりと心にのしかかってくる。ポケットからハンカチを出して懸命に彼は顔の汗をぬぐった。

彼が信仰をふかめ、より多くのことを留学中、学ぶことを、みなさんの毎日の祈りの中に加えていただきたい。」

そして司祭は促すように工藤の顔を見た。なにか挨拶をせよという意味らしかった。「有難う……ごぞいます」

と彼は婦人たちにむかって小声で言った。

60 池端美紀 鹿児島県 鹿児島県立甲南高等学校
青のフェルマータ

青い海の中でイルカと目を見交わし、長く、楽に息が続くようになっていけばいくほど、わたしの心はことばを必要としなくなっていった。何もいらぬように思えた。人間として生きるために身につけた道具なんか、何ひとつ。

イルカのほうも、どんどん大胆になってきた。入り江の波打ちぎわのすぐ近くまでやって来るので、いまにうっかり座礁してしまうのではないかと心配になるほどだった。わたしやパウにまとわりついて、時には何時間も一緒に遊びたがる。わたしたちが水から上がろうとするとパウのしっぽをくわえて引き止め、ひんひん鳴かせることまである。

それでもやはり、彼は、自分の体にだけは決してさわらせようとしなかった。「あいつのこと、何て呼ぶことにしたんだ？」とダグに訊かれた時、だからわたしは、ただ首を横に振った。名前はずけてない。つけたくなかった。パウのときとは、そこが違っていた。

「どうして？」

(……………)

わたしは困ってしまった。説明するのが難しかったのだ。

でも、あえて言うなら、人間の呼び名なんかつけることで、彼を損なってしまうような

気がしたからだと思う。

彼は人に属する生きものではなかった。どこまでも野生であり、どこまでも自由なのだ。わたしのこんな勝手な思い入れさえ、あっさりとはふり捨ててしまえるほどに。

6 1 太田綾香 愛知県 愛知県立時習館高等学校
深い河 (ディープリバー)

沐浴をしていた印度人の大きな男が掌を動かしてしきりに彼女に何か言った。「何ですか。」と聞きかえすと、その印度人は大声で答えた。「入りなさい。この河は気持ちいい」美津子はうなずいて河の中に片足を入れもう一つの足を沈めた。死と同じように直前はためらったが、体をすべて沈めた時不快感が消えた。

右に二人、左に四人、ヒンズー教徒たちの男女が顔を洗い、水を口にふくみ、合掌をしている。誰も美津子をふしぎそうに見る者はいない。注意して観察すると、男の群がっている場所と女性の集まり場所とはおのずと分かれているようだった。

体を左右に動かして美津子はサリー姿の女性たちの間に近づいた。女たちはそれぞれガートの露店で買った花びらを木の葉にのせて水に流している。石段には大きな傘をひろげ、黄色い布をまとったバラモン僧が祝福を乞いにきた新婚夫婦を祝福していた。遠く南側では、ようやく焼けた先程の死体の灰を三人の白衣の男が河にスコップで流していた。死者の灰を含んだ水がそのままこちらに流れてくるのに、誰もがそれを不思議にも不快にも思わない。生と死とがこの河では背中をあわせて共存している。

6 2 宮澤亜矢子 愛知県 愛知県立明和高等学校
「短歌の旅」デンマーク紀行より

教室には、思い思いの格好をした生徒が三十数人、思い思いのかたちに座っていた。「思い思い」というのは、たとえば窓辺のロッカーみたいなところにヒョイと腰かけている子や、一番前で手を握りあっている男女や、横を向いてガムをかんでいる子たちが、調和している感じを言う。

先生はそれをとがめる様子もなく、さあどうぞ、話してくださいとニコニコ私のほうを向いてうながす。起立、気をつけ、礼、などという儀式はまったくくない。聞くところによると、デンマークの高校には制服は一つもないという。

「もしそんな学校があらわれたら、教育関係でない人たちからも、抗議やデモがおこるでしょう」と、キーステンさん。日本とは、えらい違いだ。

服装も格好も「思い思い」であるが、私の話にはみんな実に熱心に耳をかたむけてくれた。

「日本には、古くから『短歌』という詩の形があり、千三百年前には『万葉集』という歌集が作られました。この歌集には、天皇と呼ばれる王様の短歌も名もなき庶民の短歌もあって、その数は四千五百首にのぼります」

「平安時代には、恋をしたらはじめに、相手に短歌を贈りました。顔を見るより、言葉を交わすより、何より先にまず短歌、だったのです。だから短歌が下手だと、恋も実りません」

有名な歌人や、万葉植物、あるいは短歌に詠まれた土地への思い——さまざまな例をあげて、日本の伝統文化の中で、短歌が広く人々に親しまれてきたものであることを説明する。

恋をしたらまず短歌、という話に、生徒たちはびっくりしていた。

6 3 笹井結加 愛知県 名古屋市立菊里高等学校
深夜特急 沢木耕太郎作

(BGM FI)「日本人はグッド・ファイターだった」

どうやら第二次大戦中のことを言っているらしかった。イタリアに行くときまだそんなことを言う老人がいると話には聞いていたが、そのサンプルのような人物に出喰わすとは思わなかった。社交辞令なのか、本心からのものなのか。それを読み取ろうと老人の顔を見つめていると、冗談とも真面目ともつかない表情で言った。

「また一緒に闘おう」

「……………」

「日本人はイタリア人と共に闘った。また一緒に闘おう」

「……………」

私は言葉がなかったが、仮にどれほどイタリアの軍隊が弱体であっても、こんな人と一緒なら退屈しないだろうと思っていた。もっとも戦闘に疲れる前に、会話で疲労困憊してしまうかもしれなかったが。(BGM FO)

バスがピサに到着し、別れるときに礼を言った。

「いくつもイタリア語を覚えました」

すると、老人は私の肩を軽く抱き寄せながら言った。

「こちらこそ、日本語を勉強させてもらったさ」

そして、さらにこう付け加えた。

「幸運を」

(BGM FI) それは単なる別れの挨拶の決まり文句ではあったが、その老人の口から発せられると、私の前に立ちはだかっている困難を打ち破ってくれる魔法の呪文のように聞こえた。私の前に立ちはだかっている困難。とりあえず、それはモナコのカジノに存在している。私は、老人の言葉を背に、まだ見ぬモナコのカジノに乗り込んでいく自分を想像して、微かに武者ぶるいをした。(BGM FO)

64 小菅智美 三重県 三重県立津西高等学校
井上靖 作 おろしや国酔夢譚

光太夫は宴席の隅に座っていたが、娼婦たちの唄う歌謡の調べが胸に応えた。

ああたいくつや われ
ひとの国
みなみなたのむ
みなみな棄て まいぞ
なさけないぞや おまえがた
なさけないぞや おまえがた
見向きもせいで
あちら向く
うらめしや つらめしや
いまは 泣くばかり

光太夫には、その歌詞がまるで自分の身の上を織りこんでいるように思われた。酒宴の席でいつでも唄われている歌に違いなかったが、それを聞いているうちに光太夫は殆ど耐え難いまでになった。涙が臉に溢れて来た。一人がそうした光太夫に気付いて、どうしたのかと訊いた。光太夫は匿しても始まらなかったのも、

「歌の詞が、わが身の上を物語っているように聞こえて、不覚にも落涙いたしました。」

と素直に答えた。歌はすぐ他の歌に替えられた。一座の者は光太夫の言葉ではっと胸を働かされたらしく、中でもソフィヤは心ないことをしたと言って詫びた。

65 伊藤佳菜子 三重県 私立高田高等学校
澁谷義人作「アジア自転車の旅」

(BGM FI) 《モンゴルの草原は走ればどこでも道路、しゃがめばどこでもトイレになる》とは通訳の和さんの言葉だ。ただし、360度障害物がないのが問題で、団員から見えないようにするのは一苦労だった。ある朝、草原にしゃがんで用を足していたら六十歳過ぎの団員が隣に座られた。二人で草原を眺め中国人女性のことを話しながらの排便となった。《連れション》ならぬ《連れウンコ》は初めての経験だった。その昔、モンゴル高原では、大便してもおしりを拭かなかつたらしい。肉食の彼らの便は日本人に比べ固めという。また用を足すときには傍らにいぬが控えていて出し終わったらおしりをなめてくれる。さらに犬は排泄された便をすぐに食べてしまうという。しかし、おしりから出る便をすぐ後ろで大きな犬が待っていると思うと出るものも出なくなりそうだ。幸い、我々一行には犬がついて来なかったのでお世話にならずにすんだ。

ただ男性は何とかなるが女性は大変苦労されていた。サイクリングの休憩時のトイレは障害物を探し、ある時は畑の段差を利用してなおできるだけ低くしゃがんで、ある時は山のように積まれた日干しレンガの奥でと、気の毒なくらいだった。しかし、登山やトライアスロンで屋外でのトイレに慣れている人が多いのと、日に日に中国人の排泄に対する無頓着ぶりに慣れてきて大胆な行動となった。まさに《郷に入らば郷に従え》だ。

(BGM FO)

66 藤森晶子 三重県 私立高田高等学校
倉松忍作「ヒッチハイカー・ブルース」

(BGM FI) バナナにしたってそうだ。
僕が買った後、坊さんが買うのを何となく見ていると、彼は同じ1ルピーで僕がもらった量の6倍ものバナナをもらって行くのだ。
しかし、これはただ単に僕がだまされただけなのか、それとも宗教と関係があるのかは判らない。学校でカースト制は四つの身分階級に分かれている、ぐらいのことは習った。坊さん(バラモン)が一番偉い。だからバナナをたくさんもらえたのかも知れない。
それにしてもインドの宗教とは不可解千万、実際には数千の階級に分かれているらしい。
僕が泊まっているサルベーションアーミーホステルの中だけを見ても、シーツを直すだけの人、床を掃除するだけの人、ごみを捨てるだけの人、というふうに、全て役割が決まっているのだ。これはそのホテルの運営方針なんかじゃない。身分制度なのだ。
そして、旅行者がリュックのような重いものを担いでいると最下層と見られるらしく、乞食に「パクシーシ」と手を出された時、逆に手を出してみるとめぐんでくれることがよくあるそうだ。
(BGM FO)

67 須田友梨子 群馬県 群馬県立伊勢崎女子高等学校
澁澤幸子作 イスタンブール、時はゆるやかに

警察まで夜道を十五分も歩いたろうか。運転手が事情を説明し、あっちへ行け、こっちへ行けと言われた末に、警察署の薄暗い廊下で、紙切れに名前、住所、国籍を書いてOKとなった。
ホテルのそばまで帰って来たとき、運転手が言った。
「私はこれからなにか食べに行くんだがね、あんたもおなか空いてるだろう？」
「でも、疲れちゃったから、今夜はもう寝る」と、私は言った。ほっとしたとたんに、なんだか疲れがどっと出てきたのだ。おんぼろホテルの部屋は、狭い室内にベッドがあるだけで、シャワーもトイレもなかったが、私はやれやれとベッドにひっくり返った。
うとうとしかけたとき、ノックの音がした。ドアを開けると、バスの運転手が立っている。彼は温かい紙包みとコーラを私に手渡し、「トゥモロウ・モーニング・セヴン・オクロック・バス・スタート」と、暗唱するようにたどたどしい英語で言ってから、「イイ・ゲジェレール(おやすみ)」
と言って去っていった。あの運転手はいままでひとことも英語を話さなかったのに。私に念を押すために、レセプションで教わって暗記してきたのだろう。紙包みの中は、まだ温かいビョレッキ(揚げパン)だった。私の鼻の奥がじんとした。コーラを飲み、ビョレッキを頬張っているうちに、涙がぼたんとして膝に落ちた。

68 杉江尚子 群馬県 群馬県立伊勢崎女子高等学校
藤原正彦作 若き数学者のアメリカ

アメリカに行き始めて間もない頃、廊下で学生が教授に「やあ、今日はビル」などと言っているのを初めて聞いた時はびっくりしたが、慣れるに従って愛称の使用がほほえましく、また、師と弟という主従関係を転じて一種の家族関係のごときものに変える力さえあると思うようになった。しかし、たまには愛称で呼ばれるのを嫌う人間がいるから注意が肝腎だ。同僚のチャールズはチャックと呼ばれるのがどういうわけか大嫌いで、私もそう呼ばぬように気を使っていたのだが、それを知らぬがらわざとチャックと呼んで面白がっていたハイタワーという男がいた。昼食の時などチャールズの迷惑そうな顔とハイタワーのいたずらな顔を大いに楽しませてもらった。
というわけで、学生は最初の授業の時に、教授に何と呼ぶべきか聞くのが普通である。学生にこの質問をされた時は少々弱った。日本にはもちろん、こういう意味の愛称などというものは無いし、学生にマサヒコなどと呼ばれれば、お袋に叱られたような気分になってイヤだ。仕方がないので、「何でもよい」と言ったら、マサヒコでは難かしすぎると思っただけで、「何か愛称はないのですか」と、食い下がる。面倒臭くなって、「マサヒコでもいいし、マサでもいいし、フジワラでもフジでもいい。覚えられなければハイとでも呼べば分る」と、言ってやったら、また、どっと笑った。
この頃までには、全員が打ち融けてきていて、まずは成功と内心思ったりした。

69 川端浩美 群馬県 群馬県立伊勢崎女子高等学校
深沢正雪作 パラレル・ワールド

「わたし、いままでこんなに男性の視線を意識したことないわ」

たまたま隣で作業していた私に、昨年高校を卒業したばかりの茶髪のトモちゃんは小声でいう。自称「男性恐怖症」という恥ずかしがり屋な雰囲気と涼しげな顔立ちがあいまって、彼女は日本人独身社員だけでなく、ブラジル人たちのアイドルにもなっている。

今日のように彼女の隣で作業した後は、決まって何人かのブラジル青年から「いいなあ、なんの話をしてたんだ。教えてくれよ」と尋ねられる。とうの彼女はビジュアル系バンドとファッション以外には取り立てて興味がないようで、ブラジルの話をしていても全然興味をしない。彼女にとっての外国人は壁の向こう側の住人なので、目の前にいても見えていないかのような存在だ。

でも方々からの視線は常々感じていて、「日本人はチラッとしか見ないのに、ブラジル人はジッと見つめるから怖い」という。とくに斜め向かいに位置する、ジョルジからの視線は格別で「にらまれてるみたい」と怯えている。

ブラジルのディスコやダンスパーティでは、気に入った異性に視線を送り、相手からも見つめ返してきたら「OKよ」という合図だ。彼はその習慣のまま、熱い視線を送りつけて反応を待っている。

70 古川枝里子 埼玉県 埼玉県立川越女子高等学校
季節の宴

パリでは復活祭が来るまで、季節は何度か冬に逆戻りする。朝、カーテンを開けてみると、灰色の雲が垂れ、薄暗い家々の間に冬と同じく石炭の煤煙のにおいが流れている。昨日まで続いていた笑うような明るい早春の光景はうそのように消えて、外套の襟を立てた人々が陰気に不機嫌に歩いている。私は朝のコーヒーをいれながら、春への希望が微塵に打ち砕かれているのを見て、急に意気沮喪する。前の日まであれほど自信に満ちていた作品の計画さえ色あせた、つまらないものに見えてくる。私はため息をついて、枯れた並木の続く石畳の道を見下ろし、見せかけの春に欺かれた自分の軽率さを嘲笑したいような気持ちになる。そんな時、窓の上の辺りではとが甘い温かな声で「くう、くう」と鳴くのを聞くのである。

それは冬には絶対に耳にしなかった、楽しげな春の先触れの声なのであった。

次の瞬間、私の心は、急に日がさしてきたように明るくなる。

「やはり春は来ていたのだ。もう冬は終わったのだ。」

私は思わず声を出してそう叫ぶと、図書館を目がけて駆け出していったものであった。

71 醍醐たいごさゆり 埼玉県 埼玉県立伊奈学園総合高等学校
渡辺淳一「花埋み」

東京へ戻り十日もすると、医術開業試験を断わられた口惜くやしさが再び吟子の胸に甦よみがった。母の死は悲しいことには違いないが、いつまでもそれに溺れているわけにもいかない。吟子は母の死を嘔みしめながら、医学への情熱をかきたてていた。母に報いるためにも早く女医になりたかった。

もう一度出願してみようか。

吟子は考えたが再び願出たところで結果が同じことは目に見えている。

好寿院を一緒に卒えた者の何人かは、すでに東京で前期、後期二つの試験を終え、開業の準備をしていた。正直なところ、彼等の学才が吟子より優れていたとは思えない。成績だけならむしろ吟子の方が上であった。それが男というだけで堂々と開業を許されている。学識の差による結果なら諦めもつくが、男と女という性の違いだけの差別だけに、吟子には口惜しく耐えられそうにもなかった。

いつになったら女も男と同じに扱われる時代が来るのであろうか。

考えてみると、そんな時代が来るだろうという予測だけで、来るとういう確証も約束もなかった。果して本当に来るのか、それは自分の手前勝手な夢に過ぎないのではないか、自分が生きているうちには来ないのではないか、考えれば考えるほど吟子は暗い気持ちに閉ざされた。

7 2 福田智美 埼玉県 埼玉県立伊奈学園総合高等学校
椎名誠「ナラン 草の国の少年たち」

その翌日出会った少女たちは速い流れの川のそばに住んでいた。あたりはアザミの花が一面咲いていた。

そこから見える山の斜面におびただしい数の羊が散開していた。しばらくそこに座ってそんな写真を撮っていると、一人の少女が黒い仔羊を抱いて、「ねえ、見てください。かわいいでしょ？」と言わんばかりに近づいてきた。

カメラをむけると、好奇心の強い黒ヤギが「わしも一枚撮ってほしいんだが……」とでもいうようにトコトコとカメラのフレームの中に入ってきた。

二人の少女はまだすこし緊張したまま、でも腕の中の仔羊をいかにも誇らしげにゆっくりと揺すりながら、僕の前にきちんと並んでくれた。

また別の娘は気の毒に言葉が何も話せなかった。けれど馬の扱いが上手で、いつも陽気に笑っていた。写真にとっても興味があるようで、何度も指さし、しきりに自分を撮れ撮れ、と手まねで要求した。ゲルの裏の小高い草の山の上に行って、西陽をバックに何枚か写真を撮った。犬が二匹そんな私たちを興味深そうにじっと眺めていた。

7 3 鈴木敬子 茨城県 茨城県立水戸第二高等学校
石森史郎 作 「ゴンザ」

薩摩育ちのゴンザが、生まれて初めてスケートをつけて、氷の上を滑ろうとしているのだ。何度も失敗するのは、無理もなかった。

ゴンザは、立ちあがったが、すぐにまた足をさらわれて、こんどは、いやというほどしたたかに尻を打った。痛さと涙をこらえ、唇をかんで起きあがり、またまたぶざまなかつこうで転倒した。

スケートを楽しんでいた子どもたちが、遠巻きにしてゴンザを眺めていた。

子どもたちは、ゴンザがどんなにひどい転びかたをしても、だれひとりとしてあざけり笑う者はいなかった。

笑うどころか、そのうちに、ひとりの少年がすーっと滑り寄ってきて、倒れているゴンザに手をさしのべ、助け起こしてくれた。

「スパシーバ。」

ありがとう、ゴンザは、覚えたロシア語で、笑顔になってうれしい気持ちを伝えた。

それがきっかけになって、何人もの子どもたちがゴンザのまわりに滑り寄ってきた。

おない齢ぐらいの少年、少女。まだ幼い子どもたちにかこまれたゴンザは、やあ、こんにちとはと、心のなかで言いながら、人なつっこい笑顔をむけた。みんなもはじけるような明るい笑い顔であった。

日本人のゴンザが、珍しいからではない。

スケートを覚えようとしているゴンザを、仲間に迎え入れようとする気持ちのあらわれであった。

7 4 黒澤瞳 茨城県 茨城県立日立第二高等学校
イスタンブール、時はゆるやかに

私はいま、二十世紀も終わろうとするイスタンブールを歩く。でこぼこの埃っぽい道、迷路のようなグランド・バザール、香辛料の匂いがたちこめるエジプト・バザール、物売りのけたたましい呼び声、喧噪の街を、むさくるしいひげ男とスカーフの女たちがゆきかい、どこからか羊を焼く濃厚な匂いが漂ってくる。老人たちはひねもす茶店にたむろし、ゆるやかに時が流れてゆくイスタンブール。市当局には叱られるかもしれないが、塵ひとつない整然としたイスタンブールには、私は興味がない。

モスクの尖塔（ミナレット）に群れるカモメ、夕暮れの街に朗々と響くエザーン、金角湾（ゴールデン・ホーン）を黄金に染めて沈む夕陽、そして、夕焼けに浮かびあがるモスクの円屋根（ドーム）と尖塔のスカイライン。アジア・サイドの灯が瞬きはじめ、混沌の街が夜の闇に沈むと、いちだんとその珠玉のごとき輝きを増すイスタンブール。

75 川島悠美 茨城県 茨城県立岩井高等学校
さくらももこ著 ももこの世界あっちこっちめぐり

翌日は、トレドの町の中を朝からゆっくり散歩した。古い石の家並みに陽があたり、空の濃い青色の中に自分がいることのうれしさを感じ続けて歩く。疲れたら道端のカフェテラスでお茶を飲んで休む。小さな土産物屋には、十九歳の頃私があこがれた絵皿が壁いっぱい飾られている。スペインに行ってみたい、こんな町に言ってみたいと想っていたころのあの風景の中に本当にいると思うと泣きたい気持ちになってくる。

スペインの人は、まず自分の生活を大事にしているようだ。ゆっくりお茶を飲んだり、楽しく食事したり、散歩したり、家族仲よく過ごすための時間を優先し、生活に必要な分だけ働いてあとは呑気に過ごすのだという。そのような人々の気分が、町の空気の流れをつくっているのであろう。福祉が充実しているから、病院も無料だし学校も高校まで無料だそうだ。みんなアパートやマンションに住んでいるが、住宅費も安いためにマンションを買ってから結婚するのが普通だという。税金をちゃんと正當に国民のために使っているのであろう。どこか国民の知らぬところで金を着服したりして、住みにくくしている日本政府は大いに反省すべきである。

76 前川絵美 石川県 石川県立野々市明倫高等学校
イルカと、海へ還る日 ジャック・マイヨール作

水の中で、目と目が合った。イルカも私を見ていた。少し開いた口に鋭い白い歯が並んでいるのがみえた。

しかし、私は恐怖よりも、ほとんど反射的に彼らのほうへ泳ぎだした。自分の小さな心臓が激しく鼓動するのがわかった。それは驚きと……感動だった。私はイルカに触ってみたくて仕方なかった。

でも私が近づけば近づくほど、彼らは遠ざかった。どうしても一定の距離を保とうとしているようだ。

そうして、イルカたちはすっと素早く去っていった。

彼らは明らかに魚ではなかった。私は子供心にも、イルカは「仲間」だと思った。心が通い合い、興味を示し、好奇心で私に近づいてきたイルカ。不思議なことに、私の心は親愛の情でいっぱいになった。初めて出会う、こんなに懐かしい動物がいるだろうか。海の中でこんなに優しい動物がいたなんて。

イルカは去ってしまったけれども、私は彼らとのかかわりが、まだこれから始まるような直感がした。本能的ともいっていいくらいだった。ああ、またいつか会えるな、私はそう思っていたのである。

77 多田真梨子 石川県 石川県立七尾高等学校
身がわり

その日以来、偏頭痛が消え、饒舌になり、太り始めもした。そして何よりも、本物の笑顔がもどってきた。私は滞英中、たくさんの写真を撮ったが、この日から約十日の間にとった写真は、我ながらいい顔をして写っている。心から楽しんでいる顔、一点の曇りもない、晴れやかな笑顔である。

英語に関してひと山越したというのだろうか。授業中はアウトサイダーでいるのをやめ、心して発言するようになった。休み時間、昼食時、そして放課後も、ずっと英語で話して、それが苦ではない。気負うことなくあれこれと、よしなし事を話すのが何よりも楽しかった。ある時は、イギリスのお菓子がまずいことで盛り上がる。あの人工的な着色は何、きつとイギリスって色彩に乏しいから、お菓子くらいは派手にしているのでしょうか、そういえばイギリスの家って皆同じ形をしていてつまらないね……可笑しいことに、皆イギリスが好きではなかった。

78 越川朝子 石川県 石川県立金沢西高等学校
地球どこでも不思議旅

そこに学生ふうの四人連れがやってきた。英語で「あんたたちは日本人か、メキシコになにをしにやってきたのか？」と聞いてきた。

カメラのヤマコーは英語がうまい。「雑誌の取材できたんだよ」と彼は答えた。すると

学生の一人が少し困ったような顔をして「この店の中を見てヨッパライばかりの姿をメキシコと思わないでくれ。こういうのばかりがメキシコだと思われるとオレは恥ずかしい…」と、言った。

「あんたは愛国者なんだね」カメラのヤマコーが言った。

「そう、オレは愛国者なんだ。でもこれもメキシコのひとつの顔だからまあ見ていってくれ」学生たちはそう言って自分の席に戻っていった。少しすると、今度は勤め人ふうの男が近づいてきていきなり身分証明書を呈示した。

「なにか用ですか」と聞くと、「楽しんでいるか」とその男は言った。「楽しんでいる」と答えると、「そうか、それはよかった」といって戻っていった。いろんな人がいろんなことを言いにくるのだ。身分証明書を見せたのはわれわれを安心させるためだったらしい。メキシコ人というのはみんなとても心優しいのである。

79 涌井昌代 奈良県 奈良県立橿原高等学校 十六歳のギリシャ巡礼記

途中、何度か道がわからなくなったので、道端の農夫に尋ねると、「真っすぐ」とか「何キロ先を右」というように、口と手振り身振りで教えてくれた。こちらは車を止めて窓を開け、目的地の名前だけを言うのだが、「ははあ、その行き方を教えてほしいんだな」と相手の方でもすぐに察してくれ、一番大切なことだけをぱちっと教えてくれるのである。アテネ市内だとかなりの人々が英語で話せるのだが、ちょっと郊外へ出ると、ほとんどの人がギリシア語しか話せない。それでも道順を尋ねるとよくわかるのだから面白い。これが他の国だと、

「ええ、あそこへ行くにはまず何キロほど進んだ所の右手に何色の建物があるからそこを左に曲がって、またしばらく行くと右手に何があって左手に何があるからそれを目印に今度はどっちへ曲がって……」

という具合に、いろいろな言葉を並べたてるので、聞いているとだんだんわからなくなってくる。自分の国にいてさえそうだ。だが、ギリシア人はほとんど一言か二言以内でとてもわかりやすく教えてくれる。しかも地方の人ほど、道を尋ねられるとニコニコしながら、うれしそうに教えてくれる。まるで、教えることに一種の喜びを感じているかのように。こちらもとても気持がよかった。

80 月ヶ瀬舞 奈良県 奈良県立信貴ヶ丘高等学校 イギリスはおいしい

店に着くと、大柄な銀髪の婦人が応対に現れた。先生が、ガウンを買いたいのだが、と告げると、婦人は奥から分厚い見本帳を出して、どれにしたいのかと訊ねた。本来、こうしたガウンはオックスフォードならオックスフォードの在學生と出身者にのみ着用が許されるものと見えて、先生が「この方は日本の大学から研究に見えている先生で……」と私を紹介すると、婦人はちょっと困ったような表情になった。

「それでは、お売りしてよいかどうか、大学の本部に聞いてみますから、ちょっとお待ちください」

そう言って奥へ引っ込んでいった婦人は、間もなく戻って来た。

「ちょうど今、本部の担当者が席を外しているそうですから、暫くお待ち下さい」

と、そう言うと、婦人はマクマレン先生に向かって謎めいた微笑みを浮かべた。私は、暫く待てとはどのくらい待つのかなア、と途方に暮れる思いであった。すると、先生が私の耳元で囁いた。

「さア、この間に買いましょう」

そう言うと、先生は先程の分厚い見本帳を繰って、マスター・オブ・アーツの学位を持つもののガウンの所をあげ、「これにしよう」といった。すると、店の婦人は何事もなかったかのように、まるつきり当り前の様子で、化繊のにするか、木綿のにするかときくのであった。木綿ので、しかも出来るだけヨレヨレなるを以てよしとするという伝統に従って、私は躊躇するどころなく木綿のに決したが、その間、とうとう本部の返事は来ないまま、私たちは尋常に金を払い、店の婦人はこれまた尋常に礼を述べた。かくて、ガウンは無事我が手に入った。

帰路、本部の返事を待たずに買って良かったのですか、ときくと、マクマレン先生はニヤリと笑って答えた。

「ナーニ、本部の担当者はいつも席を外しているんですよ、いつでもね」

8 1 藤原道代 奈良県 奈良県立志貴高等学校
モームの部屋－旅の物語 ひとりぼっちのツアー

「どこで降りるの……」

私が聞いてみると、ぼんやりしていたマリアは、あわてて男の車掌に何かを聞こうとした。そのとき、バスの中に緊張のけいはがはしり、わけの分からぬ人声とともに数人が格闘をはじめた。数人の怒鳴り声のあと、ひとりの男が腕をねじりあげられ、急停車したバスの外へ連れ出された。男の G パンの尻のポケットには血がにじんでいた。男は、四つほど前の駅から乗って来た、屈託なさそうな青年だった。

(あの青年が何か……)

やがて警官がやって来て男を引き取り、腕をねじりあげていた男が手に持っていた何かを警官に渡した。警官がそれを宙にかざした。男が手渡した物は、切り取った二本の人間の指だった。二本の指には、それぞれ指輪が光っていた。マリアが私の腕をつよくつかみ、私の肩に顔をうずめた。

指輪を目当ての強盗が、指輪がぬけないために指を切り取ってしまった……そういうことなのだろう。だが、その切り取った二本の指を G パンの尻のポケットに突っ込み、無造作にバスの吊革につかまっているという日常感覚は何だろう。私の目のうらに、またもや「ムービートン・ニュース」のタイトル・バックに映し出された、白黒画面によるリオのカーニバルの不気味なシーンがよみがえった。

8 2 鎌田華苗 和歌山県 和歌山県立伊都高等学校
パタゴニア

長いガタ揺れの旅だったので、つめたいワインがうまい。ワインはこちらの言葉でピノという。スペイン語で「うまい」というのは「サブローソー」で、これは麻雀をやる人ならすぐ憶えてしまう言葉だ。ありがとう、が「グラシアス」。

スペイン語はほとんどが母音で構成されているので単語そのものはかなり喋りやすい。

「ピノ、サブローソー、グラシアス」

と言うと、それできちんと通じるのだ。

食事が終わって、与えられた部屋に行く。学校の生徒たちが使っている二段ベットの部屋だ。二〇人ぐらいは泊まれるようだ。

時計を見るともう夜の一〇時になっているのだが、まだ草原の夕陽は一向におとろえずぎらぎらと輝いているからどうもそのまま寝てしまうという気にもならない。しかしほかに何もすることがないので、みんなでぼんやりしていると、さっき我々を迎えたこの学校の教師という男がやってきて、

「すこし日本のことをおしえてほしい」と言った。ディエ・ゴ・ラミレスほどではないにしても、こんな荒野のまん中に暮らしていると人恋しくてたまらないのだろう。この学校の生徒たちは夏休みなのでみんな故郷に帰ってしまったのだという。それではほかの住民たちはどうしているのか聞こうとしたのだが、その前に教師は、

「日本にはまだサムライはいるのか？」

と、とんでもないことを聞いてきた。

「サムライはもうずっと前にいなくなった」

と、山本が日本人を代表して答える。

8 3 西岡梨恵 和歌山県 和歌山県立向陽高等学校
イギリスの生活誌

冬が終わり、生命が再生することを祝う儀式、復活祭は、キリスト教の国々では大きな行事である。今私が住んでいるアイルランドでは、今でも大きな行事となっているが、なぜならそれは、今でもこの国に見られる四旬節の断食の終わる時だからだ。私が初めてこの土地に来た30年前、四旬節の間、どの酒場も入り口を閉め、カーテンを下げていたので憂うつな思いをした。だが、だいぶ経ってからわかったが、酒場の裏口は実は開いていて、そっとノックすれば開けてくれたのだ。復活祭の朝、すべての禁欲生活が終わりを告げ、教会では「キリストが復活した」と叫びを上げる。

ギリシャの復活祭は、年中行事の最大のものだ。人々は教会で、座席もないところで徹夜の祈りを捧げる。仔羊の丸焼きを食べ、ワインと干しぶどうやイチジクで作った強いラキ酒を流し込み、その後は夜通し踊る。

復活祭には、仔羊の他に、卵と兎が伝統的な付きものである。ドイツでは、硬ゆで卵に可愛らしい絵を描いて、庭のあちこちに隠し、子供たちがそれを探し回るのだ。この習慣は、アメリカにも広まっている。

8 4 脇山彩 和歌山県 和歌山県立向陽高等学校
アンネの日記

それ以外は、万事順調です。デュッセルさんは、外の世界のことをたくさん聞かせてくれました。もうずいぶん長いあいだ、わたしたちは世間の空気に触れていません。デュッセルさんの話してくれたのは、とても悲惨なことばかりでした。数えきれないほどのお友達や知り合いの人たちが、恐ろしい運命に見舞われています。毎晩のように、ユダヤ人をぎっしり詰めこんだ緑色や灰色の軍用トラックが、地響きをたてて町を通過してゆきます。ドイツ兵は一軒ごとに家の呼鈴を鳴らして、ユダヤ人はいないかとたずねまわり、もしあれば、即座に一家を残らず連れてゆきます。いなければ、つぎの家へ行きます。隠れ家にも身をひそめていないかぎり、ぜったいにのがれられません。ときには、名簿を持っていて、たくさん獲物がかかるとわかっている家だけを襲うこともあり、またときには、ひとりにつきいくらかで、お金を握らせれば、逃がしてくれることもあります。まるでむかしの奴隷狩りのようです。でも、もちろん冗談じゃありません。冗談の種にするには、あまりに悲惨すぎます。わたしはよく夕方暗くなってから、善良な、罪のない人々が、泣き叫ぶ子供たちにつきまといながら、列をつくってぞろぞろ歩いてゆくものを見ることがあります。行列には兵隊がふたりばかりついていて、こづいたり、ころびそうになるのをつきとばしたりしながら、居丈高に追いたててゆきます。

8 5 城間美由紀 沖縄県 沖縄県立知念高等学校
又吉栄喜作 豚の報い

果てのない大海原を十二年間も見えていたら、この世のいろいろなものが見え、聞こえただろう。おまえの父親は根からの漁師だったから、生前から暗い所や狭い所や肌寒い所を嫌がっていた、と正吉は母に聞かされていた。なにより、父は門中の人たちと仲が悪かったから、門中墓に入ってもおちつけないだろう。門中墓に閉じこめられている人たちは何も見えず、何も聞こえず、静かに安らかに眠っている。だから、悟りもなく、神にも昇華しない、と正吉は決めつけた。

骨がこのように綺麗だとは正吉は思いもよらなかった。胸がふるえた。父の骨は風雨に晒されてきた、苦しんできた。だから、悟った、神に近づいた。十二年の長い年月一心に耐えたら凡人でもきっと神になりうる、と正吉は考えた。真謝島では非業な死を遂げると十二年間風葬にされるが、逆にこのような仕打ちをうけたために、父は美しく、たくましく変わり、神になった。このままここに祀ろうと正吉は独り言を言った。父が待っているのは神じゃない、父が神になったんだ。拝みに来る人間たちを待っているんだ。どのような死に方をしようと、十二年も海を見ていたら、神になるんだ。

8 6 大底紗江 沖縄県 沖縄女子短期大学附属高等学校
私と同じ黒い目のひと

ラサの友人、ノルブの言葉が、チベット人の自然観を如実に語ります。この町はよく停電します。電力供給の内実がどうなっているのかよく解りませんが、中国人経営のカラオケやバーは煌々と明りが灯っているのに、チベット人家庭は頻繁に停電します。実際にそれを備えている家を何軒も見えていた私が彼に、ソーラーシステムを提案したときのことです。ノルブは言いました。「僕も最初は、あれはとても便利だと思ったよ。でもあそこに虫が集まってきて挙句に死んでしまうことを知ったら、嫌になったよ。自分の便利のためにたくさんの生命を殺すくらいなら、僕はろうそくの明りで充分さ」と。

チベットを旅する間いつも私は、おおいなる自然の中に身を置ける幸せを感じています。けれどもこうした事実に出会うたび、激しい憤りを覚えます。12歳の少年の言葉に思いを重ねて、“こここそ私のふるさと”と思っているからです。そして、この厳しい現実の中でなお深く仏を信仰し慈悲の心を持つチベットの人たちの智慧に、12歳の心で“ここよりもっと良いところはない”という思いを育む人たちの智慧に、学びたいと希うのです。

8 7 西江由希子 沖縄県 沖縄県立那覇国際高等学校
楽園の花嫁

第一子の奈美を大津市の実家で出産して三ヶ月。私と奈美は来間島にやってきた。その夜、義母は奈美の枕元に鉄を置いた。魔除けのためだという。生まれたばかりの子どもに

は魔物がとりつきやすいので、それを避けるために来間に古くから伝わる習慣だという。奈美が四、五ヶ月になる頃までそれは続いた。夜、奈美を外に連れだすときも義母は必ず鉢を持って出た。

ある夜、ついうっかり奈美を連れて商店に行った私は、店にいたおばさんたち数人の集中砲火を浴びる。

「アガエー。こんな夜遅くに子どもを連れまわって…鉢は持っているか？」

「持ってこない」

「困ったねあんたは…早く買いものを済ませて連れて帰れ」

「奈美ちゃんはいつも今まで起きてるの？寝ないの？」

それだけ私に言うと言で方言でおばさん同士で話しはじめる。

悪気がないことはわかるが、来間の人が話す標準語は字義どおりでストレートなので当時の私にはとてもきつかった。

鉢の一件だけでなく、古着をくれたり離乳食の材料を持ってきてくれたりと、奈美は島の人たちにずいぶんとかわいがられた。

その頃、奈美は島で唯一の赤ん坊だったのである。

88 松丸奈保子 長崎県 活水高等学校

岸恵子「30年の物語」

「ここですよ、まさにここ以外にあり得ませんよ」

「何がですか？」

「ラスト・シーンですよ。次の映画のラスト・シーンはカエサリアの夕陽です」

大きくて真っ赤に燃える太陽は、そのときクレタ島のずっと向うの、まだその向うの海の果てに沈み、残照をうけて黄金色に輝いた大野さんのちょっと照れ臭そうな笑顔も涯しなく遠のいて消えていった。

○先生とM嬢が、幻想にひたる私に愛想をつかして波打ち際で金色に揺れている。金色の波頭に日本海の暗い怒濤が砕け、北海道の山越えを足止めさせた夏の嵐が

マサダ砦を覆い、スローモーションで黒煙の中を走り、体を撓わせて力いっぱい投石するガザの少年の姿に、暮れゆく日本海をバックに疾走するショーケンの姿が重なってくる。

民族として、また個人として、自分の居場所のない人たち……。私の廻りから音が消えてゆく。

私はどこまでが夢だったのか、今も夢の中なのか、じつとりと疲れながらもへんにきらめいている頭の芯で考えてみる。そして、覚ったのだった。夢ではないたった一つのたしかかなこと、それは心の底に湧きあがる、けんらん豪華な夕景の中に、不思議なほど静かに拡がってゆく、「イスラエルとパレスチナ」を思っ綴る私の映像のひと群れがフェイド・アウトする、音のない一つのラスト・シーンなのだった。

89 小橋 綾子 長崎県 長崎県立長崎南高等学校

鷺沢萌 作『ケナリも花、サクラも花』

スンジエが飲もうと誘ってくれたその日、わたしはその夜のうちに仕上げないとタイヘンなことになる、という原稿をひとつ抱えていて、だから夜になって友だちをたくさん連れてやって来た スンジエが、まず心配して口にしたのもそのことだった。

仕事はもう終わったんですか、と彼が韓国語で訊き、わたしも、うん、さっき終わった、とやはり韓国語で答えた。するとスンジエは急に顔をくしゃっとさせて言ったのだ。

「あー、気分がよい」

こう日本語に直訳するとヘンなのだが、韓国語では嬉しい、とか、いい感じ、とかいうニュアンスを含んでいる。

どうして、とわたしが訊くと、スンジエは答えたのだった。

「鷺沢さんとウリマルで話せる日が来るとは思ってもいなかった。良い気分です」

ぞくっとしたね。あんまり嬉しくて良い気分になったもんだから、集まってくれたトンセン（弟）たちに奢っちゃった。

品詞も構文も知らない奴も「あ、こういうときはこういうふうに言うんだー」という発見をするように。それも大事なことだって、教授も言ってた。

90 小嶋一未 長崎県 長崎県立佐世保北高等学校
深い河

何のために自分は印度に来てしまったのだろう。いや、それよりもなぜ他の人たちのように色々な旧跡や聖地を廻らず、この町に残ったのだろう。彼女は他の観光客が悦ぶタージマハル宮殿も印度舞踊ショーもほとんど興味がなかった。心に突きささったものは、ガンジス河と、そして江波が説明してくれた女神チャームンダーのらいにただれ、毒蛇にからまれ、痩せ、垂れた乳房から子供たちに乳を飲ませているあの姿である。そこには現世の苦しみに喘ぐ東洋の母があった。それは気だかく品位あるヨーロッパの聖母とはまったく違っていた。

窓からさしこむ白い光は、彼女にまた放課後のクルトル・ハイムのチャペルを、突然、思い出させた。あの日、彼女は悪意を持って大津をそこで待った。階下で荘重な音をたてて大きな時計のチャイムが鳴り、眼の前に表紙のゆるんだ聖書が開かれていた。

彼は醜く、威厳もない。みじめで、みすぼらしい
人は彼を蔑み、見すてた
忌み嫌われる者のように、彼は手で顔を覆って人々に悔られる
まことに彼は我々の病を負い
我々の悲しみを担った

91 渡邊栄子 佐賀県 佐賀県立致遠館高等学校
いちげんさん

時々街で、不愉快なことが起きると、ひどく捻くれてしまった。「ヤマムラヤ」という店でとんかつを食べたときだった。そこのとんかつがケタはずれの大きさで有名だというので、僕はお昼を挟んでの授業をさぼり、京子を誘って行くことにした。

いつものように京子のためにメニューを一通り読んでから、店の主人に二人の分を注文した。ところが、注文をしたのが僕なのに——友達と一緒にいてもよく起きることだったが——、彼は日本人である京子の方を見て注文を繰り返した。京子は自分が人に見られていることはもちろん分からない。そこで僕は「はい、ヒレかつ定食を2つ下さい。」と助け船を出したが、僕の日本語が彼の耳に通じないのか、彼は今度は英語で「ツー・ビッグ・ジャパニーズ・ヒーレ・カツ」とわけの分からないイントネーションで単語を並べる。「その通り、ヒレかつ定食を2つ下さい。」と負けずに繰り返したが、はっきり言ってすこし頭にきた。

30分後、2つの巨大なとんかつがはこばれてくると、盆の上には慣れ親しんだ割り箸の姿はなく、フォークとスプーンが載っているだけだった。この国ではお箸を使わないのかと思って周りを見回してみたが、みんなは古典的な割り箸を使ってそのフリスビーのようなかいとんかつを食べている。それなら、こっちだってお箸が欲しい。第一、京子にとってその方が食べやすいのだ。

92 栗原 歩 佐賀県 佐賀県立佐賀北高等学校
『歲月』

「石炭は、書生が入れるのかね」
「書生もそれをやりますが、大体は召使いのしごとです。しかしなぜそのようなことをきかれるのですか」

「退屈だからさ。炭をついでいて、しきりに子供のころを思いだしていた。わしは弘道館の初等課程と枝吉塾のほか、学校というものに行ったことがない。家に火鉢すらなく、学業もさしたる機関でうけたわけではない。人間、もう一度うまれ直せるとすれば、オックスフォードの寄宿舎でストーブを燃やしながらか、金文字をきざんだ表紙の書物をひろげてみたいものだ」

(この人は、それにふさわしい)

と、香月は愕然とする思いで江藤のにぶくひかったひたいを見た。かれは英国貴族の家に生まれたほうがよかったであろう。田舎に領地と城館をもち、オックスフォードで学ぶ。それも専門はおそらく法律であるにちがいない。かれは学者になるより実務家の道をえらぶであろう。卒業すれば、法律事務所をひらくにちがいない。やがて国会に出てその雄弁と、つるぎのようにするどい理論をもって政敵を一人ずつ倒しつつ、おそらくは最後に首相の位置につく。外務大臣を兼務し、大陸の列強をむこうにまわして手の込んだ教会建築

が、現実の江藤は、日本の佐賀士族である。多少の運とその才腕を持って新政権の参議にまでなったが、いまは佐賀の田舎にいる。山麓の寺にいる。火鉢をかかえている。

「聞こえたか」

と、江藤は顔をあげた。銃声のことであつた。

9 3 熊谷麻衣呼 佐賀県 東明館高校 沢木耕太郎作「深夜特急」

ガソリン・スタンドの傍でまた停まる。どうやら今度は本当に動かなくなりそうだ。仕方がないのでガソリン代を立て替える。走る、また停まる。エンジンの様子を見る……。もうこれまでは、七時半のバスに乗るにはとくに諦めていた。いまや、このランバーと明日の朝まで一緒にいたとしても文句は言うまい、という心境になっていた。

もたもた、よろよろしながら、それでもどうにかターミナルに着いた。もちろん時計の針は、七時半はおろか八時を廻っている。と、天の助けかアムリトサル方面行きのバスがまだ発車せずにいるではないか。少し待ってくれるようバスの運転手に頼もうと喜び勇んで駆け上がると、乗客全員にジロリと睨まれた。なんと満席で、そのバスに乗り切れない人がもう一台分くらい周囲にいる。彼らは次のバスを待っているのだ。

「次のは何時です」

訊ねると、英語の分かる乗客のひとりが五時と教えてくれた。朝の、である。もしそれに乗れなかったらと訊ねると、七時半と言う。二時間ぐらいならと呟くと、いや夜のだと言う。そうか半日後か。半日もどうやって時間をつぶそうか。すると彼が同情するように言った。

「明日のじゃない。三日後だ」

これには参ったが、とりあえず明日の朝まで待つことにした。

9 4 城本あゆみ 熊本県 熊本県立第一高等学校 深夜特急

BGM スタート

一粒づつブドウを口に放り込んでいると、前の座席にいる老人が見咎めた。胡麻塩の山羊鬚をたくわえた、目の鋭い、頬骨の高い、パキスタン人の中でも色の黒いほうに属する、そんな老人だった。いけない、と手を振る。口に持っていこうとした手を強く抑える。

いけないんですか？

いけないぞよ。

隣のおじさんはいいって言ったんですよ。

いけないのだ！

これすべて身振り手振りである。隣のおじさんは苦笑して、この旅の人は他国者だから、というようなことを説明するが、老人は頑として受け付けない。いけないものはいけない、ラマザンだから食べてはいけない、と主張するばかりだ。ついに私は食べるのを諦めた。

たとえ他国者だとしても、この国では食べてはならぬという老人のほうが正しいような気がしたし、運命共同体のようなクレージー・エクスプレスのバスの中では、ひとりでも戒律を破ればどのような災難がふりかかるかわからない、と考えても不思議はないと思ったからだ。そして、なにより、老人の頑固さが快かったのだ。食べません。私がブドウをしまうと、老人はニコリともせず前に向き直った。

BGM 終了

9 5 緒方江美 熊本県 ルーテル学院高等学校 エンリケ・バリオス作 もどってきた アミ

(BGM 1 F I) ぼくの惑星のあるひとたちにとっては、まさにほこりの対象である小銃、機関銃、大砲その他あらゆる破壊的な武器が山積みされている。

「なにしているの？」

「すべての国、いやいまとっては元・国、つまり世界政府の州の自治体が武器を別のものにかかえているところなんだ」

大きな炎が金属を溶かしていた。港では戦艦を輸送艦に、空港では戦闘機や爆撃機が旅客機に、戦車はトラクターにと、つくりかえられていた……。

ぼくはそれを見ていて、アミからさいしょ教わっていた預言者イザヤの言葉を思い出し

た。(BGM1 FO) 聖書にあるその言葉をここに書いておこう。
”……そして彼らは、その剣を鋤の刃に、その槍を、かまに打ち直し、人々は人々にむかって、剣を上げず、二度と戦いのことを習わない”(イザヤ書2章4節)

(BGM2 FI) 炎が金属を溶かしているあいだ、人々は感動にうち震えながらある歌を合唱していた。そして、多くの人々は熱いなみだを流していた。まさに友愛と平和の象徴的な場面だった。

「これからよく注意して見ていてごらん。いちばんいいシーンだ」

とアミはぼくたちに言った。

空に何千、何万というかがやく飛行物体があらわれ、円を描いて炎のまわりをとびはじめた。人々は感動とよろこびのあいさつを送っている。いくつかの円盤は下降し、搭乗員が円盤から降りて、破壊と暴力を永久に放棄したその惑星の人々と合流してよろこびを分かち合っている。

(BGM2 FO)

96 山川亜由美 熊本県 熊本県立済々黌高等学校 遠藤周作・作 王の挽歌

塀のかけから男の怒鳴り声がきこえた。

「消えうせろ」

強い陽ざしが塀の影を黒々と道に落していた。アルメイダは痛みの残った右手を押えながら眼を伏せて歩いた。

怒りが胸を焦がした。ポルトガル人の彼は外見こそ温和だったが、底には激情をかくしていた。

その激情がなければ、彼は富裕な商人としての家財産を捨てて、イエズス会の修道士になる筈はなかった。

ポルトガル生まれのアルメイダは医学を勉強した後、二十三歳の時、東印度で貿易商として資産を作った。

財をなし、生活では何ひとつ不足のない彼が生き方を根本から変えたのは、たまたま、リスボアから東印度に向う印度洋艦隊の船中で三人の神父と二人の修道士と起居を共にしたからである。

神父や修道士たちはフランシスコ・ザビエルを師と仰ぎ、師と共に印度で布教をする筈になっていた。

この人たちの烈しい信仰はまだ若いアルメイダに新鮮な驚きを与えた。それは本国ポルトガルの豪華な聖堂のなかで言葉だけで神の道を説く司教や司祭たちとまったく次元の違った生きかただった。

97 大久保真美 大分県 大分県立大分上野丘高等学校 イニユニック

新月の夜、かすかな月光が雪景色を照らし始め、昨日までの闇が青白く浮かびあがると、森の木々はすでにぼんやりと雪面に影を落としている。月影は夜ごとにその強さを増し、やがて、雪明りにみちた満月の夜がやってくる。人々は、その中にさまざまなものがたりを生みだしてきた。雪の世界の暖かさは、人間の想像力と無縁ではないのだろう。

いつかこんな話を聞いたことがあった。変わりゆくアラスカをめぐる、アラスカ原住民とアメリカ政府との間で開かれたある話し合いの席上でのこと。一人のエスキモーの老人がこんなことを言ったという。

「われらは自分たちの暮らしのことを、自分たちの言葉で語りたい。英語では、どうしても気持ちをうまく伝えられん。英語の雪は snow でも、われらにはたくさんの雪がある。同じ雪でも、さまざまな雪の言葉を使いたいのだ」

この話が妙に記憶に残っている。暮らしの中から生まれでた、言葉のもつ多様性。アラスカの冬を、雪の世界を、彼らの言葉を通して旅してみたい。ひとつひとつの雪の言葉に隠された、生命の綾をたどってみたい。

98 倉橋真紀子 大分県 大分県立大分舞鶴高等学校
イギリスはおいしい

英国国教会の結婚式は、少しも肩胛を張ったところがなく、なごやかな、そうしてすこぶる簡単なものだった。田舎の教会のことで、多分その教会の信者たちのアマチュア合唱団であろう、老若男女入り交じった合唱団が聖歌を歌って、式は始まった。すぐに花嫁と父、花婿と友人、そして乙女たちというように入場し、しばらく「父と子と聖霊の・・・」というようなお定まりの、しかしごくごく短い祈りに続いて、例の「私はこの者を生涯私の妻と定め、富める時も貧しき時も、健やかなる時も病める時も、・・・」というような誓いの復唱があり、指輪の交換に至る。ただし、この時は、指輪は交換されるのではなく、花婿から花嫁への一方通行であった。しかし、夫は「私は生涯の誠実と愛のかたみにこの指輪を贈ります」と言い、妻は「私はこの指輪をあなたの愛と誠実のしるしとして、毎日見るでしょう」と答える。つまりは、指輪を仲立ちにした、愛の言葉の交換というわけなのである。

99 池田愛 大分県 大分県立大分女子高等学校
上橋菜穂子作 「隣のアボリジニ」

二ヶ月をジェラルトンで過ごし、ミンゲニューに帰ってきた私を待っていたのは、シッドおじさんが心臓発作で亡くなった、という知らせであった。

あまりに突然の訃報に呆然としている私にパム校長は言いました。「アボリジニは、生への執着が白人より薄いよ。死期を悟ると、生にしがみつこうようなことはしないで、あきらめてしまうんじゃない？ 本当にあっけなく死んでしまうのよ。」生への執着が薄い。・・・それは、とても「アボリジニ」のイメージ合った言葉で、聞いた瞬間は、そうなのかもしれないと思わせる説得力をもっていました。

けれど、本当にそうなののでしょうか？ 本当にそれほど白人と違う生死観を、このミンゲニューのアボリジニがもっているのでしょうか。

それまで、思考や価値観の面では、彼らと白人との文化的な差異をほとんど実感できなかった私には、パム校長の「アボリジニ観」を素直に信じることはできませんでした。

100 玉井美穂 長野県 長野県長野西高等学校
野生の風 (村山由佳作)

道が上り坂になった。

車が坂の頂点を越えた途端、飛鳥は息をのんだ。

目の前いっぱい果てしなく広がる、赤茶けた大地。視界をさえぎるものは何もない。かなたに地平線が横たわってぼんやりとかすみ、右手の低い山並みへと続いているだけだ。

うす曇りの空にはさまざまな形の雲が浮かび、その影を地面に映しながらゆっくりと流れていく。太陽はいま、大きな雲に隠れていた。銀色に輝く雲間から、太い光の束が幾筋も射している。それはまるで白いオーロラのようにも、大地に向かって降ろされた巨大な梯子のようにも見えた。

その光の束の中を、鮮やかな赤い布を身にまとったマサイが、牛を追いながら歩み去っていく。大海原に落とされた血の一滴のようだ。どんなに遠くからでも、マサイの姿はひと目でそれとわかる。

これほどまでに大きくひらけた風景を、飛鳥は生まれてこのかた見たことがなかった。いや、いくつかの国で似たような風景に出くわしたことはあるのだが、いま目にしているこれは、今までに見たのとはまったく質の異なるものだった。

101 青木春江 長野県 長野県松本美須々ヶ丘高等学校
ローラ・インガルス・ワイルダー作「大草原の小さな家」

父さんは、まだ朝のうちだというのに、ペットとパティを犁からはずしはじめたので、メアリーとローラには、この話がほんとうにほんとうだとわかった。みんなはほんとうに、この土地から出ていくのだ。母さんは何も言わなかった。家にはいって、洗ってないお皿や、まだととのえおわっていないベットを見まわして、肩をすくめて両手をあげると、すわりこんでしまった。

メアリーとローラはお皿洗いをつづけた。音をたてないように、気をつけて洗った。それから、父さんがはいて来て、ふたりはさっとふりむいた。

父さんは、いつもの父さんにもどっていて、ジャガイモの袋を持っていた。「ほら、キャロライン！」と言った父さんの声はもうふだんの声だった。「昼ごはんは、どっさり料理してくれよ！がまんして種イモ用にとっておいたけれど、もうぜんぶ食べてしまおう！」
それで、その日の昼ごはんは、種イモを食べた。ジャガイモはとてもおいしかった。「大きな損には、小さな得が付きものさ」父さんがそう言ったとき、ローラはほんとうだと思った。

102 内田 智 長野県 長野県立長野高等学校
車いすでアジア

ぼくが流されないように、ジュカライがしっかり捕まえてくれていた。辻田さんがぼくの頭をせっけんでごしごし洗う。せっけんの泡がスイスイと下流へ流れていった。信頼できる人たちに支えられ、河に抱かれて幸せだった。
ダイナミックな祈りを捧げていたあの男性のように祈ることはできないが、動かすことのできる自分の左手で川面を叩いた。その波紋は一メートルほど広がってすぐに消えてしまう弱々しさだったが、「神」であるガンジスに対して、「しっかり生きていきますから」、そんな思いを込めた。
ガンジスの流れの中で、すっかりリラックスしていた。
「そんな笑顔、東京で見たことないよ」
ぼくの顔をのぞき込んで、辻田さんが言う。
そういえば自然にニコニコしているのが自分でもわかる。
「ほんとですか？」
と口では言ったが、久しぶりに腹の底から笑った気がした。事故以来、こんなに穏やかでこやかだった記憶はなかった。
「そんな顔できるんだったら、ずっと旅してたら？」
せっけんの泡とともに、何かが洗い流されたのかもしれない。

103 山本志麻 鳥取県 鳥取県立倉吉農業高等学校
陽気なタイランド

目をつむって聞いていると、まるで宇宙の星の間に体が浮かんでいるような気分だった。とくに、ほそい竹を円を描くように組み合わせ、くるくるまわしながら吹くウォットは「星ぶえ」とでも呼びたくなるような楽器だ。
楽団の演奏がおわるとモーラムがはじまった。遠いステージのモーラムは期待したほどおもしろくなかった。有名な人たちらしいが、こういう大きな舞台ではすこしお上品になってしまうようだった。やっぱりモーラムは村の舞台で、即興でいろいろばかな冗談を言い合いながら演じ手と観客とがいっしょになって盛り上がるものなのだ。きちんといえずわった観客ではモーラムにならない。
モーラムの会場のむこうには寺の大きな本堂があった。会場を出てよこを通りかかると、ちょうど人びとが手に花とロウソクと線香を持って胸の前にかかげながら、お堂のまわりをまわっているところだった。
お堂のまわりの電気はけされ、何千というロウソクのあかりだけがするすると動いていく。その幻想的なながめは、はっとするほどうつくしい。

104 坂根 早紀 鳥取県 鳥取県立米子西高等学校
旅のおくりものムハマド君とナムナマ

{BGMなし} 私たちと発音もほとんど変わらない上手な日本語を話すティラット君は、日本のアイドルが大好きだ。外見も、ちょっと小柄な日本の男の子のようで、彼といると私は中学校の先生になったような気がする。
日本にとっても興味がある彼は、新幹線の駅の名前をすらすらと暗唱してみせたりして私を驚かせる。働いている子供たちのなかには、自分で学費を稼いで大学へ行くんだ、と言う人も多かったから、大学で学べるティラット君は、この国では恵まれているほうだろう。
彼らの日本語の先生は、女性である。だから彼の日本語はとても丁寧、もう日本でも聞けないような、品の良い女言葉を話す。そして私が、一カ月前に札幌を発ったときは、あたり一面雪景色だったのよ、と言うと、

「わたし、一度も雪を見たことがありませんのよ。真っ白い世界って、きっと天国のように美しいでしょうよね。いつか、わたし、見てみたいです」

と答えてくれたのだった。

天国のようなどころ、と言われて私は、なんだか照れた。そう、日本は自由で平和だ。何より自分で人生を選ぶことができる。納得して生きていける。

105 藤田真美 鳥取県 鳥取県立鳥取東高等学校
追憶のスマールタウン

不幸にして、わたしもよく眠れなかった。半ば目覚め、半ばうとうとした状態で、ベッドに横たわって、インディアンのことを考えていた。モンタナの日常生活で、わたしは毎日インディアンに会った。学校にはインディアンの子供たちが、食料品店には母親たちが、酒屋には父親たちがいた。わたしたちの町やその周辺で暮らすインディアンは、薄らいでいたとはいえ、ひどく恩人ぶった人々の偏見の対象になっていたが、それでもおおむね控え目で温和な人々だった。ほんの数人のそうでない者でさえ——たとえば、ロイ・シングル・フェザーはたった一人で酔っ払ったインディアンという紋切り型を不朽のものにする決心をしていたらしく、酔うとメインストリートのまんなかを歩いて、通りかかる通行人、車、商店の窓などに向かってイエス・キリストに生涯を捧げる必要性を説いた——危険というよりはおどけて哀れを誘うものとみなされていた。

しかし、その晩はマリーの死とカウボーイやインディアンのでてくる数多くの映画が緋い合わされて、夢うつつのわたしに不思議な幻覚をもたらした……

106 山口恵里佳 福井県 福井県立美方高等学校
アマゾン、インディオからの伝言

「境界線画定は終わった。しかし木材伐採業者と金探掘業者の不法侵入は後を絶たない。そしてキリスト教会の影響で私たちの文化はすべて死んだ」

悲しいくらいキッパリと言った。

パタショ族リーダー・ニャバイの話。

「ここへ来たのは、他部族との話し合いを持ちたかったからだ。我々は伐採業者との争いでこの一年に、十五人が死んだ。我々の森にはもう、食用とする獲物がなくなった」

彼は言葉少なに最後、

「インディオは大地のために死ぬ」

と、つけ加えた。

七十歳ぐらいの、このカシキ（長老）が過ごしてきた時間を計り知ることはできないが、プライドを失わず、未来を予測するかのような遠い所を見つめる視線を、今でも忘れられない。カラジャ族のリーダーが話す。

「カラジャの証である頬に丸い入れ墨をする習慣を若い者が嫌がるようになった。インディオの誇り、伝統が失われつつある。我々は子どもが死ぬと両親は、一年間家から出ずに喪に服する」

もう一人の長老がゆっくりと話す。

「人間は死ぬために生きる。」

107 大谷 彩 福井県 福井県立若狭東高等学校
林 望 イギリスは愉快だ

BGM FI

その翌日、ボストン婦人と道を歩きながら、

「ところで、あの濠の向こう側にはアダーがいるって話ですが、本当ですか？」

と訪ねてみると、婦人はニコニコして答えた。

「ええ、もちろん、いますとも。たくさん……」

「で、そいつは毒蛇じゃないんですか？」

「ええええ、とても毒がありますよ」

BGM FO

ボストンさんはそんなことは何でもない、という風に平然と笑っているのだった。

犬や猫を「ペット」として可愛がる人はたくさんいる。しかし、庭にいる動物たちを、人間のご都合による好き嫌いじゃなくて、良いのも悪いのも、まるごと愛してやまないと

いうボストン婦人のような人は、ムツゴロウ先生のようなごく少数の例外を除いて、日本にはほとんどいないに違いない。

ボストン婦人はもう長いことそうして一人暮らしをしていたけれど、孤独を紛らすための犬や猫を買ったりはしていなかった。そんなものはいなくとも、この屋敷の広々とした庭には、いつもたくさんの動物たちが、婦人とともに愉快地生きていたからである。

108 坂野一平 福井県 北陸高等学校
ハーブの雨田と同人誌

彫刻家で音楽家の雨田光平が洋行帰りをしたのは、昭和四年九月十九日だった。「福井新聞」には、「福井が生んだ天才的芸術家、一〇年ぶりにフランスから帰る」と三段抜きで紹介された。雨田に言わせると「今でこそハーブを知らない人はいないだろうが、あのころは宮内庁あたりにあるだけだった。ハーブをひく人はほとんどいなかったんですよ。」ということになる。

まもなく帰朝演奏会が開かれて、ハーブが紹介された。このおぜん立てをしたのは大正初めに同人雑誌で気をはいた坪川信一と、当時の福井新聞編集局長・藤田村雨だった。このハーブ演奏が福井の音楽熱を高めたのはいうまでもない。

雨田は福井市出身で、福井中学から東京美術学校にすすみ、大正五年の第一〇回帝展・彫刻で初入選した。ところが大正九年になると、急に芸術修行の旅に出てしまった。そして彼の運命を決するハーブに目をむけたのは、アメリカでのことだった。雨田はフランスに渡って世界的なハーブ奏者マーシャル・ツールニエについて学んだ。おかげでハーブの腕もあがり、各地で「ハーブのアマダ」と激賞されるようになった。

109 柳瀬真衣子 滋賀県 比叡山高等学校
四国八十八か所 ガイジン夏遍路

エメラルドグリーンに輝く海を左手に見ながら、曲がりくねった湾岸の道を進んだ。

「暑いですね！」

作業着姿のおばさんが、気さくに声をかけてくれた。暑いですねというのは、話のきっかけによく使われる。初対面の他人どうしが会話するのに、もってこいの台詞だ。わたしも日本人の「外国人恐怖症」を未然に防ぐ手段として、おおいに重宝させてもらっている。外国人恐怖症とは、外国人など滅多に見ない、あるいは見たことのない日本人に見られる一種の錯乱状態のことだ。だが外国人のわたしが「暑いですね！」と一言切り出すだけで、相手はほっと安堵のため息をついて、外国人恐怖症はたちどころに消える。「ああ、日本語が話せるんだ！」とわかってもらえて、すんなり話ができるわけだ。しかし今回は、おばさんが先に口火を切った。さらにおばさんは、わたしが作ったのよと誇らしげにミニトマトを八つ手渡してくれた。

「大丈夫、きれいよ。さっき、川で洗ったばかりだから」

ありがたく頂戴して、歩きながらかじらせてもらった。

110 藤域純子 滋賀県 滋賀県立河瀬高等学校
大人の国イギリスと子どもの国日本

先日、新宿駅から松本行きの特急に乗った。そのグリーン車の中で乗客がさかんに食べたり飲んだりして、ビールの缶や弁当の空き箱がたくさん散らばっていた。そうしたら、ついさっきまで切符を売ったり検札をしていた車掌さんがビニールの袋を持ってきてゴミを集めはじめた。これには驚いた。日本はなんとすばらしい国だろう、車掌さんが清掃係と同じことをやるとはと、とても感心してしまった。

イギリスだったら職業分担がはっきり分かれていて、車掌さんは車掌の仕事に徹している。切符を切る仕事しかないから、食べ物のからを集めたりゴミを集めたりなど絶対にしない。それは清掃係の人が駅に着いてからすることなので、どんなに汚くなくても放っておく。もっとも、イギリスでは車掌さんがゴミを集めて歩かなくても、列車の中はそれほど汚くならない。お客がみんな自分で片づけるからである。ゴミの始末は食べた人の責任というのが当たり前のことになっているのである。

日本の場合は、どういうシステムになっているのかわからないが、本当にあれでいいのかと考えさせられた。自分は寝転んで漫画を読んでいて、その漫画本を捨てたり、ごはんを食べた後の弁当のからを捨てたりしてもちろんと車掌さんがきて集めてくれる。そこま

で何もかも他人にしてもらおう癖がついていて、そんな人たちが子どもを育てたとしたら、どんな子どもが育つことだろう。

111 小林優紀 滋賀県 滋賀県立河瀬高等学校
二つの風の谷 アイヌコタンでの日々

アイヌはあらゆるものに神性をみいだす世界観を持つといわれ、動物、植物、器物をはじめ、火や水、はては病気にいたるまで自然界に存在するすべてがカムイである。絶対的な唯一の神でもなければ、私たちがイメージする神ともちがう。カムイはカムイとしかいいようがない。カムイは人間に衣食住すべての資材をあたえてくれるだけでなく、人間を危険から守ってくれる存在である。

人間はこのようなカムイの守護に感謝し、祈りとともにさまざまな供物を捧げる。それゆえ不慮の事故がおこった場合には、人間はカムイがカムイとしての責任をはたしていないかとして抗議する。そういう意味では、人間とカムイは対等の関係にあるといえる。

カムイは、普段はカムイモシリで人間と同じ姿で同じような生活をしているが、役割を持って一定期間だけ人間の国におろされる時、あるいは人間の世界に遊びに行く時、彼らはカムイの国の家の壁にかかっている衣装を身にまとう。すると、それまで人間の姿をしていたカムイは、たちまち、虫や獣や樹木など私たちが目にするようなさまざまな姿に変身するらしい。

112 村上都望 大阪府 私立相愛高等学校
ハーバード大学で日本はこう教えられている

日本企業のなかに一流企業はたくさんある。ソニー、トヨタ、イトーヨーカ堂などだ。しかし、世界の大学を知っている人からみれば、日本には一流大学はない。ただ、私に言わせると、慶応大学は非常にうまくやっていると思うが。特にキャンパスを開放しているし、運営もしっかりとしている。

東大は優れた学生はいるし、優れた先生もいるけれども、制度としては、十分機能していない。明治時代、政府は国民の教育水準を上げるために、組織を作って、文部省が義務教育の水準を高くするのに成功した。しかし、高等教育はそのようにはいかなかった。いまでも、大学の先生たちの競争力は小さいと言わざるをえない。アメリカでは、先生が行った講義を学生が評価する制度がある。一番最後の授業で、学生が先生を採点するのだ。だから、学生達は先生が何を言ったかを評価することができる。日本では、そういう制度はない。さらに、日本の大学の先生の選び方だが、先輩の先生が若手の先生から助教授や教授を選ぶ方式がとられる。これだと、競争原理は働かない。これは、ある意味では、非常に良いとはいえるが、日本の教育制度は、まだまだ自由ではないともいえるのである。

113 森下由理 大阪府 私立相愛高等学校
カナダ・インディアンの世界から

彼の魂とは、もしかりにわたしの言葉を使うなら——内なる自然——と呼んでもいいかもしれないものであった。それは、彼がまさに自分自身で生きているのだということを証明していたのである。

インディアンたちはだれからも命令される覚えはない、自分の思ったとおりに行動するという考えを持つ。したがって、彼らの行動はきわめて個人主義的である。じつは、この個人主義的な傾向がどれほど彼ら一人一人の中に深く根ざしているのかをわたしは冬のキャンプでのボブおじさんとの生活から知ることができた。しかし、このことを知るためにわたしたちが大きな犠牲を払わねばならなかったことも確かであった。わたしたちの対立と衝突なくしては、この事実を本当には知ることができなかったからである。

確かに、わたしは彼にとってもまたわたしにとってもそれだけでは意味がないであろう記録を取り続けてきた。しかし、その記録を取る過程で、わたしは記録を取ることを飛び越え、その向こう側にいる彼を理解した、と思った。この時、わたしは彼をずっと身近に感じた。だからわたしは嬉しかったのである。

114 山本仁美 大阪府 私立相愛高等学校
フィレンツェの高校生

地方に出た大学生たちは、週末洗濯物を持って実家に戻る。社会人になっても、同じく実家に戻る。

そして実家のある街で、普通だった中学、高校時代の友人たちにいつもの広場で会い、おしゃべりをする。地縁、血縁が強いといおうか、保守的といおうか。

彼らを見ていると、大都会のよそよそしい人間関係に慣れてしまっている身には、人間と人間の距離が近すぎてうっとうしくならないのかしらとか、これでは思春期に、親に反抗することさえできないのではないかと、これでも独立心は養えるのだろうか、思えてくる。

しかし子供が大学生になっても、社会人になっても、結婚しても、会いに来てくれることは、特にマンマにとってはとても嬉しい事だ。マドンナ信仰の賜物だろう。

日本では結婚すると、母を取るか妻を取るかなどと男たちは考えるようだが、初めから母と妻は別物なのだから、どちらを取るというものではないだろう。母は母として、妻は妻として愛すればいいことだ。

イタリア人のマンマを見ていると、子供が成人してまでアレコレと手を掛け過ぎ、自分の事も自分で出来ない人間を創ってしまっているのではないかと、自分の子供に満足する親が多すぎて、結局、子供の成長を妨げる結果になっているのではないかと、余計な心配をしてしまう。

しかし、何やかや言ったところで、親子の絆、夫婦の絆、家族の絆の強いイタリア人家庭は、本能的で自然なのだろう。

115 浅井美穂 岐阜県 岐阜県立大垣北高等学校
イギリスはおいしい

イギリスの酒に関する法律というのがちょっと変わっていて、いくらか禁酒法的立場を取っている。四六時中酒を売ることは禁じられているのである。すなわち、パブなどで、酒を販売して良い時間は一日八時間半以内ということになっている。従って、多くの場合、昼の二時間ほどと、夕方以降十時半ないし十一時まで、という二部に分けて酒を売ることになる。

こういうレギュレーションは酒場ばかりでなく、一般の酒屋やスーパーマーケットにも似たような法規制が適用され、国民がだらしなく酒に溺れるのを女王陛下の思し召しをもつて未然に防いでいるのである。もっとも、この法律に関しては、以前から批判も多く、このような機械的な時間規制は、結果的に国民の自律的自己管理能力を低下せしめ、かえって所定の時間内に大量の酒を飲もうとする卑しい気持ちを助長するから、そこに健全な飲酒の習慣が阻害される、とこのように批判するのであるが、私はイギリス政府のやり方は正しいと思っている。しょせん酒飲みは、時間にだらしがらないから、規制が無ければ日本の盛り場の如く、夜も深更どころか夜を徹ししらじらと東天の明るむまで、至るところ酔っぱらいが右往左往するに至るであろう。たといパブクロールになろうとも、十一時には家路にはつくといふことは、たしかに良い習慣であると言わねばならぬ。

116 内木智美 岐阜県 岐阜県立恵那高等学校
「河童が覗いたヨーロッパ」より「野鳥と人たち」

五月になると、公園のベンチで日向ぼっこを楽しむ人たちが多くなる。花壇に花が咲き、鴨やスズメたちが人々の足もとを歩き、手からパンくずをもらったりしている。ウイーンの公園で、初めて見たときは、彼らが野生の鳥だとは、すぐには信じられなかった。

そのうち、これはウイーンだけではなく、ヨーロッパ各地の公園でもそうだということを知った。警戒心の強い野鳥たちが、こんなに気をゆるして、見知らぬ、たくさんの人たちとつきあっているとは……。

ある日。公園でヨチヨチ歩きの、幼児が、近よってきた鴨をつかまえようとした。その瞬間、母親がその子をガバッと抱きあげ、力まかせにお尻をぶった。子供は大声で泣いたが、まわりのベンチの人々は、それを見て「それでいい」というように一様にうなずいていた。母親がやらなければ、きっとだれかが代りにぶっただろうと思える態度にビックリ。

ウイーンに10年以上住んでいる友人がいった。「こっちは人は、子供に“他の人たちと共有しているものを犯すと、お前は生きていけないよ”ということを教えこむのに特にキビシイからね。日本とは叱るところが違うのよ。それに、他人の子供にだって、ためらわずに注意してるわね。」

117 畠山知子 岐阜県 岐阜県立多治見北高等学校
「遥かなるケンブリッジ」

イギリス人は何もかも見てしまった人々である。かつて来た道を、また歩こうとは思わない。食物や衣料への出費は切り詰めているが、精神的余裕の中に、静かな喜びを見出している。不便な田舎の家の裏庭で、樹木や草花の小さな変化に大自然を感じ、屋根裏をひっかき回して探し出した、曾祖父の用いた家具に歴史を感じながら、自分を大切にしたり日々を送っている。もちろん悲しみや淋しさを胸一杯に抱えてはいるが、人前ではそれをユーモアで笑い飛ばす。シェイクスピアの「片目に喜び、片目に涙」である。

彼等の精神的ふくよかさは、イギリス病とか斜陽といった、経済指標によった名称からは、想像できないものである。日本は、イギリスのいつか歩いた道を歩んでいる。イギリスは、日本のいつか歩むであろう道を歩んでいる。それは、ずっと以前に、日本人が歩いていた道にも似ている。

日本人とイギリス人とは、心底に無常観を抱いているという点で、本質的によく似ている。日本とアメリカは、緊密な交流を保ちながらも、なかなか真の相互理解に達し得ないでいる。それに比べ日英が、深い部分で心を通わせるのは、はるかに容易と思われる。

118 矢島健太郎 神奈川県 私立法政大学第二高等学校
沈黙

黎明のほのかな光。光はむき出しになった司祭の鶏のような首と鎖骨の浮いた肩にさした。司祭は両手で踏み絵をもちあげ、顔に近づけた。人々の多くの足に踏まれたその顔に自分の顔を押し当てたかった。踏み絵のなかのあの人は多くの人間に踏まれたために摩滅し、凹んだまま司祭を悲しげなまなざしで見つめている。その眼からはまさにひとしづく涙がこぼれそうだった。

「ああ」と司祭はふるえた。「痛い」

「ほんの形だけのことだ。形などどうでもいいことではないか」通辞は興奮し、せいていた。「形だけ踏めばよいことだ」

司祭は足をあげた。足に鈍い重い痛みを感じた。それは形だけのことではなかった。自分は今、自分の生涯の中でもっとも美しいと思ってきたもの、最も清らかと信じたもの、最も人間の理想と夢に満たされたものを踏む。この足の痛み。その時、踏むがいいと銅板のあの人は司祭にむかって言った。踏むがいい。おまえの足の痛さをこの私が一番よく知っている。踏むがいい。私はおまえたちに踏まれるため、この世に生まれ、おまえたちの痛さを分かたため十字架を背負ったのだ。

こうして司祭が踏み絵に足をかけた時、朝が来た。鶏が遠くで鳴いた。

119 梅村美樹 神奈川県 神奈川県立座間高等学校
遠い海から来たCOO

(BGM FI) 岩礁の向う側に姿を消そうとしていたプレシオザウルスの群れの最後の一頭が、顎をこちらに向けて、低い一声だけ鳴いた。

クーが動きはじめた。(BGM FO)

洋助から視線を外さず、じっと顔を見つめたまま、ゆっくりと、背泳ぎの体勢で泳ぎだした。

四枚の鰭脚を出来るだけゆっくりと動かして、泳いでいた。

それでも、クーの体は、段々に洋助から遠ざかって行った。

「さよなら、クー」と、洋助が小さな声で言った。

クーは、一度目を閉じると、すぐにまたそれを見開き、それからくりりと身を翻して水中に姿を消した。

洋助はずっと、クーの消えていった水面をながめていた。

(BGM FI) と、やにわに、その数十メートル先の海面が弾けた。

水しぶきを上げて、クーのぜんしん全身が高く高く水の上に躍り上がり、太陽の光が、その体のきらめきを洋助の目に永遠に焼きつけた。

それが、クーを見た最後だった。(BGM FO)

120 日置秀馬 神奈川県 神奈川県立六ツ川高等学校
銀河鉄道の夜

(SE CI) ジョバンニは、口笛を吹いているようなさびしい口付きで、檜のまっ黒にならんだ町の坂を下りて来たのでした。

(SE CO)

(BGM CI) 坂の下に大きな一つの街燈が、青白く立派に光って立っていました。ジョバンニが、どンドン電燈の方へ下りていきますと、いままでばけもののように、長くぼんやり、うしろへ引いていたジョバンニの影ぼうしは、だんだん濃く黒くはっきりなって、足をあげたり手を振ったり、ジョバンニの横の方へまわって来るのでした。

(ぼくは立派な機関車だ。ここは勾配だから速いぞ。ぼくはいまその電燈を通り越す。そうら、こんどはぼくの影法師はコンパスだ。あんなにくるっとまわって、前の方へ来た。)

とジョバンニが思いながら、大股にその街燈の下を通り過ぎたとき、いきなりひるまのザネリが、新しいえりの尖ったシャツを着て、電燈の向う側の暗い小路から出て来て、ひらっとジョバンニとすれちがいました。

「ザネリ、烏瓜ながしに行くの。」

ジョバンニがまだそう云ってしまわないうちに、(BGM CO)「ジョバンニ、お父さんから、らっこの上着が来るよ。」その子が投げつけるようにうしろから叫びました。

121 笠谷智子 京都府 京都文教女子高等学校
S L Y 吉本ばなな

私たちが手帳を出して静かに検討していたら、喬が突然泣き出したので驚いた。人前で泣いたりするタイプではなかったからだ。彼なりにためていたいろいろなことが重かったことを感じさせた。そして私の心はその瞬間掛け値なく喬でいっぱいになった。喬、喬、喬、喬・・・考えは何も浮かばず、何回も何回も心の中でただ名前をくりかえした。

「君たちって、何て、変わらないんだ。」赤ん坊のように号泣しはじめたので、私たちは喬に寄り添い、手を握った。

「大丈夫、最後まで一緒にいるから。」日出雄は言った。あからさますぎないかしら、と私は思ったが、日出雄がひげの生えかけたほほをすり寄せて喬の手を取っている様が感動的だったので、黙っていた。

「死ぬ時はみんなひとり、それに死はみんなに平等にやってくる。」日出雄は言った。日出雄は中学生の時に親と兄弟を火事で亡くしていた。その時に彼だけが友達の家泊まりに行っていたという。どんなあたりまえのことも、その人の心から直接発した言葉というのはなんとなくそっぽくなくて耳ざわりがいいのだろう。

「まだ発病はしてないんでしょう？」私は言った。喬は日出雄の胸で泣きながらうなずいた。

「まだ時間は引き延ばせるのは知っているんでしょう？うまくいけば何十年だってよ。いろんなことができるよ。」私は言った。

122 中尾勇太 京都府 京都府立嵯峨野高等学校
森鷗外『舞姫』

ああ、独逸に來し始めに、自ら我が本領を悟りきと思ひて、また器械的人物とはならじと誓ひしが、こは足を縛して放たれし鳥のしばし羽を動かして自由を得たりと誇りしにはあらずや。足の糸には解くに由なし。先にこれを操りしは、我が某省の官長にて、今はこの糸、あなあはれ、天方伯の手中にあり。余が大臣の一行とともにベルリンに帰りしは、あたかもこれ新年の旦なりき。停車場に別れを告げて、我が家をさして車を駆りつ。ここにては今も除夜に眠らず、元旦に眠るが習ひなれば、下戸寂然たり。寒さは強く、路上の雪は稜角ある氷片となりて、晴れたる日に映じ、きらきらと輝けり。車はクロステル街に曲がりて、家の入り口にとどまりぬ。このとき窓を開く音せしが、車よりは見えず。馭丁にカバン持たせて梯を上がらんとするほどに、エリスの梯を駆け下るに会ひぬ。彼が一声叫びて我が項を抱きしを見て馭丁はあきれたる面もちにて、何やらん髭のいちにて言いしが聞こえず。

「よくぞ帰り来たまひし。帰り来たまはずば我が命は絶えなんを。」

我が心はこのときまでも定まらず、故郷を思ふ念と栄達を求むる心とは、時として愛情を圧せんとせしが、ただこの一刹那、低徊脚ちゅうの思ひは去りて、余は彼を抱き、彼の頭は我が肩に寄りて、彼が喜びの涙ははらはらと肩の上に落ちぬ。

1 2 3 高本 幸 京都府 京都府立山城高等学校
ジョン万次郎漂流記

三人は寅右衛門に対して少し気拙い心持になって三人だけ帰国することにした。そして紀州の船頭らの乗っている船に便乗を願い出て乗船したところ、ジョン万とその舟の船長とが喧嘩をしたので三人は船からおろされた。舟が港を出帆する数日前、ジョン万は退屈のあまり壊れている桶を修繕した。船長はそれを見てジョン万にその他の桶の修繕を命じた。ジョン万がその桶を修繕すると、船長は種々様々の壊れた道具をとり出し山のように積み上げ、「汝は早速これらの器具を修繕すべし」と命令した。ジョン万は桶職は心得ていたが、鑄掛や船大工の職には心得がなかったので、「これらの器具の修繕は、拙者には不可能である」と返答した。すると船長は物も言わずにジョン万の頬を殴打した。この待遇は亜米利加本土では明らかに奴隷に対する仕打ちである。ジョン万は激怒した。「拙者は、汝の奴隷ではない。汝は口にマドロス・パイプをくわえて傲然としているが、船乗りの仁義なるものを心得ているか」

ジョン万は軽く啖呵を切って、箱や椅子の修繕はもちろんのこと桶の修繕もしなかった。船長も大いに含むところがあったと見え、ジョン万ら三人をことごとくに圧迫した。

1 2 4 雲野史子 静岡県 日本大学三島高等学校
齒車

何ものかの僕を狙っていることは一足ごとに僕を不安にさせた。そこへ半透明な齒車も一つずつ僕の視野を遮りだした。僕はいよいよ最後の時の近づいたことを恐れながら、頸すじをまっ直にして歩いて行った。齒車は数の殖えるのにつれ、だんだん急にまわりはじめた。同時にまた右の松林はひっそりと枝をかわしたまま、ちょうど細かい切子硝子を透かして見るようになりはじめた。僕は動悸の高まるのを感じ、何度も道ばたに立ち止まろうとした。けれども誰かに押されるように立ち止まることさえ容易ではなかった。……

(BGM FI) 十分ばかりたった後、僕は僕の二階に仰向けになり、じっと目をつぶったまま、烈しい頭痛をこらえていた。すると、僕のまぶたの裏に銀色の羽根を鱗のように畳んだ翼が一つ見えはじめた。それは実際網膜の上にははっきりと映っているものだった。僕は目をあいて天井を見上げ、勿論何も天井にはそんなものはないことを確かめた上、もう一度目をつぶることにした。しかしやはり銀色の翼はちゃんと暗い中に映っていた。僕はふとこの間乗ったラディエータ・キャップにも翼のついていたことを思い出した。…… (BGM FO)

1 2 5 岩下智美 静岡県 日本大学三島高等学校
ソウルは快晴

(BGM FI) 食事が終わると別棟に移って、古典芸能の観賞をする。そこは小さめの映画館といった感じのホールで、外国人観光客で満席になっていた。

客席の照明は消え、舞台だけがくっきりと浮かびあがっている。バックは青い夜空。満月の上を、どういふしかけになっているのか、ごくうすい雲が、たえず流れている。舞台の両袖に、韓国服の正装をした男性が七、八人ずつ正座して、楽器を演奏している。激しく、強く。その音は全身に響く。

舞台の中央に娘たちが現われ、輪になって踊りはじめた。その娘たちの、清楚でほっそりと美しいこと、胸が痛くなるほどだ。解説も翻訳もいっさいなし。芸の力だけで訴える自身満まんの格調高い伝統芸能だ。(BGM FO)

韓国の人たちは、遠い遠い昔から、こうして月と親しみ、自然とうちとけあって暮らしてきたのだなあ、としみじみ思う。その歳月を、人びとのあこがれや悲しみを、この舞踊はかいま見させてくれる。私は日本人なのだ、とあらためて思う。この国の人たちから幸せを奪った日本人なのだ、と。

1 2 6 阪口奈美 静岡県 浜松市立高等学校
鉄道員

(BGM①CI 数秒後から本文読み始める)
—辛い思い出を綿入れの懐にしまい、乙松は襟をかき合わせて俯いた。春になってポッポヤをやめたら、もう泣いてもよかんべか、と思った。

「ありがとう、駅長さん」
「やあ、これ飲んで行きんさい」
トイレから出てきた少女に、(BGM①F O開始) 乙松は胸の中で温めていた缶コーヒ
ーを手渡した。(BGM①S T O P)
「あんた、めんこいねえ。おかさんもさぞ美人じゃろう。さあて、誰の子だろかい」
「はい、半分こ」
「おじさんはいらんよ。遠慮せんで飲まんさい」
(BGM②F I 鳴り始めたら読む)
村の子供らの成長を乙松はずっと見続けてきた。みんな都会に出ていってしまったが、
どの顔も忘れがたい。他人の子供の育っていく姿でさえそんなにも可愛く、そんなにも楽
しみなのだから、自分の血を分けた子供ならどんなだろうと、乙松は思った。
美寄の町に出ることがないのは、年ごろの娘を見ると切なくなるからだった。地下街を
歩けば、死んだユッコの齢の数にふさわしい品物が目について仕方がなかった。赤いラン
ドセルを手にとってみたこともあった。マフラーやジャンパーを本当に買ってしまって、
持って帰るわけにもいかず、通りすがりの子供にあげてしまったこともある。(BGM②
早めの速度でF O)

127 上倉未来 千葉県 千葉県立土気高等学校
アンデス家族

夕刻近く。やがて大きな山の斜面を回ったかと思うと、目の前に突然、谷間を見下ろす
ようにして薄い霞に包まれた氷河峰が現れてくる。その姿を写真に撮ろうとしたが、激し
い凸凹道の振動で満足に立つこともできない。その様子に気づいた3~4人の乗客たちが
近づいてきて、私を板枠に力いっぱい押さえつけはじめた。彼らにすれば、そうすること
で簡単に写せるだろうと親切に心配してくれたのである。

だが、私は板枠に張りつけられたも同然。カミオンの振動と一緒になった状態で上下し、
同時に体が締めつけられて呼吸もできないほど苦しくなった。「頼むから止めてくれ」と
叫びたくてもスペイン語が満足に話せなかった。

1973年6月。私がアンデスの大自然やそこで生活する人々を求めて、はじめてペル
ー経由でポリビアに到着したときの話である。

「氷河の山に抱かれた山麓。真昼はコンドルが飛ぶ空を眺め、夜は月明かりに浮かぶ山々
を眺める。そこに、どこからともなく村人が吹く笛の音が流れてくる。そのような雰囲気
に包まれた集落でのんびりと生活したい」

そのような願いを持って日本を離れた。

128 新井藍子 千葉県 千葉県立柏井高等学校
ディブ・リバー 遠藤周作 作 深い河

同じようにその白い光を見ながら美津子も自分の部屋のオレンジ色のソファに腰かけて
いた。エア・コンディションが古いのか部屋の中に細かい音がたえず響いている。(B
GM F I) 折角、印度まで来たというのに、無意味に今日一日が流れる。何のために自
分は印度に来てしまったのだろうか。いや、それよりもなぜ他の人たちのように色々な旧跡
や聖地を廻らず、この町に残ったのだろうか。彼女は他の観光客が悦ぶタージマハル宮殿も
印度舞踊ショーもほとんど興味がなかった。心に突きささったものは、ガンジス河とそし
て江波が説明してくれた女神チャームダーのハンセン氏病にただれ、毒蛇にからまれ、
痩せ、垂れた乳房から子供たちに乳を飲ませているあの姿である。そこには現世の苦しみ
に喘ぐ東洋の母があった。それは気高く品位あるヨーロッパの聖母とはまったく違って
いた。(BGM F O)

窓からさしこむ白い光は、彼女にまた放課後のクルトル・ハイムのチャペルを、突然、
思い出させた。あの日、彼女は悪意を持って大津をそこで待った。階下で荘重な音をたて
て大きな時計のチャイムが鳴り、目の前に表紙のゆるんだ聖書が開かれていた。

129 服部綾 千葉県 千葉県立幕張総合高等学校
夏目漱石作 倫敦塔

この倫敦塔を塔橋の上からテムス河を隔てて目の前に望んだとき、余は今の人か將た
古えの人かと思うまで我を忘れて余念もなく眺め入った。冬の初めとはいいいながら物静か

な日である。空は灰汁桶を掻き交ぜた様な色をして低く塔の上に垂れ懸っている。壁土を溶かし込んだ様に見ゆるテムスの流れは波も立てず音もせず無理矢理に動いているかと思わる。帆懸舟が一隻塔の下を行く。風なき河に帆をあやつるのだから不規則な三角形の白き翼がいつまでも同じ所に停っている様である。伝馬の大きいのが二艘上って来る。只一人の船頭が艦に立って艀を漕ぐ、これも殆んど動かない。塔橋の欄干のあたりには白き影がちらちらする、大方鴟であろう。見渡したところ凡ての物が静かである、物憂げに見える、眠っている、皆過去の感じである。そうしてその中に冷然と二十世紀を軽蔑する様に立っているのが倫敦塔である。汽車も走れ、電車も走れ、苟も歴史の有らん限りは我のみは斯くてあるべしと云わぬばかりに立っている。その偉大なるには今更の様に驚かれた。

130 西村裕恵 山口県 山口県立熊毛南高等学校
沢木耕太郎作 深夜特急

「十ルピー」
物乞いに金額を指定されたのは初めてだった。しかも十ルピーといえど大金だ。首を振って歩き出すと、慌てて私の眼の前に廻り込んで言い直した。

「六ルピー」
私がまた首を振ると、やがてそれは五ルピーになり、四ルピーになり、三ルピーになった。そのときになって、やっと意味がわかった。少女はその金額で自分の体を買ってくれないかと言っていたのだ。

まだ七、八歳にしかならない少女が、僅か三ルピーの金で体を売ろうとしている。しかし、彼女がそのような申し出をするからには、どこかに必ず買う男がいるのだろう。

その顔を見つめているうちに、名づけようもない感情が喉元まで溢れてきた。多分、この少女は、香港のアバディーンで会った陳美華と大して違わない年齢だろう。あの時の陳美華は、これから女を買いに行くのか、と私に訊ねてきた。しかし、この少女は自分を買ってくれ、と頼んでいるのだ。

私は少女に三ルピーを手渡し、グッドバイ、と言ってそこを離れた。だが、少女は私の後についてこようとする。いいのだ、これをあげたのだから、といくら手真似で説明しても理解できないらしい。仕方なく、走るようにしてそこから遠ざかった。

131 牧田由美子 山口県 山口県立岩国高等学校
青のフェルマータ

イルカが来るようになってからしばらくは、アレックスとダダも、喜んで一緒に泳ぎを楽しんだ。アレックスなんか大興奮だった。ふだんはキザにきめているくせに、イルカを前にするとまるで小学生の悪ガキに戻ったみたいで、なんだか可愛らしかった。

でも、しばらくすると二人とも、ほんのときどき顔をのぞかせるくらいで、泳ぐことはしなくなった。朝の海はどうも冷たくてよう、なんてアレックスは言っていたけれど、本当はわたしに気がつかせてくれているのだということにはわかっていた。イルカと、思う存分、裸のつき合いができるように——、彼らはまだわたしの声のことをすっかりあきらめてはいないのだ。

でも、イルカと泳ぐことでわたしが癒され、ことばが戻るかも知れないという彼らの願いは、皮肉な形で裏目に出してしまっていた。

青い海の中でイルカと目を見交わし、長く、楽に息が続くようになっていけばいくほど、わたしの心はことばを必要としなくなっていった。何もいらぬように思えた。人間として生きるために身につけた道具なんか、何ひとつ。

132 青木彩子 山口県 山口県立山口高等学校
ニワトリオ化ケ

日本がアメリカと戦った時の南の島のトラック島での話です。本当の名はカナカ言葉で、ケイゼ・とか、タブ・とか あるのですが、其の七つのカナカの女の子は名前を聞くと「タケダシンゲン」というのです。

それを聞くとトラック島守備の日本の兵隊たちは大笑いしました。

出ベソの女の子が 武田信玄・・・

でも私は、その子が哀れで 笑えませんでした。

笑わない私にシンゲンがなついてくるようになりました。
そしてたどたどしい日本語で カナカのオ化ケを教えてくださいました。
「ニワトリオ化ケだよ 大きいよ 怖いよ サイパンの方からくる・・・・」

ある日の明け方

島はアメリカ軍の B 29 という爆撃機の空襲を受けました。
海岸の島民部落に、爆弾が落ちたと聞いて私は跳んで行きました。
あの武田信玄の部落なのです。
駆けつけてみると、頭をふきとばされた椰子の木に囲まれた真中に、大きな大きな水溜りが残っているだけで、部落は跡形もないのです。
出ベソの女の子の信玄も、居なくなってしまったのです。

「ニワトリオ化ケ 怖いよ サイパンからくるよ」

大人達の始めた戦のせいで、七つのかわいい 武田信玄はサイパンから飛んできた B 29 という、ニワトリオ化ケに、幼い命を奪われたのです。

133 齋藤 菜穂子 岡山県 岡山県立岡山東商業高等学校
塩野七生 作 イタリアからの手紙

この有名な風については、こんな話がある。

フランス大革命時代も、ナポレオン時代も、そしてナポレオンの没落後も生きのび、それが単に生きのびたというだけでなく、政府内の重要地位まで確保しつづけたしたたか者として有名なフーシェは、ここトリエステで死んだのだが、彼の葬式の日、あいにくと、このすさまじいヴォーラの吹く日だった。遺体を収めた棺を運ぶ黒塗りの馬車が、静々と四つ辻にさしかかった時である。突然、風が正面から馬車を襲い、それに驚いた馬が、けたたましい叫びをあげ、前脚を高々とあげて荒れ狂った。馭者が、あわてて手綱を引きしめたが間に合わなかった。棺は地上に投げ出され、その勢いでふたが開き、死体ころがり出た。生前はフランス政界の大立者だったこの男の、豪勢な服につつまれた青白い死顔は、まだ荒れ狂っている馬のひづめに蹴散らされ、泥の上を転々ところがつた。馭者も葬列に従っていた人々も、これにはしばらくの間、手も出せずに傍観するしかなかったという。

134 時本美鈴 岡山県 就実高等学校
イスタンブール、時はゆるやかに（澁澤幸子著）

温泉の町ブルサに来たからには、お湯に浸か^るなければと、私たちは町はずれのハمامに出かけた。ハمامはお椀を伏せたような円屋根の建物で、男女別棟になっていた。ここのハمامの内部は、イスタンブールで体験したターキッシュ・バスとは違って、むしろ日本の銭湯に似ていた。

中へ入ったとたんに、脱衣場にいた女性たちの驚きと好奇の目が私に集中した。女たちは突然の 外国女の出現に度肝を抜かれたらしかったが、すぐに笑顔を見せ、世話焼きらしいおばさんが寄ってきて、服はここへ置けとか、時計と財布は番台に預けろなどと、手まねで教えてくれる。「テシエツキュル・エ デリム」と、トルコ語でお礼を言うと、オーツという声が上がり、それか^ら、みんなの顔がもう一度ほころんだ。

温泉地だからだろう、このお風呂屋には広々とした湯舟があった。衆人環視の中でからだを洗^い終わると、さっきの世話焼きのおばさんがまた寄ってきて、「お湯に入りなさい」と手真似で言う。私が 立ちあがると、「ほら、滑らないように気をつけて」と、手まで引いてくれる。

湯舟の中はおばさんたちのおしゃべりでにぎやかだ。一人のおばさんが、なにやら民謡風の歌を 歌い出すと、全身しわだらけのおばあさんが両手を頭の上にかざして、ゆらゆらと踊りだした。手拍子を とる孫娘らしい女の子。負けじと踊り出すおばさん。最後は私も、おばさんたちの裸踊りの輪に加わって しまった。

135 倉爪加名恵 岡山県 岡山県立倉敷商業高等学校
草原の記

「わるく生きるよりもよく死ぬ、という諺が、モンゴルにあります。夫の生涯をふりかえって、その諺どおりだったと思っています。ブルンサインはわるく生きましたが、よく死にました」と、ツェベクマさんがいった。わるく生きるとは、つらく生きるということだろう。よく死ぬというのは、二十六年間生きわかれしていた妻子に再会し、二人に看取られて死んだ、ということかと思われる。

以上のことどもは、ツェベクマさんが、私の乞いを容れてくれて、筋道をたてて語ってくれた話である。最初からそのつもりで来てくれただけでなく、上等のモンゴル服を着、ロシア婦人のように帽子をかぶり、いわば礼装をしていた。自分の半生を語るについて、仏教語でいえば自己を荘厳しているかのようであった。「ツェベクマさんの人生は、大きいですね」と、私がいうと、彼女は切りかえすように答えた。「私のは、希望だけの人生です」

急にはげしい嗚咽がおこった。男らしく乾いたその音が、同席している鯉淵信一教授の大きな体から出ていることに気づいたが、私はそのほうを見ないようにした。

ツェベクマさんのいう希望が、自分自身の人生とこの草原の民族の希望と運命をかさねたものであることは、鯉淵教授はむろんよくわかっている。

私はなにか馬の話でもして、この場の空気を軽いものにしたかった。が、馬に無知な私にはよき話柄が出て来なかった。

136 千原亜樹 広島県 広島県立安古市高等学校
群ようこ作 「東洋ごろごろ膝栗毛」

私の人生において、ドアつき便所は絶対に譲れない。野原しかないのならば、喜んで野原です。しかし個室トイレがあるのに、そこでできないというのは、私にとっては許せないことなのであった。それもあれだけ待ったのに横入りしてきた人にとられたとあっては、ものすごく悲しい。しかし横入りされながら、ぐいぐいとドアの取手を取り合いしながら、私は不愉快にはならなかった。というのも、彼女が悪意でやっているわけではないことが、十分、わかったからである。

ドアには鍵がなく、西部の居酒屋みたいに、ただばたばたするドアがあるだけだ。それだけでも精神的にずいぶん違う。用を足し、水を流して立ち上がって身支度を整えていると、ドアが突然開けられ、女の人がじーっと私を見ていた。

「何をする！」

とびっくりしたが、彼女は平然としている。しゃがんでいて用を足している人の姿は見えない。しかし立ち上がったということは、終わったということである。それはわかる。日本人の感覚だと、個室から出るまでは、その人のプライベートな時間という認識があるが、ここではそうではない。個室であっても相手の都合でプライバシーはどんどんなくなっていくのであった。

私はあわてて外に出た。

137 今津由美子 広島県 広島県立広島国泰寺高等学校
KYOUKO

彼女の真剣な眼差しを見ていると、切実な思いがあふれてきて、ふいに自分がブエノスアイレスを離れた日のことがよみがえってきた。小さな飛行機の窓から下を見ると、どこまでもどこまでもパンパが拡がっていた。アルゼンチンの草原はまるで草の海のように広いのだ、とわたしは教えられて育ったが、上空からそれを眺めるのは初めてのことだった。

だが、草の海は一眠りしていた間に途切れていた。雲間から見下ろす視界は、薄緑色のパンパから茶褐色の岩山に変わっていた。初めての飛行機で、この景色の変化は何を象徴しているのだろうと不安になったものだ。ニューヨークへの憧れがすぐに現実の中で消えること象徴しているのではないか？その不安は身を切るように新鮮で、甘美だった。切実な旅の「途上」にある者だけがそういう不安を抱くことができる。キョウコの切実な眼差しがわたしに三十年前を思い出させたのである。こんな不思議な女性には会ったことがない、とわたしは思った。僅かに角度が変わるだけで、キョウコはすべてを知り尽くした聖母のようにも見え、イノセントな天使のようにも見えた。

138 高橋美奈 広島県 広島県立呉三津田高等学校
深夜特急4 シルクロード

駱駝をひき連れた遊牧の民が落日を浴びながらゆったりと砂漠を横切っていく。あるいは砂塵にまみれ、薄汚れた灰色になってしまった遊牧民の包(パオ)が、二十近くも砂漠の一カ所に固まって張られ、その間から夕餉の支度なのだろう白い煙が幾筋も立ち昇っている。たったひとりで西方のメッカに向かい、一日の最後の祈りをささげている老人の姿もあった。

山を上り、下り、また絶壁を通り過ぎ、ふとバスの後部のガラス窓から今まで走り過ぎてきた辺りを振り返ると、そこには赤く夕陽に色づいた山々に囲まれた平原と、その中を微かに蛇行しながらキラキラと光を放って流れている河があり、思わず息を呑んでしまう。その気配に誘われるようにして、他の乗客も後を振り返り、私と同じように息を呑む。まさに暮れようとしている薄紫色の世界の神秘的な美しさに、乗客はみな茫然と眺めているばかりだ。

夕陽を隠す西の山と、その光を受ける東の山と、それらに囲まれた一台のバス。この広大な砂漠に在るのはただそれだけだった……。

139 伊地知梢 宮崎県 宮崎県立都城西高等学校
遙かなるチベット

彼らは懐中から何枚もの写真を取り出し見せてくれた。その写真には故郷の田園風景や家族、友人たちがうつっていた。私たちと遭遇し緊張感がほぐれたのか、写真を見つめながら涙を流す僧侶もいた。

アヌーは目を赤く腫らして貰い泣きしながら、彼らのひとりひとりに盛んにチベット茶を注ぎ足している。

アヌーによると、去年の冬、サガルマタ(チョモランマ、エベレスト)の麓にある故郷のナムチェ・バザールで次のような事件が起きた。ヒマラヤを越えて亡命してきたチベット人家族の少年が、ネパール人警察官によって射殺されたのである。苛酷な冬のヒマラヤ越えて顔面や手足に凍傷を負い、着の身着のまま脱出してきたチベット人家族に、チベット系民族のシェルパ族はそれが当然のように食料(ツァンパ)やチベット茶を分け与えていた。

シェルパたちはチベット人少年が射殺されたことに、連日、集団で抗議した。サガルマタはネパールの国立公園である。「鳥や獣でさえ殺してはいけないのに、人間をなら殺してもいいのか。おまえは人間じゃないぞ」

その警察官はカトマンズの本署に連行されたそうである。

「チベット人がかわいそうで、かわいそうで」と、アヌーは震え声で私に言った。

すでに周囲は日が暮れて暗くなり、星空が広がっていた。ときおり流星がよぎった。寂々とした、その星空の下に、灰褐色にうねる一望千里の大地がある。静寂を破って、僧侶たちが誦経した。朝夕の勤行なのである。遠くまで響きわたるような玲瓏と澄んだ張りのある声だった。

140 関本隆一 宮崎県 宮崎県立門川農業高等学校
もの食う人びと

「いまでも、人魚を食っている人びとがいる」

マニラでそう聞いて、いてもたってもいられなくなった。

人魚とは冗談。もちろん、その伝説のもととなったジュゴンのことである。

「肉ありその色は朱のごとく美味なり、仁羹(人魚の肉)と名づく」

この一文を民俗学者、柳田國男の本に見て以来、恐れながら人魚とはどんな味なものか興味津々だった。

希少動物の保護問題もあるけれども、食えば不老不死とも言うではないか。その肉がほんとうにあるのなら、当局に許しを請うて、ほんのひとなめなりでもしてみたい。

というわけで、「魚市場でもジュゴンの肉が売られていた」といううわさのある、マニラの南西二百八十キロのブスアング島に飛んだのだが……。

タクシー一台とてない眠ったような島なのだった。

近海漁業や小規模な農業で細々と生計を立てている島民がほとんどだが、顔に陰も屈託もない。

人魚、いやジュゴンの件をどう切り出そうか迷っているうちに、あることに気がついた。

ジュゴンの保護を訴えるポスターがあちこちに張ってあるのだ。
捕獲ないし殺害した場合は、五千ペソ(約二万五千円)の罰金と記してあった。「食ったか、うまかったか?」と問うても、これでは口をつぐむばかりだろうと思っていたら、案に相違して、「去年の十一月、知人からもらって食べた」という男があっさり現れた。

1 4 1 川瀬 美実 宮崎県 宮崎南高等学校
男と女の交差点 神津 カンナ

自分とは違った目を通して何かを見るというのは、実に面白いものである。
アメリカにいる時、怖い映画を観たあとにその感想を喋っていたら「思わず鳥肌がたつくらい怖かった!」と言おうとして、言葉につまってしまった。
鳥肌という単語を知らなかったからである。私は考えた。「あれはどう見たって鳥肌。アメリカ人だって同じように言うに違いない」そして私は“チキンスキン”になったと言ったのである。友だちはみんなポカンとしている。私は何度も何度も“チキンスキン”を連発し、袖をまくって腕を見せ、一所懸命に説明した。
すると友だちの一人が、ああ分かったという顔をしてこう言った。
「それはチキンスキンじゃないわよ。グースパンプルって言うのよ」
今度は私の方がポカンとした。グースパンプル……それは“がちょうのにきび”という意味である。鳥肌ががちょうのにきび!? 私は、「鳥肌だって、ワッハハ」と大笑いしているアメリカ人の友だちを横目で見ながら、本当にキツネにつままれたような気分だった。
誰が見たって鳥肌に違いないと思ったのに、同じものを、がちょうのにきびだととらえる。なるほど他人の目を通してものを見るというのは、実に面白いなあと、私はその時しみじみと思った。

1 4 2 桑原 鮎美 福岡県 福岡県立小倉高等学校
宮部みゆき作 「蒲生邸事件」

蒲生邸は、どこよりもはっきりと、くっきりと実在感を持って、孝史の脳裏に残っている。いつでも訪ねてゆくことができそうなほど身近に、孝史をこの現代に送り出してくれた蒲生邸が。
そこには憂鬱な横顔の貴之がいる。暖炉の炎を白い頬に照り返す珠子がいる。机に向かう蒲生大将の幅広い背中が見える。小腰をかがめて働くちえがいる。鞠恵の嬌声が高い天井に響く。嘉隆の油絵の絵の具の匂いがする。そして誰よりも、そこにはふきがあった。
時折ふきの手紙を取り出して読み返してみると、そこには、孝史が想像することのできる範囲内の、小さくて可愛く年老いたふきの声が聞こえてくる。孝史には手の届かない歴史を積み重ねた老女の、乾いた手で撫でられるような気がする。だが孝史の頭の中には、永遠に変わらぬふきがいる。二十歳のふき。白い割烹着のふき。心配するふき。怒るふき。笑うふき。冷たいあの手の感触。雪に覆われた蒲生邸。生涯消えることのないであろう孝史の記憶の息づく場所。
そこでは今も、佇むふきの髪に肩に、ふたりが初めて出会ったあの日、昭和十一年二月二十六日の雪が降りつもる。

1 4 3 大阪屋響子 福岡県 私立筑陽学園高等学校
黒柳徹子作 窓ぎわのトットちゃん

(BGM FI)
「赤チャンハ、ベイビィー」
宮崎君のいう通り、みんなは、声を出した。
「赤ちゃんはベイビィー!!」
それから、また、宮崎君はいう。
「ウツクシハ、ビューティフル」
「美しいは、ビューティフル」
みんながいうと、宮崎君は、すぐに、自分の日本語を訂正した。
「ゴメンナサイ、ウツクシ、チガウ、ウツクシイ?」
こうして、トモエのみんなは、宮崎君とすぐ親しくなった。宮崎君も、毎日、いろんな本を学校に持ってきては、お昼休みに読んでくれた。

だから、宮崎君は、みんなの、英語の家庭教師という風だった。でも、その代わり、宮崎君は、みるみるうちに、日本語が、上手になった。そして、床の間にも、腰をかけたり、しなくなった。

トットちゃん達も、アメリカについて、いろいろ知った。

トモエでは、いま、日本と、アメリカが親しくなり始めていた。

でも、トモエの外では、アメリカは敵国となり、英語は、敵国の言葉ということですのでの学校の授業から、はずされた。

「アメリカ人は鬼！」

と政府は、発表した。このとき、トモエのみんなは、声を揃えて、叫んでいた。

「美しいは、ビューティフル！」

トモエの上を通りすぎる風は暖かく、(BGM FO) 子供達は、美しかった。

144 瓜生 明希葉 福岡県 明治学園高等学校 大地の子

その夜、一心は継ぎだらけでボロ屑のような布団にくるまり、昼間、出会った黄書海のことを思い返した。囚人服と見分けがつかぬほど、顔は真っ黒に日焼けしていたが、涼しげな光を湛えた眼ざしで、民族の言葉、母国語を知らない人間は恥だと云った言葉が、胸に残っている。自分は中国人として中国語で育ち、高級中学三年の時、共産主義青年団に入団し、政治意識もはっきりと確立されている。しかも、これまでの学校教育によって、日本がいかに中国を侵略したか、いかに信用できぬ相手であるかを学んだのだった。だが、あの口笛の歌詞の意味は解らないが、メロディを聞く時の心のときめき、胸騒ぎは何だろ
うかー。

一心は容易に眠れず、何度も寝返りをうった。

翌日から一心は、日本の歌の口笛が聞えて来ると、気付かれぬように、その方向へ即かず、離れず、羊を追って行った。

何日か経った或る日、一心と黄書海は、昼時に出会い、羊を休ませ、腰に下げて来た水と蕎頭を食べた。食べ終ると、どちらからともなく、ごろりと寝転び、大きな雲の流れの上に、真っ青に広がる高い空を見上げた。

資

料

第25回全国高等学校総合文化祭福岡大会

放送部門役員一覧

【運営委員】

委員長	増田 克彦	全国高等学校文化連盟放送部会長 (東京都立狛江高等学校長)
副委員長	五十嵐 勲	全国高等学校文化連盟放送副部会長 (神奈川県高文連放送専門部会長) (神奈川県立厚木南高等学校長)
	爲近 勝	第25回全国高等学校総合文化祭放送部会長 (福岡県高文連放送専門部会長) (福岡県立小倉東高等学校長)
委員	石塚 弘	全国高等学校文化連盟放送専門部事務局長 (東京都立園芸高等学校)
	本田 博都	全国高等学校文化連盟放送専門部事務局次長 (神奈川県立綾瀬西高等学校)
	鷹取一三郎	第25回全国高等学校総合文化祭放送副部会長 (小倉東高等学校)
	曾我部 徹	第25回全国高等学校総合文化祭放送部会委員 (嘉穂中央高等学校)
	椎原良二	第25回全国高等学校総合文化祭放送部会委員 (福岡西陵高等学校)
	山下久美子	第25回全国高等学校総合文化祭放送部会委員 (明治学園高等学校)
	久保山陽子	第25回全国高等学校総合文化祭放送部会委員 (小倉高等学校)

【福岡県推進教員】

安河内徹	粕屋高等学校
大谷都志忠	小倉東高等学校
田中重博	田川高等学校
松村寛志	筑紫中央高等学校
坂東孝和	八幡工業高等学校
樋口裕子	筑紫高等学校

【生徒実行委員】

生徒実行委員長	坪根 圭	筑紫高等学校
生徒副実行委員長	桑原鮎美	小倉高等学校
生徒実行委員	三山由香里	小倉高等学校
生徒実行委員	大黒泰昌	明治学園高等学校
生徒実行委員	柳井美貴子	明治学園高等学校

【福岡県運営教員】

総務・運営	金山達雄	福翔	技術	渡川真由美	東鷹
総務	松本博子	小倉東	技術	松田由紀夫	嘉穂
総務・受付	的野宣治	小倉東	技術	小石達哉	小倉西
総務	中村陽子	小倉東	技術	松岡潤一	嘉穂東
総務・審査	柴一秀	八幡中央	運営	近藤綾子	玄界
総務・審査	久良木一守	門司	運営	龍造寺明子	鞍手
審査	安田要一	東筑	運営	木村亜由美	戸畑
受付	竹田津敏秀	小倉	運営	岸宏志	香椎
受付	宮崎信男	東筑紫学園	運営	真子泰子	八幡
受付	淵上理恵	九州女子大学附属	運営	阿部雅子	中間
受付	幣憲治	八幡	運営	永谷隆幸	八幡南
受付	岡本美加	小倉商業	記録	藤川渡	筑陽学園
受付	平山朋子	光陵	記録	直江一平	小倉西
受付	河嶋美由紀	香住丘			

【運営生徒】

司会	榎橋明子	筑陽学園	技術	竹下優子	東鷹
司会	松本涼子	筑陽学園	技術	大久保友美	東鷹
司会	中村真美子	嘉穂	技術	岩瀬彩加	東鷹
司会	大阪屋響子	筑陽学園	技術	定野千絵	東鷹
司会	劉りつ子	明治学園	技術	山中美里	東鷹
司会	生嶋由紀	筑陽学園	技術	宮井愛奈	田川
司会	上原翔太	明治学園	技術	小山枝里子	田川
司会	水田美穂	中間	技術	上森みずほ	田川
司会	坂上友美	戸畑	技術	榎田亜季	田川
司会	長田悠	中間	技術	角崎健児	田川
司会	山下和泉	明治学園	技術	後藤仙太	小倉東
司会	篠原知子	嘉穂	技術	吉弘大輔	小倉東
司会	山城智紗子	小倉	技術	久家春海	嘉穂東
司会	木村浩佑	小倉	技術	畠中浩太	嘉穂東
司会	松田亜由美	筑紫	技術	入江博幸	嘉穂東
総務	平尾知子	小倉東	技術	渡辺祐介	嘉穂東
総務	中山明日香	小倉東	技術	土屋裕美子	嘉穂
総務	佐々木彩乃	小倉東	技術	高瀬真由子	嘉穂
総務	河野真子	小倉東	技術	永井麻沙美	嘉穂
総務	戸早るり子	小倉東	記録	鯉川聡	筑陽学園
総務	栗本真有	小倉東	記録	井口誠司	筑陽学園
総務	阿部歩美	小倉東	記録	井上喜博	筑陽学園
総務	田原佳奈	小倉東	記録	吉安早苗	筑陽学園
総務	園尾ユカ	小倉東	記録	讚岐達	小倉西
総務	熊罾寛子	小倉東	記録	徳満瑞穂	小倉西
記録	川口あゆみ	小倉東	記録	下和田綾子	小倉西
記録	木下淑恵	小倉東	記録	河村庵	小倉西
記録	芦村康吉	小倉東	記録	清末仁美	小倉西

記録	末次 矩子	小倉 東	運営	山下 加奈絵	福岡 西陵
審査	平野 智之	明治学園	運営	龍田 愉乃	福岡 西陵
審査	福山 緑	明治学園	運営	中園 美沙希	中間
審査	山口 怜子	明治学園	運営	森田 香織	中間
審査	水山 寛子	明治学園	運営	石井 智子	八幡南
審査	入江 友佳子	明治学園	運営	角田 夕貴	八幡南
審査	陶山 香織	明治学園	運営	賀原 未菜	八幡南
審査	柴田 佳奈	東筑	運営	川崎 真由美	八幡南
審査	谷 紗耶香	東筑	運営	草野 未麗	八幡南
審査	和田 早紀子	東筑	運営	末松 竜一	筑紫
審査	三宅 美沙	東筑	運営	野尻 暁生	筑紫
受付	安西 愛美	東筑紫学園	運営	才賀 雅之	戸畑
受付	後藤 麻央	東筑紫学園	運営	武末 春菜	戸畑
受付	尾島 沙織	東筑紫学園	運営	一丸 直子	戸畑
受付	増田 裕美子	東筑紫学園	運営	岩坂 あき	戸畑
受付	駒井 太輔	小倉 東	運営	楊 静	玄界
受付	岩田 好史	小倉 東	運営	太田 恵梨	玄界
受付	豊田 晋司	小倉 東	運営	黄 スルギ	玄界
受付	柿内 明	小倉 東	運営	高松 綾音	玄界
受付	佐藤 俊彦	小倉 東	運営	紫 逸平	鞍手
受付	本島 美香	小倉 東	運営	辻 智代	鞍手
受付	牧迫 友里	小倉 東	運営	阿部 見知子	鞍手
受付	小田 真美	小倉 東	運営	迎 拓郎	鞍手
受付	平田 知遙	小倉 東	受付	大津 留香織	小倉
受付	水上 麻利	小倉 東	受付	橋川 綾子	小倉
受付	小川 知恵	小倉 東	受付	樺島 広子	小倉
受付	山下 美妃	小倉 東	受付	古 曳 郁美	小倉
受付	重松 裕美子	小倉 商業	受付	田中 千恵	小倉
受付	辻本 真実	小倉 商業	受付	橋口 泉	香住丘
受付	中村 可世	小倉 商業	受付	中村 亜希子	香住丘
受付	越智 史絵	小倉 商業	受付	花森 愛子	香住丘
受付	福所 麻美	小倉	受付	松尾 麻由	香住丘
受付	吉原 拓	小倉	受付	鶴田 彩	光陵
受付	中村 いつか	小倉	受付	瓜生 貴絵	光陵
受付	野川 渚	小倉	受付	樋口 由香梨	光陵
受付	井生 久美子	小倉	受付	國守 悠花	光陵
受付	崎野 優	小倉	受付	本多 祐三子	九州女子大学附属
受付	高橋 瑞葉	小倉	受付	田代 彩	九州女子大学附属
受付	小川 沙織	小倉	受付	山崎 梨加	九州女子大学附属
			受付	守田 七未	九州女子大学附属

参加校一覽

		学 校 名				学 校 名					
		ア+	朗読	VM	AP			ア+	朗読	VM	AP
1	北海道	立命館慶祥高等学校	1			58	埼玉	埼玉県立松山女子高等学校	1		
2	北海道	北海道函館中部高等学校	1			59	埼玉	埼玉県立伊奈学園総合高等学校	2	2	
3	北海道	北海道旭川東高等学校	1			60	埼玉	埼玉県立川越女子高等学校		1	
4	北海道	北海道札幌白石高等学校		1		61	埼玉	さいたま市立浦和高等学校			1
5	北海道	札幌第一高等学校		1		62	埼玉	埼玉県立川越高等学校		1	
6	北海道	北海道札幌藻岩高等学校	1	1		63	埼玉	星野女子高等学校			1
7	北海道	札幌日本大学高等学校			1	64	千葉	成田高等学校	1	1	
8	北海道	札幌静修高等学校			1	65	千葉	千葉県立船橋高等学校	1		
9	青森	青森明の星高等学校	1	2		66	千葉	千葉県立千葉女子高等学校	1		
10	青森	青森県立青森東高等学校	1			67	千葉	千葉県立柏井高等学校		1	
11	青森	青森県立八戸高等学校	1			68	千葉	千葉県立幕張総合高等学校		1	
12	青森	青森県立三沢商業高等学校		1		69	千葉	千葉県立土気高等学校		1	
13	青森	青森県立弘前工業高等学校			1	70	千葉	千葉県立佐倉高等学校			1
14	青森	青森県立八戸北高等学校			1	71	千葉	千葉県立鎌ヶ谷高等学校		1	
15	青森	青森県立三本木高等学校			1	72	東京	桐朋女子高等学校	1	1	
16	岩手	岩手県立盛岡第二高等学校	1	1		73	東京	江戸川女子高等学校	1		
17	岩手	岩手県立黒沢尻北高等学校	1	1		74	東京	昭和女子大学附属昭和高等学校	1		
18	岩手	盛岡白百合学園高等学校	1		1	75	東京	東京都立豊多摩高等学校		1	
19	岩手	岩手県立盛岡第三高等学校		1	1	76	東京	晃華学園高等学校		1	
20	岩手	岩手県立岩泉高等学校田野畑校			1	77	東京	東京都立久留米高等学校			1
21	宮城	宮城県第三女子高等学校	1			78	東京	東京都立八王子高陵高等学校			1
22	宮城	常盤学園高等学校	2			79	東京	共立女子高等学校			1
23	宮城	聖ウルスラ学院高等学校		1		80	神奈川	捜真女学校高等学部	1		
24	宮城	聖ドミニコ学院高等学校		1		81	神奈川	神奈川県立大和西高等学校	1		
25	宮城	宮城県仙台向山高等学校		1		82	神奈川	神奈川県立多摩高等学校	1		
26	宮城	宮城県第一女子高等学校			1	83	神奈川	神奈川県立座間高等学校		1	
27	宮城	東北学院高等学校			1	84	神奈川	神奈川県立六ツ川高等学校		1	1
28	秋田	秋田県立秋田北高等学校	1	2		85	神奈川	法政大学第二高等学校		1	
29	秋田	秋田県立秋田中央高等学校	1			86	神奈川	神奈川県立永谷高等学校			1
30	秋田	秋田県立秋田南高等学校	1			87	新潟	新潟県立長岡大手高等学校	1	1	
31	秋田	秋田県立大曲高等学校		1		88	新潟	新潟県立柏崎常盤高等学校	1	1	
32	秋田	秋田経済法科大学附属高等学校			1	89	新潟	新潟県立長岡商業高等学校	1		
33	山形	山形県立山形北高等学校	1	1		90	新潟	新潟県立新津高等学校		1	
34	山形	山形県立楯岡高等学校	1			91	新潟	中越高等学校			1
35	山形	山形県立山形東高等学校	1		1	92	新潟	新潟明訓高等学校		1	
36	山形	山形県立寒河江高等学校		1		93	富山	富山県立魚津高等学校	1	1	1
37	山形	山形県立東根工業高等学校		1		94	富山	富山県立呉羽高等学校	1	1	1
38	山形	山形県立山形南高等学校			1	95	富山	富山県立富山北部高等学校	1		
39	山形	山形城北女子高等学校			1	96	富山	富山県立桜井高等学校		1	
40	福島	郡山女子大学附属高等学校	1	1		97	富山	富山国際大学付属高等学校			1
41	福島	福島県立磐城桜が丘高等学校	1	1		98	石川	石川県立七尾高等学校	1	1	
42	福島	福島県立相馬女子高等学校	1			99	石川	石川県立金沢北陵高等学校	1		
43	福島	福島県立喜多方高等学校		1		100	石川	石川県立飯田高等学校	1		
44	福島	福島県立原町高等学校			1	101	石川	石川県立金沢西高等学校		1	
45	福島	桜の聖母学院高等学校			1	102	石川	石川県立野々市明倫高等学校		1	
46	福島	福島県立安積高等学校			1	103	石川	石川県立金沢二水高等学校			1
47	茨城	茨城県立日立第二高等学校	1	1		104	石川	石川県立小松工業高等学校			1
48	茨城	茨城県立日立第一高等学校	1			105	石川	石川県立金沢辰巳丘高等学校			1
49	茨城	茨城県立岩井高等学校		1	1	106	福井	福井県立敦賀高等学校	1		1
50	茨城	茨城県立水戸第二高等学校		1		107	福井	福井県立武生東高等学校	1		
51	栃木	栃木県立栃木女子高等学校	1	1		108	福井	仁愛女子高等学校	1		
52	栃木	栃木県立宇都宮中央女子高等学校	1	1		109	福井	福井県立若狭東高等学校		1	
53	栃木	栃木県立盲学校	1			110	福井	北陸高等学校		1	1
54	栃木	栃木県立小山西高等学校		1	1	111	福井	福井県立美方高等学校		1	
55	栃木	栃木県立上三川高等学校			1	112	福井	福井県立金津高等学校			1
56	栃木	栃木県立真岡女子高等学校			1						
57	群馬	群馬県立伊勢崎女子高等学校	2	3							

	学校名		ア+	朗読	VM	AP
113	山梨	山梨県立市川高等学校	1			
114	山梨	山梨県立桂高等学校	1			
115	山梨	山梨県立吉田高等学校	1		1	
116	山梨	山梨英和高等学校		1		
117	山梨	山梨県立都留高等学校		1		
118	山梨	山梨県立甲府第一高等学校		1		
119	山梨	山梨県立甲府西高等学校			1	1
120	長野	長野県須坂高等学校	1			
121	長野	松商学園高等学校	1			1
122	長野	長野県飯田高等学校	1			
123	長野	長野県長野西高等学校		1	1	
124	長野	長野県長野高等学校		1		
125	長野	長野県松本美須ヶ丘高等学校		1		
126	長野	長野県梓川高等学校				1
127	岐阜	岐阜県立多治見北高等学校	1	1		
128	岐阜	岐阜県立岐山高等学校	2		1	
129	岐阜	岐阜県立恵那高等学校		1		
130	岐阜	岐阜県立大垣北高等学校		1		1
131	岐阜	岐阜県立岐阜北高等学校				1
132	静岡	静岡県立清水南高等学校	1			
133	静岡	静岡県立清水東高等学校	2			
134	静岡	浜松市立高等学校		1		1
135	静岡	日本大学三島高等学校		2	1	
136	静岡	静岡県立浜名湖南高等学校				1
137	愛知	愛知県立岡崎北高等学校	1			
138	愛知	愛知県立時習館高等学校	2	1	1	
139	愛知	愛知県立明和高等学校		1		1
140	愛知	名古屋市長久里高等学校		1		
141	愛知	光ヶ丘女子高等学校				1
142	三重	高田高等学校	1	2	1	
143	三重	三重県立津西高等学校	2	1		1
144	滋賀	滋賀県立守山高等学校	1			1
145	滋賀	比叡山高等学校	2	1	1	
146	滋賀	滋賀県立河瀬高等学校		2		
147	滋賀	滋賀県立石部高等学校			1	
148	京都	京都府立東舞鶴高等学校	1			
149	京都	京都文教女子高等学校	2	1	1	
150	京都	京都府立嵯峨野高等学校		1		
151	京都	京都府立山城高等学校		1		
152	京都	東山高等学校				1
153	大阪	相愛高等学校	3	3		
154	兵庫	武庫川女子大学附属高等学校	1	1		1
155	兵庫	姫路市立姫路高等学校	1			
156	兵庫	兵庫県立北摂三田高等学校	1			
157	兵庫	兵庫県立加古川西高等学校		1		
158	兵庫	兵庫県立龍野高等学校		1		
159	兵庫	兵庫県立尼崎小田高等学校				1
160	兵庫	兵庫県立小野高等学校				1
161	奈良	奈良県立高取高等学校	1			
162	奈良	奈良県立奈良高等学校	2			
163	奈良	奈良県立信貴ヶ丘高等学校		1		1
164	奈良	奈良県立橿原高等学校		1		
165	奈良	奈良県立志貴高等学校		1		
166	奈良	奈良県立王寺工業高等学校				1
167	奈良	帝塚山高等学校				1

	学校名		ア+	朗読	VM	AP
168	和歌山	和歌山県立星林高等学校	1			
169	和歌山	和歌山県立橋本高等学校	2			1
170	和歌山	和歌山県立伊都高等学校		1		
171	和歌山	和歌山県立向陽高等学校		2		
172	和歌山	和歌山県立海南高等学校				1 1
173	鳥取	鳥取県立米子西高等学校	1	1		1
174	鳥取	鳥取県立鳥取商業高等学校	1			1
175	鳥取	八頭高等学校	1			
176	鳥取	鳥取県立倉吉農業高等学校			1	
177	鳥取	鳥取県立鳥取東高等学校		1		
178	鳥取	米子松蔭高等学校				1
179	島根	島根県立出雲高等学校	1	1		
180	島根	島根県立浜田高等学校	2			1
181	島根	島根県立松江南高等学校		1		
182	島根	島根県立松江北高等学校		1		
183	島根	島根県立横田高等学校				1
184	島根	島根県立浜田水産高等学校				1
185	岡山	岡山県立倉敷商業高等学校	1	1		1
186	岡山	就実高等学校	1	1		1
187	岡山	岡山県立岡山大安寺高等学校	1			
188	岡山	岡山県立岡山東商業高等学校		1		
189	岡山	山陽女子高等学校				1
190	広島	広島県立広島国泰寺高等学校	1	1		1 1
191	広島	広島県立安古市高等学校	1	1		
192	広島	鈴峯女子高等学校	1			
193	広島	広島県立呉三津田高等学校		1		
194	広島	広島県立広高等学校				1
195	山口	山口県立熊毛南高等学校	1	1		
196	山口	山口県立山口高等学校	1	1		1
197	山口	山口県立華陵高等学校	1			
198	山口	山口県立岩国高等学校		1		
199	山口	山口県立山口農業高等学校				1
200	徳島	徳島文理高等学校	1			
201	徳島	徳島県立富岡東高等学校	2	1		
202	徳島	徳島県立阿波高等学校		1		
203	徳島	徳島県立徳島北高等学校		1		1
204	徳島	徳島県立城東高等学校				1
205	徳島	徳島県立城ノ内高等学校				1
206	香川	香川県立三木高等学校	1	1		
207	香川	香川県立香川中央高等学校	1	1		
208	香川	香川県立高松商業高等学校	1			1
209	香川	香川県立高松高等学校		1		
210	香川	香川県立坂出高等学校				1
211	香川	高松第一高等学校				1
212	愛媛	愛媛県立今治西高等学校	1	1		
213	愛媛	愛媛県立松山東高等学校	1	2		
214	愛媛	愛媛県立松山西高等学校	1			
215	愛媛	済美高等学校				1
216	愛媛	愛媛県立八幡浜高等学校				1
217	愛媛	愛媛県立北条高等学校				1
218	高知	土佐女子高等学校	1	1		
219	高知	高知県立高知南高等学校	1	1		
220	高知	高知県立須崎高等学校	1			1
221	高知	高知県立高知追手前高等学校				1
222	高知	高知県立高知西高等学校				1
223	高知	高知商業高等学校				1

	学校名		ア+	朗読	VM	AP
224	福岡	福岡県立城南高等学校	1			
225	福岡	福岡県立柏陵高等学校	1			
226	福岡	福岡県立田川高等学校	1			
227	福岡	福岡県立明善高等学校	1			
228	福岡	福岡県立中間高等学校	1			
229	福岡	福岡県立嘉穂東高等学校	1			
230	福岡	筑陽学園高等学校		1	1	
231	福岡	筑紫女学園高等学校		1		
232	福岡	福岡県立小倉高等学校	1			
233	福岡	福岡県立筑紫丘高等学校	1			
234	福岡	明治学園高等学校		2		
235	福岡	福岡大学付属大濠高等学校			1	
236	福岡	中村学園三陽高等学校			1	
237	福岡	福岡市立福岡女子高等学校			1	
238	福岡	福岡県立小倉東高等学校				1
239	福岡	福岡県立筑紫高等学校				1
240	佐賀	東明館高等学校	1	1		
241	佐賀	佐賀県立武雄育陵高等学校	1			
242	佐賀	佐賀済和高等学校	1			
243	佐賀	佐賀県立佐賀北高等学校		1		1
244	佐賀	佐賀県立致遠館高等学校		1		
245	佐賀	佐賀県立小城高等学校			1	
246	佐賀	佐賀県立佐賀東高等学校			1	
247	長崎	長崎県立北陽台高等学校	1			
248	長崎	長崎県立佐世保南高等学校	1			
249	長崎	長崎県立長崎西高等学校	1			1
250	長崎	長崎県立長崎南高等学校		1	1	
251	長崎	長崎県立佐世保北高等学校		1		
252	長崎	活水高等学校		1		
253	長崎	長崎県立長崎北高等学校			1	

	学校名		ア+	朗読	VM	AP
254	熊本	熊本県立第二高等学校	1			
255	熊本	熊本県立八代高等学校	1			
256	熊本	熊本県立熊本高等学校	1			
257	熊本	熊本県立第一高等学校		1		
258	熊本	ルーテル学院高等学校		1		
259	熊本	熊本県立済々黉高等学校		1		
260	熊本	熊本県立人吉高等学校			1	
261	熊本	熊本県立菊池高等学校				1
262	熊本	熊本県立大津高等学校				1
263	大分	大分県立大分上野丘高等学校	1	1		
264	大分	大分県立日田高等学校	1		1	
265	大分	大分県立三重高等学校	1			1
266	大分	大分県立大分舞鶴高等学校		1	1	
267	大分	大分県立大分女子高等学校		1		
268	宮崎	宮崎県立宮崎南高等学校	1	1		
269	宮崎	宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校	1			1
270	宮崎	宮崎県立宮崎大宮高等学校	1			
271	宮崎	宮崎県立門川農業高等学校		1		
272	宮崎	宮崎県立都城西高等学校		1		
273	宮崎	宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校				1
274	宮崎	宮崎県立宮崎北高等学校				1
275	鹿児島	鹿児島県立鶴丸高等学校	1	1		1
276	鹿児島	鹿児島純真女子高等学校	1			
277	鹿児島	鹿児島県立加治木高等学校	1			
278	鹿児島	鹿児島玉龍高等学校		1		
279	鹿児島	鹿児島県立甲南高等学校		1		
280	鹿児島	鹿児島県立鹿児島商業高等学校				1
281	鹿児島	鹿児島実業高等学校				1
282	沖縄	沖縄県立知念高等学校	1	1	1	1
283	沖縄	沖縄県立首里東高等学校	1			
284	沖縄	沖縄県立那覇商業高等学校	1			1
285	沖縄	沖縄県立那覇国際高等学校		1		
286	沖縄	沖縄女子短期大学附属高等学校		1		
合計	286校		142	144	88	44



主催

文化庁 社団法人全国高等学校文化連盟 福岡県 福岡県教育委員会 北九州市
北九州市教育委員会 福岡市 福岡市教育委員会 久留米市 久留米市教育委員会
飯塚市 飯塚市教育委員会 春日市 春日市教育委員会 福岡県高等学校芸術・文化連盟

後援

都道府県教育長協議会 全国高等学校長協会 福岡県公立高等学校長協会 福岡県私学協会

協賛

朝日新聞社 産経新聞社 西日本新聞社 日本経済新聞社 毎日新聞社 読売新聞社 共同通信社
時事通信社 **NHK** RKB毎日放送 FBS福岡放送 九州朝日放送 TNCテレビ西日本 TVQ九州放送

第25回 全国高等学校総合文化祭福岡県実行委員会事務局

〒812-8575 福岡市博多区東公園7-7 TEL (092) 632-8277 FAX (092) 643-8360

